朝鮮總督府月報

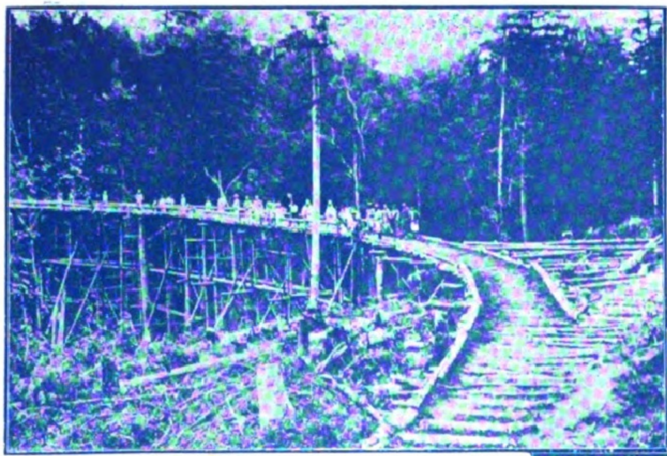
明治四十四年六月二十日第三種郵便物認可（毎月一回二十日發行）
朝鮮總督府月報第二卷第十號　大正元年十月二十日發行

朝鮮總督府月報

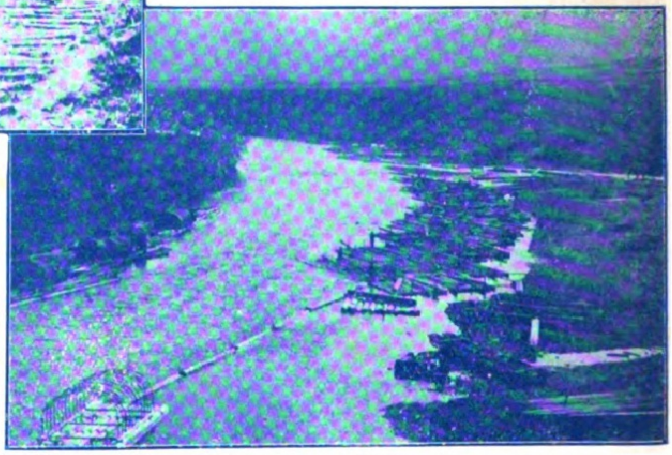
第貳卷第十號

目次

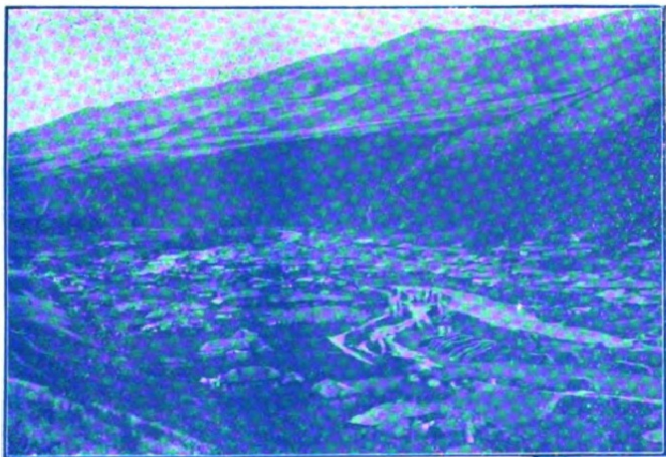
(惠山鎮地方ニ於ケル國境貿易並經濟狀況參照)



鴨綠江上流運材ノ景



鴨綠江ノ支那筏及渡舟



仲坪場ノ景



新乫坡鎮邑ノ景

朝鮮總督府月報 第貳卷第十號

○惠山鎮地方ニ於ケル國境貿易竝經濟狀況

一 咸鏡南道ニ於ケル鴨綠江流域ノ地理的狀況

鴨綠江ハ長白山ニ源ヲ發シ惠山鎮ノ上流約十里迄ハ溪谷ノ間ヲ走ル小流ニシテ容易ニ徒渉シ得ヘシ普天堡ニ於テ對岸支那領ノ二十二道溝ヲ併セ稍河川ノ形ヲ成シ下流ニ進ムニ從ヒ二十一、二十、十九ノ道溝及朝鮮側ヨリ二三水流ヲ合シ惠山鎮ニ至リ漸ク河幅二十五間乃至四十間ニ達ス惠山鎮ヨリ陸路約十六里(水路約十八里)ノ下流ナル新乫坡鎮ニ至ル間ハ兩岸ヨリ無數ノ大小流ヲ合スルニ拘ラス河幅水深共ニ特ニ大ナル變化ヲ認メス新乫坡鎮ニ於テ長津江ト會スルニ及ンテ始メテ大河ノ面目ヲ發揮シ水量河幅俄カニ擴大スルヲ見ルヘシ而シテ江ノ兩岸ハ急勾配ノ山嶽連亙シ諸所ニ嶮峻攀ツ可カラサル斷崖アリテ是等ハ江面上四五百尺以上ニ達スルモノ珍ラシカラス此間流域ノ變更ニヨリテ生セシ平地若クハ丘陵ノ稍緩ナル土地ニハ兩岸共小部落ヲ作リ其附近ハ四十五度前後ノ傾斜地迄悉ク耕作セラレツツアリ

水流ノ速力ハ平水ノ時ニアリテハ惠山鎮上流約十里ノ箇所ヨリ長津江ノ合流地點即チ新乫坡鎮迄一時間平均二里ナリ結氷解氷ノ時期ハ年ニヨリ多少ノ遲速アルモ平均十一月上旬結氷シ三月下旬解氷ス

二 對岸支那領地ノ戶口

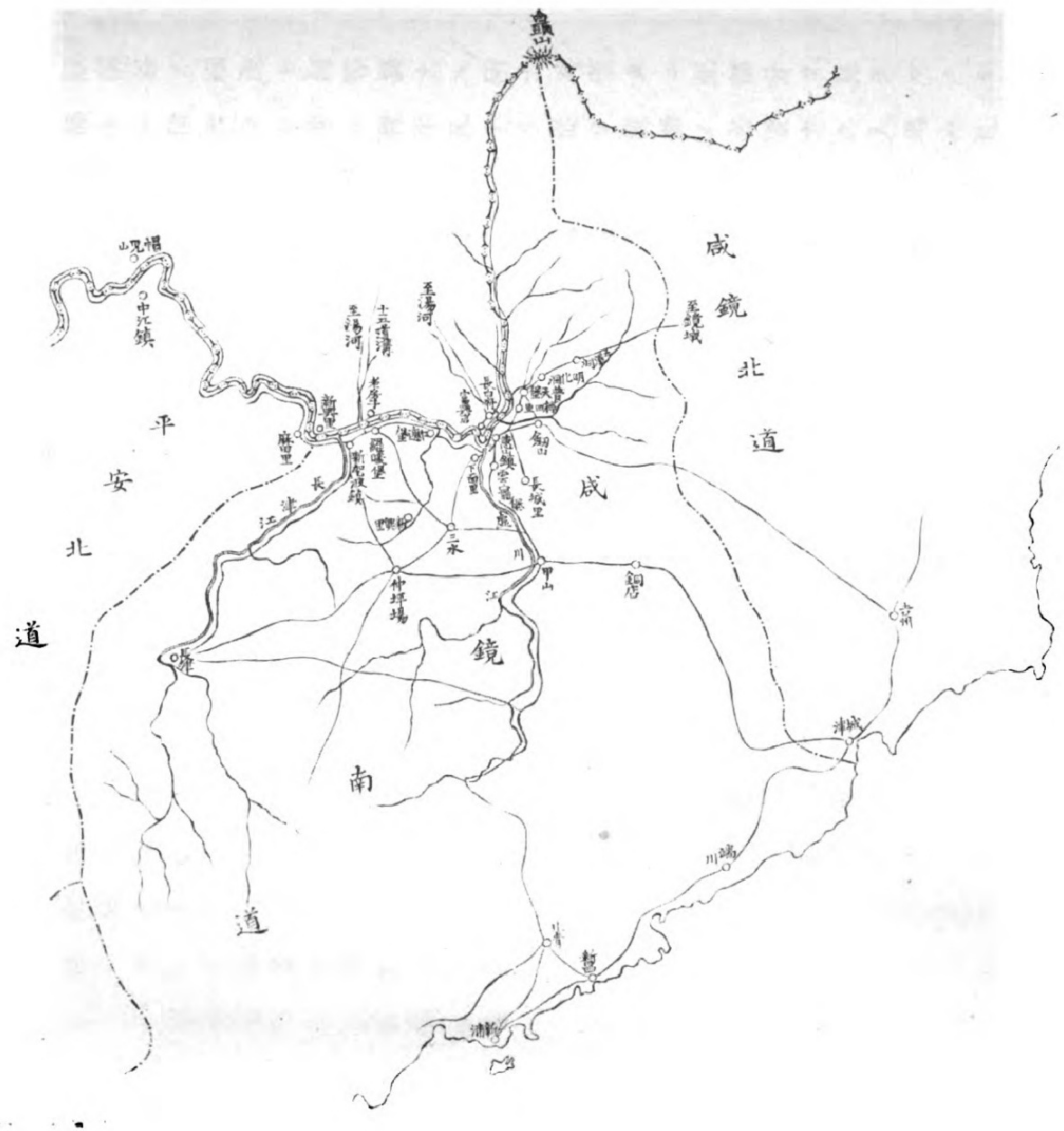
惠山鎭ヲ中心トシ上流普天堡ノ對岸二十二道溝附近ヨリ下流新乫坡鎭ノ對岸十三道溝近傍マテノ在住者ハ惠山鎭對岸ノ長白府ヲ除キテハ殆ント鮮人ノミニシテ支那人ハ二十分ノ一ニモ達セサル狀況ナリ而シテ彼等ノ部落ハ江岸ヨリ奥地約四五里ノ地域內ニ散在シ戶數人口ハ朝鮮沿江地方ヨリモ較ヤ少シト云フ今朝鮮側江岸所在面ノ戶數人口ヲ擧クレハ四十四年末ノ調査ニ係ルモノ左ノ如シ

面ノ名稱	戶數	人口
陽山面	一一九	六九三
新農面	二五八	一、三八三
羅暖面	一七七	一、〇三五
仁遮外面	一八四	一、〇一一
下東面	一七九	八九五
普惠面	一、一三一	五、八五五
計	二、〇四八	一〇、八七三

右ハ平安北道トノ境ヨリ上流咸鏡北道茂山郡界ニ及フ江岸一帶ノ在住者ナルカ故ニ對岸ノ戶數人口ハ清鮮人ヲ合シ約二千戶一萬人ト觀察セハ蓋シ大差ナカルヘシ

又羅暖堡(新乫坡鎭ノ上流五里三町)ノ對岸十五道溝ノ溪谷ヲ溯ルコト北方三十里或ハ普天堡對岸ノ二十二道溝(惠山鎭ヨリ約十里上流)ヲ辿リテ略同樣ノ距離ヲ北西ニ進メハ松花江流域ノ沃野「湯河」ニ出ツヘシ鮮人ハ之ヲ「ペーハイ」ト呼フ此地方ニ於ケル鮮人移住者ハ極メテ多數ニシテ其說ク處區區ナルモ大約二千戶內外アルモノノ如シ

三　兩岸ノ交通狀況


咸鏡北道
平安北道
咸鏡南道
長津江
中江鎮
甲山
端川
城津

一　普天堡ノ上流

普天堡ノ上流ハ一般溪谷ノ細流ト何等異ナル所ナク僅カニ此部分ヲ見タルノミニテハ鮮淸國境ヲナス鴨綠江ノ一部トハ信セラレサル程平凡ナリ從テ渡船ノ必要ナク人馬ハ凡テ徒涉ス

二　普天堡ト對岸トノ交通

此地點ハ鏡城吉州方面ヨリ五溪洞明化洞ヲ經二十二道溝ニ沿フテ湯河ニ出ツル通路ニ當ルモ兩岸共ニ人家極メテ稀薄ニシテ耕地亦多カラサレハ交通甚タ寂寞タリ然レトモ吉州ヨリ湯河方面ニ白人參買取リニ赴ク鮮人ハ皆此通路ニ由ルヲ見ル

三　普天堡ヨリ下流惠山鎭マテ

此間朝鮮側ノ沿江道路ハ多ク山壁若クハ溪谷ノ間ニアリテ營林廠(曩ノ木材廠時代ヨリ)所屬勞働者等通行ノタメ自然ニ一ノ小徑ヲ成シタルモノナリ隨ツテ道路ト稱スヘキ價値ナク水流屈曲シテ迂回ヲ要スル處又ハ嶮峻ナル地點ハ對岸支那領ニ渡リテ之ヲ避ケ再ヒ朝鮮側ノ通路ヲ辿ル有樣ニシテ牛馬ノ通行不可能ナリ普通旅行者ハ劒山ノ道路ニヨル

普天堡ノ下流約三里樺田里ヨリハ二十二、二十一、二十道溝ノ水流ヲ合シ著シク水量ヲ增加シ渡船場アリ

樺田里及對岸二十道溝及十九道溝近傍ハ營林廠竝採木公司關係者カ木材ノ切出シ流下ニ從事シツツアルヲ以テ鮮淸人勞働者ノ通行頻繁ナリ然レトモ營林廠關係者ハ主トシテ朝鮮側、採木公司側ハ主トシテ支那領地ノミヲ通行スルカ故ニ買物等ニ出入スルモノノ外兩地間ノ交通多カラサルモ普天堡附近ニ比スレハ戶數多ク通行者亦少カラス更ニ下流ニ進ンテ惠山鎭ニ近クニ至レハ對岸ニ長白府アリ兩岸ノ地勢稍緩ニシテ耕作スヘキ土地少カラス、戶數頗ル稠密ヲ加ヘ耕地ハ朝

一　普天堡ノ上流

普天堡ノ上流ハ一般溪谷ノ細流ト何等異ナル所ナク僅カニ此部分ヲ見タルノミニテハ鮮清國境ヲナス鴨綠江ノ一部トハ信セラレサル程平凡ナリ從テ渡船ノ必要ナク人馬ハ凡テ徒涉ス

二　普天堡ト對岸トノ交通

此地點ハ鏡城吉州方面ヨリ五溪洞明化洞ヲ經二十二道溝ニ沿フテ湯河ニ出ツル通路ニ當ルモ兩岸共ニ人家極メテ稀薄ニシテ耕地亦多カラサレハ交通甚タ寂寞タリ然レトモ吉州ヨリ湯河方面ニ白人蔘買取リニ赴ク鮮人ハ皆此通路ニ由ルヲ見ル

三　普天堡ヨリ下流惠山鎭マテ

此間朝鮮側ノ沿江道路ハ多ク山壁若クハ溪谷ノ間ニアリテ營林廠（舊ノ木材廠時代ヨリ）所屬勞働者等通行ノタメ自然ニ一ノ小徑ヲ成シタルモノナリ隨ツテ道路ト稱スヘキ價値ナク水流屈曲シテ迂回ヲ要フル處又ハ嶮峻ナル地點ハ對岸支那領ニ渡リテ之ヲ避ケ再ヒ朝鮮側ノ通路ヲ辿ル有樣ニシテ牛馬ノ通行不可能ナリ普通旅行者ハ劍山ノ道路ニヨル

普天堡ノ下流約三里樺田里ヨリハ二十二、二十一、二十道溝ノ水流ヲ合シ著シク水量ヲ增加シ渡船場アリ

樺田里及對岸二十道溝及十九道溝近傍ハ營林廠竝採木公司關係者カ木材ノ切出シ流下ニ從事シツツアルヲ以テ鮮清人勞働者ノ通行頻繁ナリ然レトモ營林廠關係者ハ主トシテ朝鮮側、採木公司側ハ主トシテ支那領地ノミヲ通行スルカ故ニ買物等ニ出入スルモノノ外兩地間ノ交通多カラサルモ普天堡附近ニ比スレハ戶數多ク通行者亦少カラス更ニ下流ニ進ンテ惠山鎭ニ近クニ至レハ對岸ニ長白府アリ兩岸ノ地勢稍緩ニシテ耕作スヘキ土地少カラス戶數頗ル稠密ヲ加ヘ耕地ハ朝

鮮側ヨリモ寧ロ對岸ニ多クシテ炊煙相見ルヲ得ヘク鷄犬ノ聲亦聞ユヘシ然レトモ豆滿江ヲ境トスル會寧、鍾城、穩城附近トハ大ニ其趣ヲ異ニシ局子街東盛湧龍井村若クハ琿春ヲ中央トスル東西間島ニ比スレハ奥地ノ開拓淺ク訓戒又ハ慶源ノ高地ヨリ展望シ得ヘキ彼ノ琿春平野ノ如キハ到底見ル能ハサル所ナリトス

惠山鎭ハ對岸長白府及此地方一帶ニ對シ貿易又ハ伐木業關係者ノ交通甚タ盛ンニシテ出入者ノ頻繁ナルコト此附近第一トス卽チ同地憲兵隊ノ四十四年ノ調査ニ依レハ左ノ如シ

區別	來	往	計（一箇月）
內地人	一五〇人	一五〇人	三〇〇人
鮮人	四、一〇〇	三、七〇〇	七、八〇〇
支那人	三、五〇〇	三、四〇〇	六、九〇〇
計	七、七五〇	七、二五〇	一五、〇〇〇
一日平均	二五八	二四二	五〇〇

四　惠山鎭ヨリ新乫坡鎭マテ

惠山鎭新乫坡鎭間ノ里程ハ憲兵隊ノ調査ニ依レハ

陸路

惠山鎭仁遮堡間	五里三十町
仁遮堡羅暖堡間	四里三十町
羅暖堡新乫坡鎭間	五里三町
計	十五里二十七町

ナルカ水路ハ十八里ヲ下ラサルヘシ比間兩岸共ニ利用シ得ヘキ土地ハ悉ク耕作セラレ大小部落ノ存在スルモノ少カラス而シテ朝鮮側ヨリハ旦ニ牛馬農具行厨ヲ携ヘ耕耘ニ往キ夕ニ歸ルモノ少カラス然レモ對岸ヨリ朝鮮側ニ農耕ニ來往スルモノナシ沿江ニ點在スル部落ハ兩岸共ニ大小

二十五六ヲ算シ廬川江對岸ノ藥水洞ハ温泉所在地ニシテ約二百ノ戸數ヲ有スル大部落ナリトス

五　渡船場

惠山鎭下流ノ渡船場ニシテ出入貨客ノ稍多キハ次ノ數箇所ナリ

（イ）對岸ニ藥水洞ヲ控ユル新興里

（ロ）仲坪場、甲山三水ヨリ對岸ヘノ通路ニ當ル仁遮堡

（ハ）仲坪場甲山三水及惠山鎭方面ヨリ下流十五道溝ヲ經テ湯河ヘノ通路ニ當ル羅暖堡

（ニ）仲坪場甲山三水及長津江流域地方ト平安北道ノ沿江地トノ交叉點タル新乫坡鎭

以上ノ四箇所ハ貨客ノ交通頻繁ナルモ其ノ他ノ小部落ト對岸トノ交通ハ頗ル寂寥ニシテ出入者一日平均二十人ニ達セサル所多シ

六　渡船ノ構造及積載量

惠山鎭ト長白府トノ間ニアルモノハ箱船形ニシテ一回ニ牛馬二頭ヲ限リトシ乘客ニ限レハ約十五人ヲ運ヒ得ヘシ其ノ他ノ渡船場ニアルモノハ悉ク丸木ヲ鑿拔キタルモノニシテ大ナルハ長サ三間以上幅二尺三四寸アリ一回ニ辛ウシテ牛馬各一頭ト渡江者二三人ヲ運ヒ得ルニ過キス其ノ小形ナルモノニアリテハ三四人乘ニシテ牛馬ハ游泳渡江セシム

四　對岸トノ貿易狀況

奧地湯河地方ト沿江一帶ノ地トハ經濟上沒交渉ナルヲ以テ論スルニ當ラス其ノ他ノ地方ニ於テ朝鮮側ト貿易上密接ノ關係ヲ有スル對岸在住ノ鮮清人ハ其ノ數僅カニ一萬人ニ過キス然レトモ彼等ノ需要品中重要ナルモノ即チ天笠布、金巾類、打綿、石油、煙草、砂糖、食鹽、鹹魚等ハ悉ク朝鮮側ヨリ供給ヲ仰

キ又對岸ヨリノ輸入品ハ生牛、薪、炭、蔬菜、其他二三食料品ヲ算スルノミナルヲ以テ出入ハ常ニ片貿易タルヲ免レス而シテ之カ缺陷ハ營林廠木材事業ニ使役スル對岸在住鮮人ニ支拂フ勞銀ヲ以テ辛ウシテ決濟セラレツツアリ（日清人合同經營ノ採木公司ハ鮮人勞働者ヲ使役セス）故ニ此附近ニ於ケル商況ハ營林廠及採木公司ノ事業ノ振興如何ニヨリテ左右セラレ近來何レモ事業縮少ノ結果兩岸ノ貿易ハ三四年以前ニ比スレハ著シク衰頽ノ傾向アリ

對岸支那領ヘノ輸出重要品

品名	單位	單價	數量	價額
內地及外國產				
小麥粉	袋	四・一〇円	二〇	八二円
豚	頭	四・〇〇	二四〇	九六〇
椎茸	貫	一二・〇〇	五	六〇
醬油	升	・五五	一、五〇〇	八二五
醬油エキス百二十匁入	箇	・一五	一、二〇〇	一八〇
砂糖及角糖	斤	・一八	二、四〇〇	四三二
酒	升	・八〇	九〇	七二
香竄葡萄酒	本	・六五	四八〇	三一二
麥酒	打	四・二〇	四〇	一六八
鍋	貫	五・〇〇	六	三〇
罐詰類				
竹ノ子一ポンド入	箇	・三七	三三〇	一二二
水蜜桃	同	・二四	六六〇	一五八
パインナップル二ポンド入	同	・四五	六六〇	二九七
鮑一ポンド入	同	・四五	二七〇	一二二

松茸	同	・三〇	二四〇	七二
鹽	同	・五〇	三四〇	一七〇
海老	同	・四五	三〇〇	一三五
梨	同	・三〇	二〇〇	六〇
醋酸	本	・四五	六〇〇	二七〇
打綿 二ツ合	一箇	二一・〇〇	三六〇	七、五六〇
白木綿	箇	一二四・〇〇	一一	一、三六八
天竺布	同	一六四・〇〇	五四	八、八五六
晒金巾	反	八・六〇	二四〇	二、〇六四
粗布	同	八・一〇	三六〇	二、四六六
綿毛布	枚	一・六〇	三〇〇	四八〇
淺黄木綿	反	五・二〇	一〇〇	五二〇
綛糸	斤	二・〇〇	三〇〇	六〇〇
紡績糸	玉	四・〇〇	二四〇	九六〇
肌衣類	打	七・〇〇	一〇〇	七〇〇
燐寸	函	六・〇〇	七二	四三二
石油	同	五・四〇	五〇〇	二、七〇〇
ランプ	箇	・七〇	六〇〇	四二〇
ランプホヤ	同	・一一	二、四〇〇	二六四
蠟燭	函	二・五〇	三〇〇	七五〇
洗濯石鹸	同	六・〇〇	五〇	三〇〇
化粧石鹸	箇	・一二	三、〇〇〇	三六〇
鐵類	擔	一二・〇〇	九〇	一、〇八〇
鐵鍋及釜				九〇〇
鐵釘	貫	一・二〇	六〇〇	七二〇

品名	單位	單價	數量	價額
硝子	函	一四・〇〇	一五	二一〇
洋傘	本	一・四〇	二〇〇	二八〇
陶器類				七二〇
賣藥				四三〇
紙卷煙草				
ヒーロー	箇	・四五	一、二〇〇	五四〇
ポッピー	圓	一・〇五	三、六〇〇	三、七八〇
染料	斤	二・一五	三六〇	七七四
其代諸品				一、八七〇
計				四六、六三一
朝鮮產				
大蔘	石	三・八〇	五〇〇	一、九〇〇
大豆	斛	四・五〇	二四〇	一、〇八〇
明太魚	駄	三六・〇〇	一〇八	三、八八八
鹽魚	貫	・六〇	六、〇〇〇	三、六〇〇
食鹽	石	二・五〇	三六〇	九〇〇
精米	斛	三〇・〇〇	二四	七二〇
牛皮	枚	五・〇〇	三〇〇	一、五〇〇
燒酎	石	二〇・〇〇	三〇	六〇〇
麻布	反	一・六〇	六〇〇	九六〇
若目				二一六
其他				九七〇
計				一六、三三四
內外國產合計				六二、九六五

對岸支那領ヨリノ輸入重要品

對岸產		單價	數量	價額
小豆	石	四・〇〇円	一二	四八円
大根	貫	・一五	六、〇〇〇	九〇〇
白菜	同	・一二	一二、〇〇〇	一、四四〇
キャベツ	同	・一二	六、〇〇〇	七二〇
葱	同	・一五	三、〇〇〇	四五〇
胡瓜	同	・一〇	二、〇〇〇	二〇〇
鷄	羽	・三〇	三、〇〇〇	九〇〇
鷄卵	十箇	・一五	六、〇〇〇	九〇〇
生牛	頭	四〇・〇〇	三六〇	一四、四〇〇
白薯	斤	一・〇〇	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
葉煙草				八二〇
木炭	貫	・〇七	二一、六〇〇	一、五一二
其他				一、七〇〇
計				三三、九九〇

備考

一、本表ハ明治四十四年中ノ概數ヲ掲ケタルモノトス

二、對岸ヨリハ支那本國其他外國產品ノ輸入ナシ

三、單價ハ此地方ニ於ケル一般取引價格ニ依ル

四、本表ハ惠山鎮新乫坡鎮仲坪場其他對岸ト交通頻繁ナル地ニ於ケル內地人商店及鮮人問屋ニ就キ並ニ江岸各憲兵隊ノ調査ヲ參照作成シタルモノトス

以上ノ計數ヲ一括スレハ

內地及外國產品ノ輸出額	四六、六三一円
朝鮮產品ノ輸出額	一六、三三四
計	六二、九六五

對岸地方產品ノ輸入額	三三、九九〇
輸出入合計	九六、九五五
輸出超過額	二三、九七五

ニシテ出入共ニ惠山鎭ヲ通シテ行ハルル取引最モ多ク全額ノ約六割ヲ占ム其他ハ仁遮堡、羅暖堡、新乫坡鎭等ヲ經由スルモノトス

取引ハ市日ニ於テ行ハレ而シテ現金取引最モ多ク平日ハ極メテ閑散ナリ

惠山鎭附近ノ對岸在住者ハ惠山鎭ニテ賣買ヲ行ヒ下流仁遮堡、羅暖堡、新乫坡鎭等ノ對岸ニ在ルモノハ甲山、三水、長津三郡ノ中央市場トシテ有名ナル仲坪場ニ仕入ニ赴クモノ尠カラス然レトモ仲坪場問屋ノ語ル所ニ依レハ對岸商人ヨリ纏リタル註文ヲ受クルコト殆ントナク多クハ一二頭ノ駄馬ニテ穀物ヲ持チ來リ之ヲ賣却シテ自己ノ所要品ヲ買入ルルカ若クハ物物交換ヲ行ヒソノ殘部ハ現金ニテ決濟ヲナスヲ常トスルカ如シ

五　輸出貨物ノ生産地

前表示ス所ハ對岸在住淸鮮人ノ主ナル需要貨物ニシテ今其生產地ヲ見ルニ晒金巾、紙卷煙草、絹織物綿繻子及少量ノ支那雜貨ヲ除ケハ全部內地產品ナリトス

長白府ニハ支那人雜貨商九軒アリテ其規模何レモ小ナリ而シテ是等商人ハ支那雜貨又ハ絹織物ハ京城、釜山若クハ元山ノ支那商人ヨリ小包郵便ニテ惠山鎭留置トシテ仕入ルルモノ全額ノ約八九割ヲ占メ又冬期結氷中ハ安東縣方面ヨリ橇ニテ輸送シ來ルモノ多少アリト云フ

六　輸入貨物ノ生産地

對岸ヨリノ輸入貨物ハ悉ク對岸產ニ限ラレ中淸南淸等ノ產ニシテ吉林奉天又ハ安東縣等ヲ通過シテ對岸ヨリ朝鮮側ニ輸入セラルルモノハ皆無ナリ

輸入品中白人參ハ對岸ヨリ約三十里ヲ隔ツル湯河及長白山近傍ノ產ニシテ惠山鎭ニ輸入スルモノト十五道溝ヨリ羅暖堡、三水ヲ經テ仲坪場ニ入リ取引セラルルモノト長白府ヨリ朝鮮側ニ入リ劒山大上里、砂器店、合水等ヲ經テ吉州地方ニ赴クモノトアリ仲坪場ニ於テ賣買セラレタルモノハ平安南北道ヨリ遠キハ慶尙北道大邱等ノ市場ニ現ハルルコトアリ又時トシテハ北靑街道ヲ通過シテ新昌新浦ヨリ元山ヲ經釜山方面ニ運ハルルモノアリ

而シテ本品ノ主要生產地タル湯河地方ハ一般ニ地味肥沃ニシテ農產物豐富ナレハ住民ノ生計裕ニシテ購買力大ナルモ各種需要品ハ奉天、吉林等ヲ迂回シ來ルカタメ頗ル不廉ナリ惠山鎭地方トノ經濟的關係ハ白人參ノ取引ヲ除キテハ殆ント數フルニ足ルモノナシ

七　朝鮮側ヨリ輸出スル貨物ト安東縣ヨリ溯行スル貨物トノ運賃關係

對岸在住者ハ從來總テ朝鮮側ヨリ各種貨物ノ供給ヲ受ケタルコト前述ノ如シ然ルニ近來長白府知府ハ之ヲ遺憾トシ安東縣ヨリ支那「ジヤンク」ヲ溯行セシメテ貨物ノ移入ヲ企テ既ニ二三囘實行ヲ見タリシカ運賃及日數ハ朝鮮側ヨリ輸入スルト非常ノ差異アリテ到底之ニ對抗スヘクモアラス今日ニ於テハ殆ント廢止ノ姿ナリ今ソノ運搬ニ要スル日數及運賃ノ關係ヲ示セハ左ノ如シ

	運搬ニ要スル日數	百斤ニ對スル運賃
安東縣長白府間	二十六日乃至三十日間	四・〇〇円

	運搬ニ對スル日數	百斤ニ對スル運賃（円）
新昌惠山鎭間	七日乃至八日間	二・七五
新浦惠山鎭間	七日乃至八日間	三・二五
城津惠山鎭間	七日乃至八日間	三・五〇

卽チ日數ニ於テモ運賃ニ於テモ朝鮮側ヨリスルハ極メテ有利ナルヲ知ルヘシ

惠山鎭、長白府間ハ約十二三町ニシテ各地ヨリノ運賃ハ略同額ナリトス

右ノ如クニシテ對岸地方ノ需要品ヲ安東縣ヨリ溯行セシメ以テ朝鮮側ヨリノ輸入ヲ防止スルハ現在全ク不可能ノ事實ナリ

八　對岸地方ノ發展ト貿易關係

木材業ノ消長竝ニ對岸移住者ノ增減ハ當地方ノ發展ニ至大ノ關係ヲ有シ木材業ハ目今過渡期ニ屬シ一頓挫ヲ來シツツアリト雖早晚之レカ恢復ト共ニ尠カラサル從業者ノ渡來ヲ見ルニ至ルヘシ又支那側ニ於テハ鋭意國境ニ移住ヲ奬勵シツツアリテ道路ノ修築等交通機關ノ發達見ルヘキモノアリ概シテ此地方ハ新開ノ地ニシテ奥地ニハ深林又ハ大波狀ノ丘陵起伏シ將來開墾セラルヘキ土地甚タ廣大ニシテ移住者ヲ容ルルノ餘地亦大ナリ而シテ現在貿易ノ狀況ハ前述ノ如ク朝鮮側トノ取引ノミニシテ今後亦此狀態ヲ持續スヘシ

尙將來朝鮮輸出品ノ販路ヲ擴張シ得ヘキ地方ハ湯河地方竝平安北道中江鎭ノ對岸帽兒山ノ近傍ニシテ目下帽兒山附近ノ需要貨物ハ總テ安東縣ヨリ支那戎克ヲ以テ移入シ朝鮮側ハ却テ其供給ヲ受クルモノ少カラス且ツ安東縣、帽兒山間ノ水路ハ水流緩ニシテ河幅廣ク戎克ハ凡テ帆走溯行スルヲ得ヘク冬期結氷中ハ江上一帶橇ノ交通頻繁ニシテ運賃モ比較的低廉ナリト云フ故ニ此ノ地方ニ朝鮮側輸出品ノ販路ヲ擴ムルハ決シテ容易ノ業ニアラスト雖新乫坡鎭ヨリ鴨江ノ流ヲ利用セハ貨物

ノ供給敢テ不可能ナラサルヘシ殊ニ同地新乫坡鎮間ハ水流靜穏ニシテ河幅廣ク十噸積位ノ船ハ容易ニ流下シ得ヘシト云フ

九　通貨竝ニ金融ノ狀況

國境地方ニ於テハ對岸支那領トノ貿易及勞働者旅客ノ出入等ノ關係ヨリ彼我通貨ノ混合流通ヲ見ルハ自然ノ趨勢ニシテ沿江地方ニ於テハ支那通貨主トシテ流通シ又タ對岸支那領ニ於テハ日貨流通セサルニアラサルモ其大部分ハ支那通貨ナリ

支那通貨ノ流通區域ハ北靑本道筋ハ厚峙嶺ヲ境トシ城津街道ハ銅店嶺ヲ限リ長津、茂山方面ハ仲坪場、甲山、惠山鎮、三水、新乫坡鎮、羅暖堡、仁遮堡ノ各地ニ及フ

日清通貨流通ノ割合ハ大凡左表ノ如クニシテ清貨ハ沿江地方ニ於テ最モ濃厚ニシテ南下スルニ從ヒ漸次稀薄トナリ此ノ流通區域ヲ離レテハ相場著シク廉ニシテ殆ント流通ヲ見ス今甲山、三水兩郡内日清貨ノ流通割合ヲ示セハ左ノ如シ

地名	日貨	清貨
惠山鎮	七分	三分
惠山鎮上流	五分	五分
惠山鎮下流	四分	六分
新乫坡鎮	六分	四分
三水	六分	四分
仲坪場	六分	四分
甲山	七分	三分
甲山厚峙嶺間ノ各地方	四分	六分

而シテ朝鮮側ニ清貨ノ流通ヲ見ルニ至リシ原因ハ種種ノ經濟事情ニ基クモノニシテ日露戰役以前ト雖モ沿江地方ニハ多少之カ流通ヲ見タリシカ戰役終了後木材廠（現今ノ營林廠ノ前身）及日清合同經營ノ採木公司カ共ニ鴨綠江上流ニ於テ木材業ニ從事スルコトトナリ俄カニ沿江地方ノ狀況ヲ一變シ移住者ノ增加彼我交通ノ頻繁勞銀ノ撒布等ハ貨物ノ出入竝地方在住者ノ購買力ヲ旺盛ナラシメ對岸支那領ノ需要貨物中同地方ニ產出セサル衣食料品ハ總テ朝鮮側ヨリ供給スルモ一方朝鮮側ノ支那領ヨリ輸入スル貨物ハ甚タ少額ナルヲ以テ兩者權衡ヲ失シ支那通貨ノ流入ハ到底避クヘカラサルニ至リ漸ク流通區域ヲ擴大スルニ至レリ

次ニ支那通貨ノ勢力ハ內地人在住者ノ多キ惠山鎭、甲山、新乫坡鎭ノ如キハ左程大ナラサレトモ沿江小部落又ハ附近山間ノ村落ニ至リテハ其ノ勢力甚タ大ニシテ日貨ハ全ク清貨ノ補助貨タルノ觀アリ總テ賣買受拂ハ清貨ヲ本位トシ日貨ノ使用ヲ喜ハサルノ風アリ只新昌、新浦若クハ湯河、城津、吉州等ヨリ來ル馱馬夫ハ之ニ反シテ日貨ヲ請求シ止ムヲ得スシテ清貨ヲ受取リタルトキハ途中ニテ日貨ト兩替スルカ或ハ穀類等ヲ購入シ歸ルヲ常トス

國境地方ニ流通スル支那貨ノ種類ハ甚タ少數ニシテ奉天、吉林、湖南、湖北各省ノ鑄造ニ係ルモノトス即チ銀貨ハ

庫平　一錢四分四厘　二角（一元ニ對シ七十七錢ノ相場ノ時ハ十五錢四厘ニ相當ス）

庫平　七分二厘　一角

ニシテ銅貨ハ十文二十文ノ二種アリ百文ヲ以テ一角ニ相當ス而シテ有穴錢又ハ局子街、琿春地方ニ於テ盛ンニ流通スル吉林官帖ハ此地方ニ於テハ皆無ナリ

清貨ノ計算法ハ十進法ニシテ其日貨ニ對スル相場ハ明治四十年四十一年頃迄ハ兩貨殆ト相等シク時トシテ清貨九角ヲ以テ日貨一圓ト交換スルコトアリシカ四十二年以降清貨ハ漸次低落シ四十三

年末ニハ一元四角ヲ以テ一圓替トナレリ次ニ甲山金融組合ニテ調査シタル連年相場表ヲ掲クヘシ

明治三十九年ヨリ四十一年マテ	日貨一圓ニ對シ	九角若クハ一元
同四十二年一月ヨリ十月マテ	同	一元一角
同四十二年十一月ヨリ四十三年二月マテ	同	一元二角
同四十三年三月ヨリ十月	同	一元二角二分八厘
同四十三年十一月	同	一元三角三分六厘
同四十三年十二月ヨリ四十四年三月マテ	同	一元四角
同四十四年四月ヨリ七月マテ	同	一元三角四分三厘
同四十四年八月	同	一元三角二分八厘
同　九月	同	一元三角
同　十月ヨリ十二月マテ	同	一元三角
同四十五年一月ヨリ六月マテ	同	一元三角

次ニ金融機關並ニ金利ニ就テ調査スルニ惠山鎭、仲坪場、甲山、三水、新乫坡鎭ニハ郵便局アリテ唯爲替ノ取扱ヲナスノミ甲山ニハ金融組合アリト雖一般ノ商業資金ニハ流通セサルカ故ニ此地方ニ於ケル金利ハ甚タ不廉ニシテ惠山鎭ニ於テハ百圓ニ對シ月四歩乃至五分ヲ普通トシ五六百圓ノ大口貸借ニ對シテモ尚ホ月二歩ヲ下ラス

十　重要市場ニ於ケル市日及ヒ其取引高並ニ市場發展ノ狀況

地名	開市日	回數	一箇年ノ取引概算額	一回ノ平均額
惠山鎭	四及九	月六回	一五〇,〇〇〇円	二,〇〇〇円
甲山	二及七	同	六〇,〇〇〇	八〇〇

地名	開市日	回數	一箇年ノ取引概算高	一回ノ平均額
仲坪場	五及十	月六回	三〇〇,〇〇〇円	四,〇〇〇円
新乶坡鎭		同	二〇,〇〇〇	二七〇
三水		同	二〇,〇〇〇	二七〇
計			五五〇,〇〇〇	七,三四〇

次ニ少シク是等各市場發展ノ狀況ヲ述フレハ左ノ如シ

一　惠山鎭

鴨綠江岸ニ於ケル重要市場ニシテ對岸交通ノ要路ニ當リ木材廠ノ事業開始以來清領長白府ト共ニ急速ノ發展ヲナシ數年前ヨリ開市シタルニ對岸在住者ノ出市多ク從來仲坪場ニ於テ取引シタル對岸在住者ノ一部分ハ當地ニ集マルニ至リタリ現在ノ戶口左ノ如シ

	戶數	人口		戶數	人口
內地人	八六	二〇七	鮮人	二五四	一,一七六
支那人	三	三五	計	三五二	一,四一八

二　仲坪場

咸鏡南北道中著名ナル大市場ニシテ位置ハ山間ノ一隅ナレトモ道路四通八達シ其ノ商權ノ及フ所附近一帶ハ更ナリ遠ク對岸支那領及平安南北道ニ及ヒ貨物ノ集散盛ナリ

近時惠山鎭外二三ノ新市場ノ開設ヲ見ルニ及ンテ多少當市場ノ繁榮ヲ削キツツアリト雖是等新市場ニ於ケル商人ハ何レモ小資本ニシテ直接釜山、元山等ヨリ仕入ルルノ資力ナク全部當市場ヨリ仕入ルルヲ以テ大口取引ハ近來却テ繁忙ヲ呈シツツアリ

當地ヨリ各地ニ至ル距離左ノ如シ

新浦　四十七里　　新昌　四十三里

城津	四十里	甲山	七十里
惠山鎭	十里	新乫坡鎭	十二里
三水	三里半		

尙ホ當地ニ於ケル戸口ハ左ノ如シ

	戸數	人口		戸數	人口
内地人	一七	二五	朝鮮人	二九四	一、三七二
支那人	四	四	計	三一五	一、四〇一

三 甲山

當地ノ北方十一里ノ江岸ニ惠山鎭アリ其ノ商權ハ對岸長白府ニ及ヒ西方ニハ咸南第一ノ市場タル仲坪場アリテ甲山三水長津ノ三郡ヨリ遠ク對岸支那領及平南平北兩道ノ一部ヲモ其取引範圍トシ東方ハ城津ノ商圏内ニシテ南方臘德嶺以北モ仲坪場商人ノ勢力範圍ナリ斯クノ如クシテ當市場ノ取引範圍ハ甚タ狹小ナリ然レトモ當地ハ廣袤約五百方里ヲ有スル甲山郡ノ郡廳所在地ニシテ其他守備隊憲兵隊本部等アリ郵便電信電話ノ設備完備シ又種苗場金融組合等ノ機關備レルヲ以テ將來施設經營其宜シキヲ得ハ其ノ商權ヲ咸南ノ一方ニ擴張スル敢テ難キニアラサルヘシ

尙ホ當地ノ戸數ハ左ノ如シ

内地人	十五戸	鮮人	百八十戸
支那人	五戸	計	二百戸

四 新乫坡鎭

惠山鎭ヨリ鴨綠江ノ流ヲ下ルコト約十八里ニシテ長津江ト合スル地點ノ右岸ニ位シ長津甲山三水仲坪場等ヨリ對岸又ハ平安北道沿江地方ヘノ要路ニ當リ長津江上流ノ深林ノ伐採流下ノタメ二年前ヨリ急速ニ發達シ本年六月末ノ調査ニ依レハ

	戸數	人口		戸數	人口
內地人	四一	一七八	朝鮮人	一〇五	五六六
支那人	一三	二六	計	一六九	八七〇

ニシテ內地人ハ筏夫其他木材業關係者等勞働者多シ

此地方ハ緯度惠山鎭ト同一ナルモ土地低キカタメ氣候溫暖ニシテ水田アリ米ハ近來內地人ノ移住ト共ニ需要增加シ市價甚タ不廉ナルヲ以テ地方人ノ注意ヲ喚起シ水田事業ヲ見ルニ至レリ米產額ハ未タ甚タ鮮少ニシテ四十四年ノ收穫僅カニ百七十餘石ニ過キス

五三　水

前年マテハ寂寞タル一村落ニ過キサリシカ本年當地憲兵隊其他ノ在住者ノ盡力ニ依リ市場ヲ開キタルニ附近多數ノ部落アリテ豫想外ノ好況ヲ示シ又本年七月ヨリハ守備隊駐箚スルニ至リ來住者漸次增加シテ稍發展ノ機運ニ向ヒタリ

十一　沿江各地竝ニ三水、甲山附近ノ交通狀況

一　城津街道

沿江各地竝三水甲山兩郡內ニ供給セラルル貨物ノ約八割ハ元山釜山ヨリ新浦新昌及咸興ヲ經由シ城津吉州ヲ經由スルモノハ僅カニ二割ヲ示スニ過キス城津惠山鎭間及城津仲坪場間ハ新浦新昌ヲ經由スルニ比スレハ幾分近距離ナリ即チ左ノ如シ

北青街道		城津街道	
新浦惠山鎭間	五十一里	城津惠山鎭間	四十四里
新昌惠山鎭間	四十七里	城津仲坪場間	四十一里

新浦仲坪場間　四十七里
新昌仲坪場間　四十四里

右ノ如ク城津經由ハ北青街道ニ由ルニ比スレハ三里乃至六七里近シト雖城津ヨリ六里半ヲ隔ツル三路ヨリ甲山マテ約二十里ノ間ハ道路險惡ニシテ河川溪流ニハ橋梁ノ設ナク馱馬ハ悉ク徒渉セサルヘカラス之ヲ以テ雪解若クハ雨期ニ於テハ俄ニ水量增加シ通行杜絶スルコト屢ナリ且ツ所所ニ嶮峻ナル山阪介在シ就中新福場石浦間ノ九十谷嶺ノ如キハ著シク急勾配ヲナシ且ツ道路面ニ岩石ノ突出セル所アリ其交通ノ困難ナル實ニ想像ノ外ニアリ斯ノ如キ狀態ナレハ馱馬賃甚タ不廉ニシテ貨客ノ交通頻繁ナラス地方發展上少カラサル影響ヲ與ヘツツアリ而シテ城津ハ甲山三水兩郡ニ對スル一方ノ貨物呑吐口ナレハ此地方ニ商勢力ヲ扶植シ置クヘキノ地位ニアルモ未タ漸ク銅店ヲ限リトシ其レヨリ以西以北ニ至リテハ勢力甚タ微微タルハ蓋シ城津ノ市場小ナルカタメ注文品ハ整ハサルコト多ク且ツ相場ハ元山釜山ヨリ仕入ルルニ比シ比較的高價ナル等種種ノ關係ニ因ルモノナリト雖道路ノ險惡ナル亦其一因タルヲ失ハス

二　北青街道

新浦新昌ヨリ北青ヲ經テ惠山鎭、仲坪場、甲山、三水、新乫坡鎭ニ通スル道路ハ城津街道ニ比スレハ少シク遠距離ナリト雖幅二間ノ平坦ナル道路ニ改修セラレ途中厚峙嶺、鷹德嶺等ノ如キ峻阪アルモ之ヲ城津街道ニ比スレハ貨客ノ交通ニ便ナルコト甚タ大ナリ又沿道ノ村落人家比較的濃密ニシテ旅宿馬宿ノ設備整ヒタリ又タ甲山三水地方ニハ燕麥ノ產出多ク其搗キタルモノハ食料トシ搗カサルモノハ馬糧トシテ羅南咸興ノ駐箚軍ニ供給スルモノ多ク四十四年ノ買上高五萬貫ニ達セリ是等貨物ノ輸送上北青街道ハ倍倍重要ナル交通機關タルニ至ルヘシ

○濟州島森林植物帶

第一　緒言

朝鮮半島ノ南端全羅南道莞島ノ西樽浦ノ岬ヨリ南殆ント一線二十里ノ海上ニ一島アリ名ヲ濟州島ト呼フ朝鮮半島ニ連ル最南ノ島嶼ニシテ本島ノ東方ニ位スル對馬ト共ニ内地ト朝鮮トノ連鎖ヲ爲シ其ノ植物地理學的研究ハ肝要ニシテ且趣味アル問題タリ而シテ從來本島ノ植物及森林帶ニ關シ研究セル者少シトセス左ニ其ノ主ナル記錄ヲ擧ケムニ

(一) 明治四十一年韓國中央農會報第二卷第八號乃至第十號ニ於テ柳川由藏氏ハ濟州島ノ森林帶ニ就キ論シ本島ノ森林帶ヲ山麓帶、中腹帶、山頂帶ノ三帶ニ區分シ各帶ニ生スル主要林木十數種ヲ記載セリ

(二) 明治四十二年三月東京植物學雜誌第二十三卷第二百六十三號ニ於テ理學士中井猛之進武田久吉兩氏ハ本島產植物六十三種(木本十四種)ニ就キ論シ其ノ九十二「プロセント」ハ日本内地ニ五十二「プロセント」ハ朝鮮及支那ニ產スルコト及二十七種ハ朝鮮ノ植物誌ニ新ナルモノナルコトヲ報告セリ

(三) 明治四十四年(自十月至十一月)朝鮮農會報第三卷第十號乃至第十一號ニ於テ植木秀幹氏ハ朝鮮ノ森林帶ヲ論シ本島(漢拏山)ノ垂直的森林帶ヲ暖帶、溫帶、寒帶ノ三帶ニ區分シ各帶ニ對スル垂直的領域ヲ表示セラレタリ

(四) 明治四十四年十二月帝國大學紀要第三十一冊朝鮮植物誌(Flora Koreana)ニ於テ本島ニ產スル植物トシテ羊齒植物五十餘種莎草科植物十餘種ヲ記載セリ

(五) 明治四十五年朝鮮總督府技手岩崎虎三氏本島ノ森林ヲ實査シ其ノ調査報文中森林帶ヲ暖帶、(自零尺至二千三百尺)溫帶(自二千三百尺至五千尺)寒帶(五千尺以上)ノ三帶ニ區分シ各帶ニ生スル樹

種八十餘種ヲ列記セリ

(六) 明治四十五年三月朝鮮總督府月報ニ於テ從來調査セル材料ニ依リ朝鮮ノ森林帶ヲ記述シ本島ノ森林帶ヲ寒帶、温帶(上部、中部、下部)暖帶(北部)ノ三帶ニ區分シ其ノ區分ヲ圖示セリ

今回ノ調査ニ依リ本島ノ森林帶ヲ四帶ニ區分シタル外本島ノ森林樹木目錄ニ新ニ三十餘種(内朝鮮植物誌ニ新ナルモノ七種)ヲ加ヘ並本島產森林植物百四十餘種ニ對スル垂直的分布ヲ明ニスルヲ得タリ

第二　地理略

本島ハ全羅南道木浦ノ南方日本海上北緯三十三度十二分ヨリ同三十三度三十四分東經百二十三度八分ヨリ同百二十二度五十七分ノ間ニ位置シ廣袤東西十七里南北八里周圍約五十里アリ南面ヨリ見タル島形ハ鈍圓錐形ニシテ傾斜ハ南北ニ急ニ東西ニ緩ナリ海岸線ハ單一ニシテ島内ハ殆ト港灣ト稱スヘキモノナク海岸ハ斷崖ニアラサレハ遠淺ニシテ近海暗礁ニ富ム海流ハ南方ニ暖流(對馬海流)北方ニ寒流(樺太海流)アリ沿岸ニハ牛島外九箇ノ島嶼ヲ有ス

本島ハ一箇ノ火山ニシテ最高峯二千米アリ山體稍二重式ノ構造ヲ成シ山頂ニ火口アリ周圍約十五町、内ニ水ヲ湛ユ舊火口壁ハ一見甚タ不明ナリト雖中央峯ノ基脚ニ於ケル廣大ナル平原ハ以テ火口原ト見ルヲ得ヘシ山體ハ全部新火山岩ナル玄武岩ヨリ成リ海岸ニ近キ斷崖ニ於テハ特種ノ柱狀岩ヲ露出シアリ本島ノ地體構造ニ就キテハ記錄ノ徵スヘキモノ殆ト無ク或ハ第四紀ノ構成ナリト云ヒ或ハ其ノ以前ノモノナリト云フ蓋シ火山活動ノ狀態ハ直接植物帶ノ形成上最大ノ關係ヲ有スルモノナリ而シテ本島ハ火口原中央峯附近ハ熔岩及火山灰ヨリ成リ海岸鹽質地ト共ニ植物ノ生育不良ナル、モ山腹及裾野ハ一尺内外ノ腐植質土、砂質壤土ヨリ成リ植物ノ成育盛ナリ本島ノ寶庫ト稱セ

ヲルル、シデ、ソロ林モ又此ノ地帯ニ位置ス

本島ノ氣候ハ朝鮮半島ノ南方木浦ノ觀測ニ最モ近シ左ニ同地ノ觀測及本島氣候ノ概要ヲ掲ケ參考ニ供ス

(一) 木浦觀測表（明治四十四年度）

月次	溫度（攝氏）最高（平均）	溫度（攝氏）最低（平均）	風速 米/秒	雨雪（日數）	雨雪量（粍）	蒸發量（粍）	平均氣壓（粍）	平均濕度（百分率）
一月	六・二	(一)〇・三	七・五	一〇・七	五一・七	五五・二	七六七・五	七三
二月	四・五	(一)二・〇	六・四	九・〇	一九・四	六五・四	七六七・一	六九
三月	九・〇	一・五	六・二	一一・三	四七・六	九八・五	七六五・九	七〇
四月	一五・四	六・九	六・九	一〇・三	九二・六	一〇八・三	七六二・二	七六
五月	二〇・三	一二・四	六・四	一一・三	八二・七	一三六・一	七五八・八	七九
六月	二四・〇	一七・一	五・二	一一・三	一三五・四	一二六・六	七五五・四	八四
七月	二七・八	二一・五	五・九	一三・二	二〇一・一	一四一・六	七五四・六	八八
八月	二九・六	二三・九	五・一	一〇・八	一五〇・四	一五四・四	七五四・八	八五
九月	二五・六	一八・六	五・五	一〇・七	一〇九・〇	一一七・四	七五九・六	七八
十月	二一・〇	一三・九	五・四	七・〇	四一・八	一一三・一	七六四・〇	七三
十一月	一三・七	五・六	七・三	一〇・七	三五・〇	七六・六	七六七・〇	七二
十二月	七・六	〇・三	七・四	一二・〇	三五・二	五九・三	七六八・二	七一
年平均	一三・一	九・六	六・六	一二・五	一〇〇二・一	一二五一・九	七六二・一	七六

附記　初霜十一月十日　終霜四月十日
　　　初雪十一月十七日　終雪三月十五日

(二) 濟州島氣候一覽

霜　初霜十一月中旬　終霜三月中旬

雪　初雪（平地十二月下旬、山頂十一月下旬）　終雪（平地三月上旬、山頂五月上旬）

風　強風期ハ十一月ヨリ翌年二月下旬ニ至ル間ニシテ其ノ他ハ一般ニ靜穩ナリト云フ

雨　雨量ハ木浦地方ヨリ多シ梅雨期ハ六月ニシテ乾燥期ハ十一月ヨリ翌年三月ニ至ル晴天ハ南部ハ冬季ニ北面ハ夏季ニ多シ夏季ハ山腹七百米以上ノ地帶ハ常ニ雲霧ヲ以テ覆ハル

附記　漢拏山ノ高ハ二千百四十米（柳田由藏氏）ト云ヒ或ハ二千百二十米（朝鮮林野分布圖）トアリ又大野仁夫氏ハ其ノ著濟州島ニ二千米（六五五八尺）トセリ今測高器（マウンテン、バロメートル）ニ依リ實測ノ結果第三者ハ最モ實數ニ近キモノト認メ本文ニハ之ヲ引用セリ

第三　森林植物帶

（一）　垂直的植物分布

本島ニ於ケル森林ノ垂直的分布ハ之ヲ左ノ四帶ニ區分スルヲ得ヘシ而シテ是等區分ヲ成ス作因ハ漢拏山ハ海拔二千米ノ高山ナルヲ以テ其ノ上下ニ於ケル溫度ノ差異、雨量、火山力、人力、潮風ノ五ナリ

（イ）カシ、シヒ帶（暖帶北部林）自零米至五百米
（ロ）シデ、コナラ帶（溫帶南部林）自五百米至千二百五十米
（ハ）シラベ帶（溫帶北部林）自千二百五十米至千七百五十米
（ニ）ピヤクシン、ツツジ帶（寒帶林）千七百五十米以上

（イ）　カシ、シヒ帶（暖帶北部林）

本帶ハシヒ、アカガシ、マテバシヒ、ウラジロガシ、イスノキ等常綠濶葉樹ヲ主木トスル森林ニシテ往古ハ本島海拔五百米以下一帶ノ山麓ヲ領有セルモノナリシモ人力ノ爲天然ノ林相ヲ破壞セラレ現今ハ其ノ大部ハ耕地、村落ニ化シ唯南麓ニ於テ處處溪谷ノ間ニ昔日ノ群落ヲ保存スルニ過キス

尙本帶ニ生スル林木ハエノキ、アキニレ、クヌギ、クス、ノブノキ等ニシテ下木ニハヤマモモ、ハリグワ、シロダモ、コゴメウツキ、ハイイバラ、イヌビハ、ヤブサンザシ、トベラ、トックリイチゴ、ウラジロイチゴ、ジヤケツイバラ、フユサンセウ、カラスサンセウ、カラタチ、センダン、チヤンチン、アカメガシワ、フシノキ、ヤマウルシ、ヤマハゼ、モチノキ、マサキ、ツルマサキ、ミツバウツギ、ナガミノイソノキ、ツバキ、サカキ、ヒサカキ、クスドイゲ、ツルグミ、カクレミノ、ウリノキ、ナツハゼ、シヤシヤンボ、ネズミモチ、ハマゴウ、サンゴジユ等アリ

竹本ニハマダケ、ヤダケ、アリ

上昇木本ニハサネカヅラ、アケビ、ムベ、アナツヅラフヂ、ツルマサキ、テイカカヅラ、スヒカヅラ、等アリ

下草ニハワラビ、カニクサ、コブナグサ、コチヂミササ、ハナタデ、タイトゴメ、カハラサイゴ、キンミヅヒキ、メドハギ、マキエハギ、ヤブカウジ、ウツボクサ、ヘグソカツラ等アリ

而シテ本帶ヨリ更ニ海岸帶ヲ區分スルヲ得ヘシ卽クロマツヲ主木トスル森林ニシテ其他木本ニハハマゴウ、サルトリイバラ、ツタ等草本ニハクサスキカツラ、クズ、ハマニンジン、ハマニガナ、ハマボツス等ノ鹽性植物ヲ生シ所謂海岸植物群落ヲ成セリ又本島ノ東部濟州郡舊左面松堂里ニ存在スルカヤ林(Torreya nucifrree S. Z.)モ本帶ニ位置シ樹高三間乃至五間直徑一尺乃至一尺八寸ノ老木密生シ三十餘町歩ニ亙ル一團ノ純林ヲ成セリ本林ノ成立ニ關シ天然林ナリト主張スルモ、ノアルモ本島中他ニ本樹種ヲ見サルト樹林ハ殆ト一齊林ノ相ヲ成セルトヨリ判スルニ人工ニ依リ成立セルモノト思ハル

(ロ)　シデ、コナラ帶　(溫帶南部林)

本帶ハソロ、イヌシデ、コナラ等落葉濶葉樹ヲ主木トスル森林ニシテ往古ハ海拔五百米以上千二百五十米ノ間ヲ領有セシモ人力ノ爲七百米以下ノ區域ハ牧場草原ト化シ現今ハ七百米以上ニ昔日ノ原林相ヲ保存セリ

尙本帶ニ生スル林木ニハアカマツ、サハシバ、カシワ、ヤマザクラ、イヌエンジユ、イタヤ、ハリギリ等アリ

下木ニハ上部(千二百米附近)ニハハウチハカヘデ、アキグミ、ヤマバウシ、ルリミノウシコロシ、エゴノキ、ハクウンボク、コガマ、ズミ、等アリ下部(八百米附近)ニハハイイバラ、トツクリイチゴ、ウラジロイチゴ、ネムノキ、マルバハギ、イヌサンセウ、アカメカシワ、ハマヒサカキ、サカキ、ツバキ、ウゴギ、カクレミノ、テフセンミツキ、イボタ、ムラサキシキブ、ヤブムラサキ、ニハトコ等アリ

上昇木本ニハサルトリイバラ、イハガラミ、ツルアヂサイ、ツルウメモドキ、サルナシ等アリ

下草ニハオニヤブソテツ、バイノモトサウ、イタチシダ、オシヤゴジテンタ、ミヤマノキシノブ、ヒロハノテンナンサウ、チゴユリ、ヤマウキキヤウ、アケボノシユスラン、ビロウドラン、クララ、オホヤマカタバミ、タウバナ、ウツボクサ、ママコナ、ヒキヨモギ、ナミナヘシ、チトコヘシ等アリ

本帶ノ森林ハ本島ニ於ケル森林ノ最美ナルモノニシテ樹高平均七間直徑一尺乃至一尺五寸、一町歩本數百七十本材積約二百九十尺締內外アリ彼ノ有名ナル藤田寬二郎外五名ノ椎茸培養地モ又此ノ地帶ノ下部ニ位置セリ

(ハ) シラベ帶（溫帶北部林）

本帶ハテフセンシラベヲ主木トスル森林ニシテ海拔千二百五十米ヨリ千五百米ノ間ヲ領有ス而シテ本帶ハ漢拏山ノ中腹以上ニ位スルヲ以テ殆ト人力ニ依ル林相ノ破壞ヲ受クル事ナク其ノ原林相ヲ保存セリ

尙本帶ニ生スル林木ニハイチキ、キハダ、シラカンバ、ナナカマド、ミヤマザクラ等ニシテ下木ニハオヤマレンゲ、サハアヂサキ、ウシコロシ、クロマメノキ、アクシバ、フロリダウツギ等アリ

竹本ニハネマガリタケアリ

下草ニハヌカボタデ、フクロユサウ、サンリンサウ、ミヤコグサ、チトギリサウ、ツルアリドホシ、オタカラサウ、アキノキリンサウ、ヒゴタイ、キツネアザミ(一種)、(Saussurea eliolepis Bung) 等アリ

本帶ノ主林木ヲ成ステフセンシラベハ滿洲、アムール地方ニ產スル樹種ニシテ日本內地ニハ之ヲ產セス本島ノ如ク本樹種ヨリ成ル純林ハ朝鮮ニ於テハ稀有ノモノタリ

(二)　ビヤクシン、ツツジ帶　(寒帶林)

本帶ハグンカイツツジ、キリシマツツジ(一種)クロフネツツジ、ビヤクシン等ヲ主木トスル灌木林ニシテ海拔千五百米以上ノ地ニ位シ火口原、中央峯ハ此ノ帶ニ屬ス

尙此ノ帶ニ生スル林木ニハテフセンシラベ、ネムロブシタマ、ワカンスヤナギ、オホシラカンバ、シネンセスメギ、マクセムスグリ、ガンカウラン、クロマメノキ等アリ

竹本ニハネマガリタケアリ

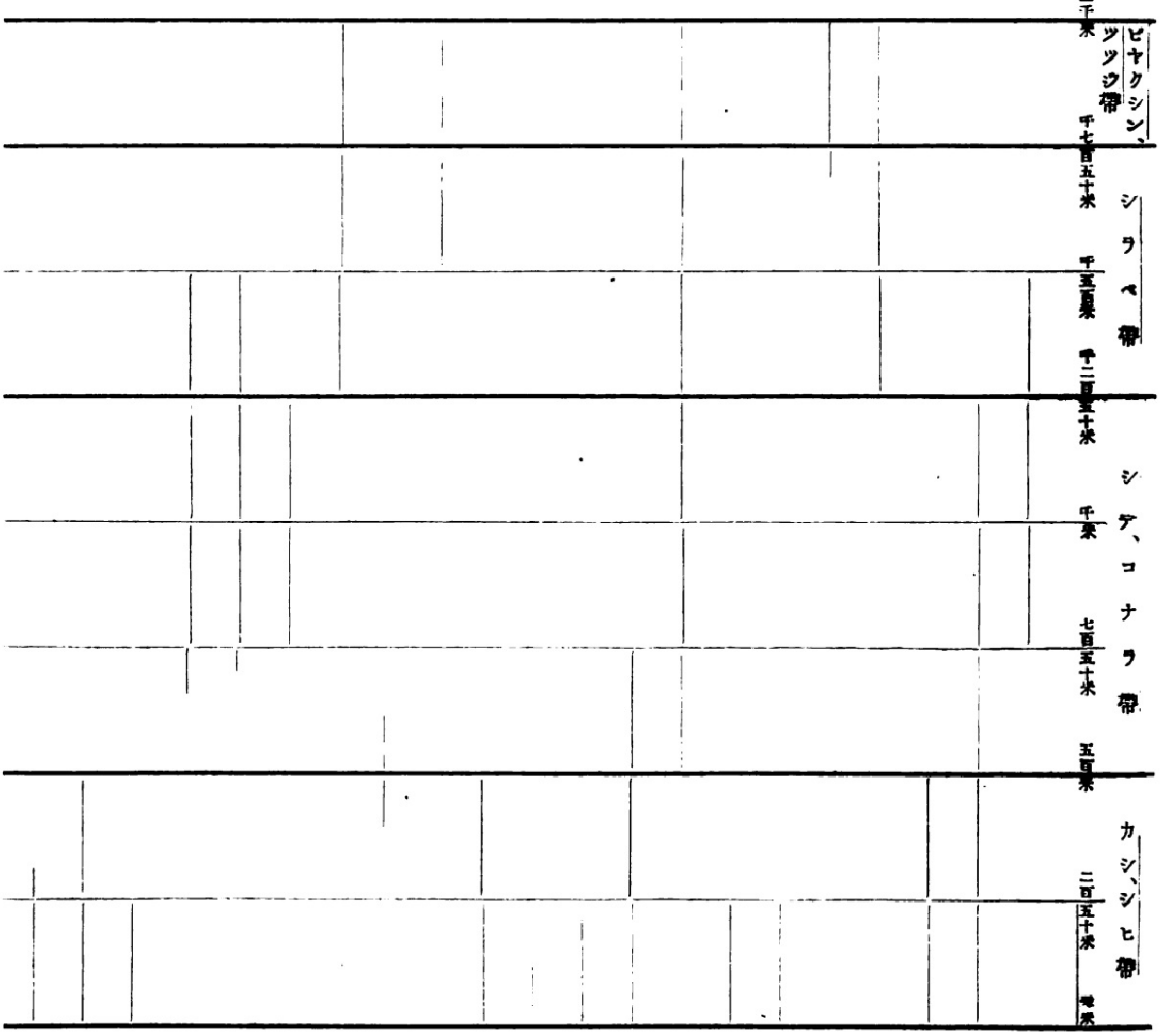
草本ニハヒカゲノカヅラ、ホソバトウゲンパ、イブキジヤカウサウ、ユキワリサウ、マツムシサウ、ユキワリシホガマ、カウゾリナ、ウメバチサウ、ハイキンバウゲ、ミスミサウ等アリ

附記　樹種中內地名ヲ有セサルモノハ學名ノ音又ハ意義ニ依リ假リニ命名セリ而シテ之等ハ左側ニ縱線ヲ加ヘ他ト區別セリ

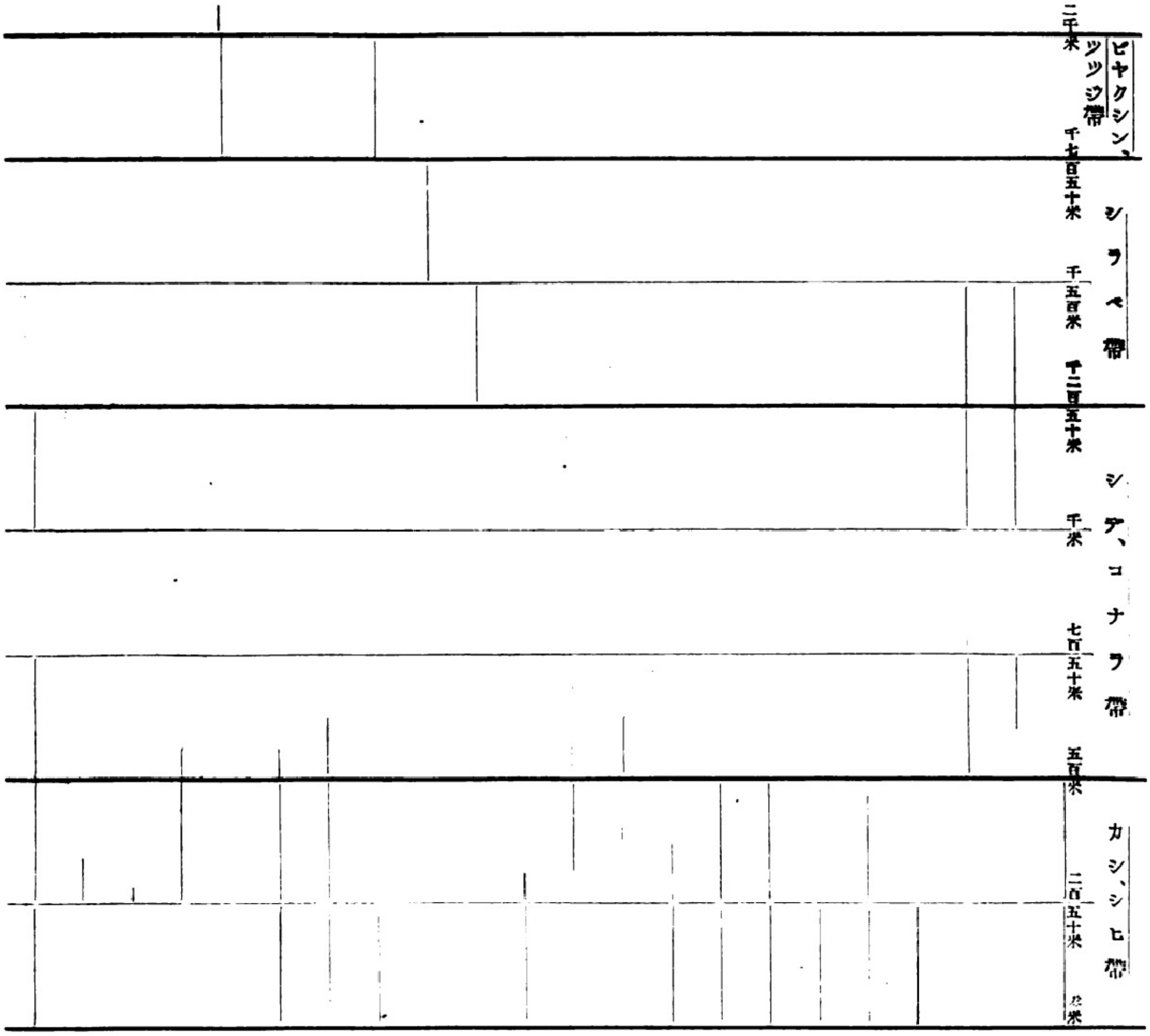
本帶ニ生スル各樹木ハ林木トシテ大ナル價値ヲ有セサルモ山頂ニ生スルテフセンシラベ及ビヤクシンハ形矮小、雅ニ富ム爲ニ盆栽トシテ採集セラレ內地ニ輸出セラルルモノ夥シセ栽屋ノ所謂カラモミ及シンパク(心栢)ト稱スルモノ卽此ノ種ナリ

以上ハ本島ニ於ケル垂直的分布ノ一般ヲ記述セルモノナリ而シテ各樹木ニ對スル垂直的分布ヲ明示センカ爲重複ヲ顧ス左ニ之ヲ表示セリ

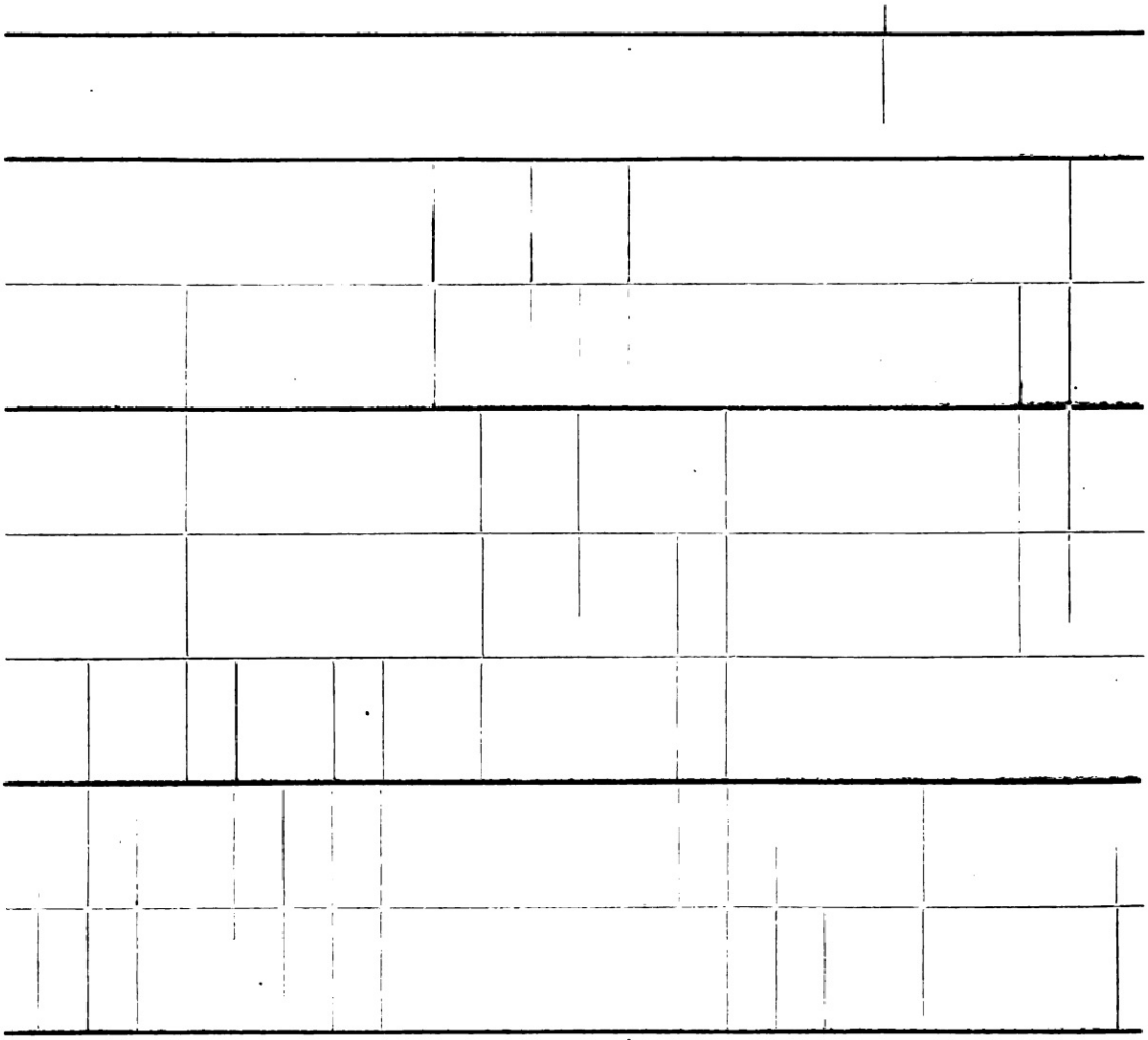
濟州島漢拏山林樹木垂直的分布表



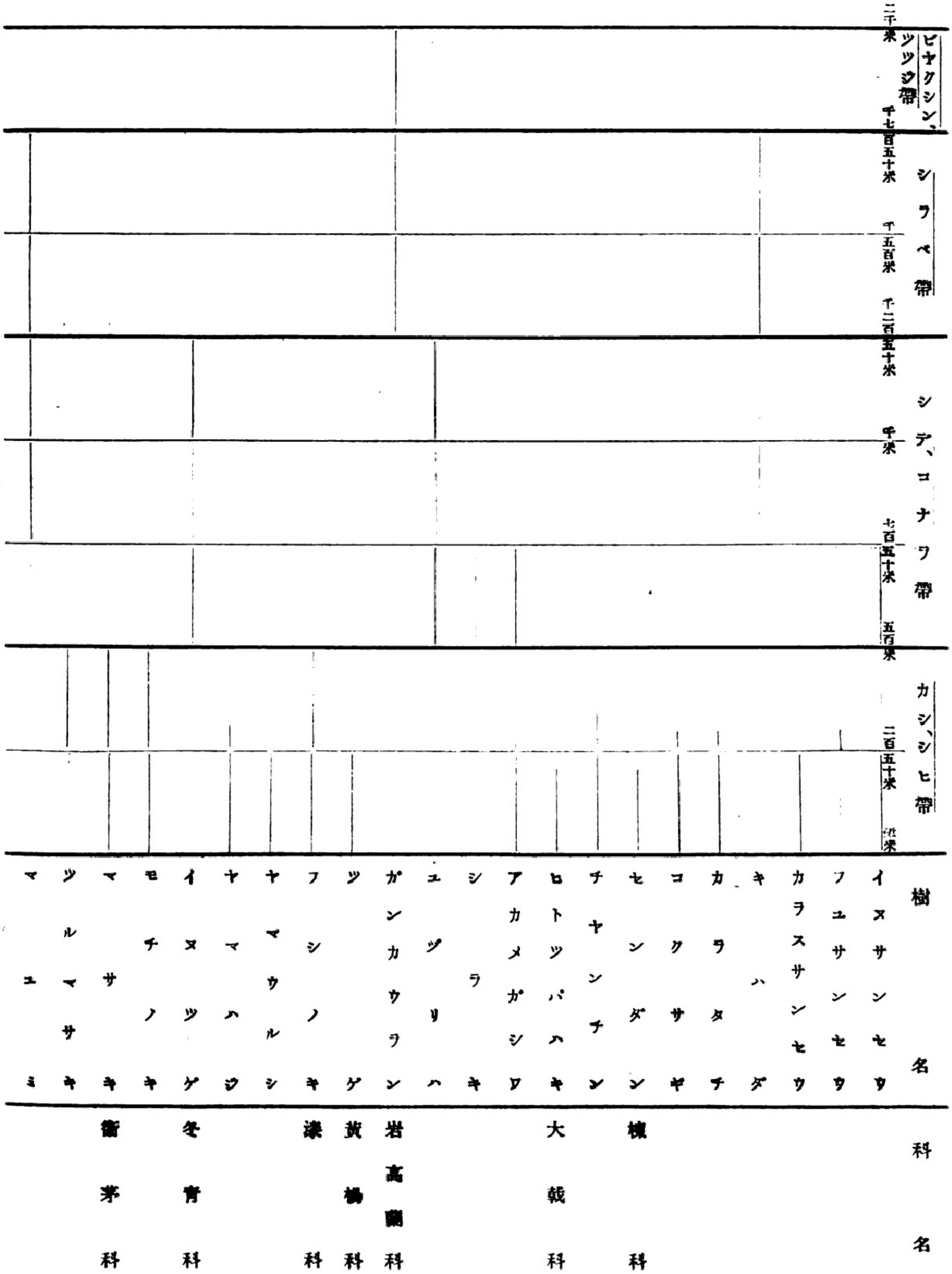
樹名	科名
カヤ	一位科
イチヰ	
アカマツ	松柏科
クロマツ	
テフセンシラベ	
ピヤクシン	
ヤダケ	禾本科
マダケ	
ネマガリダケ	
サルトリイバラ	百合科
ノブノキ	胡桃科
ヤマモモ	
カハヤナギ	楊柳科
ヲカンスヤナギ	
ハシバミ	樺木科
オホシラカンバ	
ソロ	
イヌシデ	
サハシバ	
クリ	殼斗科
シヒ	
マテバシヒ	



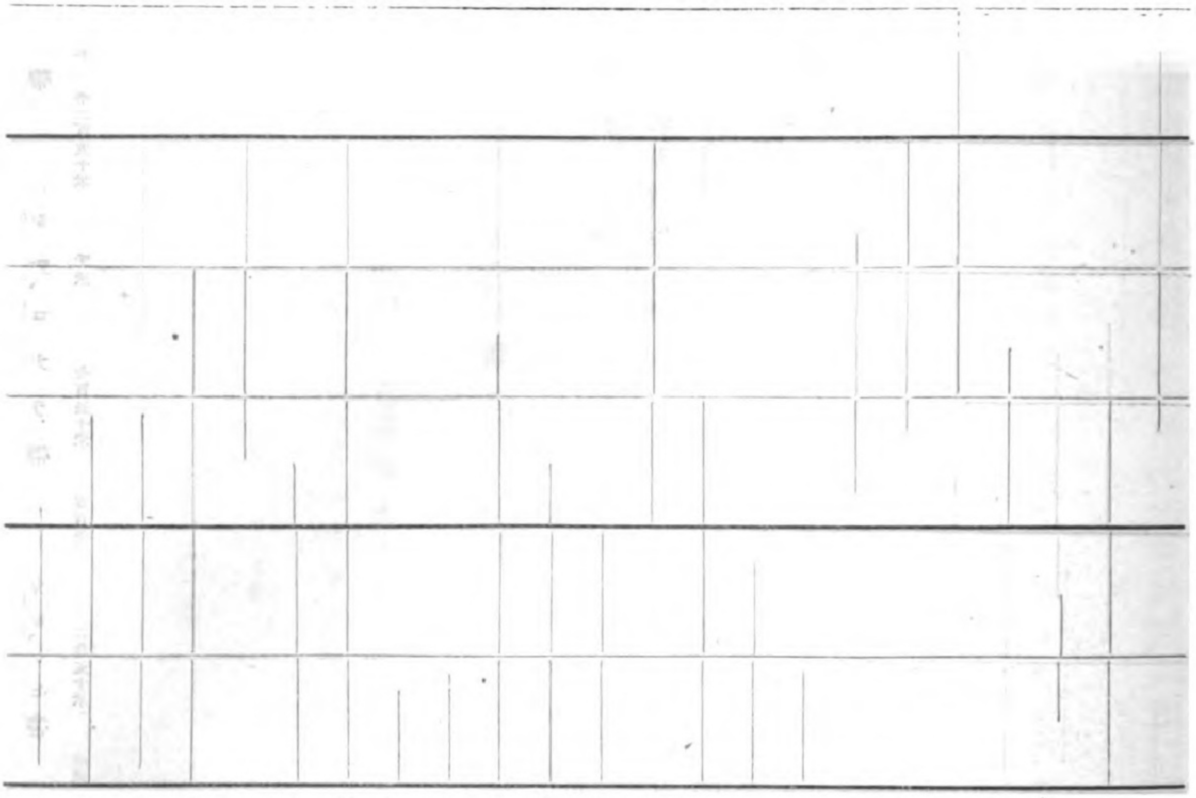
樹名	科名
タヌギ	
コナラ	
カシワ	
アカガシ	
ウラジロガシ	
アキニレ	楡科
エノキ	
ムクエノキ	
ケヤキ	
クワ	桑科
ハリグワ	
イヌビハ	
コブシ	木蘭科
オヤマレンゲ	
サネカツラ	
アケビ	木通科
ムベ	
シネンセスメギ	小檗科
アオツヅラフヂ	防已科
クス	樟科
シロダモ	
ダンコウバイ	



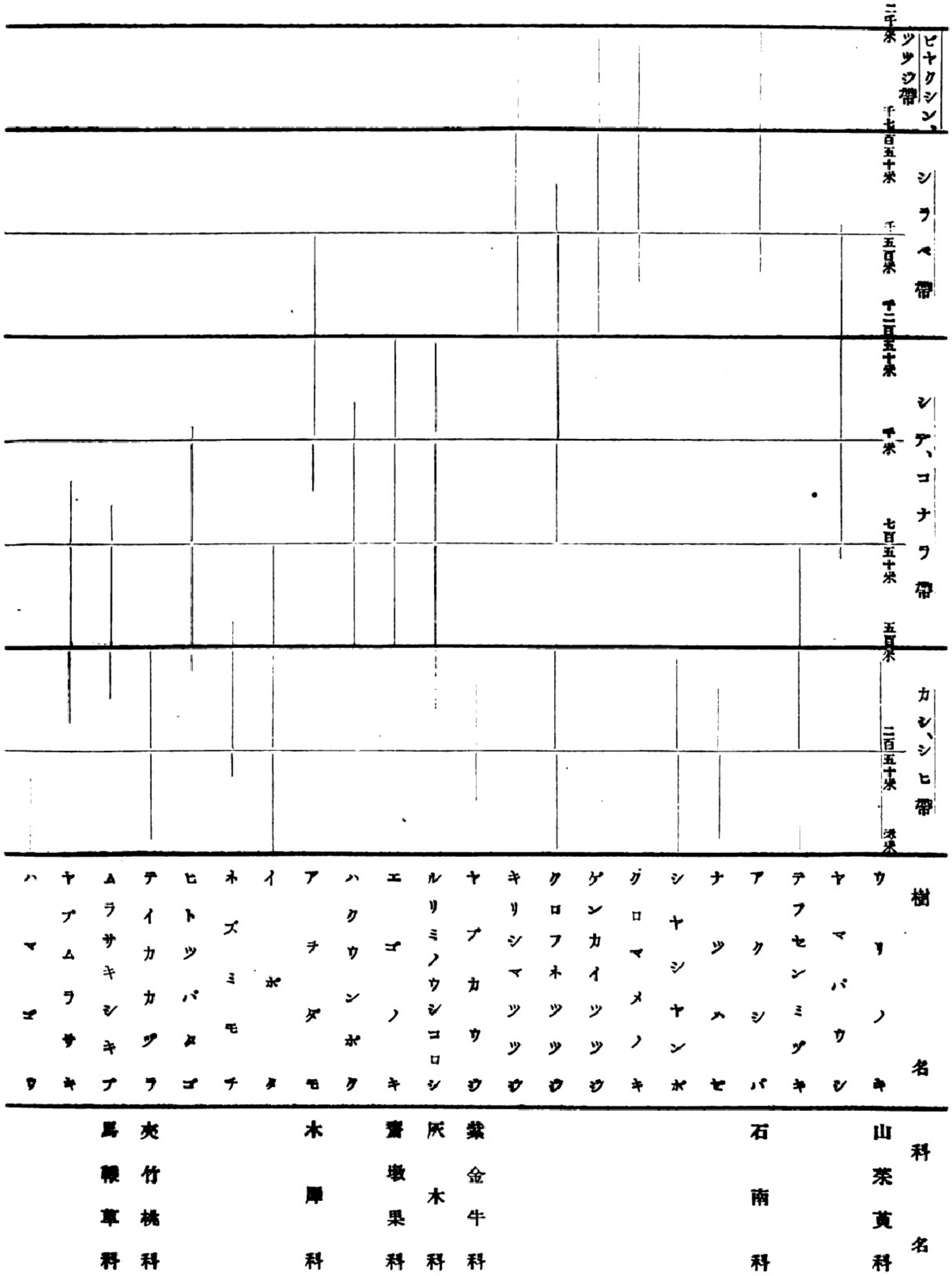
イヌグス
サハアヂサイ（虎耳草科）
イハガラミ
ツルアヂサヰ
ヤブサンザシ
マクセムスグリ
トベラ（海桐科）
イスノキ（金縷梅科）
コゴメウツギ（薔薇科）
アヅキナシ
ナナカマド
シヤリンバイ
ウシコロシ
ヤマザクラ
ミヤマザクラ
ハイイバラ
トックリイチゴ
ウラジロイチゴ
ネムノキ（荳科）
イヌエンジユ
ジヤケツイバラ
ナツハギ
サンセウ（芸香科）



ビヤクシン、ツツジ帶
シラベ帶
シデ、コナラ帶
カシ、シヒ帶
二千米
千七百五十米
千五百米
千二百五十米
千米
七百五十米
五百米
二百五十米
〇米
樹名
イヌサンセウ
フユサンセウ
カラスサンセウ
キハダ
カラタチ
コクサギ
センダン
チヤンチン
ヒトツバハギ
アカメガシワ
シラキ
ユヅリハ
ガンカウラン
ツゲ
フシノキ
ヤマウルシ
ヤマハゼ
イヌツゲ
モチノキ
マサキ
ツルマサキ
マユミ
科名
楝科
大戟科
岩高蘭科
黄楊科
漆科
冬青科
衛茅科



ニシキギ	
ツルウメモドキ	
ミツバウツギ	省沽油科
ヤマモミヂ	槭科
ハウチハカヘデ	
イタヤカヘデ	
アハブキ	泡吹科
ナツメ	鼠李科
ナガミノイソノキ	
ツタ	葡萄科
サルナシ	獼猴桃科
ツバキ	山茶科
サカキ	
ハマヒサカキ	
クスドイゲ	椅科
ミツマタ	瑞香科
アキグミ	胡頽子科
ツルグミ	
ハリギリ	五加科
ウコギ	
カクレミノ	
キヅタ	
タラノキ	


二千米
ビヤクシン、ツツジ帶
千七百五十米
シラベ帶
千五百米
千二百五十米
シデ、コナラ帶
千米
七百五十米
五百米
カシ、シヒ帶
二百五十米
零米
樹名
科名
ウリノキ
山茱萸科
ヤマバウシ
テフセンミヅキ
アクシバ
石南科
ナツハゼ
シヤシヤンボ
クロマメノキ
ゲンカイツツジ
クロフネツツジ
キリシマツツジ
ヤブカウジ
紫金牛科
ルリミノウシコロシ
灰木科
エゴノキ
齊墩果科
ハクウンボク
アチダモ
木犀科
イボタ
ネズミモチ
ヒトツバタゴ
テイカカヅラ
夾竹桃科
ムラサキシキブ
馬鞭草科
ヤブムラサキ
ハマゴウ

科名	樹名
忍冬科	ガマズミ
	コガマズミ
	サンゴジュ
	スヒカヅラ
	ネムロブシダマ
	フロリダウツキ

備考 ―線ハ分布區域ヲ示ス

（二）水平的植物分布

本島ニ於ケル森林植物水平的分布ハ之ヲ南北ノ二帶ニ區分スルヲ得ヘシ而シテ是等區分ヲ成ス作因ハ地勢、氣候、海流ノ三ナリ即漢拏山ハ海拔二千米アリ其ノ山脊延ヒテ東西ニ走リ主ナル山峯又此ノ線上ニ坐ス故ニ本島ハ天然ノ山壁ニヨリ南北ニ分タレ行政ノ區劃又之ニ依レリ即南部ハ旌義郡、大靜郡ニシテ北部ハ濟州郡ナリ加フルニ南方ニハ北流スル暖流アリ北方ニハ南流スル寒流アリ從テ氣候モ南部ハ北部ニ比シ緯度ノ割合ニ著ルシク溫暖ニシテ雨量モ亦此ノ地方ニ於テ著ルシク多シト云フ

左記ハ南部、北部ニ於ケル樹木分布ノ差異ヲ表示セルモノナリ

濟州島水平的森林植物分布表（×印ハ分布地ヲ示ス）

樹名＼產地	北部	南部	備考
カヤ	×		濟州島舊左面松堂里
ハシバミ	×		
シヒ		×	
マテバシヒ		×	

樹名／産地	北部	南部	備考
クヌギ	×		西麓ニ多シ
アカガシ		×	
ウラジロガシ		×	
イヌビハ		×	
ムベ		×	
クス		×	旌義郡江汀里ニ限リ産ス
イスノキ		×	
シラキ		×	
ミツバウツギ	×		
クスドイゲ		×	
ミツマタ		×	旌義郡江汀里
カクレミノ		×	
ウリノキ	×		濟州郡舊左面松堂里
サンゴジュ		×	

前表ニ依ルニ本島南北僅ニ八里ヲ距ル地點ニ於テ著ルシク植物ノ分布ヲ異ニスルヲ見ルヘシ而シテ此ノ事實ハ前述諸作因ト共ニ頗ル趣味アル問題ト云フヘシ

第四　濟州島森林帶ノ成立及系統

本島所産ノ森林樹木ハ四十九科百二屬百四十三種アリ而シテ是等各植物ニ就キ北半球ニ於ケル分布ヲ按スルニ左表ノ如シ

濟州島産森林樹木分布表（×印ハ分布地ヲ示ス）

科名	樹名	濟州島	朝鮮本土	日本內地	支那	印度	滿洲アムール西比利亞	北亞米利加	歐羅巴	備考
一位科	カヤ	×	×	×						
	イチヰ	×	×	×			×			
松柏科	アカマツ	×	×	×	×		×			
	クロマツ	×	×	×	×					
	ラフセンシラベ	×	×				×			
	ビャクシン	×	×	×	×					
禾本科	ヤダケ	×	×	×						
	マダケ	×	×	×						
	ネマガリダケ	×	×	×						
百合科	サルトリイバラ	×	×	×	×					
胡桃科	ノブノキ	×	×	×	×					
楊梅科	ヤマモモ	×		×						
楊柳科	カハヤナギ	×	×	×	×		×			
	アガンスヤナギ	×	×				×			
樺木科	ハシバミ	×	×	×			×			
	オホシラカンバ	×	×				×			
	ソロ	×	×	×	×		×			
	イヌシデ	×		×						
	サハシバ	×	×	×						
殼斗科	クリ	×	×	×	×					
	シヒ	×	×	×						
	マテバシヒ	×		×						
	クヌギ	×	×	×	×					

科名	樹名	濟州島	朝鮮本土	日本內地	支那	印度	滿洲アムール西比利亞	北亞米利加	歐羅巴	備考
	コナラ	×	×		×					
	カシワ	×	×							
	アカガシ	×	×	×						
	ウラジロガシ	×		×						
楡科	アキニレ	×	×	×	×					
	エノキ	×	×	×	×					
	ムクエノキ	×	×	×	×					
	ケヤキ	×	×	×	×					
桑科	クワ	×	×	×	×					
	ハリグワ	×	×		×					
	イヌビハ	×		×	×					
木蘭科	コブシ	×		×						
	オヤマレンゲ	×	×	×						
	サネカヅラ	×		×						
木通科	アケビ	×	×	×	×					
	ムベ	×	×	×						
小檗科	シネンセスメギ	×	×						×	阿弗利加ニモ產ス
防己科	アヲツヅラフヂ	×	×	×						
樟科	クス	×		×						
	シロダモ	×	×	×						
	ダンコウバク	×	×	×						
	カナクギノキ	×	×	×						
虎耳草科	サハアヂサヰ	×	×	×	×					

科	植物名						
	イヘガラミ	×		×			
	ツルアヂサヰ	×		×			
	ヤブサンザシ	×	×	×	×		
	マクセンスグリ	×	×				
海桐科	トベラ	×	×	×	×		
金縷梅科	イスノキ	×		×			
薔薇科	コゴメウツギ	×	×	×			
	アヅキナシ	×	×	×			
	ナナカマド	×	×	×		×	×
	シヤリンバイ	×		×			
	ウシコロシ	×	×	×	×		
	ヤマザクラ	×	×	×	×	×	
	ミヤマザクラ	×	×	×	×		
	ヘイイバラ	×	×	×	×		
	ウラジロイチゴ	×	×	×	×		
	トックリイチゴ	×	×	×	×		
豆科	ネムノキ	×	×	×	×		
	イヌエンジュ	×	×	×			
	ジヤケツイバラ	×		×			
	ナツハギ	×	×	×			
芸香科	サンセウ	×	×	×			
	イヌザンセウ	×	×	×			
	フユザンセウ	×	×	×			
	キハダ	×	×	×	×	×	
	カラタチ	×	×	×			

科名	樹名	濟州島	朝鮮本土	日本內地	支那	印度	滿洲 アムール 西比利亞	北亞米利加	歐羅巴	備考
	カラスサンセウ	×		×						
	コクサギ	×		×						
楝科	センダン	×		×						
	チャンチン	×	×	×	×					
大戟科	ヒトツバハギ	×	×	×	×					
	アカメガシワ	×	×	×	×					
	シラキ	×	×	×						
	エヅリハ	×		×						
岩高蘭科	ガンカウラン	×	×	×	×		×		×	
黄楊科	ツゲ	×	×	×	×					
漆科	フシノキ	×	×	×						
	ヤマウルシ	×	×	×						
	ヤマハゼ	×	×	×						
冬青科	イヌツゲ	×	×	×						
	モチノキ	×	×	×	×		×			
衛矛科	マサキ	×	×	×	×		×			
	ツルマサキ	×		×						
	マユミ	×	×	×						
	ニシキギ	×	×	×	×		×			
	ツルウメモドキ	×	×	×	×		×			
省沽油科	ミツバウツギ	×	×	×						
槭科	ヤマモミヂ	×		×						
	ハウチカヘデ	×	×	×						

	イタヤカヘデ	×	×	×	×				
泡吹科	アハブキ	×	×	×					
鼠李科	ナツメ	×	×	×	×				×
	ナガミノイソノキ	×		×					
葡萄科	ツタ	×	×	×					
獼猴桃科	サルナシ	×	×	×					
山茶科	ツバキ	×	×	×					
	サカキ	×		×					
	ハマヒサカキ	×	×	×	×	×			
椅科	クスドイゲ	×		×					
瑞香科	ミツマタ	×	×	×	×				
胡頹子科	アキグミ	×	×	×	×	×			
	ツルグミ	×		×					
五加科	ハリギリ	×	×	×	×				
	ウコギ	×		×					
	カクレミノ	×		×					
	キヅタ	×	×	×	×				
	タラノキ	×	×	×	×				
山茱萸科	ウリノキ	×	×	×	×				
	ヤマバウシ	×	×	×					
	テフセンミツキ	×	×						
石南科	アクシバ	×	×	×					
	ナツハゼ	×	×	×					
	シャシャンボ	×	×	×	×				
	クロマメノキ	×	×	×	×		×	×	×

科名	樹名	濟州島	朝鮮本土	日本內地	支那	印度	滿洲アムール西比利亞	北亞米利加	歐羅巴	備考
	ゲンカイツツジ	×	×		×					
	キリシマツツジ(一種)	×	×		×					
紫金牛科	ヤブカウジ	×	×	×	×					
灰木科	ルリミノウシコロシ	×	×	×	×					
齊墩果科	エゴノキ	×	×	×						
	ハクウンボク	×	×	×	×					
木犀科	アヲダモ	×	×	×						
	イボタ	×	×	×	×					
	ネズミモチ	×		×						
	ヒトツバタゴ	×	×	(對馬)×						
夾竹桃科	テイカカヅラ	×	×	×						
馬鞭草科	ムラサキシキブ	×	×	×	×					
	ヤブムラサキ	×	×	×	×					
	ハマゴウ	×	×	×	×					
	クサギ	×	×	×	×					
忍冬科	ガマズミ	×	×	×	×					
	コガマズミ	×	×	×	×					
	サンゴジユ	×		×						
	カーレルシイガマズミ	×	×							
	ニハトコ	×	×	×	×		×		×	
	スヒカヅラ	×	×	×	×					
	ネムロブシダマ	×	×	×	×		×			
	フロリダウツギ	×	×		×		×			
計		一四四	一二五	一二九	六五	三	二〇	一	六	

前表ノ結果ニ依ルニ本島產森林樹木ノ九十プロセントハ日本內地ニ八十プロセントハ朝鮮ニ四十五プロセントハ支那、印度ニ十四プロセントハ滿洲、アムールニ產スル種ナリ而シテ其ノ成立分子ハ日本內地系ニ屬スルモノ六十五分亞細亞大陸系ニ屬スルモノ三十五分ヨリ成レリ卽本島ハ其ノ森林成立要素ヨリ論スル時ハ火山島トシテ又陸島トシテ亞細亞大陸ヨリ寧ロ日本內地ニ屬セシムルヲ適當ナリト云フヘシ

更ニ本島森林ノ各帶ニ就キ按スルニ寒帶及溫帶北部ノ主木ハクロフネツツジ、ゲンカイツツジ、キリシマツツジ(一種)、フロリダウツギ、シネンセスメギ、テフセンシラベ、ワカンスヤナギ等孰モ亞細亞大陸系ノ植物ニシテ日本內地ニ產セサル種屬ナルニ溫帶下部林、暖帶林ニ於テハクス、イヌシデ、マデバシヒ、イハガラミ、ツルアヂサヰ、ヤマモミヂ、ナガミノイソノキ、クスドイゲ、ツルグミ、カクレミノ等孰モ朝鮮半島ニ產セサル種屬ニ富メリ卽本島漢拏山ノ森林ハ上半ハ亞細亞大陸系下半ハ日本內地系ヨリ構成セラレタルモノト云フヘシ

第五　濟州島森林樹木科屬一覽表

科名	屬數	種數	變種數	常綠針葉樹 喬木	常綠針葉樹 灌木	常綠闊葉樹 喬木	常綠闊葉樹 灌木	常綠闊葉樹 蔓木	落葉闊葉樹 喬木	落葉闊葉樹 灌木	落葉闊葉樹 蔓木	禾本	計
一位科	二	二		二									二
松柏科	三	四		三	一								四
禾本科	三	三										三	三
百合科	一	一									一		一
胡桃科	一	一							一				一
楊梅科	一	一				一							一
楊柳科	一	二							一	一			二

下草ニハヌカボタデ、フクジユサウ、サンリンサウ、ミヤコグサ、チト…
ラサウ、アキノキリンサウ、ヒゴタイ、キツネアザミ(一種)、(Saussurea eriolepis Bung) 等…

本帶ノ主林木ヲ成ステフセンシラベハ滿洲、アムール地方ニ產スル樹種ニシテ…
セス本島ノ如ク本樹種ヨリ成ル純林ハ朝鮮ニ於テハ稀有ノモノタリ

(二)　ビヤクシン、ツツジ帶　(寒帶林)

本帶ハグンカイツツジ、キリシマツツジ(一種)クロフネツツジ、ビヤクシン等ヲ主木トス…
テ海拔千五百米以上ノ地ニ位シ火口原、中央峯ハ此ノ帶ニ屬ス

尙此ノ帶ニ生スル林木ニハテフセンシラベ、ネムロブシタマ、ワカンスヤナギ、オホシラカンバ、ミ…
ンセスメギ、マクセムスグリ、ガンカウラン、クロマメノキ等アリ

竹本ニハネマガリタケアリ

草本ニハヒカゲノカツラ、ホソバトウゲンバ、イブキジヤカウサウ、ユキワリサウ、マツムシサウ、ニキ…
ワリシホガマ、カウゾリナ、ウメバチサウ、ハイキンベウゲ、ミス…リ

附記　樹種中內地名ヲ有セサルモノハ學名ノ音又ハ意義…ヨリ而シテ之等ハ
左側ニ縱線ヲ加ヘ他ト區別セリ

本帶ニ生スル各樹木ハ林木トシテ大ナル價値ヲ有セサルモ山頂ニ生スル…
シンハ形矮小、雅ニ富ム爲ニ盆栽トシテ採集セラレ內地ニ輸出セラルルモノ夥シ…
モミ及シンバク(心栢)ト稱スルモノ卽此ノ種ナリ

以上ハ本島ニ於ケル垂直的分布ノ一般ヲ記述セルモノナ…
示センカ爲重複ヲ顧ス左ニ之ヲ表示セリ

濟州島漢拏山林樹木垂直的分布表

帯	高度
ビヤクシン、ツツジ帯	二千米
シラベ帯	千七百五十米・千五百米
シデ、コナラ帯	千二百五十米・千米・七百五十米
カシ、シヒ帯	五百米

名	科名
…ヤ	一位科
…	栢科
ネ…	
サルト…	
ノア…	
ヤマモ…	
カハヤナギ	
ワカンスヤナギ	
ハシバミ	樺木科
オホシラカンバ	
ソロ	
イヌシデ	
サハシバ	
クリ	殻斗科
シヒ	
マテバシヒ	

下草ニハヌカボタデ、フクロウユサウ、サンリンサウ、ミヤコグサ、チトギリサウ、ツルアリドホシ、オタカラサウ、アキノキリンサウ、ヒゴタイ、キツネアザミ(一種)、(Saussurea eliolepis Bung)等アリ

本帶ノ主林木ヲ成ステフセンシラベハ滿洲、アムール地方ニ產スル樹種ニシテ日本內地ニハ之ヲ產セス本島ノ如ク本樹種ヨリ成ル純林ハ朝鮮ニ於テハ稀有ノモノタリ

(二)　ビヤクシン、ツツジ帶　(寒帶林)

本帶ハゲンカイツツジ、キリシマツツジ(一種)クロフネツツジ、ビヤクシン等ヲ主木トスル灌木林ニシテ海拔千五百米以上ノ地ニ位シ火口原、中央峯ハ此ノ帶ニ屬ス

尙此ノ帶ニ生スル林木ニハテフセンシラベ、ネムロブシタマ、ワカンスヤナギ、オホシラカンバ、シネンセスメギ、マクセムスグリ、ガンカウラン、クロマメノキ等アリ

竹本ニハネマガリタケアリ

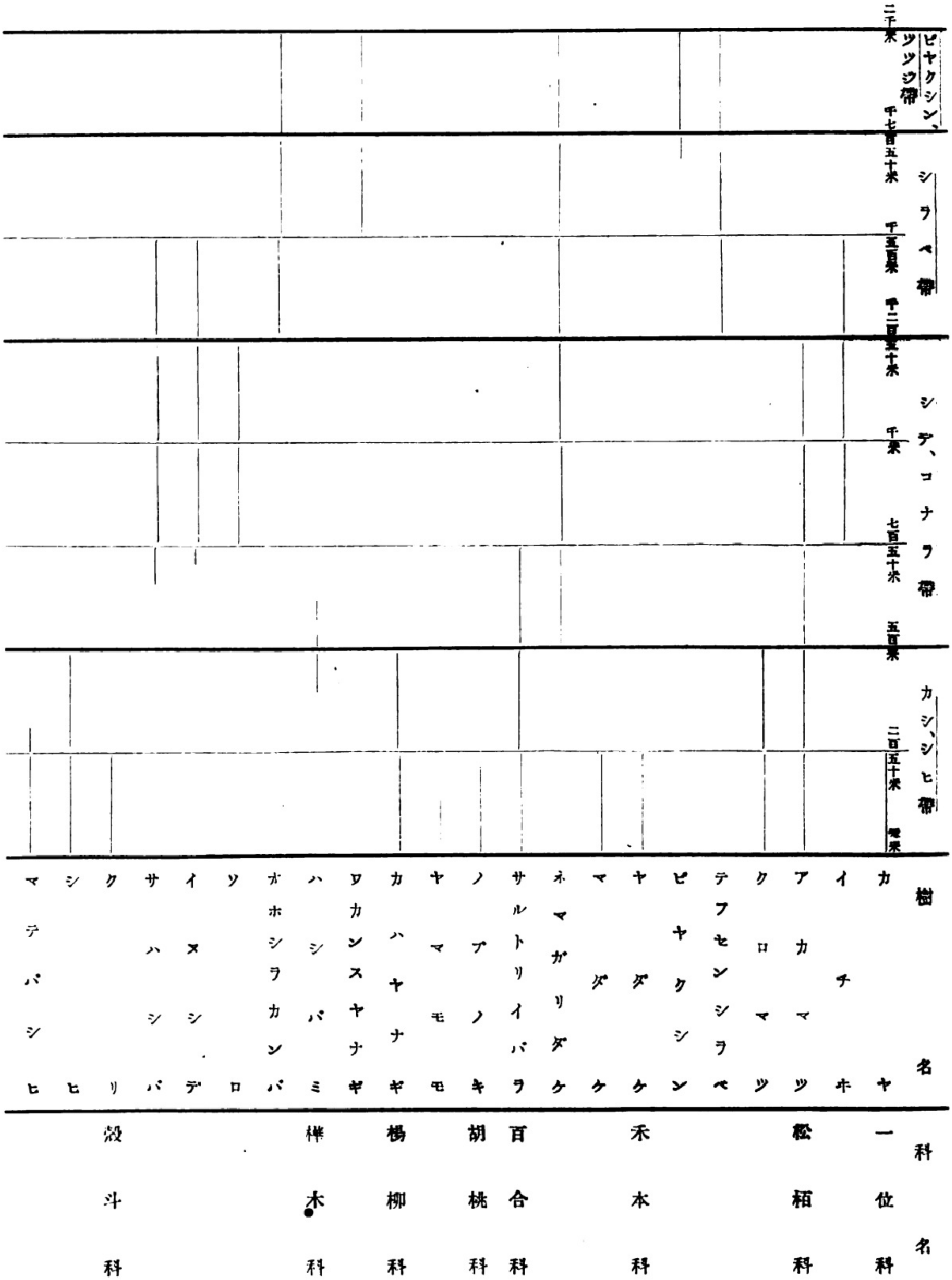
草本ニハヒカゲノカツラ、ホソバトウゲンバ、イブキジヤカウサウ、ユキワリサウ、マツムシサウ、ユキワリシホガマ、カウゾリナ、ウメバチサウ、ハイキンバウゲ、ミスミサウ等アリ

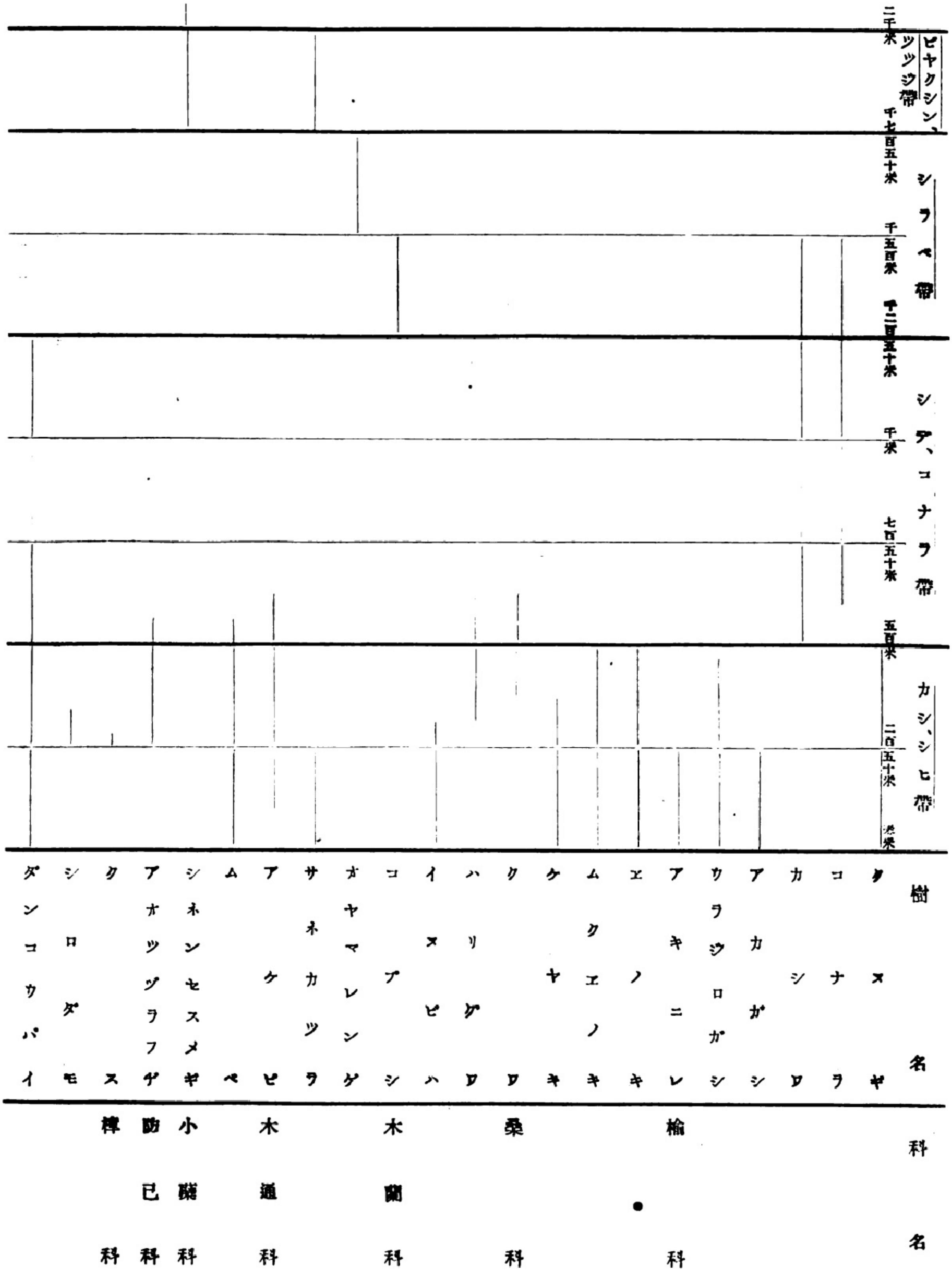
附記　樹種中內地名ヲ有セサルモノハ學名ノ音又ハ意義ニ依リ假リニ命名セリ而シテ之等ハ左側ニ縱線ヲ加ヘ他ト區別セリ

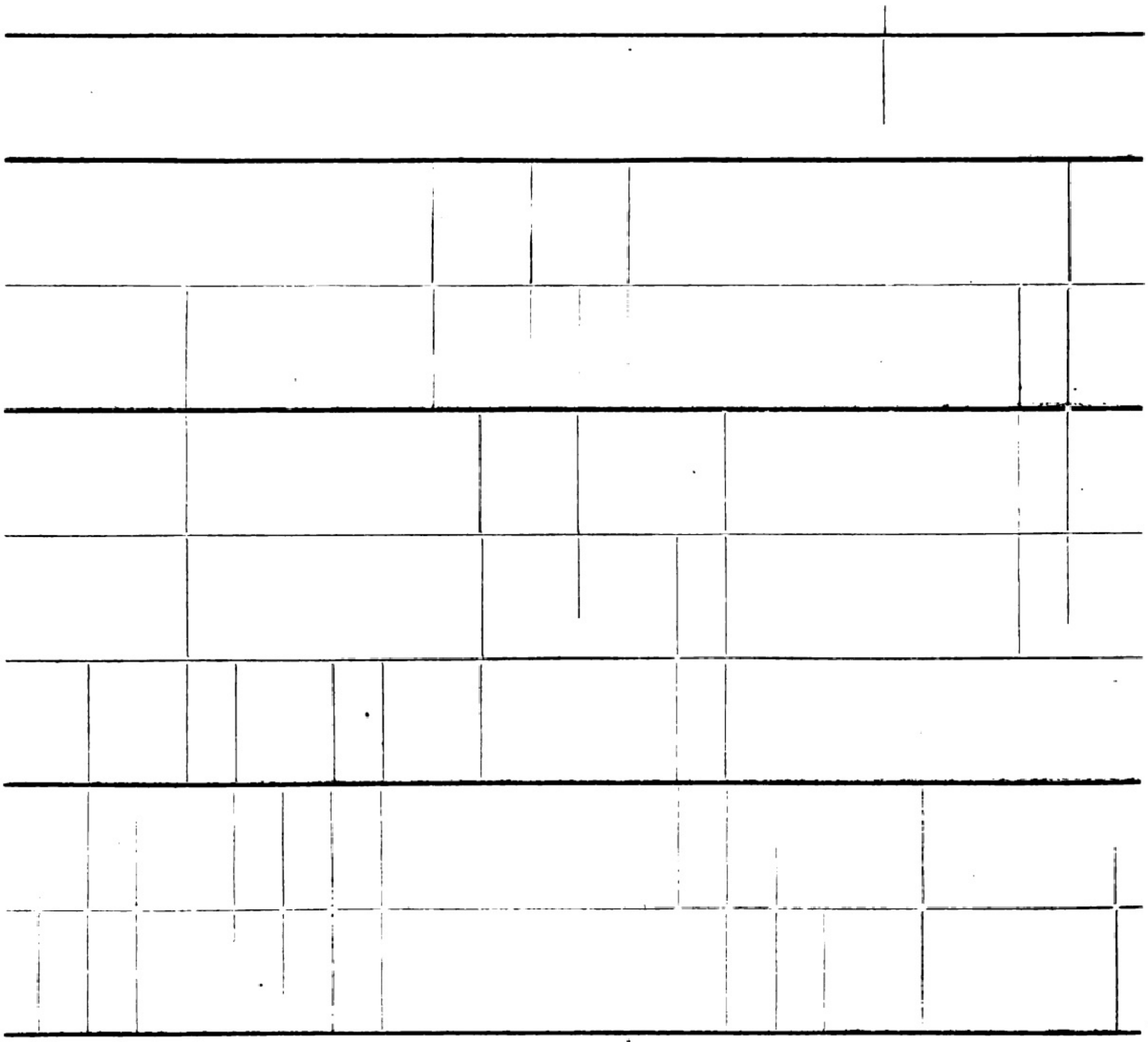
本帶ニ生スル各樹木ハ林木トシテ大ナル價値ヲ有セサルモ山頂ニ生スルテフセンシラベ及ビヤクシンハ形矮小、雅ニ富ム爲ニ盆栽トシテ採集セラレ內地ニ輸出セラルルモノ夥シセ栽屋ノ所謂カラモミ及シンパク(心栢)ト稱スルモノ卽此ノ種ナリ

以上ハ本島ニ於ケル垂直的分布ノ一般ヲ記述セルモノナリ而シテ各樹木ニ對スル垂直的分布ヲ明示センカ爲重複ヲ顧ス左ニ之ヲ表示セリ

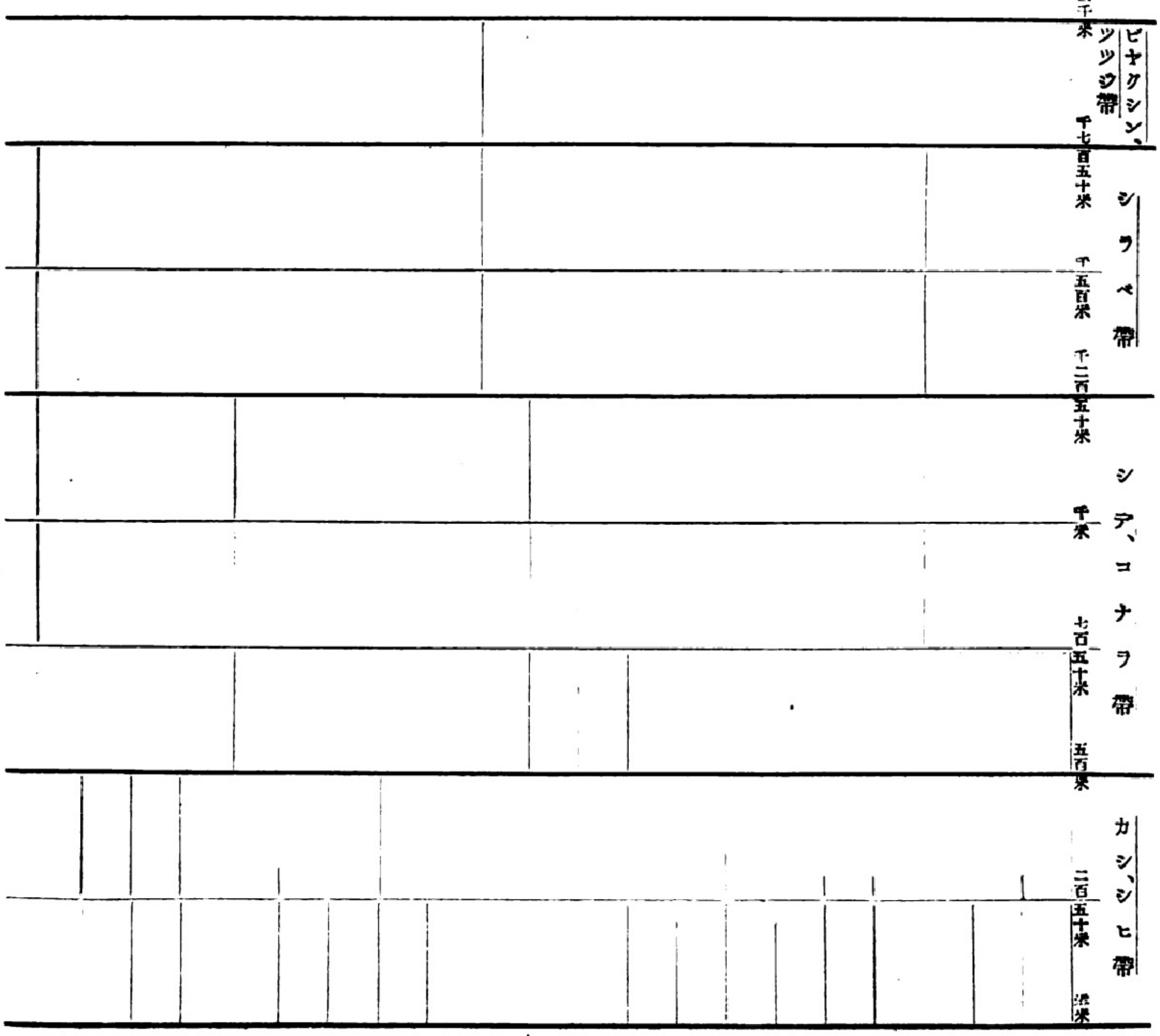
濟州島漢挐山林樹木垂直的分布表


二千米
ピヤクシン、ツツジ帶
千七百五十米
シラベ帶
千五百米
千二百五十米
シデ、コナラ帶
千米
七百五十米
五百米
カシ、シヒ帶
二百五十米
零米
樹名
カヤ
イチヰ
アカマツ
クロマツ
テフセンシラベ
ピヤクシン
ヤダケ
マダケ
ネマガリダケ
サルトリイバラ
ノブノキ
ヤマモモ
カハヤナギ
ヲカンスヤナギ
ハシパミ
オホシラカンバ
ソロ
イヌシデ
サハシバ
クリ
シヒ
マテバシヒ
科名
一位科
松柏科
禾本科
百合科
胡桃科
楊柳科
樺木科
殼斗科

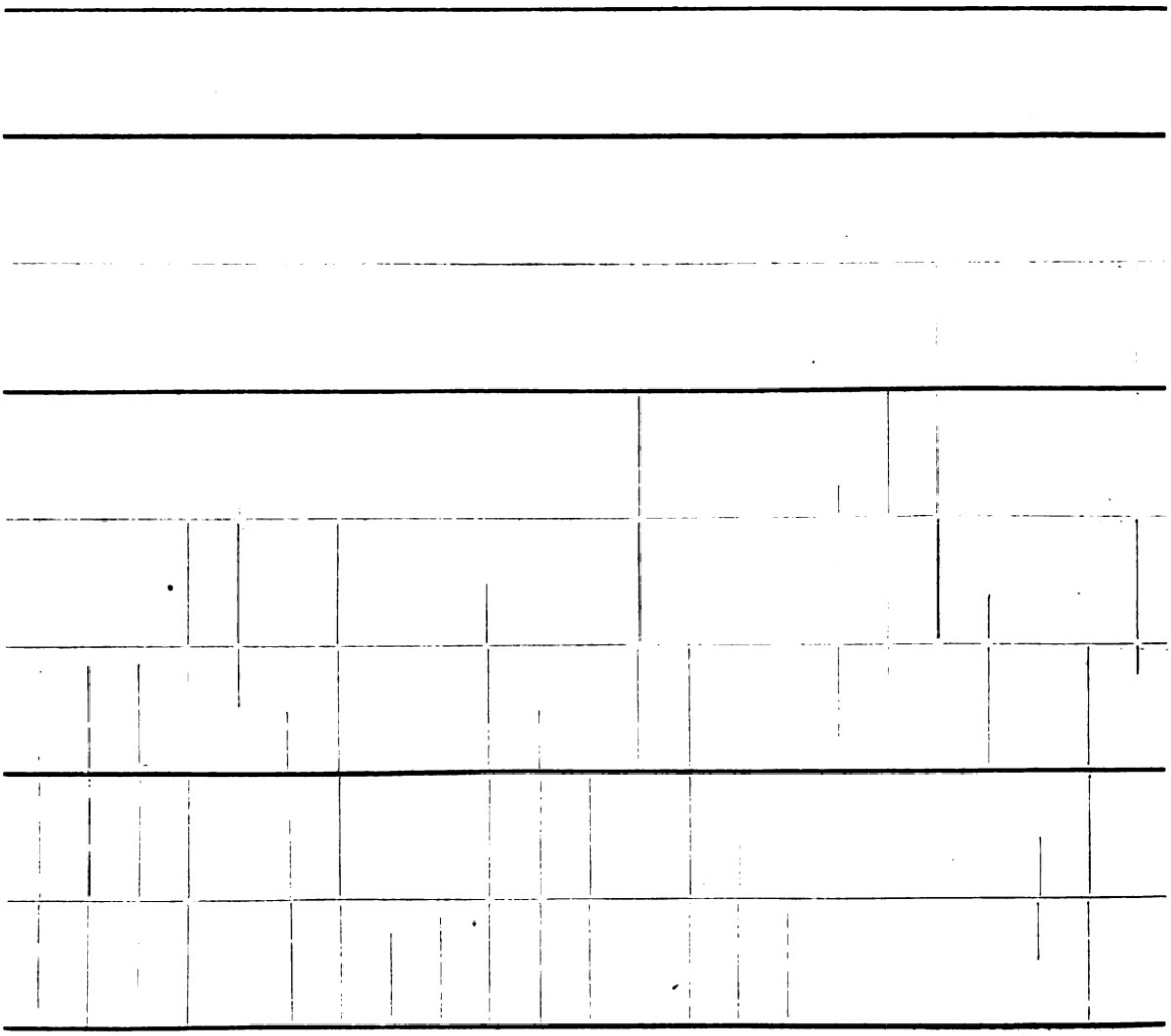

ビヤクシン、ツツジ帶
シラベ帶
シデ、コナラ帶
カシ、シヒ帶
二千米
千七百五十米
千五百米
千二百五十米
千米
七百五十米
五百米
二百五十米
零米
樹名
クヌギ
コナラ
カシワ
アカガシ
ウラジロガシ
アキニレ
エノキ
ムクエノキ
ケヤキ
クワ
ハリグワ
イヌビハ
コブシ
オヤマレンゲ
サネカツラ
アケビ
ムベ
シネンセスメギ
アオツヅラフヂ
クス
シロダモ
ダンコウバイ
科名
楡科
桑科
木蘭科
木通科
小蘗科
防已科
樟科



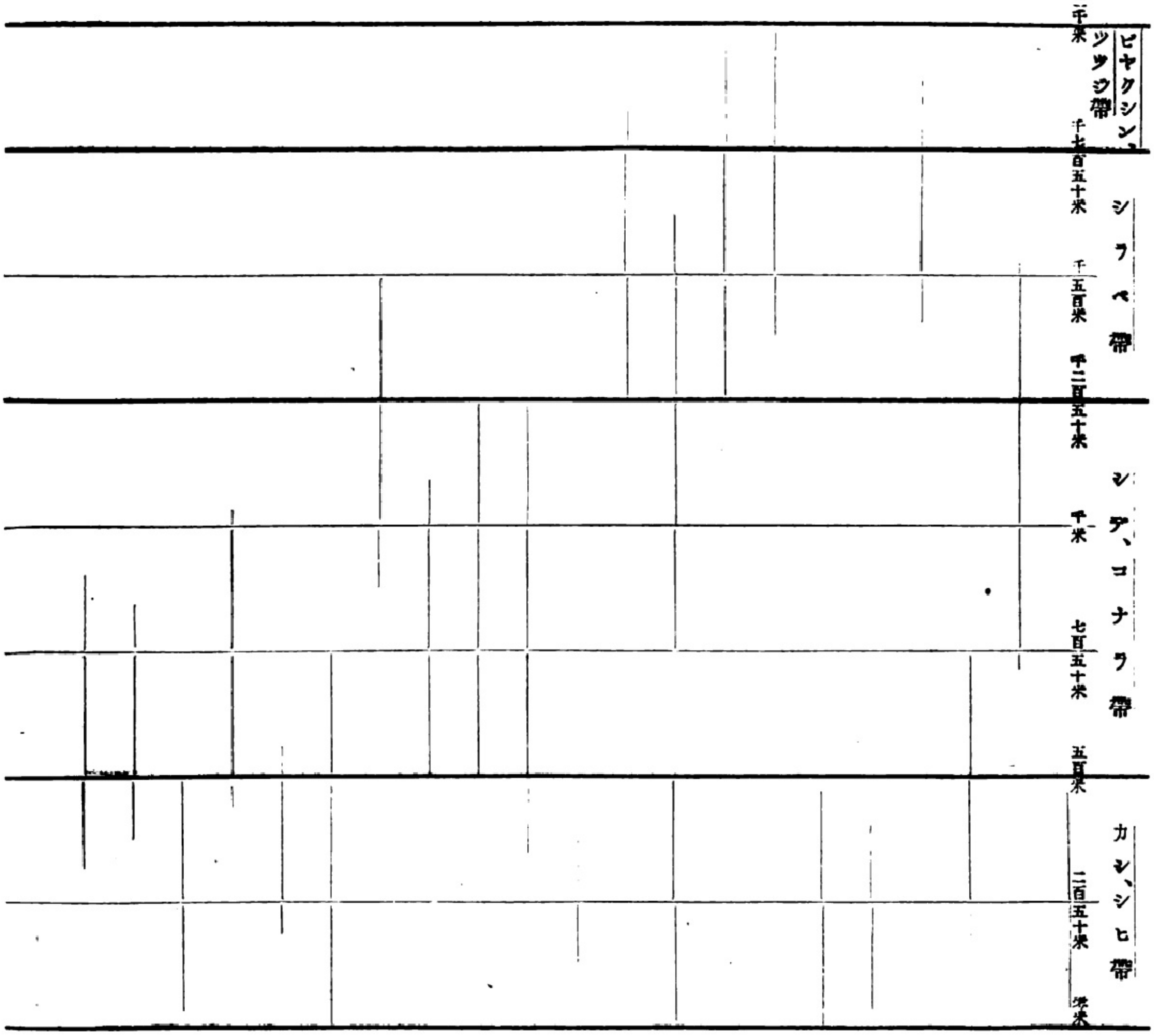
科	種
	イヌグス
虎耳草科	サハアヂサイ
	イハグラミ
	ツルアヂサヰ
	ヤブサンザシ
	マクセムスグリ
海桐科	トベラ
金縷梅科	イスノキ
薔薇科	コゴメウツキ
	アヅキナシ
	ナナカマド
	シャリンバイ
	ウシコロシ
	ヤマザクラ
	ミヤマザクラ
	ハイイバラ
	トツクリイチゴ
	ウラジロイチゴ
荳科	ネムノキ
	イヌエンジュ
	シャケツイバラ
	ナツハギ
芸香科	サンセウ



樹名	科名
イヌサンセウ	
フユサンセウ	
カラスサンセウ	
キハダ	
カラタチ	
コクサギ	
センダン	楝科
チャンチン	
ヒトツバハギ	大戟科
アカメガシワ	
シラキ	
ユヅリハ	
ガンカウラン	岩高蘭科
ツゲ	黃楊科
フシノキ	漆科
ヤマウルシ	
ヤマハゼ	
イヌツゲ	冬青科
モチノキ	
マサキ	衛矛科
ツルマサキ	
マユミ	



ニシキギ
ツルウメモドキ
ミツバウツギ　省沽油科
ヤマモミヂ　槭科
ハウチハカヘデ
イタヤカヘデ
アハブキ　泡吹科
ナツメ　鼠李科
ナガミノイソノキ
ツタ　葡萄科
サルナシ　獼猴桃科
ツバキ　山茶科
サカキ
ハマヒサカキ
クスドイゲ　椅科
ミツマタ　瑞香科
アキグミ　胡頽子科
ツルグミ
ハリギリ　五加科
ウコギ
カクレミノ
キヅタ
タラノキ



樹名	科名
ウリノキ	山茱萸科
ヤマバウシ	
テフセンミヅキ	
アクシバ	石南科
ナツハゼ	
シヤシヤンボ	
クロマメノキ	
ゲンカイツツジ	
クロフネツツジ	
キリシマツツジ	
ヤブカウジ	紫金牛科
ルリミノウシコロシ	灰木科
エゴノキ	齊墩果科
ハクウンボク	
アヂダモ	木犀科
イボタ	
ネズミモチ	
ヒトツバタゴ	
テイカカヅラ	夾竹桃科
ムラサキシキブ	馬鞭草科
ヤブムラサキ	
ハマゴウ	

科	樹名
忍冬科	ガマズミ
	コガマズミ
	サンゴジユ
	スヒカヅラ
	ネムロブシダマ
	フロリダウツキ

備考　┃線ハ分布區域ヲ示ス

(二) 水平的植物分布

本島ニ於ケル森林植物水平的分布ハ之ヲ南北ノ二帶ニ區分スルヲ得ヘシ而シテ是等區分ヲ成ス作因ハ地勢、氣候、海流ノ三ナリ卽漢拏山ハ海拔二千米アリ其ノ山脊延ヒテ東西ニ走リ主ナル山峯又此ノ線上ニ坐ス故ニ本島ハ天然ノ山壁ニヨリ南北ニ分タレ行政ノ區劃又之ニ依レリ卽南部ハ旌義郡、大靜郡ニシテ北部ハ濟州郡ナリ加フルニ南方ニハ北流スル暖流アリ北方ニハ南流スル寒流アリ從テ氣候モ南部ハ北部ニ比シ緯度ノ割合ニ著ルシク溫暖ニシテ雨量モ亦此ノ地方ニ於テ著ルシク多シト云フ

左記ハ南部、北部ニ於ケル樹木分布ノ差異ヲ表示セルモノナリ

濟州島水平的森林植物分布表（×印ハ分布地ヲ示ス）

樹名＼產地	北部	南部	備考
カヤ	×		濟州島舊左面松堂里
ハシバミ	×		
シヒ		×	
マテバシヒ		×	

樹名＼產地	北部	南部	備考
クヌギ	×		西歸ニ多シ
アカガシ		×	
ウラジロガシ		×	
イヌビハ		×	
ムベ		×	
クス		×	旌義郡江汀里ニ限リ產ス
イスノキ		×	
シラキ		×	
ミツバウツギ	×		
クスドイゲ		×	
ミツマタ		×	旌義郡江汀里
カクレミノ		×	
ウリノキ	×		濟州郡舊左面松堂里
サンゴジユ		×	

前表ニ依ルニ本島南北僅ニ八里ヲ距ル地點ニ於テ著ルシク植物ノ分布ヲ異ニスルヲ見ルヘシ而シテ此ノ事實ハ前述諸作因ト共ニ頗ル趣味アル問題ト云フヘシ

第四　濟州島森林帶ノ成立及系統

本島所產ノ森林樹木ハ四十九科百二屬百四十三種アリ而シテ是等各植物ニ就キ北半球ニ於ケル分布ヲ按スルニ左表ノ如シ

濟州島產森林樹木分布表（×印ハ分布地ヲ示ス）

科名	樹名	済州島	朝鮮本土	日本内地	支那	印度	満洲アムール西比利亜	北亜米利加	欧羅巴	備考
一位科	カヤ	×	×	×						
	イチヰ	×	×	×			×			
松柏科	アカマツ	×	×	×	×		×			
	クロマツ	×	×	×	×					
	ラフセンシラベ	×	×				×			
	ピヤクシン	×	×	×	×					
禾本科	ヤダケ	×	×	×						
	マダケ	×	×	×						
	ネマガリダケ	×	×	×						
百合科	サルトリイバラ	×	×	×	×					
胡桃科	ノブノキ	×	×	×	×					
楊梅科	ヤマモモ	×		×						
楊柳科	カハヤナギ	×	×	×	×		×			
	ヲガンスヤナギ	×	×				×			
樺木科	ハシバミ	×	×	×			×			
	オホシラカンバ	×	×				×			
	ソロ	×	×	×	×		×			
	イヌシデ	×		×						
	サハシバ	×	×	×						
殻斗科	クリ	×	×	×	×					
	シヒ	×	×	×						
	マテバシヒ	×		×						
	クヌギ	×	×	×	×					

科名	樹名	濟州島	朝鮮本土	日本內地	支那	印度	滿洲アムール西比利亞	北亞米利加	歐羅巴	備考
	コナラ	×	×		×					
	カシワ	×	×							
	アカガシ	×	×	×						
	ウラジロガシ	×		×						
楡科	アキニレ	×	×	×	×					
	エノキ	×	×	×	×					
	ムクエノキ	×	×	×	×					
	ケヤキ	×	×	×	×					
桑科	クワ	×	×	×	×					
	ハリグワ	×	×		×					
	イヌビハ	×		×	×					
木蘭科	コブシ	×		×						
	オヤマレンゲ	×	×	×						
	サネカヅラ	×		×						
木通科	アケビ	×	×	×	×					
	ムベ	×	×	×						
小蘗科	シネンセスメギ	×	×						×	阿弗利加ニモ產ス
防己科	アヲツヅラフヂ	×	×	×						
樟科	クス	×		×						
	シロダモ	×	×	×						
	ダンコウバク	×	×	×						
	カナクギノキ	×	×	×						
虎耳草科	サハアヂサヰ	×	×	×	×					

	イハガラミ	×		×			
	ツルアヂサヰ	×		×			
	ヤブサンザシ	×	×	×	×		
	マタセンスグリ	×	×				
海桐科	トベラ	×	×	×	×		
金縷梅科	イスノキ	×		×			
薔薇科	コゴメウツギ	×	×	×			
	アヅキナシ	×	×	×			
	ナナカマド	×	×	×		×	×
	シヤリンバイ	×		×			
	ウシコロシ	×	×	×	×		
	ヤマザクラ	×	×	×	×	×	
	ミヤマザクラ	×	×	×	×		
	ヘイイバラ	×	×	×	×		
	ウラジロイチゴ	×	×	×	×		
	トックリイチゴ	×	×	×	×		
荳科	ネムノキ	×	×	×	×		
	イヌエンジユ	×	×	×			
	ジヤケツイバラ	×		×			
	ナツハギ	×	×	×			
蕓香科	サンセウ	×	×	×			
	イヌザンセウ	×	×	×			
	フユザンセウ	×	×	×			
	キハダ	×	×	×	×	×	
	カラタチ	×	×	×			

科名	樹名	濟州島	朝鮮本土	日本內地	支那	印度	滿洲アムール西比利亞	北亞米利加	歐羅巴	備考
	カラスザンセウ	×		×						
	コクサギ	×		×						
楝科	センダン	×		×						
	チャンチン	×	×	×	×					
大戟科	ヒドツバハギ	×	×	×	×					
	アカメガシワ	×	×	×	×					
	シラキ	×	×	×						
	エヅリハ	×		×						
岩高蘭科	ガンカウラン	×	×	×	×		×		×	
黄楊科	ツゲ	×	×	×	×					
漆樹科	フシノキ	×	×	×						
	ヤマウルシ	×	×	×						
	ヤマハゼ	×	×	×						
冬青科	イヌツゲ	×	×	×						
	モチノキ	×	×	×	×		×			
衛茅科	マサキ	×	×	×	×		×			
	ツルマサキ	×		×						
	マユミ	×	×	×						
	ニシキギ	×	×	×	×		×			
	ツルウメモドキ	×	×	×	×		×			
省沽油科	ミツバウツギ	×	×	×						
槭科	ヤマモミヂ	×		×						
	ハウチカヘデ	×	×	×						

	イタヤカヘデ	×	×	×	×				
泡吹科	アハブキ	×	×	×					
鼠李科	ナツメ	×	×	×	×				×
	ナガミノイソノキ	×		×					
葡萄科	ツタ	×	×	×					
獼猴桃科	サルナシ	×	×	×					
山茶科	ツバキ	×	×	×					
	サカキ	×		×					
	ハマヒサカキ	×	×	×	×	×			
椅科	クスドイゲ	×		×					
瑞香科	ミツマタ	×	×	×	×				
胡頽子科	アキグミ	×	×	×	×	×			
	ツルグミ	×		×					
五加科	ハリギリ	×	×	×	×				
	ウコギ	×		×					
	カクレミノ	×		×					
	キヅタ	×	×	×	×				
	タラノキ	×	×	×	×				
山茱萸科	ウリノキ	×	×	×	×				
	ヤマバウシ	×	×	×					
	テフセンミヅキ	×	×						
石南科	アクシバ	×	×	×					
	ナツハゼ	×	×	×					
	シャシャンボ	×	×	×	×				
	クロマメノキ	×	×	×	×		×	×	×

科名	樹名	濟州島	朝鮮本土	日本内地	支那	印度	満洲アムール西比利亞	北亞米利加	歐羅巴	備考
	ゲンカイツツヂ	×	×		×					
	キリシマツツヂ(一種)	×	×		×					
紫金牛科	ヤブカウジ	×	×	×	×					
灰木科	ルリミノウシコロシ	×	×	×	×					
齊墩果科	エゴノキ	×	×	×						
	ハクウンボク	×	×	×	×					
木犀科	アチダモ	×	×	×						
	イボタ	×	×	×	×					
	ネズミモチ	×		×						
	ヒトツバタゴ	×	×	(對馬)×						
夾竹桃科	テイカカヅラ	×	×	×						
馬鞭草科	ムラサキシキブ	×	×	×	×					
	ヤブムラサキ	×	×	×	×					
	ハマゴウ	×	×	×	×					
	クサギ	×	×	×	×					
忍冬科	ガマズミ	×	×	×	×					
	コガマズミ	×	×	×	×					
	サンゴジユ	×		×						
	カーレルシイガマズミ	×	×							
	ニハトコ	×	×	×	×		×		×	
	スヒカヅラ	×	×	×	×					
	ネムロブシダマ	×	×	×	×		×			
	フロリダウツギ	×	×		×		×			
計		一四四	一二五	一二九	六五	三	二〇	一	六	

前表ノ結果ニ依ルニ本島產森林樹木ノ九十プロセントハ日本内地ニ八十プロセントハ朝鮮ニ四十五プロセントハ支那、印度ニ十四プロセントハ滿洲、アムールニ產スル種ナリ而シテ其ノ成立分子ハ日本内地系ニ屬スルモノ六十五分亞細亞大陸系ニ屬スルモノ三十五分ヨリ成レリ卽本島ハ其ノ森林成立要素ヨリ論スル時ハ火山島トシテ又陸島トシテ亞細亞大陸ヨリ寧ロ日本内地ニ屬セシムルヲ適當ナリト云フヘシ

更ニ本島森林ノ各帶ニ就キ按スルニ寒帶及溫帶北部ノ主木ハクロフネツツジ、ゲンカイツツジ、キリシマツツジ（一種）、フロリダウツギ、シネンセスメギ、テフセンシラベワカンスヤナギ等孰モ亞細亞大陸系ノ植物ニシテ日本内地ニ產セサル種屬ナルニ溫帶下部林、暖帶林ニ於テハクス、イヌシデ、マデバシヒ、イハガラミ、ツルアヂサヰ、ヤマモミヂ、ナガミノイソノキ、クスドイゲ、ツルグミ、カクレミノ等孰モ朝鮮半島ニ產セサル種屬ニ富メリ卽本島漢拏山ノ森林ハ上半ハ亞細亞大陸系下半ハ日本内地系ヨリ構成セラレタルモノト云フヘシ

第五　濟州島森林樹木科屬一覽表

科名	屬數	種數	變種數	常綠針葉樹 喬木	常綠針葉樹 灌木	常綠濶葉樹 喬木	常綠濶葉樹 灌木	常綠濶葉樹 蔓木	落葉濶葉樹 喬木	落葉濶葉樹 灌木	落葉濶葉樹 蔓木	禾本	計
一位科	二	二		二									二
松栢科	三	四		三	一								四
禾本科	三	三										三	三
百合科	一	一									一		一
胡桃科	一	一							一				一
楊梅科	一	一				一							一
楊柳科	一	二							一	一			二

科名	屬數	種數	變種數	常綠針葉樹 喬木	常綠針葉樹 灌木	常綠闊葉樹 喬木	常綠闊葉樹 灌木	常綠闊葉樹 蔓木	落葉闊葉樹 喬木	落葉闊葉樹 灌木	落葉闊葉樹 蔓木	禾本	計
樺木科	三	五							四	一			
殼斗科	三	八				四			四				八
榆科	四	四							四				四
桑科	三	三					一		一	一			三
木蘭科	二	三						一	一	一			三
木通科	二	二						一			一		二
小蘗科	一	一								一			一
防已科	一	一									一		一
樟科	三	四				一			二	一			四
虎耳草科	三	五								三	二		五
海桐科	一	一					一						一
金縷梅科	一	一				一							一
薔薇科	七	一二							六	五			一二
荳科	四	四							二	二			四
芸香科	四	七					二		一	四			七
楝科	二	二							二				二
大戟科	四	四				一			一	二			四
岩高蘭科	一	一					一						一
黄楊科	一	一					一						一
漆科	一	三								三			三
冬青科	一	二					二						二
衞矛科	二	四	一				一	一		二	一		五
省沽油科	一	一								一			一

椴科	一	三							三				三
泡吹科	一	一							一				一
鼠李科	二	二								一	一		二
衛矛科	一	一									一		一
獼猴桃科	一	一									一		一
山茶科	二	三					三						三
椅科	一	一								一			一
瑞香科	一	一					一						一
胡頽子科	一	二						一		一			二
五加科	五	五					一	一	一	二			五
山茱萸科	二	三							三				三
石南科	三	七					一			六			七
紫金牛科	一	一					一						一
灰木科	一	一								一			一
齊墩果科	一	二							二				二
夾竹桃科	一	一						一					一
木犀科	三	四					一		二	一			四
馬鞭草科	三	四					一			三			四
忍冬科	四	八					一			六	一		八
計(四九)	一〇二	一四三	一	五	一	八	一九	六	四二	五〇	一〇	三	一四四

第六 濟州島森林樹木目錄

科名	內地名	濟州島方言	種類	備考
一位科	・カヤ		常綠針葉喬木	學名 Torreya nucifera S. &
	イチヰ	노가미는무	同	

科名	內地名	濟州島方言	種類	備考
松栢科	クロマツ		常綠針葉喬木	
	アカマツ		同	
	○テフセンシラベ		同	學名 Abies nephecolehis Max.
	ピヤクシン	넌출상ᄂᆞ무	常綠針葉灌木	
禾本科	ヤダケ		禾本	
	マダケ		同	
	●○ネマガリダケ		同	
百合科	サルトリイバラ		落葉濶葉蔓木	
胡桃科	ノブノキ	구ᄂᆞ무	落葉濶葉喬木	
楊梅科	●ヤマモモ		同	
楊柳科	カハヤナギ		同	
	○アカンスヤナギ		落葉濶葉灌木	學名 Salix vagans var., conerascens Anbers.
樺木科	○ハシバミ		同	
	○オホシラカンバ		落葉濶葉喬木	學名 Betula Japanica var. Tawschii H. Winke
	ソロ	노리ᄂᆞ무	同	
	○サハシバ	사옥이ᄂᆞ무	同	
	●イヌシデ		同	
殼斗科	クリ		同	
	シヒ	재비ᄂᆞ무	常綠濶葉喬木	
	○●マテバシヒ		同	
	クヌギ	처ᄂᆞ무	落葉濶葉喬木	
	コナラ	소리ᄂᆞ무	同	
	カシワ		同	

楡科	●アカガシ	가시나무	常綠濶葉喬木	
	●ウラジロガシ	창가시나무	同	
	○アキニレ	느릅나무	同	
	エノキ	팽나무	落葉濶葉喬木	
	ムクエノキ		同	
	ケヤキ	귀목	同	
桑科	クワ		同	
	ハリグワ		落葉濶葉灌木	
	イヌビワ		常綠濶葉灌木	
木蘭科	●コブシ		落葉濶葉喬木	
	○オヤマレンゲ		落葉濶葉灌木	
	●サネカツラ		常綠濶葉蔓木	
木通科	アケビ	유름넌출	落葉濶葉蔓木	
	ムベ	멍줄	常綠濶葉蔓木	
小蘗科	○シネンセスメギ		落葉濶葉灌木	學名 Berberis Sinensis Desf.
防己科	アヲツヅラフヂ		落葉濶葉蔓木	
樟科	●クス	녹나무	常綠濶葉喬木	
	シロダモ		同	
	ダンコウバイ		落葉濶葉灌木	
	カナクギノキ		同	
虎耳草科	○サハアヂサヰ		落葉濶葉蔓木	
	イハガラミ		同	
	●ツルアヂサヰ		同	
	○ヤブサンザシ		落葉濶葉灌木	
	○マクセムスグリ		同	學名 Ribes Maximowihii Kon.

科名	內地名	濟州島方言	種類	備考
金縷梅科	●イスノキ		常綠濶葉喬木	
海桐科	ドベラ		常綠濶葉灌木	
薔薇科	コゴメウツギ		落葉濶葉灌木	
	アヅキナシ		落葉濶葉喬木	
	ナナカマド		同	
	シャリンバイ		同	
	ウシコロシ	운노무	同	
	ヤマザクラ		同	
	ミヤマザクラ		同	
	ハイイバラ		落葉濶葉灌木	
	○ウラジロイチゴ		同	
	○トックリイチゴ		同	學名 Rubus coreanws Mig (V.Nakaianus Levelle)
荳科	ネムノキ	싹우누무	落葉濶葉喬木	
	イヌエンジュ		同	
	●ジャケツイバラ	설거미누무	落葉濶葉灌木	學名 Caesalpinia Seplaecia Rox.
	ナツハギ		同	學名 Lespedeza bicolor ver. tyhica Max.
芸香科	サンセウ		同	
	イヌサンセウ		同	
	○フユサンセウ		常綠濶葉灌木	
	●○カラスサンセウ		落葉濶葉灌木	學名 Zanthaxylum cilanshoidas S. Z.
	カラタチ		常綠濶葉灌木	
	キハダ		落葉濶葉喬木	
	●○コクサギ		落葉濶葉灌木	學名 Oreza Japonica Thunb.
楝科	センダン		落葉濶葉喬木	

	チャンチン	말오좀나무	同	
大戟科	○ヒトツバハギ		落葉濶葉灌木	
	●ユヅリハ	굴거미나무	常綠濶葉喬木	
	アカメガシハ		落葉濶葉灌木	
	シラキ	쇠동비나무	落葉濶葉喬木	
岩高蘭科	ガンカウラン		常綠濶葉灌木	
黃楊科	●ツゲ		同	
漆科	フシノキ	북나무	落葉濶葉灌木	
	ヤマウルシ		同	
	ヤマハゼ		同	
冬青科	イヌツゲ		常綠濶葉灌木	
	モチノキ		同	
衞茅科	マサキ		同	
	ツルマサキ		常綠濶葉蔓木	
	マユミ		落葉濶葉灌木	
	ニシキギ		同	
	ツルウメモドキ		落葉濶葉蔓木	
省沽油科	ミツバウツギ		落葉濶葉灌木	
槭科	ヤマモミヂ		落葉濶葉喬木	
	ハウチハカヘデ		同	
	イタヤカヘデ		同	
泡吹科	アハブキ		同	
鼠・李科	ナツメ		落葉濶葉灌木	
	○●ナガミノイソノキ	쥐똥나무	落葉濶葉蔓木	學名 Microrhamnus franguliaides Max.
葡萄科	ツタ		同	

科名	內地名	濟州島方言	種類	備考
獼猴桃科	サルナシ	다ᄅᆡᄂᆞ무	落葉濶葉蔓木	
山茶科	ツバキ	동ᄇᆡᆨᄂᆞ무	常綠濶葉灌木	
	○ハマヒサカキ	거유사리	同	
	●サカキ		同	
椅科	●クスドイゲ		同	
瑞香科	●○ミツマタ		同	
胡頽子科	アキグミ	볼너ᄂᆞ무	落葉濶葉灌木	
	●ツルグミ		常綠濶葉蔓木	
五加科	ハリギリ	엄ᄂᆞ무	落葉濶葉喬木	
	●○ウコギ	오갈피	落葉濶葉灌木	
	●カクレミノ	식ᄂᆞ무	常綠濶葉灌木	
	キヅタ		常綠濶葉蔓木	
	タラノキ	듬급ᄂᆞ무	落葉濶葉灌木	
山茱萸科	○ウリノキ		落葉濶葉喬木	
	ヤマバウシ	틀ᄂᆞ무	同	
	○テフセンミヅキ		同	學名 Cornus Coreanu Wang
石南科	アクシバ		落葉濶葉灌木	
	○ナツハゼ		同	
	シヤシヤンボ		常綠濶葉灌木	
	クロマメノキ		落葉濶葉灌木	
	○ゲンカイツツジ		同	學名 Rhododendron mucronulatume Tarz.
	○キリシマツツジ(一種)		同	學名 Rh.indicun V. Simsii max.
	○クロフネツツジ		同	學名 Rh. Schlippenbachii Max.
紫金牛科	ヤブカウジ		常綠濶葉灌木	

科	和名	朝鮮名	性狀	學名
灰木科	ルリミノウシコロシ		落葉濶葉灌木	
齊墩果科	エゴノキ	쪽ᄂᆞ무	同	
	○ハクウンボク		落葉濶葉喬木	
木犀科	アヲダモ		同	
	ヒトツバタゴ		同	
	イボタ	괴곽ᄂᆞ무	落葉濶葉灌木	
	ネズミモチ		常綠濶葉灌木	
夾竹桃科	テイカカヅラ		常綠濶葉蔓木	
馬鞭草科	ムラサキシキブ		落葉濶葉灌木	
	ヤブムラサキ		同	
	ハマゴウ	순비기ᄂᆞ무	常綠濶葉灌木	
	クサキ	키ᄂᆞ무	落葉濶葉灌木	
忍冬科	ガマズミ	언두레이베	同	
	○コガマズミ		同	
	●サンゴジュ	아왜ᄂᆞ무	常綠濶葉灌木	
	○カーレルシイガマズミ		落葉濶葉灌木	學名 Viburnum Carlesii Hemsl.
	ニハトコ	덧ᄂᆞ무	常綠濶葉灌木	
	スヒカヅラ	인동넌출	落葉濶葉蔓木	
	○ネムロブシダマ		常綠濶葉灌木	
	○フロリダウツギ		同	學名 Dieroilla florida S. £.

備考 ●印ハ朝鮮植物誌ニ新ナルモノ
○印ハ濟州島樹木目錄ニ新ナルモノ

（朝鮮總督府技手石戸谷勉外一名調査）

農業及殖林

○勸業模範場龍山支場　夏秋蠶飼育状況

緒言

本年七月及八月ノ天候ハ雨天永ク續キタル爲メ夏秋蠶ノ飼育稍困難ヲ感シ殊ニ夏蠶期ニ於テハ降雨日數多ク蠶座ノ淸潔及乾燥ヲ計ルカ爲ニハ尠カラサル不便ヲ感シタリ卽チ京城ニ於ケル本年七月及八月ノ氣候表ヲ按レハ略其ノ程度ヲ察知スルヲ得ヘシ

	七月	八月
平均氣溫	二四·〇	三四·八
最高氣溫	三二·二	三四·〇
最低氣溫	一六·〇	一七·七
平均濕度	七八·〇	七八·〇
降水量	三九一·五	二三四·〇
蒸發量	一四一·二	一三六·五
日照時(百分率)	三五·〇	四五·〇
雨天日數	一五·〇	一三·〇
快晴日數	二·〇	—
曇天日數	二〇·〇	一四·〇

備考　氣溫ハ攝氏降水量及蒸發量ハ粍チ以テ示ス而シテ七月ハ恰モ夏蠶期ニ八月ハ秋蠶期ニ相當ス

夏蠶飼育狀況

當支場夏蠶ノ掃立ハ六月三十日ニシテ七月二十二日上蔟セリ種類ハ主トシテ二化性第二化新屋ニシテ其ノ原種ハ水原本場ノ飼育ニ係ルモノナリ

第一齢　自六月三十日至七月四日

此ノ期間ニ於ケル天候ハ通シテ晴天ニシテ氣溫稍高キニ過キ甚シク乾燥シ屢室內ニ淸水ヲ撒布シテ濕氣ヲ補充セリ其ノ溫濕度左ノ如シ

室外 溫度 最高	最低	平均	室外 濕度 最高	最低	平均	室內 溫度 最高	最低	平均	室內 濕度 最高	最低	平均
三一·二	一六·二	二七·二	八九	四四	六八	三〇·〇	二〇·〇	二六·三	八九	五三	六七

第二齢　自七月五日至七月八日

此ノ期間モ概シテ晴天ニシテ六日午後十粍ノ降雨アリタルノミ八日ノ如キハ頗ル乾燥シタルカ爲メ數回室內ニ撒水セリ本齢間ニ於ケル溫度及濕度左ノ如シ

室外 溫度 最高	最低	平均	室外 濕度 最高	最低	平均	室內 溫度 最高	最低	平均	室內 濕度 最高	最低	平均
三三·〇	一七·七	二六·一	八九	五五	七三	三〇·〇	二一·七	二六·二	八九	五四	六九

第三齢　自七月八日至七月十二日

此ノ期間ハ夏蠶飼育期中天候最モ育蠶ニ適シ日中多クハ曇天

ニシテ氣溫高カラス夜間ハ好ク晴レ九日夜ヨリ十日ノ午前ニ亙リ五十五粍ノ降雨アリ概シテ溫濕度ノ配合宜シキヲ得タリ卽チ左表ノ如シ

室外						室內					
溫度			濕度			溫度			濕度		
最高	最低	平均	最高	最低	平均	最高	最低	平均	最高	最低	平均
二九•八	二〇•五	二五•五	一〇〇	六一	八三	二九•四	二三•九	二六•三	八九	六三	七八

第四齡 自七月十二日 至七月十七日

本齡ニ入リテヨリ漸ク雨期ノ現象ヲ呈シ十二及十三ノ兩日曇天ナリシ外殆ント連日陰雨蕭蕭低溫多濕ニシテ十四日ノ雨量ハ八十九粍ヲ算シ同日以降晝夜火力ヲ用キテ補溫排濕ニ勉メ又切藁及籾糠ヲ盛ニ使用セリ飼育ノ困難例年ニ見サルトコロナリ左ノ溫濕度表ヲ見ハ本齡ニ於ケル飼育ノ困難思ヒ半ニ過クルモノアルヘシ

室外						室內					
溫度			濕度			溫度			濕度		
最高	最低	平均	最高	最低	平均	最高	最低	平均	最高	最低	平均
二七•八	一八•二	二三•一	一〇〇	七二	九二	二八•九	二一•七	二五•三	九四	七一	八三

第五齡 自七月十七日 至七月二十二日

此ノ期間モ屢降雨アリ十八日ニハ六十六粍ニ上ホリ曇天雨天交交至リ遂ニ全ク晴天ヲ見サリキ故ニ或ハ火力ヲ用キ或ハ切藁籾糠等ヲ使用セルコト前齡ニ異ナラス摘桑及飼育ノ作業ハ勿論濡レ桑乾燥ノ爲メニ意外ノ手數ヲ要シタリ本齡中ノ溫濕度左ノ如シ

室外						室內					
溫度			濕度			溫度			濕度		
最高	最低	平均	最高	最低	平均	最高	最低	平均	最高	最低	平均
二九•九	二〇•八	二五•一	一〇〇	八〇	九四	三〇•〇	二三•九	二六•三	九四	八〇	九〇

是ニ由リテ之レヲ觀レハ本年ニ於ケル夏蠶飼育ハ天候ノ關係上甚タ困難ナリキ此ノ如キ不順ノ天候ハ年年ノ事ニアラサルモ夏蠶飼育時期ハ朝鮮ノ雨期ニ屬スルヲ以テ養蠶ヲナスモノハ其ノ設備及人夫ノ用意ニ遺漏ナク且ツ育蠶上周到ナル注意ヲ加フルヲ要ス若シ夫レ漫然多量ノ掃立ヲナスカ如キコトアラハ往往失敗ヲ招クコトナキニアラス

各齡經過表

齡別	齡期	給桑(蟻量一匁ニ對シ) 回數	給桑(蟻量一匁ニ對シ) 量(匁)
第一齡	自六月三十日午前十時 至七月四日午後十二時 四日十四時	四九	四六七
第二齡	自七月四日午後十二時 至七月八日午後四時 三日十六時	三三	九三六
第三齡	自七月八日午後四時 至七月十二日午後二時 三日廿二時	三一	二、五二〇
第四齡	自七月十二日午後二時 至七月十七日正午 四日廿二時	三五	七、三六四
第五齡	自七月十七日正午 至七月二十二日正午 五日	三五	二四、九三八
合計	廿二日二時	一七九	三六、二二五

備考 用桑ハ島ノ內及晉桑トス

右ニ對スル收繭成績左ノ如シ(對蟻量一匁)

上繭	下繭	同切繭	計
三九五 合	六 合	六二 合	三六三 合

上繭一升ノ重量ハ九十八匁其ノ顆數二百四十八ナリ

秋蠶飼育狀況

當場本年ノ秋蠶掃立ハ八月三日及四日ノ兩日ニシテ風穴種白龍ヲ飼育シ同月二十四日ヨリ二十六日ニ亙リ悉ク上簇ヲ了セリ此ノ期間ノ天候不良ナルコト略夏蠶期ト異ナラス或ハ蒸熱ニ惱ミ或ハ陰雨ニ苦ミ作業ノ敏捷ト周到ノ注意トヲ要セシコト多大ニシテ其ノ飼育ノ狀況ハ大體前述ノ夏蠶ト大差ナシトス故ニ繁ヲ避ケテ溫濕度ノ一表ヲ揭出シ以テ其ノ梗概ヲ知ルニ便セン

秋蠶期中溫度及濕度表

項目 / 齡別	室外 溫度 最高	室外 溫度 最低	室外 溫度 平均	室外 濕度 最高	室外 濕度 最低	室外 濕度 平均	室內 溫度 最高	室內 溫度 最低	室內 溫度 平均	室內 濕度 最高	室內 濕度 最低	室內 濕度 平均
第一齡	三四・〇	二一・三	二八・三	九四	六四	七九	三三・八	二三・九	二八・九	九〇	六二	七五
第二齡	三三・二	二一・三	二七・二	一〇〇	五八	八三	三一・七	二四・四	二八・三	九四	五八	七七
第三齡	三三・〇	二一・八	二七・八	九四	六一	八三	三一・一	二五・〇	二八・七	九〇	六二	七八
第四齡	三〇・三	一七・七	二三・八	一〇〇	七五	九四	二九・四	二一・七	二五・〇	九四	七二	八五
第五齡	二九・六	一八・八	二三・三	一〇〇	七二	九一	二七・八	二三・一	二五・〇	九四	七七	八六

此ノ表ニ依リ如何ニ氣候ノ不良ナリシカヲ推知スルヲ得ン(緒言氣候表中八月ノ部參照)尙八月四日掃立ニ屬スル分ノ各齡ノ經過ヲ示セハ左ノ如シ

各齡經過表

齡別	齡期	給桑(蟻量一匁ニ對シ) 回數	給桑(蟻量一匁ニ對シ) 量(匁)
第一齡	自八月四日午前九時 至八月八日午前七時 三日廿二時	三八	三二二
第二齡	自八月八日午前七時 至八月十一日正午 三日五時	三二	七八〇
第三齡	自八月十一日正午 至八月十四日午後六時 三日六時	二九	一、七四四
第四齡	自八月十四日午後六時 至八月二十日午前十時 五日十六時	四〇	七、一五五
第五齡	自八月二十日午前十時 至八月二十六日正午 六日二時	六三	三〇、一二五
合計	廿二日三時	二〇二	四〇、一一六

備考 用桑ハ夏蠶ニ同シ

右ニ對スル收繭成績左ノ如シ

上繭	下繭	同切繭	計
二七五合	一五合	六〇合	三五〇合

上繭一升ノ重量ハ九十二匁其ノ顆數二百四十五ナリトス

夏秋蠶飼育ノ程度

以上述ヘタル處ニ依リ夏秋蠶飼育ト氣候ノ關係トヲ知ルヲ得ヘク養蠶上ノ設備人夫ノ用意ト周到ナル注意トハ春蠶ニ於ケルヨリハ一層肝要ナルヲ見ル而シテ當支場ノ本年幸ニ前記ノ如キ好成績ヲ得タルハ全ク此等ノ注意完カリシ爲メナリトス故ニ當業者タルモノ濫リニ多量ノ掃立ヲナスカ如キハ愼マサルヘカラス思フニ朝鮮ニテハ春蠶期ニハ氣候概ネ乾燥シ蠶兒ノ飼育容易ナリト雖又稀ニハ本年ノ如ク稍困難ヲ感スル場合ナキニアラス況ンヤ夏秋蠶期ハ時恰モ雨期ニ屬シ其ノ經過ノ早晩及長短等ノ夏蠶又ハ秋蠶飼育ニ不利ヲ及ホスニ於テオヤ尤

モ本年ノ如ク夏秋蠶共ニ飼育困難ヲ感スルカ如キ場合ハ極メテ稀ナリトス要スルニ七八兩月ハ多少陰濕蒸熱ノ天候ヲ免レサルヲ以テ當業者ハ常ニ之レニ應スルノ計ヲナスコトヲ怠ルヘカラス

（宮原勸業模範場技師調査）

○秋柞蠶狀況

本秋ノ柞蠶狀況ハ九月十五日現在調査ニ依ルニ飼養戸數三百十四戸蠶種放養蛾數二百五十萬八千三百九十六蛾分ニシテ收繭ハ二千九十萬六千八百七十顆ノ豫想ナリ之ヲ昨年ノ秋柞蠶狀況ニ比較スレハ飼養戸數ニ於テ八百九十三戸收繭高ニ於テ二千五百一萬八千百二十二顆ノ減少ナリ即チ左表ノ如シ

地方	本年ノ秋柞蠶			前年ノ秋柞蠶		前年ニ比シ増減（△ハ減）	
	飼養戸數	放養蛾數	收繭豫想高（個）	飼養戸數	收繭高（個）	飼養戸數	收繭豫想高（個）
京畿道	一四	一〇,五五四	二一一,〇〇〇	七六	三七八,四七〇	△六二	△一六七,四七〇
忠清北道	五	四,五〇〇	四五,〇〇〇	五〇	一六二,二四〇	△四五	△一一七,二四〇
忠清南道	七	一,三六〇	一一九,九五〇	三二	二四四,二二〇	△二五	△一二四,二七〇
全羅北道	五七	五一,〇八二	一,五二二,五二〇	—	—	五七	一,五二二,五二〇
慶尚北道	一〇	一,五〇〇	三〇,〇〇〇	一七五	一,一二五,八七七	△一六五	△一,〇九五,八七七
慶尚南道	五七	七〇,七〇〇	四七,〇〇〇	—	—	五七	四七,〇〇〇
黄海道	四四	一八,七〇〇	一一八,〇〇〇	一六五	二,〇二六,六〇五	△一二一	△一,九〇八,六〇五
平安南道	—	—	—	六一	三三四,三〇〇	△六一	△三三四,三〇〇
平安北道	一一九	二,三四九,八〇〇	一八,七九八,四〇〇	二六八	三九,九〇六,一六〇	△一四九	△二一,一〇七,七六〇
江原道	一	三〇〇	一五,〇〇〇	三一八	一,一七六,六二〇	△三一七	△一,一六一,六二〇
咸鏡南道	—	—	—	六一	五五五,五〇〇	△六一	△五五五,五〇〇
咸鏡北道	—	—	—	一	五,〇〇〇	△一	△五,〇〇〇
總計	三一四	二,五〇八,三九六	二〇,九〇六,八七〇	一,二〇七	四五,九二四,九九二	△八九三	△二五,〇一八,一二二

而シテ飼養戸數一戸ニ對スル收繭高ハ六萬六千五百八十二顆ニシテ前年ニ比シ二萬八千五百三十四顆即七割五歩ノ増加トス

斯ノ如ク本秋ニ飼養者ノ減少セルハ昨年清國ニ於ケル動亂ノ餘波ヲ被リ柞蠶繭價格ノ低落ヲ來シ今尚市價回復ニ至ラス爲ニ當業者ハ飼養經濟ノ收支相償ハサルヲ以テ手控タルニ由ル

○京畿道ニ於ケル私有模範林

京畿道廳ニテハ管内住民ノ愛林思想ヲ涵養シ殖林事業ヲ普及セシメムコトヲ圖リ府尹郡守ヲシテ一般人民ノ模範ト爲スニ足ルヘキ森林所有者ヲ調査セシメシニ一千五百四十一名ヲ得タリ因テ復之カ選拔ヲ行ヒ褒賞ヲ授與シ且其ノ森林ヲ何府郡私有模範林ト稱セシメ之ヲ表彰セリ其ノ人員百十六名ニシテ一等賞三十七名二等賞八名三等賞七十一名ナリ而シテ此ノ模範林ノ全面積ハ一千八百九十町歩餘ニシテアカマツ林及ヒアカマツヲ主トスル森林最モ多ククヌギ林之ニ亞ケリ其ノ天然苗ヲ禁養セル面積ハ一千三百九十三町餘歩ニシテ植樹面積ハ百九十二町歩餘ナリ

京畿道ニ於ケル私有模範林林況別面積一覽表（四十五年二月調）

府郡別	アカマツ林又ハアカマツヲ主トスル林					クヌギ及雜木林					アカマツ、クヌギ以外ノ樹種
	植樹、播種又ハ天然苗禁養ノ區別					植樹、播種又ハ天然苗禁養ノ區別					
	天然苗禁養	植樹	播種	不明	計	天然苗禁養	植樹	播種	不明	計	
	町	町	町	町	町	町	町	町	町	町	
京城	一・〇	〇・二	—	—	一・二	—	—	—	—	—	
仁川	七・〇	二・五	—	—	九・五	—	—	—	—	—	
楊州	四〇五・五	一一・七	—	—	四一七・二	—	—	—	—	—	クリ
水原	一〇・〇	三四・〇	—	—	四四・〇	—	—	—	—	—	
廣州	三・〇	—	—	—	三・〇	〇・二	—	—	—	〇・二	ヤナギ　クリ　カシハ　ヒノキ
開城	—	二〇・七	—	—	二〇・七	—	—	—	—	—	
楊平	三六二・〇	一〇・八	—	—	三七二・八	—	一四・五	—	—	一四・五	
江華	一八・五	三・〇	—	—	二一・五	—	—	—	—	—	
驪州	三・〇	—	三・〇	—	六・〇	—	—	〇・七	—	〇・七	
長湍	〇・六	—	—	—	〇・六	五三・七	—	—	不明	五三・七	
南陽	三・五	一・一	—	—	四・六	—	—	—	—	—	
龍仁	六三・二	五・〇	—	—	六八・二	一・七	四・三	—	—	六・〇	

利川	九・六	—	—	—	九・六	—	—	—	—	—	
豐德	六・七	—	—	—	六・七	〇・五	—	—	—	〇・五	
抱川	三・九	〇・四	—	—	四・三	—	—	—	—	—	ナラ
竹山	四五・二	三・二	—	—	四八・四	—	—	—	—	—	ヤマハンノキ
安山	一〇〇・〇	六・五	—	—	一〇六・五	一・〇	—	—	—	一〇	
寧	一・〇	—	九・七	—	一〇・七	—	—	—	—	—	
安城	一二・九	—	—	不明	一二・九	—	—	—	—	—	
高陽	〇・三	一・一	一一・五	不明	一二・九	一八・八	一一一・〇	—	—	一二九・八	
加平	—	—	—	—	—	—	—	—	不明	—	ピヤクシン
通津	—	五四・二	—	—	五四・二	—	—	—	—	—	
富平	〇・二	八・七	—	—	八・九	—	—	—	—	—	
金浦	—	九・五	—	—	九・五	—	—	—	—	—	
永平	六九・〇	—	—	—	六九・〇	—	—	—	—	—	ピヤクシン
麻田	二四・七	—	—	—	二四・七	—	—	—	—	—	
交河	二〇・〇	四・六	—	—	二四・六	—	—	—	—	—	
陰竹	—	〇・二	—	—	〇・二	〇・二	—	—	—	〇・二	
振威	—	四・六	—	—	四・六	—	—	—	—	—	
始興	一七・九	一・一	—	—	一九・〇	—	—	—	—	—	
積城	一四三・五	—	—	—	一四三・五	—	—	—	—	—	
果川	三・七	—	—	—	三・七	—	—	—	—	—	クリ
漣川	一・五	〇・四	—	—	一・九	—	—	—	—	—	
陽智	五二・九	—	—	—	五二・九	—	—	—	—	—	
陽城	—	六・五	—	—	六・五	一六・七	—	—	—	一六・七	
陽川	二・八	—	—	—	二・八	—	—	—	—	—	
喬桐	—	二・一	二・六	—	四・七	—	—	—	—	—	
計	一,三九三・一	一九二・一	二六・八	不明	一,六一二・〇	九二・八	一二九・八	〇・七	不明	二二三・三	

○朝鮮ニ於ケル林野ノ副產物

朝鮮ノ林野副產物ニ關シテハ從來統計的調査ヲ爲セシコトナカリシカ今回各道ノ報告ヲ綜合シテ其ノ概要ヲ窺知スルコトヲ得タレハ茲ニ之ヲ揭クルコトトセリ

朝鮮ノ林野副產物ハ之ヲ概別シテ燃料、食料、藥料、工藝材料、飼料、獸皮、土石ノ七種トスヘシ而シテ燃料ノ中枝葉及柴草ハ專ラ溫突ニ用フルモノニシテ其ノ消費年額三十一億餘貫ニ達シ副產物ノ首位ヲ占ム木炭ハ近年內地人ノ移住ト共ニ其ノ消費額著シク增多シ今ヤ其ノ年產額四百八十一萬貫ニ達セリ

食用ニ供スヘキ副產物トシテハ栗、菌蕈、干蕨、桔梗、櫟ノ實、テウセンゴエフマツノ實、葛粉、胡桃、銀杏、山葡萄等アリ栗ハ朝鮮ニ於テ著シキ產物ノ一ニシテ特ニ平安南道ニ產スル咸從栗ハ最優品ト稱セラル、菌蕈ハ濟州島ノ椎茸、江原道、忠淸北道ノ松茸等其ノ名顯ハル、干蕨、桔梗、櫟ノ實、テウセンゴエフマツノ實、葛粉等ハ鮮人日常ノ料理用、副食物又ハ間食用トナルモノニシテ其ノ消費額多ク之等食料ヲ價格ニスルトキハ一年約十五萬圓ノ高價ニ達スルヲ見ル

工藝材料ノ主ナルモノハ樹皮、葛蔓、漆液、五倍子ニシテ樹皮ハ主トシテシラカンバ、アベマキ、シナノキ、クルミ、ハギ、カウゾ、等ニシテ草鞋、縄、漁網用浮標、製紙、纖蓆、屋根葺等ノ原料トナリ葛蔓ハ縄及織布用原料ニ供セラレ又漆液ハ塗料ニ五倍子ハ染料トシテ多少ノ產額アリ其ノ年產見込價格約六萬圓ニ達ス藥料ハ山蔘、桔梗ノ外三十種ニ上リ其ノ種類皆草根、樹皮ニ過キスト雖進步セル醫術ナキ內陸地方ニテハ今猶之ヲ以テ唯一ノ醫藥トナスモノノ如ク其ノ年產額約二萬八千貫此ノ價格約一萬三千圓ヲ算セリ

此他飼料、獸皮、土石等ノ產額少カラサルヘキモ調査不完全ナルカ爲ニ明記スルコト能ハサルヲ遺憾トス

之ヲ要スルニ前記副產物中燃料ハ現在朝鮮ニ於ケル林野副產物中隨一ニ位スルモノニシテ猶將來朝鮮ノ開發ト共ニ益其ノ需要ヲ增加スヘク殊ニ木炭ニ就テハ最近ポプラ、ニセアカシヤノ製炭試驗ニ著手セムトセルアリ之カ成功ノ曉ニハ燃料界ニ一大革新ヲ見ルニ至ルモ計ルヘカラス又食料副產物ノ中栗ハ重要ナルモノノ一ニシテ其ノ用途廣ク收實林ノ計畫ハ森林家ノ一大副業トシテ最モ價値アルモノナラム

今副產物ノ主要ナルモノニ付其ノ用途、產地、產額、價額ヲ略記スレハ左ノ如シ

一　柴草（雜草類ヲ主トシ僅少ノ小柴ヲ混ス）

柴草ハ各道到ルトコロ之ヲ產ス專ラ溫突燃料ニ使用セラレ又肥料ニ供ス生產見込年額ハ約十一億四千萬貫ニシテ此價

額約七百九十八萬圓也

二　枝葉（枝、葉附枝、落葉、稚樹、灌木等ノ類）

枝葉モ亦各道之ヲ産セサル地方ナク主トシテ温突燃料ニ消費セラル其ノ主ナル樹種ハアカマツニシテクヌギ、ナラ、カシハ類之ニ次ク生産見込年額ハ約二十億貫ニシテ此價額約二千萬圓ニ達ス

三　木炭

木炭ハ各道之ヲ製造スルモ黄海道及全羅北道最モ多ク忠清南道、江原道之ニ次クカ如シ生産見込年額約四百七十六萬貫此價額約五十二萬圓ナリ

四　栗實

栗ハ咸鏡北道ヲ除クノ外各道之ヲ産シ就中平安南道最モ多ク年平均二千五百石ヲ産シ平安北道、黄海道之ニ次ク生産見込年額ハ約八千石此價額約八萬六千圓ヲ下ラス

五　樹皮

樹皮ハ各道概ネ之ヲ産スルモ就中黄海道、平安南北道及咸鏡南北道ノ森林地方ニ多産シ其ノ用途頗廣シ生産見込年額約十四萬貫此價額約四萬二千圓ナリ今樹皮ノ種類及用途ヲ擧クレハ左ノ如シ

（一）シラカンバノ皮　咸鏡北道ノ田舍ニテハ鉄クヘカラサル屋根葺用材料ニシテ又棺ノ代用、漁網ノ浮標、附木等ニ用ヒラル

（二）アベマキノ皮　漁網ノ浮標トシテ貴重セラレ又蜜蜂飼養箱ノ雨覆ニ用ヒラル

（三）シナノキ（日本内地産ト種ヲ異ニス）ノ皮　簪及草鞋、繩等ヲ作ル

（四）コレヤクルミノ皮　草鞋、繩等ヲ作リ又行李、木箱類ノ繼手（ツキ）（内地ニ於ケルサクラノ皮ト同樣ニ用フ）

（五）ニガキノ皮　草鞋、繩等ヲ作ル

（六）カシ、カシハ、ナラ類ノ皮鞣皮用及漁網染料ニ用フ

（七）キハダノ皮　主トシテ染料及漁網ノ浮標ニ用ヒ又藥料ニ供ス

（八）オヒョウニレノ皮　草鞋、繩、編籠等ノ材料及製紙用糊ノ製造ニ供ス

（九）ハギノ皮、クズノ皮　草鞋又ハ繩ヲ作ル

（一〇）野生カウゾノ皮　製紙原料トナス

（一一）テウセンゴエフマツノ皮及アカマツノ皮　幼枝ノ眞皮ヲ救饑食物ニ供ス

六　山蔘（ヤマニンジン）

天然生人蔘ノ謂ニシテ現今平安北道ニ最多ク産シ咸鏡南北道平安南道及江原道之ニ次キ其ノ他ノ道ニアリテハ野生極メテ少シ前記五道ノ生産見込年額約二十六貫ニシテ此價額約二萬六千圓ナリ其ノ品質ニ差アルモ山蔘ハ古來最貴重セラレ價高シ

七 菌蕈

菌蕈ハ各道共ニ產シ就中慶尙北道及江原道ノ產額最多シ松茸、椎茸、石茸、栮茸等ニシテ松茸ハ江原、忠北、慶南、咸南、忠南ノ各道ニ多ク椎茸ハ全南、慶南及江原道ニ產シ人工培養漸ク行ハルルニ至レリ生產見込年額約一萬四千貫此價額約一萬七千圓ニ及フ

八 葛蔓

咸鏡南道ニテハ蔓ノ儘乾シ明太魚ノ結束用ニ供シ其ノ量四萬貫ニ達ス其ノ他ノ道ニ於テモ主トシテ結束用トシテ多少ノ需要アリ生產見込年額約六萬貫此價額約一萬三千圓ナリ

九 干蕨

各道共ニ之ヲ產シ專ラ食用ニ供ス其ノ生產見込年額約六萬二千貫此價額約一萬七千圓ナリ

一〇 藥料(山蔘及桔梗ヲ除ク)

所謂草根木皮ニシテ各道共ニ產シ現今尙內陸地方ニ用ヒラレ其ノ生產見込年額約二萬八千貫此價額一萬三千圓ナリ今其ノ種類ヲ列記スレハ次ノ如シ

黃蘆(ヤハラグサ)、沙蔘(ツリガネニンジン)、威靈仙(クカイサウ)、山茱萸(サンシユユ)、防風(ハマスカ)、蒼朮(オケラ)、天南星(オホホソミ)、丁公子(?)、五味子(サネカヅラ)、山楂(サンザシ)、松脂、柴胡(ノセリ)、五加皮(ウコギ)、白朮(オケラ)、地楡草(?)、蘇葉(?)、益母草(ヤクモサウ)、芍藥(シヤクヤク)、九折草(?)、何首烏(?)、獨活(ウド)、升麻(トリノアシクサ)、忍冬(スイカツラ)、茯苓(ブクリヤウ)、當歸(ヤマゼリ)、葛根、枸杞子(クコノ實)、枳實(カラタチノ實)、黃芩(?)、山椒皮(サンシヨノ皮)、細辛(?)、黃連

一一 桔梗ノ根

各道概ネ之ヲ產ス專ラ食用ニ供シ特ニ凶年ニ於テ其ノ需要多シ又藥料トナス生產見込年額約四萬貫此價額約一萬二千圓ナリ

一二 クヌギノ實

各道概ネ之ヲ產シ食用トナス生產見込年額約二千一百石此價額約六千圓ナリ

一三 テウセンゴエフマツノ實

忠南、全北、全南ヲ除クノ外各道概ネ之ヲ產ス朝鮮人ハ好ンテ之ヲ灼食シ又料理、菓子等ニ使用ス生產見込年額約三百三十石、此價額約二千六百圓ナリ

一四 雜

前各項副產物ノ外葛粉、胡桃、漆、銀杏、五倍子、山葡萄等ヲ產シ生產見込年額約三萬ヲ下ラサルヘシ其ノ調査濟ノモノヲ擧クレハ左ノ如シ

名稱	調査濟道名	同上產額	同上價額	用途
葛粉	慶北、江原	一、九二六貫	二、二三〇圓	食用
胡桃	忠北、全北、慶北、黃海	二七二石	二、三三八	同
漆液	忠北、黃海	一五〇貫	八八二	塗料
銀杏	全北、慶北、黃海	五九石	九五九	食料
五倍子	忠北、全南、江原、黃海、平南	二、〇四一貫	四九八	染料
山葡萄	江原、黃海、平北	四、三〇〇貫	三三七	食料
計			七、二二二圓	

○畜牛分布狀況

明治四十五年一月

平安北道廳調査

府郡名	農家戸數	畜牛飼養戸數	畜牛頭數 牝	畜牛頭數 牡	畜牛頭數 計	畜牛一頭飼養戸數	畜牛二頭飼養戸數	畜牛三頭飼養戸數	畜牛四頭飼養戸數
義州	一五、四〇〇	六、八八三	五、六三一	一、六二九	七、二六〇	六、五一九	三五四	七	三
龍川	一〇、七三〇	二、九四一	二、五二八	四一三	二、九四一	二、九三〇	一一	—	—
鐵山	九、〇二七	二、三七三	二、一九四	一九七	二、三九一	二、三五一	二一	—	—
宣川	九、三八七	三、六四七	三、九七三	二二七	四、二〇〇	三、五一五	三一四	一四	二
郭山	四、七九五	一、八七一	一、九三五	一八二	二、一一六	一、六三六	二二六	七	二
定州	一一、三六九	四、二五六	四、〇四八	三四二	四、一一三	一三二	一	—	—
嘉山	四、七五二	二、一五六	二、二四九	一三五	二、三八四	一、九四一	二〇八	七	—
博川	四、一一七	一、三七一	一、三六二	一三	一、三七五	一、三六七	四	—	—
寧邊	一七、六三八	九、九四八	一〇、三三一	一、六八三	一二、〇一四	八、〇二二	一、五五二	二〇二	二八
熙川	八、二二三	六、八四五	六、〇〇六	三、九三九	九、九四五	四、二九八	二、〇六〇	四二九	五八
雲山	五、五九〇	三、〇〇一	二、七六二	四九一	三、二五三	二、七九五	一七九	二八	四
泰川	七、二一一	三、五〇一	三、七〇五	一五九	三、八六四	三、二四九	二九二	一〇	—
龜城	八、〇一一	五、三九六	六、六八五	七二八	七、四一三	三、六三六	一、五三四	一九五	三一
朔州	四、四七一	三、八三八	五、二七三	四三九	五、七一二	二、二九八	一、二五七	二三三	四一
昌城	五、三七六	三、六六九	四、四七八	五四〇	五、〇一八	二、四九八	一、〇一五	一三八	一八
碧潼	五、〇四二	四、三八三	五、一八三	二、〇六一	七、二四四	二、三二五	一、四七五	四八一	一〇二
楚山	七、四四〇	五、八六〇	六、〇四〇	一、九四一	七、九八一	四、〇七〇	一、五〇一	二五〇	三九
渭原	四、〇一〇	三、二一三	三、一一二	一、三二三	四、四三五	二、一七〇	八七七	一三六	二三
江界	一三、五〇一	一〇、三七八	九、八五六	六、〇一一	一五、八六七	六、〇四九	三、三四七	八三七	一五三
慈城	三、九一〇	二、六六八	二、四五二	一、一四九	三、〇六一	二、九六九	六一九	一一	一八
厚昌	二、一〇〇	一、五七八	一、七八一	九二三	二、七〇四	七四四	五九一	一九九	四三
計	一六二、〇九九	八九、七七六	九一、五八四	二四、五二四	一一六、一〇八	六四、五一四	一七、四三五	三、二九三	五六五

備考　熙川郡ニ於ケル畜牛四頭飼養戸數五八ノ中ニハ五頭飼養ノモノ四戸ヲ含ム

商工業

○地方工業傳習所一覽

大正元年八月調

名稱	位置	事業ノ種類	經營者	傳習生定員	設立年月（明治年月）	摘要
京城恩賜金授產場機業部	京畿道京城府	機業	京城府	二〇	四五、―	恩賜授產金經營
水原機織所	同 水原郡北部面	同	李聖儀	三〇	四二、七	地方費補助チナシタルコトアリ
交河機業傳習所	同 交河郡	同	交河郡守夫人等	一八	四三、二	地方費補助 國費補助チナシタルコトアリ
竹山同	同 竹山郡	同		―	四五、―	地方費補助
忠淸北道機業傳習所	忠淸北道淸州郡淸州邑內	同	忠淸北道	三〇	四五、―	恩賜授產金經營
潭陽工業傳習所	全羅南道潭陽郡	染織竹細工		二七	四二、―	地方費補助 國費補助チナシタルコトアリ
光州機業傳習所	同 光州郡	機業	李應逸	一五	四二、―	同上
羅州染織機業傳習所	同 羅州郡	染織	上埜安太郎	三〇	四四、二	同上
全南繩叺製造販賣組合	同 羅州郡榮山浦	繩叺製造	全南繩叺製造販賣組合	―	四五、三	地方費補助 國費補助チナシタルコトアリ
同福郡製麻傳習所	同 同福郡	製麻	全羅南道	一八	四四、―	地方費經營
谷城郡同	同 谷城郡	同	全羅南道谷城郡	二〇	四四、―	恩賜授產金經營
求禮郡同	同 求禮郡	同	同 求禮郡	二〇	四四、―	同上
咸平郡繩叺莚傳習所	同 咸平郡	繩叺莚製造	同 咸平郡	―	四四、―	同上
長城製紙傳習所	同 長城郡西三面	製紙	金肯鉉	五	四三、九	地方費補助
大邱府機業傳習所	慶尙北道大邱府	機業	慶尙北道大邱府	二〇	四四、九	恩賜授產金
新寧郡同	同 新寧郡	同	同 新寧郡	一〇	四四、九	同
漆谷郡同	同 漆谷郡	同	同 漆谷郡	一五	四四、九	同
軍威郡同	同 軍威郡	同	同 軍威郡	一二	四四、九	同
義興郡同	同 義興郡	同	同 義興郡	一五	四四、九	同
義城郡同	同 義城郡	同	同 義城郡	二〇	四四、九	同
比安郡同	同 比安郡	同	同 比安郡	二〇	四四、九	同

安東郡同	同	安東郡	同	同	安東郡	二〇	四四、	九	同
豐基郡同	同	豐基郡	同	同	豐基郡	一三	四四、	九	同
順興郡同	同	順興郡	同	同	順興郡	一三	四四	九	同
清道郡同	同	清道郡	同	同	清道郡	二〇	四四、	九	同
玄風郡同	同	玄風郡	同	同	玄風郡	一〇	四四、	九	同
星州郡同	同	星州郡	同	同	星州郡	二五	四四、	九	同
仁同郡同	同	仁同郡	同	同	仁同郡	一〇	四四、	九	同
智禮郡同	同	智禮郡	同	同	智禮郡	一〇	四四、	九	恩賜授產金經營
善山郡同	同	善山郡	同	同	善山郡	二〇	四四、	九	同
尙州郡同	同	尙州郡	同	同	尙州郡	二〇	四四、	九	同
龍宮郡同	同	龍宮郡	同	同	龍宮郡	一二	四四、	九	同
醴泉郡同	同	醴泉郡	同	同	醴泉郡	一五	四四、	九	同
慶州郡製紙傳習所	同	慶州郡	製紙	同	慶州郡	一五	四四、	一〇	同
長鬐郡同	同	長鬐郡	同	同	長鬐郡	一四	四四、	一〇	同
清河郡同	同	清河郡	同	同	清河郡	一〇	四四、	一〇	同
盈德郡同	同	盈德郡	同	同	盈德郡	一〇	四四、	一〇	同
寧海郡同	同	寧海郡	同	同	寧海郡	一〇	四四、	一〇	同
興海郡同	同	興海郡	同	同	興海郡	一五	四四、	一〇	同
英陽郡同	同	英陽郡	同	同	英陽郡	一〇	四四、	九	同
眞寶郡同	同	眞寶郡	同	同	眞寶郡	一〇	四四、	一〇	同
高靈郡製莚傳習所	同	高靈郡	製莚	同	高靈郡	二五	四四、	九	同
慶山郡同	同	慶山郡	同	同	慶山郡	一五	四四、	九	同
達城染織傳習所	同	大邱府南山洞	機業	趙東濟外二名		三〇	四三、	四	地方費補助
大邱實業傳習所	同	大邱府	同	古莊幹實		三九	四一、	一	地方費補助 國費補助ヲナシタルコトアリ
尙州機業傳習所	同	尙州郡	同	井上賢吉外二名		一	四三、	五	現ニ存立シ居ルヤ不明
韓國製莚合資會社	同	大邱府	製莚	韓國製莚合資會社		七〇	四三、	三	國費補助ヲ與ヘタルコトアリ
大邱地方金融組合	同	大邱府	繩叺製造	大邱地方金融組合		一	四四、	一	地方費補助
尙州地方金融組合	同	尙州郡	製莚	尙州地方金融組合		一	四四、	一	同
永川地方金融組合	同	永川郡	同	永川地方金融組合		一	四四、	一	同
馬山府機業傳習所	慶尙南道	馬山府	機業	慶尙南道馬山府		三〇	四四、	七	恩賜授產金經營
三浪津同	同	密陽郡三浪津	同	今井秀之助		一七	四四、	一	地方費補助

名稱	位置	事業ノ種類	經營者	傳習生定員	設立年月（明治年月）	摘要
陜川產業傳習所	慶尙南道陜川郡	機業製紙	李民偉	（機業）一五（製紙）一三	四二、八	地方費補助
東萊機業傳習所	同　釜山府東萊	機業	中條平藏	四二	四三、—	恩賜授產金補助
東萊染織機業傳習所	同	同	鄭斗煥	二三	四三、五	同
三嘉製紙傳習所	同　三嘉郡	製紙	朝田芳平	一三	四二、一〇	地方費補助
晋州繩叺製造傳習所	同　晋州郡城内面	繩叺、蓆製造	朴在華	六〇	四四、六	同
靈山同	同　靈山郡	同	松下貞次郎	六〇	四四、四	同
昌寧機業傳習所	同　昌寧郡邑内面	機業	河在溶	一七	四四、三	
龍南郡工業傳習所	同　龍南郡統營	木工、金工、及漆工	慶尙南道龍南郡	一〇	四四、六	地方費經營
密陽叺製造傳習所	同　密陽郡	叺製造	松下定次郎	—	四二、二	國費補助ヲ與ヘタルコトアリ
春川機業傳習所	江原道春川郡	機業	姜錫圭	一〇	四四、—	地方費補助
鐵原同	同　鐵原郡	同	私人經營	一〇	四五、—	同上
製麻傳習所	同　淮陽郡	製麻	江原道淮陽郡	—	四五、—	恩賜授產金經營
平安南道女子養蠶機業傳習所	平安南道平壤府	機業	平安南道	一五	四四、六	地方費經營
德川養蠶機業傳習所	同　德川郡	同	平安南道德川郡	九	四四、四	恩賜授產金經營
龍岡同	同　龍岡郡	同	同　龍岡郡	一五	四四、一〇	同上
愛國婦人會鎭南浦委員部機業傳習所	同　鎭南浦府	同	受國婦人會鎭南浦委員部	三〇	四四、一〇	國費補助ヲ與ヘタルコトアリ
朝鮮農會鎭南浦支會養蠶機業傳習所	同	同	朝鮮農會鎭南浦支會	—	四五、—	地方費補助
鎭南浦陶磁器製造所	同	窯業	富田儀作	—	四五、三	同上
平安北道產業講習所	平安北道義州郡義州	機業	平安北道	—	四四、—	地方費經營

區別		機業	製紙	繩叺蓆製造	窯業	製麻	金工、木工、及漆工	計
計	所數	四四	一〇	二	一	四	一	七一
	傳習生數	七五八（二箇所ハ傳習生未詳）	一二五	一七〇（六箇所ハ傳習生未詳）	未詳	五八（一箇所未詳）	一〇	一、一二一（九箇所未詳）

○織物生產高（慶尙北道）

明治四十四年

明治四十四年中慶尙北道ニ於ケル織物生產高左ノ如シ

府郡名	木綿 數量	木綿 價額	絹布 數量	絹布 價額	麻布 數量	麻布 價額	合計 數量	合計 價額	織機數 在來機	織機數 改良機
	疋	円	疋	円	疋	円	疋	円	臺	臺
大邱	一一,六六〇	一八,六五九	二三七	二,八四四	二一六	三四八	一二,〇一三	二一,八五一	二,〇八二	三〇
河陽	一,五一二	二,〇八三	—	—	—	—	一,五一二	二,〇八三	八二	—
新寧	三,六七〇	六,三五七	—	—	四,八〇二	八,七四一	八,四七二	一五,〇九八	一,〇〇二	—
永川	二,七二〇	六,七八一	—	—	三,一一一	三,一一一	五,八三一	九,八九二	一,五九六	—
慶州	七,五七二	一〇,七二四	一	二四	九,一八九	一〇,三一六	一六,七七二	二一,〇六四	二,四三二	三
長鬐	七四五	一,六三六	—	—	一,一四八	二,九六三	一,八九三	四,五九九	六三一	—
延日	二一二	二五五	—	—	八七〇	一,三九一	一,〇八二	一,六四六	二四八	—
興海	三二二	五一五	—	—	一一八	二九五	四四〇	八一〇	一三五	五
清河	四七〇	八四六	—	—	一,二一〇	二,四二〇	一,六八〇	三,二六六	三七七	—
盈德	六〇〇	一,二三二	—	—	一,二〇六	二,四一三	一,八〇六	三,六四四	七七五	—
寧海	一〇三	一八九	二二	九四	四三四	六六一	五五九	九四四	一三〇	—
漆谷	六,〇八七	五,六七四	—	—	八八一	七,六四六	六,九六八	一三,三二〇	八六四	—
軍威	二,一四八	三,六八〇	—	—	八四〇	一,八〇〇	二,九八八	五,四八〇	八六九	—
義興	八,五〇〇	一六,九七五	二〇	一〇〇	四〇〇	九,一九二	八,九二〇	二六,二六七	一,一六〇	—
義城	一〇,四八四	二一,六六三	四九五	二,八九二	四,二一二	九,七六二	一五,一九一	三四,三一七	二,九六〇	—
比安	四〇,〇〇〇	六五,五〇〇	二一〇	一,〇五六	二,一三五	六,三三四	四二,三四五	七二,八八〇	二,一九二	—
安東	一〇,〇〇〇	一八,七〇〇	二,〇〇〇	一〇,一五〇	一五,五〇〇	六八,六五〇	二七,五〇〇	九七,五〇〇	三,三六一	三
榮川	二,七一八	四,五六一	一,四五四	六,三一四	一,三五六	三,八一一	五,五二八	一四,六八六	一,二三七	二
豐基	一,四一一	一,九八六	七一八	二,一三〇	五二〇	一,〇五一	二,六四九	五,一六七	六九五	—
順興	九八六	一,五〇四	七三四	三,五五八	五九九	七〇〇	二,三一九	五,七六二	五四一	—
奉化	一,五五三	三,一〇六	七六五	四,二九〇	二,四六六	七,三〇六	四,七八四	一四,七〇二	一,二五六	—
醴安	九三四	一,三三三	四一〇	一,七四二	一,〇六六	一,七一三	二,四一〇	四,七七八	三七一	—
英陽	四七六	八八二	一三一	五一〇	二,一八一	二,二九五	二,七八八	三,六八七	六八八	—
眞寶	二,〇一〇	四,七九七	二〇〇	八一四	二,九三六	八,四九六	五,一四六	一四,一〇七	四五八	—
青松	二,六六〇	四,八五六	一九四	七〇六	五,一五〇	一〇,三〇二	八,〇〇四	一五,八六四	一,三七六	—
慶山	一,六九七	三,三九四	—	—	二七五	二七五	一,九七二	三,六六九	六五四	—
慈仁	二,二四四	三,九七五	—	—	一,三一三	一,四六七	三,五五七	五,四四二	八〇〇	—
清道	八,七〇九	八,六三八	—	—	三,六一八	五,三三四	一二,三二七	一三,九六二	二,一九六	—
玄風	二,九七四	四,一六四	二八	一六八	一,七一六	二,二三〇	四,七一八	六,五六二	九八五	—

府郡名	木綿 數量（疋）	木綿 價格（円）	絹布 數量（疋）	絹布 價格（円）	麻布 數量（疋）	麻布 價格（円）	合計 數量（疋）	合計 價格（円）	織機數 在來機（臺）	織機數 改良機（臺）
高靈	四,九七二	七,七八四	—	—	五,四九九	八,八九八	一〇,四七一	一六,六八二	一,四五九	—
仁同	三,六四七	五,六七九	—	—	四七四	四〇〇	四,一二一	六,〇七九	八九四	—
金山	四,三八六	五,八五五	二一	一〇五	一,三八九	一,七七二	五,七九六	七,七三二	一,四四六	—
星州	一〇,八六八	一三,〇四二	二九	一四五	八,二五四	九,〇七九	一九,一五一	二二,二六六	二,一二九	—
知禮	二〇五	二四九	—	—	三,三三〇	二,七一九	三,五三五	二,九六八	四一四	—
開寧	一九,三二六	二六,三九六	七九	六九九	三,〇〇一	三,九二〇	二二,四〇六	三一,〇一五	二,三九七	—
善山	二二,二五六	三五,一九八	二四五	一,一八七	四,八一〇	八,一一〇	二七,三一一	四四,四九五	三,六四八	—
尙州	六,一六六	八,五八一	一,六〇七	六,二四〇	五八五	八八一	八,三五八	一五,七〇二	一,四七七	二五
成昌	二,三六五	三,六四二	五,三三四	二三,九三四	一,一九九	二,七〇三	八,八八八	二九,二七九	一,四一二	一〇
龍宮	四,七一〇	九,七〇〇	—	—	一,八八〇	三,九〇八	六,五九〇	一三,六〇八	一,〇七七	—
醴泉	六,五〇六	六,二二六	一,四七二	一三,〇一〇	一,四六一	三,八七六	九,四三九	二三,一一二	二,三五五	—
聞慶	五,七九九	八,八五九	二,七〇三	五,九七一	二,六八七	四,二五一	一一,一八九	一九,〇八一	二,九一九	—
合計	二二六,三八三	三五五,八六六	一九,一〇九	八七,六八三	一〇三,九三七	二三一,五一九	三四九,四二九	六七五,〇六八	五三,七八〇	九八

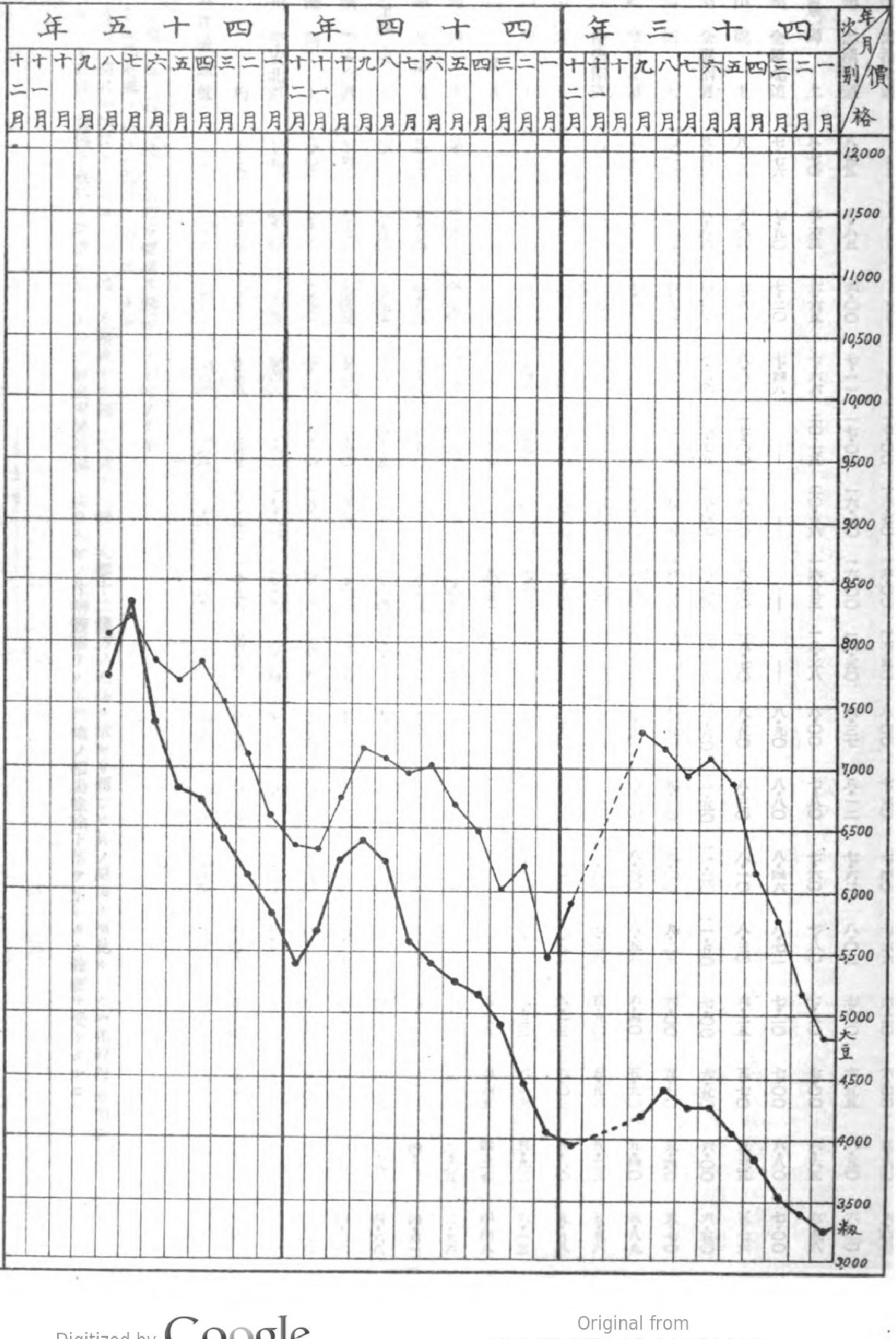
右生產高ヲ前年ニ比スルニ產額ニ於テ木綿九萬六千九百七十二疋、麻三千五十三疋、絹二千二百六十八疋、合計十二萬二千二百九十三疋ヲ減シタルニ拘ハラス價格ニ於テ金六萬九千百九十四圓ヲ增加セリ但シ產額ノ減少ハ前年ノ調査不確實ナル點アリシニ依ル

〇穀物價格表

大正元年八月分

府郡廳名	道名	籾 上（円）	籾 中（円）	籾 下（円）	籾 平均（円）	玄米 上（円）	玄米 中（円）	玄米 下（円）	玄米 平均（円）	大豆 上（円）	大豆 中（円）	大豆 下（円）	大豆 平均（円）	大麥 上（円）	大麥 中（円）	大麥 下（円）	大麥 平均（円）
京城	京畿道	八·〇〇	七·四五	七·〇五	七·五〇	一七·七五	一五·七二	一四·五五	一六·〇〇	八·〇〇	七·六〇	七·四〇	七·六六	五·六五	五·一五	四·五〇	五·一〇
仁川	同上	八·六〇	八·一五	七·四五	八·〇六	一七·〇〇	一六·四〇	一五·〇〇	一六·一三	八·四〇	八·三〇	七·九〇	八·二〇	四·五〇	四·三〇	四·一〇	四·三〇

明治四十三年以降穀價(籾叺)高低表



備考 本表中點線ハ穀價ノ調査ヲ為サザリシ期間トシ高低ハ毎月五日十五日二十五日現在ノ朝鮮全土主要地ニ於ケル平均價格ニ依レリ

府郡名	木綿 數量(疋)	木綿 價格(円)	絹布 數量(疋)	絹布 價格(円)	麻布 數量(疋)	麻布 價格(円)	合計 數量(疋)	合計 價格(円)	織機數 在來機(臺)	織機數 改良機(臺)
高靈	四、九七二	七、七八四	—	—	五、四九九	八、八九八	一〇、四七一	一六、六八二	一、四五九	—
仁同	三、六四七	五、六七九	—	—	四七四	四〇〇	四、一二一	六、〇七九	八九四	—
金山	四、三八六	五、八五五	二	一〇五	一、三八九	一、七七二	五、七九六	七、七三二	一、四四六	—
星州	一〇、八六八	一三、〇四二	二九	一四五	八、二五四	九、〇七九	一九、一五一	二二、二六六	二、一二九	—
知禮	二〇五	二四九	—	—	三、三三〇	二、七一九	三、五三五	二、九六八	四一四	—
開寧	一九、三二六	二六、三九六	七九	六九九	三、〇〇一	三、九二〇	二二、四〇六	三一、〇一五	二、三九七	—
善山	二二、二五六	三五、一九八	二四五	一、一八七	四、八一〇	八、一一〇	二七、三一一	四四、四九五	三、六四八	—
尙州	六、一六六	八、五八一	一、六〇七	六、二四〇	五八五	八八一	八、三五八	一五、七〇二	一、四七七	二五
成昌	二、三六五	三、六四二	五、三二四	二二、九三四	一、一九九	二、七〇三	八、八八八	二九、二七九	一、四一二	一〇
龍宮	四、七一〇	九、七〇〇	—	—	一、八八〇	三、九〇八	六、五九〇	一三、六〇八	一、〇七七	—
醴泉	六、五〇六	六、二二六	一、四七二	一三、〇一〇	一、四六一	三、八七六	九、四三九	二三、一一二	二、三五五	—
聞慶	五、七九九	八、八五九	二、七〇三	五、九七一	二、六八七	四、二五一	一一、一八九	一九、〇八一	二、九一九	—
合計	二三六、三八三	三五五、八六六	一九、一〇九	八七、六八三	一〇三、九三七	二三一、五一九	三四九、四二九	六七五、〇六八	五三、七八〇	九八

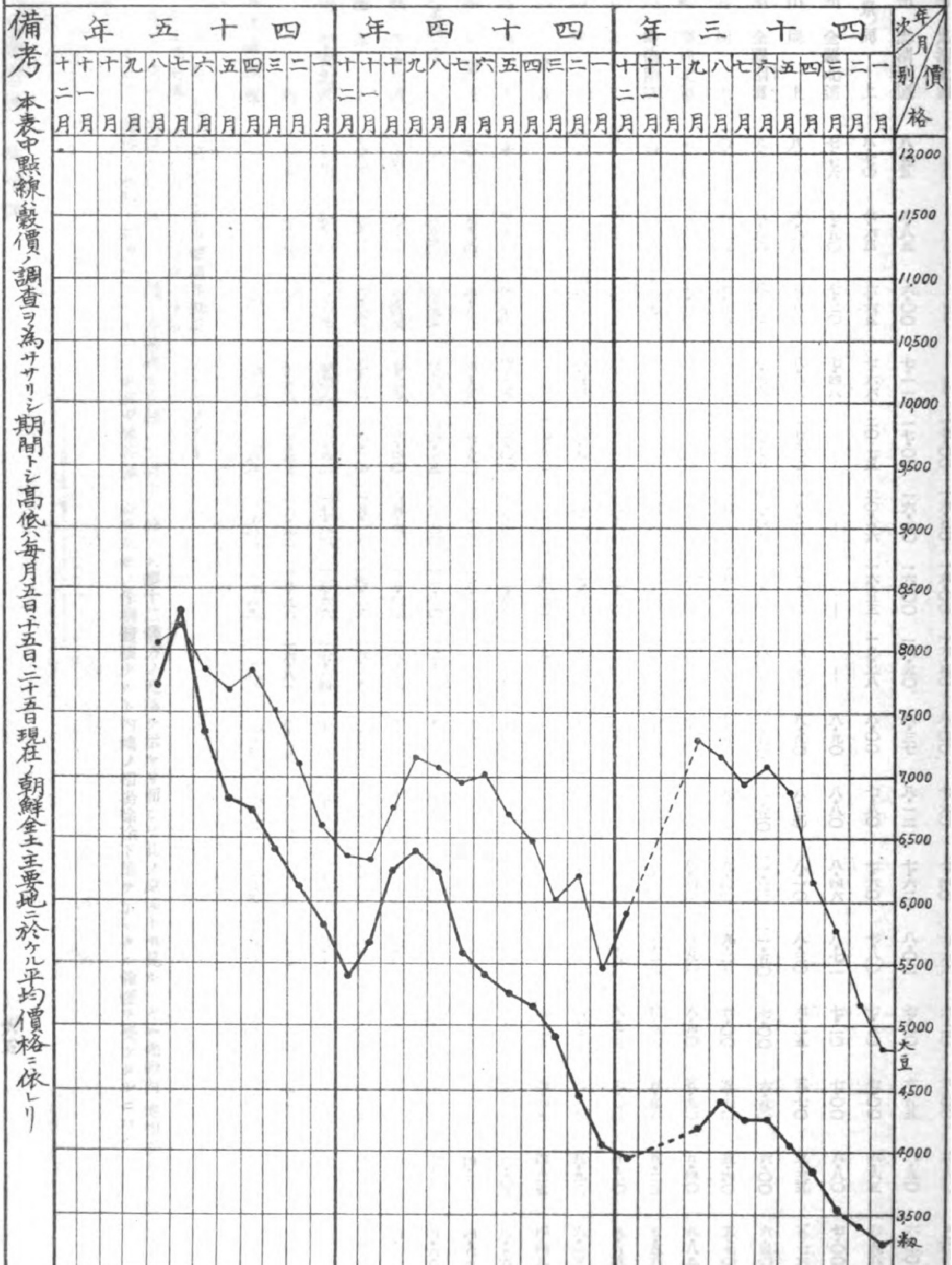
右生産高ヲ前年ニ比スルニ産額ニ於テ木綿九萬六千九百七十二疋、麻三千五十三疋、絹二千二百六十八疋、合計十二萬二千二百九十三疋ヲ減シタルニ拘ハラス價格ニ於テ金六萬九千百九十四圓ヲ増加セリ但シ産額ノ減少ハ前年ノ調査不確實ナル點アリシニ依ル

○穀物價格表

大正元年八月分

府郡廳名	道名	籾 上(円)	籾 中(円)	籾 下(円)	籾 平均(円)	玄米 上(円)	玄米 中(円)	玄米 下(円)	玄米 平均(円)	大豆 上(円)	大豆 中(円)	大豆 下(円)	大豆 平均(円)	大麥 上(円)	大麥 中(円)	大麥 下(円)	大麥 平均(円)
京城	京畿道	八•〇〇	七•四五	七•〇五	七•五〇	一七•七五	一五•七二	一四•五五	一六•〇〇	八•〇〇	七•六〇	七•四〇	七•六六	五•六五	五•一五	四•五〇	五•一〇
仁川	同上	八•六〇	八•一五	七•四五	八•〇六	一七•〇〇	一六•四〇	一五•〇〇	一六•一三	八•四〇	八•三〇	七•九〇	八•二〇	四•五〇	四•三〇	四•一〇	四•三〇

明治四十三年以降穀價(査 籾)高低表



清州	忠清北道	—	—	—	—	一七・〇〇	一六・五〇	一六・〇〇	一六・五〇	八・〇〇	七・六〇	七・四〇	七・六六	六・二〇	六・〇〇	五・八〇	六・〇〇
公州	忠清南道	八・五五	六・八五	六・〇〇	七・一一	一七・〇〇	一六・九〇	一六・〇〇	一六・五〇	八・三七	八・一二	七・六二	八・〇三	七・〇〇	六・五五	六・五〇	六・〇〇
恩津(江景)	同上	八・七〇	七・六三	六・六五	七・六六	二〇・七五	二〇・五六	一六・五三	一九・二八	八・〇〇	七・八〇	七・六〇	七・八〇	七・三〇	七・〇〇	六・六五	六・九八
全州	全羅北道	七・七六	七・五〇	七・二〇	七・四八	—	—	—	—	八・九〇	八・八〇	八・四六	八・七二	七・二〇	七・〇〇	六・八〇	七・〇〇
群山	同上	八・二八	八・〇八	七・八八	八・〇八	一七・〇〇	一六・七〇	一六・四〇	一六・七〇	八・五〇	八・三〇	八・二〇	八・三〇	六・二五	五・七〇	五・三五	五・七六
光州	全羅南道	九・三三	八・八六	八・二〇	八・七九	一八・七五	一八・四七	一八・二五	一八・四九	一一・八〇	一一・五〇	一一・二〇	一一・五〇	七・〇〇	六・五〇	六・〇〇	六・五〇
木浦	同上	一〇・一六	八・三五	七・五八	八・六九	一七・九六	一七・八六	一七・六六	一七・八二	九・五〇	九・二〇	九・〇〇	九・二三	六・〇〇	五・七〇	五・四〇	五・七〇
大邱	慶尙北道	七・九〇	七・六〇	七・二〇	七・六〇	一七・五〇	一七・二〇	一六・九〇	一七・二〇	八・七〇	八・六〇	八・四〇	八・五六	六・四〇	五・九〇	五・四〇	五・八九
晋州	慶尙南道	九・二三	八・九三	八・七〇	八・九五	一七・八〇	一七・三三	一七・〇〇	一七・三七	七・三六	七・一〇	六・八〇	七・〇八	五・九〇	五・五六	五・二三	五・五六
釜山	同上	一〇・七一	一〇・二一	九・五〇	一〇・一四	一九・五〇	一八・六〇	一七・三〇	一八・四六	八・九〇	八・五三	八・一三	八・五二	六・一三	六・〇三	五・八〇	五・九八
馬山	同上	一〇・八一	一〇・三一	一〇・二一	一〇・四四	一八・七三	一八・二〇	一七・六三	一八・一八	七・六三	七・四六	七・三〇	七・四六	六・三三	六・一三	五・九三	六・一三
春川	江原道	—	—	—	—	二〇・八〇	二〇・二〇	一八・三〇	一九・七六	—	—	—	—	四・七五	四・四五	四・二五	四・四八
江陵	同上	五・二〇	四・九五	四・七〇	四・九五	一四・〇〇	一三・四〇	一三・〇〇	一三・四六	六・七五	六・四〇	五・九五	六・三六	三・二五	三・〇〇	二・六五	二・九六
海州	黃海道	五・一六	五・〇〇	四・八〇	四・九八	一六・五〇	一六・二〇	一五・九三	一六・二二	九・〇六	八・七三	八・四六	八・七五	四・八六	四・六三	四・三六	四・六一
鳳山(沙里院)	同上	八・〇〇	六・五〇	五・三五	六・六一	一四・七五	一三・〇〇	一一・〇〇	一二・九一	七・二五	六・八六	六・六〇	六・九〇	四・八六	四・六六	四・九三	四・六八
平壤	平安南道	七・六三	七・二三	六・八三	七・二三	一六・四〇	一五・九三	一五・〇〇	一五・七七	七・六三	七・二〇	七・〇〇	七・二七	四・五〇	四・二〇	四・一〇	四・二六
鎭南浦	同上	八・〇〇	七・〇〇	六・〇〇	七・〇〇	一六・一〇	一五・一三	一四・二六	一五・一六	八・五六	八・二一	七・九〇	八・二三	五・〇六	四・八七	四・六六	四・八六
龍川	平安北道	七・五〇	七・一〇	六・六五	七・〇八	一八・六二	一七・六六	一六・六六	一七・六四	七・四〇	七・一六	六・九三	七・一六	—	—	—	—
平均		八・三〇	七・六五	七・一一	七・六八	一七・五七	一六・九二	一五・九六	一六・八一	八・三五	八・〇七	七・七九	八・〇六	五・七四	五・四三	五・一五	五・四四
前期對比較高低		△五六	△六六	△六二	△一六	△八八	△八二	△八九	△八六	△一五	△一六	△〇九	△一三	△〇八	△一六	△一二	△一二

(備考)

一 本表ハ毎一石ノ(法定升)卸賣價格ヲ掲記シタルモノナリ

二 比較高低欄ノ△印ハ低落ヲ示スモノナリ

三 本月ハ前月平均額ニ比シ籾六十一錢、玄米八十六錢、大豆十三錢、大麥十二錢方ノ低落ヲ示セリ而シテ其ノ原因トモ見ルヘキハ先般內地相場ニ促進セラレタルト氣候ノ關係上意外ノ暴騰ヲ來シタルモ爾來天候順調ノ結果本年ノ作柄豐穰ナルト內地ノ相場徐徐下落ヲ示シタル餘響ヲ受ケタルニヨル

○本月對既往二箇年間同月比較表（八月分）

	籾 上	籾 中	籾 下	籾 平均	玄米 上	玄米 中	玄米 下	玄米 平均	大豆 上	大豆 中	大豆 下	大豆 平均
	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円
四十三年八月現在	四・七七	四・四三	四・一八	四・四五	九・一八	八・八四	八・四三	八・八一	七・四三	七・一四	六・九九	七・一八
四十四年八月現在	六・八〇	六・三一	五・九一	六・三四	一四・六〇	一三・九五	一三・四〇	一三・九八	七・六一	七・二九	六・八二	七・二二
大正元年八月現在	八・三〇	七・六五	七・一一	七・六八	一七・五七	一六・九二	一五・九六	一六・八一	八・三五	八・〇七	七・七九	八・〇六
比較高低 對本月四十三年八月	三・五三	三・二三	二・九三	三・二三	八・三九	八・〇八	七・五三	八・〇〇	九二	九三	八〇	八八
比較高低 對本月四十四年八月	一・五〇	一・三四	一・二〇	一・三四	二・九七	二・九六	二・五六	二・八二	七四	八二	七七	八四

本月分ヲ既往二箇年間同月分ニ比較シ其ノ高低歩合ヲ示セハ左ノ如シ

	籾	玄米	大豆	
本月對 四十三年八月分	四割二分	四割七分	一割	ノ高騰
本月對 四十四年八月分	同 一割七分	同 一割六分	同 一割	

水產業

○たらば蟹ニ關スル調査（江原道）

一　漁場ノ位置　三陟郡、平海郡、蔚珍郡ノ沖合六七浬海深七八十尋ノ邊トス

一　漁期　十二月ヨリ翌年四月ニシテ最モ漁獲多キハ一二ノ兩月トス其他ノ月ニアリテハ多少ノ漁獲ナキニ非サルモ產卵期ニ屬シ肉ノ少キト他ノ漁業ノ時期ニ入ルトニヨリたらば蟹ヲ漁スルモノナシ

一　去來ノ狀況　沖合或ハ南北何レヨリモ來集シ其ノ方向一定セサレトモ常ニ大群ヲナシテ去來スト云フ

一　漁具　漁具ハ底刺網ニシテ長サ百二十尋丈ケ一寸四分眼四ツ掛網地ハ十五號綿絲浮子綱ハ麻二子徑八分沈子ハ徑三寸前後ノ圓キ石ヲ一網ニ十二三箇ヲ附ス

一　漁獲高　一定セサルモ大漁ノ時ハ六七百尾以上ニ達スルコトアリト云フ

一　抱卵ノ狀況　抱卵セサル雌蟹ノ捕獲セラルルハ六月以前ニ屬ス

○恩賜授産費水産傳習事業成績（全羅南道）

明治四十五年自四月至七月

月別	事項	智島郡	珍島郡	莞島郡	突山郡	麗水郡	濟州郡	大靜旌義兩郡	計
四月中	主要漁場	蝟島	接島、貫子島附近	莞島新智島附近	麗水海峽	同上	濟州郡沿海	大靜濟州二郡沿海	
	漁業種類	鮟鱇網	鯛延繩建干網	鯛延繩	鮟鱇網鰕漕網	鮟鱇網	鯛延繩	一本釣鯛延繩	
	出漁日數	二日	二	三	九	五	一〇	七	
	漁獲物種類	ぐち	ふか、ぐち、えび	ぐち、たひ、ふか、かれい、あなご	えび、にべ、小雜魚	えび、いか、はも、雜魚	たひ、ふか、べんさだひ	たひ、ふか、べんさだひ	
	漁獲物數量	一、〇二八・七〇〇〆	三六一・〇〇〇〆	八・九七〇〆	二三四・九〇〇〆	七二・四〇〇〆	九一・八〇〇〆	六四・一〇〇〆	一、五三六・九七〇〆
	漁獲物價格	一二六・二一圓	五九・六六圓	一・一三圓	三八・六七圓	二二・五七圓	三八・八七圓	一四・七八圓	二三七・八九圓
五月中	主要漁場	蝟島、竹島、小群山島	接島貫子島島鹿島近海	莞島所安苗島楸子島近海	麗水海峽示山島之五里島等	沙浦之五里島損竹島羅老島	濟州島沿海	濟州島沿海	
	漁業種類	鮟鱇網	鯛延繩鮟鱇網	鯛延繩	鮟鱇網	鮟鱇網	鯛延繩	鯛延繩	
	出漁日數	一四日	一四	一六	一七	一七	一〇	一六	
	漁獲物種類	ぐち、たち、たひ	ふか、ぐち、えび、にべ、ひら	たひ、えび、ぐち、ふか、かれひ	えび、はも、ぐち、にべ、ひら	えび、ぐち、にべ、ひら、はも、たち	たひ、ふか、べんさだひ	同上	
	漁獲物數量	九三九・五五〇〆	二〇二・五〇〇〆	一六一・七〇〇〆	六八八・五四〇〆	五二六・六九〇〆	一三七・八九〇〆	三〇八・三〇〇〆	二、九六五・一七〇〆
	漁獲物價格	一三六・九四圓	三四・二三圓	三一・八二圓	一二九・七九圓	七九・九八圓	三四・〇三圓	七六・七九圓	五二四・一八圓
六月中	主要漁場	竹島煙島鹿島	鹿島接島貫子島竹島	生日莞島青山薪智諸島	金吾島橫干島麗水海峽	外羅老島南海島梧桐島附近	濟州郡沿海	濟州郡旌義郡沿海	
	漁業種類	鮟鱇網	鮟鱇網鯛延繩	鯛延繩	鮟鱇網鯛延繩	同上	鯛延繩	鯛延繩鱶延繩一本釣	
	出漁日數	一四日	二〇	一八	一六	一一	一八	一五	
	漁獲物種類	たち	にべ、ぐち、えび、そげひら其他	たひ、ふか、ぐち、にべ、えび	はも、たち、ぐち、にべ、えび、たひ	はも、たち、ぐち、にべ、えび、たひ	たひ、いか、ふか、べんさだひ	たひ、ふか、いか、べんさだい	
	漁獲物數量	七七七・二三〇〆	五三五・四〇〇〆	二七二・七〇〇〆	八〇二・二六〇〆	四一五・二五〇〆	一八六・三四〇〆	二三四・二〇〇〆	三、二二三・三七〇〆
	漁獲物價格	一四〇・一七圓	八五・九三圓	六二・七三圓	一四八・九一圓	四六・〇四圓	四九・六四圓	三六・六四圓	五七〇・〇六圓

月別	事項	智島郡	珍島郡	莞島郡	突山郡	麗水郡	濟州郡	大靜旌義兩郡	計
七月中	主要漁場	鹿島	鹿島珍島獨巨島接島貫子島	莞島沖	麗水海峡南海島横干島松島	松島安島梧桐島沖合	濟州郡沿海	同上	
	漁業種類	鮟鱇網	鮟鱇網鯛延繩	鯛延繩	鮟鱇網鯛延繩	一本釣延繩鱧延繩	鯛延繩鯖延繩	烏賊釣鯛延繩	
	出漁日數	一五日	一三	一六	一五	一〇	一〇	一四	
	漁獲物種類	えび、ぐち、にべ、たち、其他	たひ、にべ、ぐち、ふか、えび	たひ、さめ、えび、ぐち	たひ、ぐち、にべ、はも、ふか、えび	たひ、ぐち、にべ、はも、ふか、たち	たひ、ふか、べんさだひ	たひ、ふか、べんこだひ	
	漁獲物數量	一、三二六・三五〇〆	一四一・三〇〇〆	二〇八・一〇〇〆	三二一・〇六〇〆	四三・九九〇〆	六四・七一〇〆	一五五・三〇〇〆	二、一五〇・八一〇〆
	漁獲物價格	一七五・九二圓	二九・三〇圓	五四・〇六圓	七五・二四圓	一三・七五圓	一三・四七圓	三一・六九圓	三九三・四三圓
合計	出漁日數	四五日	五七	五三	五七	四三	四八	五二	
	漁獲物數量	三、九六一・八二〇〆	九一五・三〇〇〆	六五一・四七〇〆	二、〇四六・七六〇〆	一、〇五八・三三〇〆	四八〇・七四〇〆	七六一・九〇〇〆	九、八七六・三二〇〆
	漁獲物價格	五七八・八四圓	一五五・一三圓	一五〇・七四圓	三九二・六一圓	一五二・三四圓	一三六・三四圓	一五九・九〇圓	一、七二五・五六圓
	一日平均漁獲高	一三・八六圓	二・七三圓	二・八四圓	六・八九圓	三・五四圓	二・八三圓	三・〇八圓	四・八六圓
	傳習生一人配當額	四四・五二圓	一一・九三圓	一一・五九圓	三〇・二〇圓	二一・七六圓	一〇・四六圓	一三・三〇圓	二〇・三〇圓

備考　麗水郡ハ傳習船一隻傳習生數六名其他ノ六郡ハ傳習船二隻傳習生十二名宛トス

貿易及經濟

○朝鮮ニ於ケル米籾輸移出状況（八月分）

輸移出税一部廢止及内地ニ於ケル米籾輸移入税低減ハ朝鮮ニ於ケル米輸移出貿易ヲ旺盛ナラシメタルコト先キニ調査シタル所ノ如シ而シテ其ノ後八月中朝鮮各港ニ於ケル輸移出状況ヲ調査スルニ左ノ如シ

仁川港

一　產地ヨリノ出廻状況　本月中ノ出廻高ハ玄米ニ見積リ約

九千八百餘石ニシテ下半月ニ於テ稍增加シタレトモ之ヲ前月ニ比スレハ一萬五百石ノ減少ナリ

二 相場ノ狀況 當港上玄米ノ大阪相場ハ二日ノ十九圓十錢ヨリ八日 十八圓五十錢トナリ十二日ニハ十八圓七十錢マテ引返シタリシカ其ノ後更ニ漸落シテ月末十七圓三十錢ヲ示セリ又當港相場ハ海州上玄米二日 十七圓ニ手合セアリ卽チ前月末ニ比スレハ八九十錢ノ下落ニシテ爾後益安氣配ナリシカハ手持筋ハ手放サス買手ハ內地ノ大勢ニ鑑ミテ買控ヘ市況益振ハス十五日 十六圓五十錢月末 十六圓マテ下落シタリ

三 市場取引及在荷ノ狀況 當港市場本月中ノ取引出來高ヲ前月ト比較スレハ左ノ如シ

品種	八月中	七月中	增減
玄米	一〇、〇一三石	一四、九五一石	(−)四、九三八石
精米	八一七	一、一五六	(−)三三九
粃米	四一一	四、一三一	(−)三、七二〇

前月下旬ハ殆ント取引中止ノ姿ニテ精米筋ノ手許薄トナリタレハ本月ニ入リ取引稍增加シ十日マテニ主トシテ玄米六千五百餘石ノ出來高アリシモ其後ハ相場下落ノ爲著シク減少セリ

次ニ當港在荷ハ左表ノ如シ

品種	八月三十一日	七月三十一日	前年八月三十一日	七月三十一日ニ比シ增減	前年八月三十一日ニ比シ增減
玄米	一五、二四九石	一八、八二四石	六、二六〇石	(−)三、六七五石	(+)八、九八九石
精米	三、八〇〇	六、〇六四	一、五八八	(−)二、二六四	(+)二、二一二
粃米	一〇、九六六	一四、五六七	八二	(−)三、六〇一	(+)一〇、八八四
計	二九、九一五	三九、四五五	七、九三〇	(−)九、五四〇	(+)二一、九八五

四 輸移出ノ狀況 本月中ノ輸移出高ヲ前月ト比較スレハ左ノ如シ

仕向地	八月中 玄米	八月中 精米	八月中 碎米	八月中 計	七月中 玄米	七月中 精米	七月中 碎米	七月中 計	增減
大阪	一四四石	二石	五五二石	六九八石	二四石	一、七一四石	九九一石	二、七二九石	(−)二、〇三一石
神戸	—	—	—	—	六〇六	五五〇	—	一、一五六	(−)一、一五六
下關	—	—	—	—	二〇九	—	—	二〇九	(−)二〇九
東京	—	一、〇五四	—	一、〇五四	一、三〇四	九四〇	—	二、二四四	(−)一、一九六
橫濱	—	九五〇	—	九五〇	四四五	一〇九	—	五五四	(−)三九〇
門司	—	—	—	—	—	六八	—	六八	(−)六八
小樽	—	一〇	—	一〇	—	—	—	—	(−)一〇
長崎	—	—	—	—	—	一〇〇	—	一〇〇	(−)一〇〇
大連	五二	一、〇九六	二二	一、一七〇	五	一、四三五	一一	一、四五一	(−)二八一
天津	—	一五〇	—	一五〇	—	一五六	—	一五六	(−)六
旅順	—	—	—	—	—	三七五	—	三七九	(−)三七九
芝罘	—	七四	—	五七	—	七	—	七	(+)七
牛莊	—	一一八	—	一一八	—	七九	—	七九	(+)三七
靑島	—	五	—	五	—	—	—	—	(+)五
合計	一九六	三、四四二	五七四	四、二一二	二、五九三	五、五三三	一、〇〇三	九、一二八	(−)四、九一六

尚本月中京城方面ヘ積送シタルモノ玄精米合セテ八千百九十七石ニ達シタリ

釜山港

一　産地ヨリノ出廻狀況　七月中川筋地方ハ多少水害ヲ蒙リシモ其ノ後ハ天候適順ニシテ稻ノ成育良好ナルト内地相場ノ崩落トニヨリ當港相場モ暴落シタレハ上半月ハ海陸共ニ著シク減退シタレトモ下半月ニ入リテハ産地手持筋モ前途益下落スヘキヲ氣遣ヒテ賣人氣トナリ月末ニ至リ出廻次第ニ増加シタリ

二　相場ノ狀況　當港上玄米ノ大阪相場ハ二日ノ十九圓五十錢ヨリ八日　十八圓九十錢トナリ十二日小戻リシテ十九圓十錢トナリシカ其ノ後ハ下落ニ下落ヲ重ネ月末十七圓七十錢ヲ示セリ又當港相場ハ二日ノ十九圓十錢ヨリ八日　十九圓トナリ其ノ後下落ヲ續ケテ月末十七圓四五十錢トナリ終始不引合ノ狀態ニアリタリ

精米モ亦同樣ノ騰落ヲナシ來レリ

三　市場取引及在荷ノ狀況　當港穀物市場本月中ノ取引高ハ白米二千三百九十七石玄米七千九百六十二石ニシテ前月ニ比スレハ白米六百六十石玄米千七百六十七石ヲ減少セリ而シテ相場ノ關係上移出口ハ甚タ少ク殊ニ月末ニ至リテハ内地正米底知ラスノ下落ニヨリ賣手ハ切リニ賣急キノ模樣ナレト買手ハ先安ヲ見越シテ何レモ買控ヘ漸ク精米筋ノ小口取引アリタルノミニテ市場ハ沈靜ヲ極メタリ

又當港在荷ハ一般ニ増加シタリ

四　輸移出ノ狀況　白米ハ十萬三千六百餘圓ノ移出アリテ前月ニ比シ三萬餘圓ヲ増加セリコレ上半月中三井物産會社取扱ニ係ル北海道室蘭行七萬四千二百餘圓アリシカタメナリ

玄米ハ四萬五千餘圓ノ移出アリテ前月ニ比スレハ三萬餘圓ヲ減少セリ本品亦上半月中三井物産會社扱室蘭行三萬八千四百餘圓アリタリ

籾ハ九千九百九十圓ノ輸出ニシテ前月ニ比シ五萬二千二百六十圓ヲ減少セリ

鎭南浦港

一　産地ヨリノ出廻狀況　本月中ノ當港廻著米ハ玄米三千十七石籾八千五百三十八石中白米六十九石ニシテ其ノ大部分ハ當地商人カ産地買付ヲナシタルモノニシテ鮮人ノ廻送ニ係ルモノハ極メテ僅少ナリ本月ニ於テ右ノ如キ出廻リアルハ例年ニ見サル現象ニシテ蓋シ本年ノ作柄ヲ見送リテ賣控ヘ居リシモノカ豐作ノ見込立ツト共ニ漸次放賣シタルト遠カラス新米ノ出廻リアル模樣ナレハ一般ニ賣急キタルトニ因ル

二　相場ノ狀況

玄米　上旬中一時最高十六圓四十錢ヲ唱ヘタリシモ幾何モナク下押氣配トナリ中旬十六圓二十錢トナリ其ノ後益下落シテ月末十五圓内外ヲ示セリ

大阪相場ハ月初ノ十八圓四十錢ヨリ八日　十七圓八十錢ニ

下落シ十二日 十八圓マテ上リシカ其ノ後漸落シテ月末十六圓六十錢ヲ唱ヘタリ

精米 玄米ト同一ナル傾向ヲ持シ當港相場ハ月初ノ二十三圓ヨリ上半月中一圓方下落シ更ニ下半月ニ入リテ五十錢方低落シテ月末二十一圓五十錢トナリ大連相場ハ本月中二圓内外ノ下落アリテ月末二十四圓ヲ唱ヘタリ

三 市場取引及在荷ノ狀況 上半月ハ取引極メテ不振ナリキ下半月ニ入リテハ既ニ新米出廻期ニ近ツキタルタメ手持筋モ此際多少ノ損失ヲ顧ス手放シタレトモ多クハ内地向依託販賣ニ送付セラレ當港取引ハ大體ニ於テ不振ナリキ次ニ當港在荷ハ左ノ如シ

品種	八月三十一日	八月十五日	增減
玄米	八、七〇〇石	六、四〇〇石	(+)二、三〇〇石
籾	一七、八五〇	二八、〇〇〇	(−)一〇、一五〇
中白米	一二七	二三八	(−)一一一

四 輸移出ノ狀況 本月ノ輸移出額ハ前月ニ比スレハ減退シタリト雖前年同期ニ比スレハ著シキ增加ナリ而シテ本月當港米ノ輸移出狀況ヲ見ルニ他港ニ於ケル現象トハ相反シ滿洲輸出ニ減退シテ内地移出ニ增加シタリ滿洲輸出ノ減退ハ相場ノ關係ニハアラスシテ寧ロ品質ニ於テ著シク其ノ聲價ヲ失墜シタルカタメニシテ勢多少ノ不引合ヲ顧ミス内地ニ移出シタルモノトス本月ノ輸移出額ヲ前月ト對照スレハ左ノ如シ

仕向地	八月中 玄米	八月中 精米	八月中 計	七月中 玄米	七月中 精米	七月中 計	增減
大阪	五、二一四石	二、四五〇石	七、六六四石	四、九五二石	二、〇七七石	七、〇二九石	(+)六三五石
神戸	—	—	—	一、五六五	—	一、五六五	(−)一、五六五
東京	二五〇	—	二五〇	二、七〇〇	三〇	二、七三〇	(−)二、四八〇
横濱	—	—	—	—	一〇〇	一〇〇	(−)一〇〇
長崎	—	—	—	一五〇	一〇〇	二五〇	(−)二四九
下關	—	—	—	二〇〇	—	二〇〇	(−)二〇〇
小樽	—	—	—	—	一八〇	一八〇	(−)一八〇
大連	—	一、二九〇	一、二九〇	一、一〇〇	九五〇	二、〇五〇	(−)七六〇
營口	—	二一〇	二一〇	—	三〇	三〇	(+)一八〇
安東縣	—	—	—	一〇八	一〇五	二一三	(−)二一三
本溪湖	—	一二〇	一二〇	—	—	—	(+)一二〇
奉天	—	六〇	六〇	—	—	—	(+)六〇
鐵嶺	—	六〇	六〇	—	—	—	(+)六〇
計	五、四六四	四、一九一	九、六五五	一〇、七七五	三、五七二	一四、三四七	(−)四、六九二

群山港

一 産地ヨリノ出廻狀況 本月ノ出廻高ハ玄米五千八百七十叺籾七千九百五十叺ニシテ前月ニ比スレハ玄米二千三百三十叺ヲ增加シ籾七千七百八十叺ヲ減少セリ

尚本月下半月群山市場ニハ新米ノ出廻アリタルタメ産地ニ於ケル鮮人手持筋ハ乾燥不十分ニシテ臭氣發生ノ恐レアル古米ヲ永ク貯藏スルハ不得策ナルヲ知リ續續放賣者アル模樣ナリ

二 相場ノ狀況 當港上玄米ノ大阪相場ハ一日ノ十九圓十錢ヨリ八日ニハ十八圓五十錢マテ下落シ其ノ後十二日ニ至リ

十八圓七十錢ニ引締リシカ夫ヨリ低落一方ニテ月末ニハ十七圓三十錢ヲ示セリ又當港相場ハ一日ノ十七圓八十錢ヨリ漸落シテ十五日　十七圓五十錢ヲ唱ヘ更ニ月末ニハ十五圓五十錢ヲ示セリ

三　市場取引及在荷ノ狀況　本月ノ米穀市場取引ハ甚タ不活潑ニシテ釜山、元山及城津行ノ玄精米ニ於テ稍大口取引ヲ見タル外地場消費用ノ小口取引アリタルニ過キス而シテ本月中ノ出來高ハ玄米五千七百叺白米六百三叺籾九百六十四叺ニシテ前月ニ比シ玄米ハ八百七十叺ヲ增加シ白米四十二叺籾千三百七十一叺ヲ減少セリ當港在荷ハ各種ヲ合セテ十五日　二萬七千叺三十一日　二萬六千叺ニシテ前月末日ハ二萬四千叺ナリキ

四　輸移出ノ狀況　本月中ノ輸移出ハ前月ニ比シ玄精米ハ稍增加セリコレ下半月ニ於テ大阪相場ト一時引合ヒタルカ爲ナリ

品種	八月中	七月中	增減
玄米	石 二、三〇八	石 一、〇一四	( ) 石 一、二九四
精米	三、八六〇	二、九〇一	( ) 九五九
籾	—	四、七八四	(−) 四、七八四

木浦港

一　產地ヨリノ出廻狀況　本月中ノ當港廻著米ハ左表ノ如ク前月ニ比シ著シク減少セリ

品種	八月中	七月中	增減
玄米	石 五〇〇	石 一、三五〇	(−) 石 八五〇
精米	五〇	一二	(+) 三四
籾	二、四九〇	七、三〇〇	(−) 四、八五〇

本月廻著不振ノ原因ハ相場暴落ノ爲地方鮮人カ其ノ圍米ヲ賣リ澁リタルニ因ル

二　相場ノ狀況

（イ）　玄米　當港ニ於ケル玄米相場ハ月初睨合ノ姿ニテ特等玄米十九圓ヲ持續シタリシカ天候ノ順調ナルト內地相場ノ低落トニヨリ漸次崩落シ八日　十八圓五十錢、十六日　十七圓八十錢　二十二日　十七圓九十錢　二十七日　十六圓七十錢ヲ示シ其ノ後ハ當港在荷減少ノ爲保合ノ姿ナリキ大阪相場ハ月初ノ二十圓十錢ヨリ暴落シテ月末十八圓三十錢ヲ示セリ

（ロ）　精米　玄米ノ下落ト共ニ本品亦下落シ月初石拔上等二十二圓五十錢ナリシモノ中旬二十一圓四五十錢トナリ月末更ニ二十一圓三十錢トナリタリ又大連相場モ下落シテ當港相場ニ比シ割安ノ模樣ナリキ

（ハ）　籾　本品モ亦上半月中六十錢方下落シテ月初ノ上籾十圓六十錢ヨリ十五日十圓トナリ下半月更ニ五十錢方下落シテ月末九圓五十錢ヲ唱ヘタリ

三　市場取引及在荷ノ狀況　當港相場ハ右ノ如ク下落シタリト雖尙內地相場ニ比シ割高ニシテ移出ハ不引合ナルヲ免レス且ツ下半月ニ於テハ著シク廻著減少シタルカ爲手持筋モ敢テ賣急カス買手亦買進マス本月ノ取引ハ當用口ノ外二三移出口ノ手合セアリタルノミニテ纏リタル商內ヲ見ス尙當港在荷ハ左表ノ如シ

品種	八月三十一日	七月三十一日	増減
	石	石	石
玄米	五〇〇	五〇〇	—
精米	五九〇	五〇〇	九〇
粳米	一,五〇〇	二,五〇〇	(−)一,〇〇〇

四 輸移出ノ状況 本月ノ輸移出高ヲ前月ト對照スレハ左ノ如シ

品種	八月中	七月中	増減
	石	石	石
玄米	一七三	二一五	(−)四二
精米	三二三	八〇四	(−)四八一

粳ハ多クハ精米所ノ買付ケタルモノニテ本月中輸移出皆無ナリキ

尚八月中ノ輸移出港別額ヲ前月ト對照表示スレハ左ノ如シ

港別	八月中 玄米	八月中 精米	八月中 粳	八月中 其他	八月中 計	七月中 玄米	七月中 精米	七月中 粳	七月中 其他	七月中 計	増減
	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	
仁川	三,二七〇	七九,〇六〇	—	六,五八五	八八,九二五	四〇,二一八	一一九,〇一九	—	九,八四一	一六九,〇七八	(−)八〇,一五三
釜山	四五,一五九	一〇三,六七三	九,九九〇	四,四五八〇	一六三,二八〇	七五,七九六	七三,七六八	六〇,五一四	五,七二八	二一五,八〇六	(−)五二,五二六
元山	一,一三八	—	—	—	一,一三八	二,〇八一	一〇,九一四	四,六六二	—	一七,六五七	(−)一六,五一九
鎮南浦	八九,四六七	八〇,四二七	—	六,五二三	一七六,四一六	一三九,八二一	六七,三四五	—	四,一五三	二一一,三一九	(−)三四,九〇三
群山	三〇,五七五	五三,六八二	—	五,六二九	八九,八八六	一〇,七〇一	二四,三九二	二六,一二一	五,一九四	六六,四〇八	(+)二三,四七八
木浦	三,二〇五	七,四六八	—	二一八	一〇,八九一	三,二九八	一六,五六〇	二四,一二五	—	四三,九八三	(−)三三,〇九二
馬山	—	一,六一六	—	—	一,六一六	—	一,二九九	—	—	一,二九九	(+)三一七
城津	—	—	—	—	—	五二三	—	—	—	五二三	(−)五二三
新義州	一,八三六	四五,一一二	—	二三一	四七,一七九	三四三	五二,五四八	二,一五二	四三七	五五,四八〇	(−)八,三〇一
平壤	—	—	—	—	—	—	六〇	—	二三〇	二九〇	(−)二九〇
大邱	—	—	—	八	八	—	—	—	—	—	(+)八
計	一七四,六五〇	三七一,〇三八	九,九九〇	二三,六六一	五七九,三三九	二七二,七八〇	三六五,九〇五	一一七,五七四	二五,五八三	七八一,八四二	(−)二〇二,五〇三

○朝鮮貿易概況 (九月分)

本年九月中ノ朝鮮貿易品價額ハ輸移出百五十三萬五千九百五十七圓輸移入五百七十二萬三千八百三十九圓合計七百二十五萬九千七百九十六圓ニシテ差引四百十八萬七千八百八十二圓ノ入超ヲ呈シ一月以降累計輸移出千四百二十一萬三千〇九十六圓輸移入四千六百八十五萬三千五百十圓合計六千百〇六萬六千六百〇六圓ニシテ差引三千二百六十四萬〇四百十四圓ノ

入超ヲ示セリ而シテ此ノ累計ヲ前年同期ニ比較スルニ輸移出ニ於テ十四萬千六百三十二圓、輸移入ニ於テ九百〇三萬九千〇八十五圓ヲ增加シ差引九百十八萬〇七百百十七圓ノ增額ヲ見タリ

次ニ重要貿易品ノ趨勢ヲ前年同期ニ比較スルニ輸移出累計ニ於テ米ノ百二十二萬七千四百九十六圓、雜穀ノ三十萬二千二百九十七圓、人蔘ノ十萬六千八百八十五圓ヲ主トシ肥料、牛皮等ニ增加ヲ呈シ、生牛ノ三十萬六千百六十五圓ヲ最トシ、豆類ノ五萬三千五百九十八圓其ノ他鮮魚、大麥及小麥等ニ減少ヲ示セリ而シテ輸移入ニ於テハ生金巾及生「シーチング」ノ九十一萬六千〇四十二圓、小麥粉ノ四十七萬三千九百四十八圓、晒金巾及晒「シーチング」ノ四十一萬八千九百六十二圓其ノ他木材及板、毛織物、絹布等皆增加ヲ來シ其ノ減少セシハ蠟燭ノ五萬二千四百九十三圓、叺繩及莚ノ一萬八千四百五十六圓罐詰及罎詰食物ノ六千〇〇六圓ナリ概要左ノ如シ

一　貿易額港別（四）（八月分）

（△印ハ減）

	輸出及移出	輸入及移入	計	輸移入超過	一月以降累計 輸出及移出	一月以降累計 輸入及移入	一月以降累計 總計	通過及同清貨物
仁川	一八〇、〇八八	一、五七二、〇一三	一、七五二、一〇一	—	二、五八九、五八四	一三、三四九、四四四	一五、九三九、〇二八	三六三、一四八
釜山	五六八、八三八	一、三三〇、九九八	一、八九九、八三六	—	四、六六一、三九八	一〇、八九〇、八六六	一五、五五二、二六四	四〇、七三九
元山	三二、〇五五	三一一、〇四六	三四三、一〇一	—	六二一、六六一	三、二二〇、六三七	三、八四二、二九八	—
鎭南浦	二六五、〇七八	二五一、〇七八	五一六、一五六	—	一、九六二、九九九	一、八一三、八五五	三、七七六、八五四	一五九、四〇二
京城	三七、六四七	一、〇三五、八三〇	一、〇七三、四七七	—	一一八、五六四	八、〇五二、五二一	八、一七一、〇八五	—
群山	一六一、四五三	二五七、六三五	四一九、〇八八	—	一、二一七、〇三五	一、八七六、四二九	三、〇九三、四六四	—
木浦	三六、四九七	一七三、三二二	二〇九、八一九	—	六九一、八八三	一、三四九、三八一	二、〇四一、二六四	—
大邱	九、四七六	九七、九二七	一〇七、四〇三	—	六八、四七一	八五一、三三五	九一九、八〇六	—
馬山浦及行巖灣	四、五七八	七八、三五九	八二、九三七	—	九〇、四七八	八八二、九七一	九七三、四四九	—
清津	二、七九九	九六、七五二	九九、五五一	—	四六、八八四	八三九、八〇〇	八八六、六八四	四九、四七八
城津	三五、七四一	六三、五〇八	九九、二四九	—	五一五、八七七	四五五、二七三	九七一、一五〇	—
新義州及龍巖浦	一六六、六一〇	一八一、七一一	三四八、三二一	—	一、三五七、三八一	一、一九二、二五四	二、五四九、六三五	三九、六三〇
平壤	四四、九九七	三一四、六六〇	三五九、六五七	—	二七〇、九二三	二、〇七七、七四四	二、三四八、六六七	—
合計	一、五三五、九五七	五、七二三、八三九	七、二五九、七九六	四、一八七、八八二	—	—	—	六四八、三七三
一月以降累計 元年	一四、三一三、〇九六	四六、八五三、五一〇	六一、〇六六、六〇六	三二、六四〇、四一四	—	—	—	—
一月以降累計 四十四年	一四、〇七一、四六四	三七、八一一、四二五	五一、八八二、八八九	二三、七四二、九六一	—	—	—	—
一月以降累計 增減	△一四一、六三二	九、〇四二、〇八五	九、一八〇、七一七	—	—	—	—	—

二　輸出及移出重要品價額港別（四）（八月分）

（△印ハ減）

品名	仁川	釜山	元山	鎭南浦	京城	群山	木浦	大邱	馬山浦及行巖灣	清津	城津	新義州及龍巖浦	平壤	合計	一月以降累計 元年	一月以降累計 四十四年	一月以降累計 增減
米	八六、五三三	一四七、七九〇	—	一八〇、〇三五	—	一四五、七九〇	一七、三三三	七	一二、三三四	—	—	三一、四五〇	五四	六一〇、二一五	五、六四三、一九六	四、四〇五、七〇〇	一、二三七、四九六
大麥及小麥	—	四五七	—	三三三	—	—	—	—	四	—	—	四四九	—	一、二三八	七七、〇〇〇	九〇、〇四五	一三、〇四五
豆類	六四、三五二	一四三、五七九	二二、一四八	一九、一〇九	—	一、三六六	—	一、〇〇九	二〇二	—	二、一八〇	二〇、七八八	九一	二五五、〇三四	二、八三七、二一〇	二、八八〇、八〇八	△四三、五九八
雜穀	—	八六二	一、八四三	七八	—	—	—	—	—	—	—	六、二〇〇	—	八、九八三	四三三、六一八	二三一、二二一	二〇二、三九七
鮮魚	—	六、二二七	—	—	—	—	—	—	—	一〇	—	五〇五	—	六、七四二	七一、二五一	八四、〇七〇	△一二、八一九

品名	仁川	釜山	元山	鎮南浦	京城	群山	木浦	大邱	馬山浦及行巖灣	清津	城津	新義州及龍岩浦	平壤	合計	一月以降累計 元年	四十四年	增減
乾魚及鹹魚	—	一六,六二五	—	—	—	—	—	—	二,二六一	—	—	六〇七	—	一九,四九三	一八一,〇九五	一一一,〇七六	七〇,〇一九
人蔘	六八二	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	六八二	一七三,五二二	六六,六三七	一〇六,八八五
棉花	—	一〇	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一〇	一四四,一四一	一四四,五四六	△ 四〇五
金鑛	—	一	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	三〇,九五六	三〇,九五七	二二一,五〇〇	一七八,二九六	四三,二〇四
鐵鑛	—	—	—	二四,二五九	—	—	—	—	—	—	—	—	—	二四,二五九	二〇一,七七七	一九七,三六〇	四,四一七
黑鉛	一四〇	五,七三八	六,八一〇	二,一七八	—	—	—	—	—	—	—	二,一四七	—	一七,〇一三	一〇〇,七九七	九一,九二六	八,八七一
石炭	—	—	—	二三,一九一	—	—	—	—	—	—	—	一五四	—	二三,三四五	二三一,二七九	二四一,二一七	△ 九,九三八
牛皮	三,四七七	一四,四六二	—	二一,〇〇八	四,六二三	八,二五八	二,六四二	六,二五四	—	—	三四八	二一,七九九	一〇,七〇九	九三,六一〇	六六一,一一七	七三七,一八八	△ 七六,〇七一
生牛	—	一三,三三三	—	—	—	—	—	—	—	—	二九,九八〇	二,〇八〇	—	四五,三九三	一五九,九五七	四六六,一二一	△ 三〇六,一六四
木材及板	—	三〇	—	—	—	—	五四	二	—	—	—	四七,八四一	—	四七,九二七	二三五,四五五	二一一,二三三	△ 二四,二二二
肥料	二,一九六	四六,二六五	九,四〇五	二三,二六二	—	一,一四六	四,二九四	—	一四五	三一五	—	一六六	一〇四	六六,二九八	五一九,四六三	四三三,〇五九	八六,四〇四
其ノ他諸品	三三,七〇九	一七三,五七〇	一〇,九四九	二七,〇六	二三,〇二四	四,六九三	一三,二七四	二,二〇五	七三三	二,四七三	三,二三三	二三,七八七	三,〇八三	二八五,四三八	二,四六〇,七〇九	三,七〇九,八七三	△ 一,二四九,一六四
總計	一八〇,〇八八	五六八,八六八	三一,一五五	二六五,〇七八	二七,六四七	一六一,四五三	三七,四九七	九,四七六	四,五七八	二,七九九	三五,七四一	一六六,六一〇	四四,九九七	一,五三五,九五七	一四,二一三,〇九六	一四,〇七一,四六四	△ 一四一,六三二

三　輸入及移入重要品價額港別（圓）（八月分）

（△印ハ減）

品名	仁川	釜山	元山	鎮南浦	京城	群山	木浦	大邱	馬山浦及行巖灣	清津	城津	新義州及龍岩浦	平壤	合計	一月以降累計 元年	四十四年	增減
小麥粉	三九,一七六	三四,六二六	六,三二六	五,四一〇	七,八〇四	二二,六七五	六,六四一	三,四〇一	二,九九五	五,一七九	一一〇	六八一	五,七一八	一三九,七一四	九六三,五八〇	四八八,六三三	四七四,九四七
食鹽	二五,八〇六	九,五〇八	四,六〇八	二,八九三	—	八,七九八	—	—	—	—	二,〇一六	一〇,六八〇	—	六四,三〇九	五五〇,九二五	四一八,九八〇	一三一,九四五
果實及核子	八九八	二,四八五	三一七	六四三	一,七九八	二三六	三二一	六九	五六七	六六〇	六六	一,一四五	三六二	六,五四八	二三〇,七八二	二二三,七八二	七,〇〇〇
鹹魚	一,〇七四	五七二	二一	四,七四九	二,一九〇	—	—	二二	一	—	—	三七〇	八九七	九,八九六	四三四,六九三	二三〇,二七四	二〇四,四一九
罐詰及壜詰食物	三,八二六	四,二三九	五六八	九七九	三,五五八	一,四二七	八四四	二三三	七二	八二九	二二	五〇六	九四三	一八,一三二	一七四,五五九	一八〇,五六五	△ 六,〇〇六
砂糖及精糖	一六,二五八	二八,二九七	二,五六二	一,八七三	三三,〇四八	一六,九七六	七,三七五	二,九六三	八八六	三,三二三	四五八	三,〇八八	六,九一〇	一二三,九二六	一,一一六,二五〇	九五八,八八一	一五七,三六九
清酒	一〇,八二四	八,四八三	四,五〇六	一,九二四	一三,五六九	五,三一九	二,五〇四	一,八一五	四七八	五,三七八	三五〇	二,一五一	四,五一七	六一,八二二	五二〇,四六二	四三六,八四六	八三,六一六
麥酒及黒麥酒	四六八	四六一	三七〇	—	一,〇五八	—	四二六	—	—	一,七〇六	一三三	四二四	—	五,〇六七	三七三,〇四〇	三〇四,六八五	六八,三五五

品名	仁川	釜山	元山	鎮南浦	京城	群山	木浦	大邱	馬山浦及行巌灣	淸津	城津	新義州及龍岩浦	平壌	合計	一月以降累計 元年	一月以降累計 四十四年	一月以降累計 増減
其ノ他ノ酒類	七、六六七	一、六四四	七三四	三六八	三、九七五	四一五	—	一九〇	一〇一	一三一	—	九、八七〇	一八〇	二五、三二五	一七八、六八〇	一二〇、六六八	五八、〇一二
石油	七三、九八七	一一三、三〇〇	—	三七、〇〇〇	—	三、六〇〇	—	—	—	一、一三一	—	一、〇一六	—	一九四、五五四	一、三五八、九七七	一、二三三、一七八	一二五、七九九
蝋燭	九四九	一〇四	八八	一八	一五	六三	五三	五	一七	一四	—	二九八	四三七	二、〇四七	四八、四三七	一〇〇、九三〇	△五二、四九三
繰綿及打綿	一四、一四七	一七、二〇四	一八、〇六一	一、三一〇	四、四八三	一、七九九	九四六	一、三八一	五八五	四、九七五	七、三九七	一、五〇五	一七、五八〇	九一、三七三	二七六、七五三	一九〇、六一三	八六、一四〇
綿織絲	二五、三四六	七三、七八一	二三、五七三	七、七八八	一八、八三四	九、四六九	二三、三四九	八、〇六八	二四五	四七八	一、九八八	三、九七九	三八、八一四	二〇七、二四三	一、五四九、一四四	一、四一〇、三三一	一三八、八一三
生金巾及生シーチング	九五、三九九	三三五、三五〇	三三二、三七三	二〇九、九五〇	二六九、九八三	五一、〇〇七	二〇、一四八	七、五一七	—	一四、七三三	一四、一九一	四、四七〇	三六六、六〇七	六三〇、三五七	四、一三九、〇一四	三、三一八、九七三	九一六、〇四三
晒金巾及晒シーチング	一三九、〇〇八	五〇、七三一	四〇、六四八	六、三一五	九、七六四	一一、六七八	四、五八〇	一〇	五	六七一	—	五四一	八、八七六	二七九、七一七	一、六八三、三六八	一、二六四、三三六	四一八、九六二
天竺布	三三三	一九、三九三	五、〇〇七	三、一〇一	三六三	三四九	一四一	六七	八一	四三	一一、三四八	八七	七、三六三	四六、三三六	三九〇、四九三	三一三、三三四	七八、二一五
綿繻子及綿イタリアンス	九三、九五八	三三、五三三	一〇、六五三	二、四七四	一四、一七一	七一八	一〇三	三八	—	四九	一三	四三四	八、三六二	一四三、四八三	五六八、六三六	四四八、三三八	一二〇、二九八
日本木綿	四、〇三六	八一、六三一	四八、八〇〇	六、九七八	二四、四四五	六、四七八	一一、三九四	一〇、九一六	四、七一七	三六、九九一	一〇、八八〇	三三、三三三	二一、五八四	二四七、六三七	一、五五八、一五七	一、三四〇、三九〇	二一七、七六七
麻布	三一八	七三三	六八八	—	一、四八八	一五	一六	—	—	一〇一	—	二	三八	三、三二九	一、五一〇、四五四	一、三九一、三五〇	一一九、一〇四
毛織物	四七、五八一	二六、八七〇	一、八九〇	一、五七三	六三、六七三	一、四九一	一、三六五	二、六八八	五三六	七七五	三三	一、四九九	一四、一〇七	一六四、〇六一	六九八、八七八	四三五、四一一	二六三、四六七
絹布	一一五、一四九	三四、〇三五	九、〇三三	九七〇	一七、五四六	三、四六四	三、五六六	三、四〇七	一、〇八〇	一、四六七	三〇	四、〇四八	五、〇九八	一九七、八九〇	八八四、〇九四	六三六、八二三	二四七、二七一
交織布	四、四七〇	六、一四八	九三	八、九七一	三三、〇九四	三、〇四三	一、五三九	三、三六七	一、九一一	一、二四三	—	七四七	五、一二七	五七、六五一	一八七、一九一	一四七、四八〇	三九、七一一
靴及履物	四、四一四	五、一九四	三、一九五	九〇四	六、五五五	一、一一一	一、五七一	九三九	八五三	七五	三三三	七一〇	一、四五八	二六、八六一	三三八、五八九	三三〇、九四七	七、六四二
紙	二六、九一三	三三、九五〇	三、八七三	六四八	一九、九七三	三、〇八三	二、〇〇三	二、三〇三	一、一四三	二、〇一九	四四九	一、七九三	三、七一九	七九、六九七	八九三、五〇三	七三一、六九三	一七一、八三九
諸文具	六、五七八	五、六二八	九四五	一、一五〇	一〇、八二〇	九三七	一、四三三	九八三	三五九	八〇三	二八六	二八六	一、五六四	三一、七七三	二七〇、五八五	二一三、八七一	五七、七一四
書籍及雑誌	六九八	一、三五六	一、〇三九	五	六、七六四	三五	三八四	四三六	一三八	一一	一一〇	三一	一七六	一一、一四三	一三七、四三六	一三〇、三三七	七、〇九九
熟鐵	三七、五三九	二一、七一三	六、九三一	二、三四五	二	三三、七〇八	五、三七六	一五一	一、〇一三	一、九一四	一、三〇八	一、六三〇	六、九三三	九九、四五〇	八四四、九六七	六三六、九八九	二〇七、九七八
軌條及同附屬品	二七、四〇九	—	一九四	五八四	四〇	—	九〇	—	一五	—	—	五	—	二八、三三七	八五〇、二一四	五三四、三八五	三一五、八一六
鐵(筒及管)	七、三五四	一、〇七七	一四一	三、三五五	一一、〇三九	一五一	八三三	—	六四	三三	一七七	一五	—	二四、〇三〇	二八五、八三五	八二、〇九一	二〇三、七四四
鐵釘	一、八〇一	一、六九六	四五一	一三	—	四〇四	三三八	—	三	三六二	三三	八九	二七六	五、四六四	一三七、五八六	一〇六、〇四八	三一、五三八
鐵鍋及釜	五三三	五、二一〇	二、〇八一	七四	三一〇	一、五六一	一、九八四	一、四八八	九〇	六四四	一七三	一、三八四	三七一	一五、八九一	二五三、八二二	一五五、五六四	九七、二五七
鐵道機關車及同部分品	—	三三、二〇六	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	三三、二〇六	四六三、九七五	二九八、三九五	一六四、五八〇

諸機械類	七二,一九〇	六,〇八六	六六五	九,〇四六	一八,八六九	二,四三七	八二八	一,二四五	一〇五	一,六一〇	四六	六三五	三,九八〇	一一五,六九八	一,〇九八,七二三	八六三,一四八	三三六,六七四
煙草	一五,六五一	一四,三一三	六,五八二	—	一〇,七二五	一,三三五	五三八	—	—	一,四三六	—	一七六	一,六六二	五三,二四〇九	七一三,七三三	六〇七,八七五	一〇四,六九九
石炭	一五,三一七	二四,七三〇	三七,四四	九七	—	三三二	四三九	—	二,八三三	一,六四〇	—	一九,〇〇五	—	六七九,九九六	九八五,一七〇	九四三,四五七	四三,七一三
陶器及磁器	七,五〇三	一三,七九三	二,八五六	七,七一七	三,八六〇	三,四四三	三,二四〇	一,一一七	一,〇九六	一,三四六	八四五	一,三三六	三,一五八	五〇,三五八	三九九,六八八	三一六,三六六	八三,三二三
木材及板	一三六,八六七	一三,七五一	二一,六一六	七,七九四	四六六	三,一九九	二六,一二八	二一五	一三,六三八	六,六八〇	二九五	三一,〇八一	一,一三〇	二九九,九九六	一,八一八,七二三	一,四九四,七五一	三二三,九七一
叺縄及莚	五,七四五	三六,三七七	六六四	九,一四七	一八	四,四七五	九八八	二八	四,〇六三	八五三	一四四	四八五	—	五五,〇五三	四五七,四四八	四五五,九〇四	△一八,四五六
セメント及石灰	一一,九九三	一〇,四九三	七,四六〇	三,七三六	—	七,九三六	三,五四三	—	二,一四三	三〇八	三五	三,三五九	一,七四五	五〇,六三九	四八三,六〇八	四〇〇,八一五	八二,七九三
家具	一,六六七	二一,一四一	五九二	四三八	三,三七一	一,〇〇二	九七三	四四六	三三六	一二〇	一一四	二六九	六九六	三〇,〇五五	一四四,〇六八	一一〇,〇五八	三四,〇一〇
マッチ	九六八	八,七一五	三三,四四七	三三,五一五	三六	二,九一五	三,〇四六	—	—	一,〇〇四	三四三	七六六	七六一	五三,一四三	三三六,三五五	二九〇,三〇五	三六,一四八
木製品	二,三〇六	四,五四八	五一一	三四八	二,四六五	六一三	四七	三三〇	三九二	一九七	三四	八九	九〇九	一三,六五八	一二八,八〇七	一〇五,六七四	二三,一三三
爆發物	一〇,一〇三	一,〇〇四	—	六三,七八五	三七七	一五三	—	—	—	—	—	—	九七〇	七六,五九三	三〇九,三三一	二〇九,五一七	一〇三,八一四
洋傘	二六二	六六	一四四	—	—	三〇四	四三	五四	三	四八	—	—	—	九三四	三一〇,九三一	二六三,三六七	四七,五五四
小包郵便物	三三,六一四	四一,六三五	—	三,七七九	二三六,八三五	三八,六三三	九四七	四,六四〇	六,四一一	—	一一,一三六	八,七一一	一一,五六一	三六〇,七〇四	三,〇九五,〇九九	二,七九一,五〇七	三〇三,五九二
其ノ他・諸品	四一八,四〇〇	二八九,三九九	五六,一〇六	五四,六六六	三五三,六八六	四八,八九四	四四,三一九	三九,五〇七	二九,五九三	二九,五八八	八,三五八	六二,三〇一	八一,九三三	一,五一六,九一九	一三,〇三一,六一六	一〇,三九三,八六九	二,六三七,七五三
總計	一,五七二,〇一五	一,二九〇,九九八	三一一,〇四六	二五一,〇七八	一,〇三五,八三〇	三九七,六三五	一三一,三一二	九七,九二七	七八,三五九	九六,七五三	六六,五〇八	一八一,七一一	五一四,六六〇	五,七三三,八五九	四六,八五三,五一〇	三七,八一四,四三九	九,〇三九,〇八五

四　正貨及地金（圓）　（△印ハ減）

		元年九月	一月以降累計 元年	一月以降累計 四十四年	一月以降累計 増減
移出	金貨及金地金	八三五,五〇四	六,八三九,五九八	八,六一四,八八七	△一,七七五,二八九
移出	銀貨及銀地金	七一,二八七	八一五,〇九九	一,五九三,一二二	△七七八,〇二三
移出	計	九〇六,七九一	七,六五四,六九七	一〇,二〇八,〇〇九	△二,五五三,三一二
移入	金貨及金地金	—	八三五	一,九〇〇,一八七	△一,八九九,三五二
移入	銀貨及銀地金	二〇八,二〇八	七二七,七〇八	二,五三三,二七六	△一,八〇五,五六八
移入	計	二〇八,二〇八	七二八,五四三	四,四三三,四六三	△三,七〇四,九二〇
總計		一,一一四,九九九	八,三八三,二四〇	一四,六四一,四七二	△六,二五八,二三二

五　船舶（噸）　（△印ハ減）

船種別		元年九月	一月以降累計 元年	一月以降累計 四十四年	一月以降累計 増減
入港	汽船	二六六,四〇五	二,七七九,二二八	二,四九二,七〇六	二八六,五二二
入港	帆船	四,五七三	四七,二二三	四九,七九四	△二,五七一
入港	ジャンク	九,〇八一	六九,九八九	四五,三一二	二四,六七七
入港	計	二八〇,〇五九	二,八九六,四三九	二,五八七,八一二	三〇八,六二七
出港	汽船	二六五,二七〇	二,七二七,〇一五	二,四七五,五七八	二五一,四三七
出港	帆船	三,四一八	四一,六一九	四四,五九八	△二,九七九
出港	ジャンク	六,二八九	六三,三九九	四〇,九九七	二二,四〇二
出港	計	二七四,九七七	二,八三二,〇三三	二,五六一,一七三	二七〇,八六〇

○經濟概況（八月分）

第一款　通貨

一　各種貨幣流通高表（△印ハ減）

年月	朝鮮通貨 硬貨	朝鮮通貨 朝鮮銀行券	朝鮮通貨 葉錢	内地各通貨	計
	円	円	円	円	円
八月末	四、一八一、八九一	二四、六六〇、四六一	二〇六、四〇四	二、九八三、二三三	三二、〇三一、九八九
對前月增減	△六一、〇八七	七三九、〇二九	△二八、四九五	六〇、二七七	七〇九、七二四
對前年同月增減	△三六三、三〇八	一一、四二〇、九七四	△一、六九四、一八四	二、七二八、〇五三	一二、〇九一、五三五

二　舊韓國硬貨流通高表（×印ハ再發行シタルモノトス）

種類	七月末流通高	八月中引上高	差引流通高
	円	円	円
金貨	四、三五〇・〇〇〇	—	四、三五〇・〇〇〇
銀貨	三、四〇五、三八五・五〇〇	五六、八六一・八〇〇	三、三四八、五二三・七〇〇
白銅貨	四〇八、九六二・八〇〇	四、二二四・九五〇	四〇四、七三七・八五〇
青銅貨	四二四、二七九・三七〇	×五四六・二五〇	四二四、八二五・六二〇
計	四、二四二、九七七・六七〇	六一、〇八六・七五〇	四、一八一、八九〇・九二〇
引上高累計			

三　朝鮮銀行券流通高表（△印ハ減）

年月	發行高 正貨準備	發行高 保證準備	發行高 計	金庫在高	銀行手許在高	市場流通高
	円	円	円	円	円	円
八月末	九、二六二、〇〇〇	一七、九五七、七〇〇	二七、二一九、七〇〇	二、〇一〇、五一七	五四八、七二二	二四、六六〇、四六一
對前月增減	六〇〇、〇〇〇	九七三、六〇〇	一、五七三、六〇〇	九八四、一五六	△一四九、五八五	七三九、〇二九
對前年同月增減	二二一、〇一〇	二、六九〇、二九〇	二、九一一、三〇〇	一、三七三、五六八	△一五一、五七三	一、六八九、三〇五

四　内地各通貨流通見込高表（△印ハ減）

年月	現在高 金貨	現在高 補助貨	現在高 兌換券	現在高 計	朝鮮銀行正貨準備高 金貨	朝鮮銀行正貨準備高 兌換券	朝鮮銀行正貨準備高 計	金庫在高	朝鮮銀行手許在高	市場流通高
	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円
八月末	一、九八二、四四五	三、四五九、六四五	五、四三九、六一〇	一〇、八八一、七〇〇	一、九七八、〇〇〇	五、二八四、〇〇〇	七、二六二、〇〇〇	四七六、四一二	一六〇、〇五五	二、九八三、二三三
對前月增減	四、四四五	△九四七	五八三、八〇八	五八七、三〇六	—	六〇〇、〇〇〇	六〇〇、〇〇〇	△一五四、五三四	八一、五六三	六〇、二七七
對前年同月增減	△四、二三五	六七五、一二九	△二、〇九六、九八四	△一、四二六、〇九〇	△二、四九〇	△一、七七六、五〇〇	△一、七七八、九九〇	△一、四三二、二〇五	△二一、四八八	一、八〇六、五九三

五 葉錢輸出回收高表

年月	回收高	輸出高	計
八月中	二八、四九四・九一四円	—円	二八、四九四・九一四円
引上者手役累計	—	—	六、七三九、二四四・〇四三
差引市場流通高	—	—	二〇六、四〇四・四三一

第二款 金融

第一項 概況

一 八月中各種銀行預金貸出金及遊金表（△印ハ減）

銀行別	預金	貸出金	遊金 現金	遊金 預ケ金
朝鮮銀行	九、七二九、四三八円	九、二〇一、六七五円	五、〇五五、九八五円	五三八、七四八円
農工銀行	四、八五五、〇三四	九、四〇六、〇四二	五三〇、一七四	四二三、二〇五
普通銀行	一一、八一五、六七〇	一四、九三八、六八九	五九一、三五三	四六四、九二〇
東洋拓殖株式會社	—	一、六二七、四四〇	—	—
合計	二六、四〇〇、一四二円	三五、一七三、八四六円	六、一七七、五一二円	一、四二六、八七三円
對前月増減	△九四八、七二一	二六四、一七二	△六八四、四六一	△五三、九〇八
對前年同月増減	四、三四〇、四二九	九、八二八、〇八九	△四、四七八、三六三	一二四、二一六

二 八月中各種銀行預金金利表（△印ハ減）

銀行別	定期預金 一年以上（分厘）	定期預金 六月以上（分厘）	定期預金 三月以上（分厘）	當座預金 最高（錢厘）	當座預金 最低（錢厘）	當座預金 普通（錢厘）	小口預金 最高（錢厘）	小口預金 最低（錢厘）	小口預金 普通（錢厘）	諸預金 最高（錢厘）	諸預金 最低（錢厘）	諸預金 普通（錢厘）
朝鮮銀行	五五	五五	四五	八	七	八	一二	一一	一一	一四	一三	一三
農工銀行	六〇	五五	五〇	一〇	九	九	一五	一五	一五	一五	一四	一五
普通銀行	五九	五七	五二	一〇	九	九	一三	一三	一三	一四	一二	一二
平均	五八	五六	四九	九	八	九	一三	一三	一三	一四	一三	一三
對前月増減	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
對前年同月増減	△一	四	△一	一	—	一	一	二	二	一	二	二

三 八月中各種銀行貸出金金利表（△印ハ減）

銀行別	不動産 高	不動産 低	不動産 普	證券 高	證券 低	證券 普	商品 高	商品 低	商品 普	信用 高	信用 低	信用 普	當座貸越 高	當座貸越 低	當座貸越 普	手形割引 高	手形割引 低	手形割引 普
朝鮮銀行	三一（錢厘）	二九	三〇	二九	二七	二八	三〇	二八	二九	三一	二八	三〇	三三	二九	三一	三一	二七	二九
農工銀行	四七	三九	四三	三九	三四	三六	四〇	三五	三八	四八	四五	四七	四五	三八	四一	四一	三四	三七
普通銀行	三九	三三	三六	三三	二八	三〇	三三	二八	三〇	三八	二九	三四	三九	三一	三五	三七	二七	三三
東洋拓殖株式會社	三三	二五	三三	—	—	—	—	—	—	四九	一九	三四	—	—	—	—	—	—
平均	三八	三三	三六	三三	三〇	三一	三四	三〇	三三	四二	三〇	三六	三九	三三	三六	三六	二九	三三
對前月増減	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	△一	—	—	二	一	△一	一	一
對前年同月増減	△二	一	—	△一	二	—	—	一	—	三	△三	三	—	二	一	—	二	一

四　八月中各種銀行爲替受拂表

（△印ハ減）

銀行別	朝鮮內 受入高	朝鮮內 拂出高	朝鮮及內地間 受入高	朝鮮及內地間 拂出高	朝鮮及滿洲其他間 受入高	朝鮮及滿洲其他間 拂出高	計 受入高	計 拂出高
	円	円	円	円	円	円	円	円
朝鮮銀行	四,八七〇,九三一	五,二七九,五七四	三,〇八三,九九一	二,八六三,五九三	五二,八八九	一五七,五六一	八,〇〇七,八一一	八,三〇〇,六八八
農工銀行	二,一一六,一五二	一,四八一,八八四	一八〇,六三三	九六,三六三	八,〇七七	一,四七〇	二,三〇四,八六一	一,五七九,七一七
普通銀行	二,四八二,八八九	二,四三二,九七〇	三,二五七,六〇五	一,三七三,五八一	五四,七一六	八一,八〇四	五,七九五,二一〇	三,八八八,三五五
合計	九,四六九,九七二	九,一九四,四二八	六,五二二,二二八	四,三三三,四九七	一一五,六八二	二四〇,八三五	一六,一〇七,八八二	一三,七六八,七六〇
對前月增減	△二三五,五二七	七七,一七三	一,六八八,三四七	△四九二,六四九	△六七,五一四	△一九四,五五九	一,三八五,三〇六	△六一〇,〇三五
對前年同月增減	二,八六五,六六二	二,七一三,六三三	二,〇七一,一一一	九五六,一三四	△五八,九五七	△二〇九,一一九	四,八七七,八一六	三,四六〇,六四七

五　地方金融組合業務狀況

七月末現在

道別	組合數	組合員	運轉資金ノ內 組合資金	共同購入金	委託販賣金	借入金	補助貸散布資金	積立金	雜勘定	計
	箇所	人	円	円	円	円	円	円	円	円
京畿道	一六	四,八七八	一六〇,〇〇〇	—	—	三三,〇七〇	八,九三〇	二七,八〇六	四,四一六	二三四,二二二
忠淸北道	七	二,六六五	七〇,〇〇〇	—	九九八	一一,四五〇	四,五五〇	一五,五八六	三,五一八	一〇六,一〇二
忠淸南道	一四	五,四五九	一四〇,〇〇〇	三一	七	一三,五九四	一四,四〇六	二七,五九三	二,六八五	一九八,三二五
全羅北道	一三	五,六三〇	一三〇,〇〇〇	三三一	二一	一八,〇一〇	七,九九〇	二一,〇二六	三,九九五	一八一,三七三
全羅南道	一七	七,二八四	一七〇,〇〇〇	七四	二六	三八,二四三	一〇,七五八	四三,三九二	九,六六七	二七二,一五九
慶尙北道	一七	六,四三一	一七〇,〇〇〇	—	一九	四三,一三〇	七,八七〇	二五,九五九	二,六九〇	二四九,六六八
慶尙南道	一五	五,三三五	一五〇,〇〇〇	一四	二	二八,七七二	一三,〇二五	三三,四六七	二,七六三	二一八,〇四三
黃海道	一一	四,五一三	一一〇,〇〇〇	三九	—	二一,二八三	七一七	二〇,六四三	三,二四〇	一五五,九三三
平安南道	一一	三,〇八六	一一〇,〇〇〇	五三	—	一九,三三三	二,七六七	一九,七七一	一,二六九	一五三,〇九三
平安北道	一三	三,五五二	一三〇,〇〇〇	—	—	三三,六八八	一〇,八一三	一一,九三四	—	一六五,四三四
江原道	九	三,一〇五	九〇,〇〇〇	九八	一,〇一〇	一八,一一五	五,八八五	二一,一二九	四二六	一三六,六六三
咸鏡南道	一一	三,七〇六	一一〇,〇〇〇	—	一五八	一九,五五七	五,四四三	一六,一〇二	—	一五一,三六〇
咸鏡北道	六	一,八九九	六〇,〇〇〇	二一	—	一一,三三六	二,七六四	四,五五三	九〇九	七九,四八三
計	一六〇	五七,五四三	一,六〇〇,〇〇〇	六六一	二,二四一	二八八,三八〇	九五,九一七	二七七,九六〇	三六,五七七	二,三〇一,七三六

道別	資金運轉ノ內 貸付金	共同購入	農業材料	所有物	現金	預ヶ金	雜勘定	計
	円	円	円	円	円	円	円	円
京畿道	一三〇,二七五	六二一	一,一二七	一〇,八八三	一七,二三三	七四,〇八五	—	二三四,二二二
忠淸北道	八三,四一〇	一,四四三	八六九	三,九九一	八,四六四	七,九二六	—	一〇六,一〇二
忠淸南道	一二八,九四九	一三〇	二,六七二	一三,六〇九	一六,七九四	三六,一六一	—	一九八,三二五
全羅北道	一二六,八一八	九六九	一,七四二	五,一六四	一七,七六三	二八,九一八	—	一八一,三七三
全羅南道	一七五,九二七	一五八	九七〇	一一,〇七一	二一,五九三	五二,四三一	—	二七二,一五九
慶尙北道	一四七,三六一	四五五	一,五七三	一三,五五五	一八,六九六	六九,〇二八	—	二四九,六六八
慶尙南道	一一九,六〇三	二九七	九四〇	一〇,七一〇	二〇,一八七	六六,三〇六	—	二一八,〇四三
黃海道	一三三,五六三	二九〇	一,三三五	六,二七七	一〇,五四〇	一四,九一七	—	一五五,九三三
平安南道	八二,九一四	九二	九〇七	五,一八〇	四,六〇三	五九,三九七	—	一五三,〇九三
平安北道	九三,六一七	二,六四六	二〇一	三,九八四	一八,三六七	四五,三〇八	二,四一一	一六五,四三四
江原道	九一,三三三	一九六	六四〇	五,八六七	一一,五〇三	二七,三三五	—	一三六,六六三
咸鏡南道	八一,三三一	六七六	七八三	三,六一三	一三,〇二一	四六,八五五	四,九九三	一五一,三六〇
咸鏡北道	三九,二〇六	五	一七一	二,三五〇	四,五一〇	三三,二四一	—	七九,四八三
計	一,四三三,一九五	七,九七七	一三,九三〇	九五,二五二	一九二,二七一	五六一,二〇八	七,四〇四	二,三〇一,七三六

第二項　各地狀況

一　京城、仁川方面

京城地方　市區改正ニ伴フ土地熱ノ昇騰ニ依リ資金ヲ要スルコト盛ニシテ冬物仕入米穀買出モ弗弗行ハレ加フルニ内地金融ノ逼迫、藏券ノ利上ケ朝鮮事業資金ノ貸上等有リタルタメ金融界ハ繁忙ヲ告ケ昨年ニ似ス引締ノ姿ヲ以テ月ヲ終レリ

仁川地方　例年閑散ノ時季ナルニ異ナリ數月來ノ餘勢ナルヘシ金融案外ニ引緩マス米穀ニ對スル資金ノ回收渉渉シカラサルニ加ヘ舊盆決濟及新工事開始等ニ資金ヲ呼ヒ目先需要期ヲ控ヘタルコトトテ旁市場活氣ヲ帶ヒツツ越月セリ

其他　開城カ資金固定ノ結果例年ヨリ早ク金融界繁忙ノ期ニ入リ春川カ木材搬出ノ爲メ資金ヲ要シ大田カ靑田貸竝ニ水田買收等ニ同樣融資ヲ求メタルアル外其他ノ地方一般ニ閑散ナリ

二　平壤、鎭南浦、新義州、義州方面

平壤地方　端境期ノコトトテ市況概シテ靜平ナリシモ稅關鑑定價額變更ニ基ク見越輸入及一部商人ノ決濟等ニ依リ資金ノ需要相當ニ有之貸出增加ノ狀況ヲ以テ越月セリ

鎭南浦地方　穀物ノ荷動多少有リタル爲メ幾分資金ノ回收セラルルアリシカ大體此向ハ固定ノ姿ニシテ新穀買付冬物仕入モ時季未タ熟セサルタメ金融繁忙ト云ソヘカラス

新義州方面　團米ノ先安見込賣放チモ其額少ク上流大豆ハ停滯シ穀物市場賑ハシカラサリシカ見越輸入及諸工事ニ關シ相當資金ヲ要シタル爲メ金融小締ノ體ヲ以ヲ月ヲ送リタリ

義州方面　上流雜穀持越ノ爲メ資金ヲ要シタル儘市場景氣引立タサリシモ月末ニハ決濟資金ノ移動アリ小繁ヲ以テ送リタリ

其他　沙里院カ賣掛代金ノ停滯ニ依リ金融一時逼迫ヲ告ケシモ開城、南浦、京仁等ヨリ回金アリタル爲メ金融幾分緩和セラレタルト寧邊カ明紬出廻リノ爲メ資金ノ需要漸ク增シ金融繁忙ヲ告ケシ外其他ノ地方概シテ平調ナリ

三　群山、全州、江景方面

群山地方　一旦不況ニ陷リシ產米移出モ中旬後弗弗荷動ヲ生シ之カ補充ノ廻米買付等相當有之見越輸移入及舊盆節季ニ對スル需要モ加ハリ金融繁忙ヲ告ケシカ輸移出ニ向ケラレタル資金ノ回收多ク調和順ヲ得小康ヲ以テ越月セリ

全州地方　地方團米ノ廻著多ク輸移入品ノ賣行モ良好ニシテ加フルニ舊盆節季ノコトトテ金融可ナリ繁忙ヲ唱ヘタリ

江景地方　每年ノ例ト違ヒ本年ハ出穀具合變調ニシテ今尙廻米絕ヘサルト豐作見込ノ貸付及見越輸移入等ニ依リ金融近來ニ無ク繁忙ヲ唱ヘタリ

其他　古阜、論山、南原、平澤等何レモ團米ノ出廻ト舊盆節季トニ依リ金融活氣ヲ帶ヒタリ

四　木浦方面

木浦地方　海草類ノ輸移出若干アリタレ共金融上著キ影響

無シ中旬ヨリ見越輸移入稍振ヒタルヲ以テ資金ヲ要シ小繁ノ狀ヲ示セリ

其他　濟州島カ肥料買占ノ爲メ金融活氣ヲ呈シ榮山浦カ新籾取引ニ多少資金ヲ要シタル外其他ノ地方一體ニ閑散ヲ極メタリ

五　大邱、釜山、馬山方面

大邱方面　米價ノ低落ハ倉入ノ儘停滯ヲ來シ之ニ關スル取引振ハサルモ見越輸移入ト鮮人盆節期決濟トニ相當貸金ヲ要シ金融繁忙裡ニ越月セリ

釜山地方　舊盆向トシテ鮮內地ヘノ荷動盛況ヲ告ケ之ニ連レテ移入貿易振ヒタルタメ自然資金ノ需要ヲ喚起シ移出方面ノ不景氣ヲ補ヒテ餘アリ前途新米大豆ノ出廻ヲ迎ヘツツ月ヲ終レリ

馬山地方　豐作ヲ見越シテ圍米ヲ賣放ツ者多少アリ諸工事進境ノ爲メ金融一時小繁ヲ告ケタルカ概シテ緩漫ヲ脫セサリキ

其他　金泉カ雜貨仕入ニ資金ヲ要シタル外其他ノ地一體ニ閑散ナリ

六　元山、咸興方面

元山地方　商況引續キ活潑移入栗ノ荷受資金、冬物見越仕入、諸工事等ニ依リ金融多忙ヲ來シ工事下金有リタルモ效果大ナラス大勢引締ノ裡ニ越月セリ

咸興地方　西湖、咸興輕鐵資金ノ移入セラレタルハ沈靜セル市場ヲシテ愈潤澤ナラシメ土地熱ノ勃興、見越輸入等ノ爲メ幾分引締ヲ見タルモ大勢緩漫ノ狀ニテ過キタリ

其他　ノ地方一般ニ平調ナリ

七　城津方面

城津地方　閑散ヲ極メタル市況モ月央ヨリハ見越輸移入ノ爲メ活氣ヲ呈シ夏物爲替支拂、海草買入等ト相俟ツテ金融小繁ナリキ

其他　淸津カ目先繁忙ノ曙光ヲ認メナカラ比較的閑散ヲ以テ終リタル外會寧、鏡城、羅南地方ハ何レモ豐作見込舊盆決濟、見越輸入等ノ爲メ取引好境金融界振起ノ狀ニ在リトス

一　八月末地方別各種銀行預金種類別表

（△印ハ減）

地方別	公金預金	定期預金	當座預金	小口預金	諸預金	計
京城、仁川方面	円 一、〇二〇、六二二	円 四、〇八八、九六六	円 四、七三九、七二一	円 二、六八六、〇一六	円 四、九四九、九〇九	円 一七、四八五、二三四
平壤、鎭南浦方面	二五八、五八一	四一〇、一三九	五二八、七四五	五〇五、五八七	二三二、六〇四	一、九三五、六五六
釜山、大邱方面	三三九、八四一	八六九、二六〇	一、二二六、一八五	一、一四四、三九五	一六一、七八七	三、七三一、四六八
群山方面	五六、二五一	一四二、七五二	四四九、八一三	一八六、八二〇	五六、一七五	八九一、八一一
木浦方面	一四〇、八九九	二〇一、四七五	三七六、三二七	二八四、七五九	八八、二五七	一、〇九一、六七七
元山方面	五七、二〇〇	一八九、一四九	三八〇、五六六	二一三、六二九	二一、八〇六	八六二、三五〇
淸津方面	四一、一三三	四六、九四九	一三一、七一九	一七二、〇九一	一〇、〇七五	四〇一、九四九

合計	一,九〇四,四八七	五,九四八,六九〇	七,八三三,〇七六	五,一九三,二九七	五,五二〇,五九五	二六,四〇〇,一四五
對前月增減	△二〇八,五七七	一六九,八九八	△四一二,四七二	△一七六,三九〇	△三二一,一七五	△九四八,七一六
對前年同月增減	一二三,四六五	一,二〇五,三六〇	△三一二,七七三	四六五,二九五	二,八五九,〇八五	四,三四〇,四三二

二　八月末地方別各種銀行貸出金種類別表

（△印ハ減）

地方別	政府貸上金	年賦貸付金	普通貸付金	當座貸越	手形割引	計
	円	円	円	円	円	円
京城、仁川方面	一四,五九四,六七七	八,五九五,五四四	五,七六七,三五三	一,六八五,一九五	九,三五九,三三八	四〇,〇〇二,一四七
平壌、鎮南浦方面	—	一四九,三三四	一,六〇三,五四八	二五六,〇一一	二,六六一,一二八	四,六七〇,〇二一
釜山、大邱方面	—	三三,九二二	一,六二九,八四一	七七五,六六九	二,九五九,六〇九	五,三九九,〇四一
群山方面	—	三一三,四五〇	四三九,一四一	三五六,一六〇	一,一九六,四二九	二,三〇五,一八〇
木浦方面	—	一四五,四六五	五一二,四三〇	九九,二五四	六〇五,七七三	一,三六二,九二二
元山方面	—	一一〇,六四四	四九六,九〇一	九五,一五一	六六六,二九一	一,三六八,九八七
清津方面	—	一六,一四四	六九,三八四	一一,〇八九	一七七,〇〇五	二七三,六二二
合計	一四,五九四,六七七	九,三六四,五〇三	一〇,五一八,五九八	三,二七八,五二九	一七,六二五,六一三	五五,三八一,九二〇
對前月增減	二,五〇〇,〇〇〇	△一二九,〇一六	△二一七,九八四	一八八,六〇七	一,二九七,二七四	三,六三九,二八一
對前年同月增減	二,五〇〇,〇〇〇	一四一,九九三	九四七,六〇八	一,五六八,四六五	四,七二九,〇六三	一九,八八七,一二九

（備考）京城方面ヘハ政府貸上金及第一銀行ニ對スル別途貸付ヲ含ム

三　八月中地方別各種銀行金銀出納及遊金表

（△印ハ減）

地方別	繰越高 現金	繰越高 預ケ金	入金高 現金	入金高 預ケ金	出金高 現金	出金高 預ケ金	現在高 現金	現在高 預ケ金
	円	円	円	円	円	円	円	円
京城、仁川方面	四,四三四,五三〇	一,一六二,四六四	七三,四三四,七六四	四,六三三,九九一	七四,〇〇六,六七三	四,八九九,七八一	三,八六二,六二一	八九六,六七四
平壌、鎮南浦方面	五〇四,七二八	五五,二九八	一六,五九一,四八八	一,二四一,九八二	一六,五九七,一八三	一,二六一,三一〇	四五九,〇三三	三五,九一六
釜山、大邱方面	六四〇,四〇四	八七,八三九	二〇,三一九,八九八	一,三三六,二一五	二〇,二九八,六一六	一,二一六,八〇〇	七一一,六八六	二〇七,二五四
群山方面	二七二,四二四	一四,八一八	五,一七〇,七二一	二二九,三三四	五,二五一,八六九	二〇六,二四七	一九一,二七六	四七,九〇五
木浦方面	三三一,五六五	一一,三四〇	三,九四九,四三八	一六八,三六五	三,九八二,五五七	一八〇,七三一	一九八,四四六	九八,九七四

地方別	繰越高 現金 円	繰越高 預ヶ金 円	入金高 現金 円	入金高 預ヶ金 円	出金高 現金 円	出金高 預ヶ金 円	現在高 現金 円	現在高 預ヶ金 円
元山方面	二五二、七一六	一一七、三九二	六、〇八四、七三一	五七五、二〇二	六、〇五八、三八五	五五二、七五七	二七九、〇六二	一三九、八三七
清津方面	五三〇、六八六	二、九一六	二、八一八、〇八三	二九、〇九五	二、八一八、九三六	三一、七〇一	五二九、八三三	三一〇
總計	六、八六七、〇五三	一、五六二、〇二三	二八、三二九、一三三	八、二一四、一八四	二八、九七四、二一九	八、三四九、三三七	六、二三一、九五七	一、四二六、八七〇

（備考）金銀在高中ニハ外國貨及外國手形ヲ含ム

四　八月中各地方別金利表

（△印ハ減）

銀行　預金

地方別	定期預金 一箇年以上 分厘	定期預金 六箇月以上 分厘	定期預金 三箇月以上 分厘	當座預金 高 錢厘	當座預金 低 錢厘	當座預金 普 錢厘	小口預金 高 錢厘	小口預金 低 錢厘	小口預金 普 錢厘	諸預金 高 錢厘	諸預金 低 錢厘	諸預金 普 錢厘
京城、仁川方面	六五	五五	五〇	一二	五	八	二〇	一〇	一三	一八	五	一〇
平壤、鎭南浦方面	六〇	五五	五〇	一〇	三	八	一八	一一	一五	一四	一〇	一二
釜山、大邱方面	六〇	五五	四五	一二	四	八	一七	一一	一二	二〇	八	一二
群山方面	六五	五五	五〇	一三	四	八	一五	一一	一三	二〇	一〇	一五
木浦方面	六〇	五五	四五	一二	七	九	一七	一〇	一二	八	五	八
元山方面	六〇	五五	五〇	一二	五	八	一四	一〇	一二	一六	一一	一三
清津方面	六〇	五五	五〇	八	八	八	一四	一一	一三	一五	一一	一三
平均	六一	五五	四九	一一	五	八	一六	一一	一三	一七	九	一二
對前月增減	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一	—	—
對前年同月增減	四	三	一	二	△二	△一	三	—	一	三	—	—

銀行　貸付金　/　個人

地方別	普通貸付 高 錢厘	普通貸付 低 錢厘	普通貸付 普 錢厘	當座貸越 高 錢厘	當座貸越 低 錢厘	當座貸越 普 錢厘	手形割引 高 錢厘	手形割引 低 錢厘	手形割引 普 錢厘	個人 朝鮮人 高 錢厘	個人 朝鮮人 低 錢厘	個人 朝鮮人 普 錢厘	個人 內地人 高 錢厘	個人 內地人 低 錢厘	個人 內地人 普 錢厘
京城、仁川方面	六〇	二三	三〇	五〇	二五	三八	四〇	二四	三〇	三〇〇	六〇	一〇〇	三〇〇	五〇	一一〇
平壤、鎭南浦方面	五〇	二四	三二	四二	二五	三六	四五	二四	三三	二〇〇	四〇	八〇	二〇〇	四〇	一〇〇
釜山、大邱方面	六〇	一九	三一	五〇	二四	三二	四〇	二三	三〇	一六七	七〇	一〇〇	一六七	四〇	一〇〇
群山方面	五〇	二八	三八	五〇	三〇	三九	五〇	三〇	三六	一六七	七〇	一一〇	一六七	七〇	一〇〇
木浦方面	五〇	二六	三〇	五〇	二五	三六	六〇	二五	三五	三三三	七〇	一二〇	一六七	六七	九四
元山方面	四八	二〇	三五	四五	一七	三五	三八	三〇	三三	一五〇	一〇〇	一一五	一三〇	七〇	一〇〇
清津方面	四八	二八	三六	四八	三〇	三九	四九	二八	三七	一六七	七〇	一〇〇	二〇〇	七〇	一〇〇
平均	五二	二四	三三	四八	二五	三六	四五	二六	三三	二二二	七〇	一〇四	一九〇	五八	一〇二
對前月增減	—	—	—	一	△一	二	△一	△四	△二	△三八	—	二	△二四	八	一
對前年同月增減	六	△二	△二	四	△六	△一	三	△二	△二	△七五	一四	△九	△八一	一二	△二

第三款　物價

一　八月中各地重要物價表（卸賣相場）

品名	商標又ハ品柄	單位	京城 円	仁川 円	平壤 円	鎭南浦 円	群山 円	釜山 円	大邱 円	馬山 円	木浦 円	元山 円	城津 円	清津 円	新義州 円	平均 円
繰棉	支那產	百斤	三一・〇〇〇	三三・五〇〇	二八・五〇〇	—	—	三二・五〇〇	三五、〇〇〇	—	—	—	—	—	二八・〇〇〇	三一・三五〇

打綿	上	百斤	四〇•〇〇〇	四八•〇〇〇	四三•〇〇〇	四八•〇〇〇	—	四四•八〇〇	四八•〇〇〇	四三•〇〇〇	五一•〇〇〇	四六•〇〇〇	四〇•〇〇〇	四六•七三〇	六〇•〇〇〇	四六•四六〇
石炭	筑豐切込	一噸	七•三〇〇	七•三〇〇	八•〇〇〇	九•〇〇〇	七•〇〇〇	八•〇〇〇	—	一〇•〇〇〇	八•〇〇〇	一〇•〇〇〇	—	一一•〇〇〇	—	八•五六〇
蠟燭	メラフイン	百斤	三一•五〇〇	一八•五〇〇	一五•〇〇〇	—	—	—	—	一八•〇〇〇	二〇•〇〇〇	二二•〇〇〇	—	—	二五•〇〇〇	二〇•〇〇〇
石油	上松	ナガロン入一箱	三•五一〇	三•五三〇	三•四八〇	三•五六〇	三•四五〇	三•三四〇	三•七〇〇	三•三八〇	三•五〇〇	三•五四〇	三•六六〇	三•四八〇	三•四一〇	三•五〇二
石油	勝利	同	三•一九〇	三•二三〇	三•二一〇	三•三六〇	三•一五〇	三•〇三〇	三•三四〇	三•〇八〇	三•一八〇	三•三三〇	三•三一〇	三•一八〇	三•〇九〇	三•一八二
石油	旗	同	三•一〇〇	三•一五〇	三•五五〇	三•一八〇	三•一三〇	三•一三〇	三•一〇〇	三•〇五〇	三•一〇〇	三•三三〇	三•二〇〇	三•一五〇	三•一〇〇	三•一七四
麥粉	旗印	一五十封袋入	二•五三〇	二•五〇〇	二•五〇〇	二•五〇〇	二•五七〇	二•四八〇	二•五五〇	二•五三〇	二•五五〇	二•五〇〇	二•六五〇	二•六五〇	二•五五〇	二•五四三
食鹽	臺灣粗鹽	百斤	—	—	—	—	—	一•〇五〇	—	—	—	—	—	—	—	一•〇五〇
食鹽	支那粗鹽	同	—	•七一〇	•五六〇	•五八〇	一•〇五〇	•六五〇	—	—	•六〇〇	—	一•一三〇	一•一三〇	•七〇〇	•七九〇
食鹽	支那再製鹽	同	一•二五〇	一•一五〇	•九五〇	一•二九〇	一•三〇〇	一•〇三〇	一•九〇〇	一•五〇〇	一•三〇〇	—	—	一•八一〇	一•二〇〇	一•三八五
醬油	龜甲萬	小樽一樽	三•七〇〇	三•八〇〇	四•八〇〇	—	四•一五〇	四•二五〇	二•九〇〇	—	四•五〇〇	三•八〇〇	五•〇〇〇	四•八〇〇	四•〇〇〇	四•一六四
味噌	赤	十貫目	四•二〇〇	四•〇〇〇	四•五〇〇	四•五〇〇	三•五〇〇	四•一〇〇	四•〇〇〇	三•八〇〇	四•五〇〇	三•六五〇	六•〇〇〇	四•五〇〇	三•八〇〇	四•二一二
食酢		一斗	一•二五〇	一•七〇〇	一•六〇〇	一•五〇〇	一•八〇〇	一•三〇〇	一•四三〇	一•五〇〇	一•八〇〇	一•五〇〇	二•六〇〇	二•三〇〇	一•五〇〇	一•六八三
シャンペンサイダー	三ツ矢	一四打箱入	五•〇〇〇	四•八〇〇	四•三〇〇	五•〇〇〇	四•八〇〇	四•四五〇	四•八〇〇	四•七〇〇	四•八〇〇	四•八一五	五•〇〇〇	五•三〇〇	五•〇〇〇	四•八三〇
鰹魚節	土佐節	十貫目	五一•三〇〇	五九•〇〇〇	七五•〇〇〇	五九•〇〇〇	六〇•〇〇〇	六五•〇〇〇	九〇•〇〇〇	七〇•〇〇〇	七八•〇〇〇	六〇•〇〇〇	五三•〇〇〇	六九•〇〇〇	五五•〇〇〇	六三•五六三
コンデンスミルク	鷲印	一四打箱入	一四•〇〇〇	一三•九九〇	一三•五〇〇	一三•七九〇	一三•七〇〇	一三•二〇〇	一四•〇〇〇	一三•四〇〇	一三•二〇〇	一三•五〇〇	一四•〇〇〇	一四•三〇〇	一四•〇〇〇	一三•七〇〇
精糖	四溫㊥	百斤	一〇•一〇〇	一〇•四〇〇	一〇•四〇〇	一〇•七七〇	一〇•四〇〇	—	九•七〇〇	九•八〇〇	一〇•〇〇〇	一〇•〇〇〇	一〇•六〇〇	一〇•四〇〇	一〇•五〇〇	一〇•三九六
麥酒	キリン	一四打箱入	九•五〇〇	九•三〇〇	九•五〇〇	九•五〇〇	九•八〇〇	九•〇〇〇	九•五〇〇	九•一〇〇	九•三九〇	九•六〇〇	九•八〇〇	九•八〇〇	九•五〇〇	九•四八一
麥酒	アサヒ	同	九•〇〇〇	九•二〇〇	九•〇〇〇	九•二〇〇	九•三五〇	八•八〇〇	九•六〇〇	九•二〇〇	九•三五〇	九•四五〇	九•六〇〇	九•六〇〇	九•五〇〇	九•二九六
素麵		五二貫箱入	七•二〇〇	七•二〇〇	八•五〇〇	八•〇〇〇	五•三〇〇	四•七〇〇	—	五•六〇〇	七•六〇〇	六•〇〇〇	七•五〇〇	五•二〇〇	六•〇〇〇	六•九六七
清酒	金露	四斗一五升樽入	一七•五〇〇	二〇•〇〇〇	二一•〇〇〇	二〇•五〇〇	二一•〇〇〇	二三•〇〇〇	二一•〇〇〇	二三•〇〇〇	二〇•五〇〇	二〇•〇〇〇	—	一九•〇〇〇	一九•五〇〇	二〇•四一七
清酒	白鶴	同	一八•五〇〇	二一•〇〇〇	二一•〇〇〇	二一•〇〇〇	二〇•五〇〇	二一•五〇〇	二三•〇〇〇	—	二〇•五〇〇	二三•五〇〇	二一•五〇〇	二一•〇〇〇	一九•二〇〇	二〇•八五〇
清酒	櫻正宗	三斗九升入同	一九•五〇〇	二一•〇〇〇	二〇•〇〇〇	二一•五〇〇	二〇•〇〇〇	二三•〇〇〇	二三•〇〇〇	二三•五〇〇	一八•五〇〇	二一•〇〇〇	二一•〇〇〇	—	二〇•五〇〇	二〇•九五八
紡績糸	單十手不	一梱	—	七三•五〇〇	七四•〇〇〇	七三•五〇〇	七〇•〇〇〇	六九•五五〇	七四•〇〇〇	七三•〇〇〇	七四•〇〇〇	七三•〇〇〇	七五•〇〇〇	八〇•〇〇〇	七三•〇〇〇	七三•四七九
紡績糸	單十六手不	同	七五•五〇〇	七五•九〇〇	七六•〇〇〇	七六•〇〇〇	七四•〇〇〇	七三•〇〇〇	七六•〇〇〇	七六•〇〇〇	七六•〇〇〇	七六•〇〇〇	七七•〇〇〇	—	—	七五•四七九
紡績糸	單廿手不	同	—	—	—	—	—	七八•〇〇〇	—	—	—	七〇•〇〇〇	—	—	—	七四•三五〇

品名	商標又ハ品柄	單位	京城	仁川	平壤	鎮南浦	群山	釜山	大邱	馬山	木浦	元山	城津	清津	新義州	平均
			円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円
生金巾	三E	一反	—	六・四五〇	六・七〇〇	六・八〇〇	—	六・八〇〇	—	六・五五〇	六・三〇〇	六・五〇〇	七・〇〇〇	—	六・五〇〇	六・六二一
生シーチング	▲三A	一反	七・二一五	七・一〇〇	七・三〇〇	七・〇五〇	—	七・一〇〇	—	—	七・三〇〇	七・一〇〇	七・一〇〇	七・〇五〇	—	七・一三三
晒金巾	九牡丹	一反	六・一〇〇	七・四五〇	七・七五〇	七・二〇〇	—	七・四〇〇	七・四〇〇	七・〇〇〇	七・五〇〇	七・〇〇〇	六・三〇〇	—	七・六〇〇	七・一五四
生天竺	旗	一反	三・一〇〇	—	三・五〇〇	—	—	三・六〇〇	三・六〇〇	—	三・五〇〇	三・七〇〇	三・七〇〇	—	—	三・五二九
小巾白木綿	細地	一反	・九五〇	一・八〇〇	一・六〇〇	一・七七〇	一・四五〇	一・八三〇	一・八五〇	一・六〇〇	一・七五〇	一・七五〇	一・七〇〇	一・七三〇	—	一・六四八
	太地	同	一・三〇〇	一・一〇〇	一・三一〇	一・二〇〇	一・五〇〇	一・四三〇	—	一・三〇〇	—	一・〇〇〇	一・〇五〇	一・八五〇	—	一・二九四
寒冷紗	上	一反	一・四五〇	一・六五〇	一・六〇〇	—	一・六〇〇	一・五七〇	一・七五〇	一・六〇〇	一・六〇〇	二・〇〇〇	—	—	一・六〇〇	一・六四二
	下	同	一・一〇〇	一・五五〇	一・五〇〇	—	一・五五〇	一・四三〇	一・四五〇	一・五〇〇	一・一〇〇	一・〇〇〇	一・三〇〇	—	—	一・三四七
支那麻布	大夏布	六丈内外	二・七〇〇	三・〇〇〇	二・七三〇	—	—	二・八〇〇	五・〇〇〇	三・五〇〇	三・二〇〇	五・五〇〇	—	—	—	三・五五四
	小夏布	二丈内外	・九〇〇	・八〇〇	—	—	—	一・〇八〇	一・〇〇〇	・七〇〇	一・一〇〇	一・二〇〇	—	—	—	・九六七
半紙	手漉	上一締 六斤以内	二・九〇〇	四・〇〇〇	四・八〇〇	三・四〇〇	三・五〇〇	二・六〇〇	三・二〇〇	二・七〇〇	四・〇〇〇	三・一〇〇	三・〇〇〇	三・〇〇〇	三・〇〇〇	三・三三三
美濃紙	同	上一締 十斤以内	五・六〇〇	七・〇〇〇	六・五〇〇	四・八〇〇	七・五〇〇	五・〇〇〇	六・五〇〇	五・三〇〇	六・〇〇〇	五・五〇〇	五・三〇〇	五・〇〇〇	六・〇〇〇	五・八四六
鐵釘	二吋半	百斤	六・六〇〇	六・八〇〇	七・一〇〇	六・九五〇	六・八〇〇	六・四五〇	六・六〇〇	七・八〇〇	六・五〇〇	七・二〇〇	七・六五〇	七・〇〇〇	七・八〇〇	七・〇一九
セメント	小野田	一樽	五・三〇〇	四・七五〇	五・三〇〇	—	五・三五〇	五・二〇〇	六・〇〇〇	五・三〇〇	五・三五〇	五・三〇〇	—	—	五・五〇〇	五・三三五
	淺野	同	五・三五〇	四・七五〇	五・〇〇〇	—	五・三〇〇	五・〇〇〇	六・二〇〇	五・五〇〇	五・三五〇	五・一〇〇	—	五・三〇〇	五・五〇〇	五・三〇五
安全燐寸	雙鹿	一噸 六百打	—	一九・二五〇	一六・一〇〇	一九・五〇〇	一八・〇〇〇	一九・五〇〇	—	一九・三〇〇	一九・二五〇	一八・五〇〇	一八・五〇〇	一九・〇〇〇	二五・六〇〇	一九・三二八
黄燐燐寸	桃猿	同 千二百打	二四・〇〇〇	二三・七〇〇	二五・一〇〇	二四・六〇〇	二三・四〇〇	二四・六〇〇	—	—	二三・五〇〇	—	—	二五・〇〇〇	二五・六〇〇	二四・三七八
木材	北海道松角	百才	—	六・三〇〇	六・五〇〇	九・〇〇〇	六・五〇〇	六・三〇〇	一〇・〇〇〇	—	五・五〇〇	—	—	—	—	七・一五七
	同六分板	一坪	—	・八六〇	一・〇〇〇	一・二〇〇	一・一五〇	・八〇〇	一・五〇〇	—	・九〇〇	—	—	—	—	一・〇五九
	杉角	百才	—	九・〇〇〇	一・四〇〇	一一・〇〇〇	八・〇〇〇	八・五〇〇	一五・〇〇〇	四・五〇〇	六・五〇〇	九・五〇〇	八・五〇〇	—	—	九・四五〇
	同六分板	一坪	—	一・三〇〇	一・五〇〇	一・六〇〇	一・四〇〇	一・三〇〇	一・七〇〇	一・二〇〇	一・二〇〇	一・五五〇	一・四〇〇	—	—	一・四一五
支那葉煙草		百斤	—	—	九・六〇〇	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	九・六〇〇

二 八月中各地重要物價表（小賣相場）

品目	商標又ハ品柄	單位	京城 円	仁川 円	平壤 円	鎮南浦 円	群山 円	釜山 円	大邱 円	馬山 円	木浦 円	元山 円	城津 円	淸津 円	新義州 円	平均 円
玄米	上	一石	一六・〇〇〇	一六・三〇〇	一五・六〇〇	一四・九九〇	一八・八六〇	一八・五六〇	一七・〇〇〇	一八・三〇〇	一八・〇四〇	—	—	—	—	一七・〇[illegible]
	中	同	一四・五〇〇	一五・八〇〇	一五・一〇〇	一三・九五〇	一八・〇三〇	一七・四三〇	一六・五八〇	一七・五〇〇	一七・九四〇	一六・一〇〇	—	—	一三・〇〇〇	一五・八九五
	下	同	一三・〇〇〇	一五・三〇〇	一四・〇〇〇	一二・八五〇	一六・九七〇	一六・五五〇	一六・〇〇〇	一七・〇〇〇	一七・七四〇	—	—	—	—	一五・四四六
精米	上	一石	二三・〇〇〇	二二・七五〇	二一・〇〇〇	二〇・八九〇	二二・五七〇	二三・四〇〇	二三・〇〇〇	二四・〇〇〇	二三・一八〇	二三・九五〇	二三・〇〇〇	二六・五〇〇	二三・〇〇〇	二二・七一一
	中	同	二一・〇〇〇	二〇・〇〇〇	一九・九〇〇	一九・八〇〇	二二・一〇〇	二一・四八〇	二一・〇〇〇	二三・〇〇〇	二一・一八〇	二三・九一〇	二〇・〇〇〇	二五・五〇〇	二一・五〇〇	二一・四六二
	下	同	二〇・〇〇〇	一八・五〇〇	一七・六〇〇	一八・八九〇	二一・七〇〇	二〇・一一〇	二〇・〇〇〇	二三・〇〇〇	一八・四七〇	一九・八〇〇	一八・〇〇〇	二一・三〇〇	二一・〇〇〇	一九・七九八
籾	上	一石	八・五〇〇	九・七五〇	七・四〇〇	六・九五〇	九・四三〇	一一・〇〇〇	六・七〇〇	一〇・五〇〇	一〇・一八〇	—	—	—	七・〇〇〇	八・七四一
	下	同	七・五〇〇	七・九五〇	七・〇〇〇	五・六三〇	八・九七〇	一〇・〇〇〇	五・五〇〇	一〇・五〇〇	七・七八〇	六・三〇〇	—	—	六・〇〇〇	七・五四七
大麥	上	一石	六・〇〇〇	五・四〇〇	四・八〇〇	四・七三〇	六・三〇〇	六・三〇〇	五・七〇〇	七・〇〇〇	六・〇〇〇	—	—	—	—	五・八[illegible]
	下	同	五・二〇〇	四・九〇〇	四・三五〇	五・四八〇	六・〇〇〇	五・八〇〇	五・〇〇〇	六・五〇〇	五・〇〇〇	—	—	—	三・八〇〇	五・〇[illegible]
小麥	上	一石	八・四〇〇	八・〇〇〇	八・七五〇	七・八三〇	八・三〇〇	八・八〇〇	八・〇〇〇	八・五〇〇	八・六〇〇	九・三〇〇	—	—	—	八・四四八
	下	同	八・〇〇〇	七・五〇〇	八・一三〇	七・五三〇	八・一〇〇	八・〇五〇	七・五〇〇	八・〇〇〇	七・八〇〇	—	—	—	—	七・八四六
大豆	上	一石	八・〇〇〇	八・三五〇	七・五〇〇	七・九四〇	八・二七〇	七・九三〇	八・三〇〇	九・〇〇〇	八・五〇〇	九・四五〇	八・八〇〇	六・五〇〇	七・〇〇〇	八・一九五
	下	同	七・五〇〇	七・一五〇	六・四〇〇	七・三一〇	八・一三〇	七・三五〇	七・五〇〇	八・〇〇〇	九・〇〇〇	八・四〇〇	七・四〇〇	—	六・五〇〇	七・五四四
小豆	上	一石	一四・〇〇〇	一四・〇〇〇	一三・八〇〇	一三・三六〇	一三・七〇〇	一四・三〇〇	一三・五〇〇	一三・〇〇〇	一六・〇〇〇	一三・五〇〇	九・二〇〇	八・五〇〇	一二・五〇〇	一二・七九七
	下	同	一三・〇〇〇	一二・一五〇	一二・五〇〇	一一・九〇〇	一三・五五〇	一二・九三〇	一三・〇〇〇	一二・〇〇〇	一五・〇〇〇	一一・五〇〇	八・九〇〇	—	一二・五〇〇	一二・三四四

品目	商標又ハ品柄	單位	京城	仁川	平壤	鎭南浦	群山	釜山	大邱	馬山	木浦	元山	城津	淸津	新義州	平均
			円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円
荏胡麻子		一石	九•〇〇〇	八•六五〇	一〇•五〇〇	九•三二〇	八•〇〇〇	七•三〇〇	七•六五〇	—	八•〇〇〇	—	—	—	—	八•五四〇
牛皮	中皮	百斤	四六•〇〇〇	四六•七五〇	五四•〇〇〇	四〇•〇〇〇	四三•〇〇〇	四〇•〇〇〇	四六•〇〇〇	四五•〇〇〇	四一•〇〇〇	四五•〇〇〇	三八•〇〇〇	—	—	四三•九七七
牛脂	蜜蠟	百斤	一六•〇〇〇	一五•六五〇	一五•〇〇〇	一五•五〇〇	一四•〇〇〇	一三•〇〇〇	—	一七•〇〇〇	一三•〇〇〇	—	—	—	—	一四•六四四
牛骨	肥料用	百斤	一•二〇〇	一•七五〇	一•六〇〇	一•一〇〇	一•三五〇	一•八〇〇	一•三〇〇	一•五〇〇	一•二〇〇	一•六〇〇	—	—	—	一•四四〇
生牛		一頭	四二•〇〇〇	八〇•〇〇〇	八五•〇〇〇	—	四五•〇〇〇	五〇•〇〇〇	五〇•〇〇〇	—	四八•〇〇〇	七五•〇〇〇	五〇•〇〇〇	—	四五•〇〇〇	五七•〇〇〇
生棉		百斤	—	—	—	—	—	六•〇〇〇	—	—	—	—	—	—	—	六•〇〇〇
明太魚		四十斤一駄	二〇•〇〇〇	二一•〇〇〇	—	[illegible]	二三•〇〇〇	二四•〇〇〇	二三•九〇〇	二二•〇〇〇	二五•〇〇〇	一九•五〇〇	二〇•〇〇〇	一五•〇〇〇	—	二一•三〇九
朝鮮白紙	見様紙	一塊	二七•五〇〇	三五•〇〇〇	—	—	—	二八•〇〇〇	三〇•〇〇〇	三〇•〇〇〇	三〇•〇〇〇	—	—	一一•五〇〇	—	二七•四二九
	買物紙	同	一五•五〇〇	二〇•〇〇〇	—	—	一五•〇〇〇	一五•四〇〇	一八•〇〇〇	一〇•〇〇〇	一四•〇〇〇		—	—	—	一五•四一四
木炭	白炭	十貫目	一•〇五〇	一•一五〇	—	一•〇五〇	一•四九〇	—	一•〇〇〇	—	•九五〇	•八五〇	—	一•三五〇	一•一五〇	一•一〇六
	黒炭	同	•八〇〇	一•〇〇〇	—	一•一〇〇	一•一〇〇	—	•八〇〇	—	•七五〇	•八五〇	一•二〇〇	一•一〇〇	一•〇〇〇	•九七〇
松薪		十貫目	•五〇〇	•四〇〇	—	•三七〇	•四五〇	—	—	—	•二三〇	•六〇〇	•九五〇	—	•三〇〇	•四五〇
葉煙草	連	一駄	二〇•〇〇〇	一四•〇〇〇	二〇•六〇〇	二三•八〇〇	—	—	二〇•〇〇〇	—	一〇•〇〇〇	—	—	—	—	一七•九〇〇
木材	鴨綠江松角	百才	五•〇〇〇	九•〇〇〇	八•五〇〇	一〇•〇〇〇	六•〇〇〇	七•〇〇〇	一〇•〇〇〇	五•五〇〇	五•五〇〇	五•八〇〇	—	五•三〇〇	七•〇〇〇	七•〇五〇
	同六分板	一坪	一•七〇〇	一•三〇〇	一•三五〇	一•三〇〇	一•三〇〇	—	一•四〇〇	一•一〇〇	•九〇〇	一•二五〇	—	—	一•五〇〇	一•二九〇

第四款 勞銀

八月中各地勞動賃銀表

職業	京城	仁川	平壤	鎭南浦	群山	釜山	大邱	馬山	木浦	元山	城津	平均
	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円
大工	一•五〇〇	一•四〇〇	一•八〇〇	一•五〇〇	一•五〇〇	一•三〇〇	一•三五〇	一•一五〇	一•三〇〇	一•五〇〇	一•六〇〇	一•四四五

同朝鮮人	一・〇〇〇	・八〇〇	・六〇〇	・七〇〇	・八〇〇	・七〇〇	・五五〇	—	一・二〇〇	・五五〇	一・〇〇〇	・七九〇
左官	一・五〇〇	一・四〇〇	一・八〇〇	—	一・五〇〇	一・三〇〇	一・三〇〇	一・三〇〇	一・三〇〇	一・五〇〇	一・八〇〇	一・四七〇
石工	二・〇〇〇	一・八〇〇	二・二〇〇	二・〇〇〇	一・六〇〇	一・八〇〇	一・五〇〇	一・六五〇	一・五〇〇	二・〇〇〇	二・〇〇〇	一・八二三
同朝鮮人	—	一・〇〇〇	一・二〇〇	—	・八〇〇	—	—	—	一・二〇〇	・七〇〇	一・二〇〇	一・〇一七
木挽	一・八〇〇	一・二五〇	一・七〇〇	—	一・五〇〇	一・三五〇	一・四五〇	一・四〇〇	—	二・〇〇〇	一・六〇〇	一・五六一
同朝鮮人	一・〇〇〇	一・〇〇〇	・八〇〇	—	一・二〇〇	・八七五	・七〇〇	—	—	一・二〇〇	・八〇〇	・九四七
瓦葺	二・〇〇〇	一・五〇〇	一・八〇〇	一・五〇〇	一・五〇〇	一・八〇〇	一・四〇〇	一・三〇〇	一・八〇〇	—	一・六〇〇	一・六二〇
煉瓦職	二・〇〇〇	一・五〇〇	二・〇〇〇	一・五〇〇	—	一・九〇〇	一・四〇〇	一・八〇〇	二・〇〇〇	—	二・〇〇〇	一・七四四
同朝鮮人	一・二〇〇	・八五〇	一・二〇〇	—	—	一・一〇〇	—	—	—	—	一・〇〇〇	一・〇七〇
ペンキ職	一・五〇〇	一・四〇〇	一・七〇〇	一・五〇〇	一・五〇〇	一・三〇〇	一・五〇〇	一・五〇〇	一・五〇〇	—	二・〇〇〇	一・五四〇
錻力職	一・五〇〇	一・三〇〇	一・六〇〇	一・五〇〇	一・五〇〇	一・三五〇	一・二〇〇	一・四〇〇	一・五〇〇	—	二・〇〇〇	一・四八五
鍛冶職	一・五〇〇	一・五〇〇	二・二〇〇	二・〇〇〇	一・二〇〇	一・二五〇	一・五〇〇	一・六五〇	一・〇〇〇	一・八〇〇	二・〇〇〇	一・六〇九
疊職	一・四〇〇	一・四〇〇	一・三〇〇	一・六五〇	一・五〇〇	一・一〇〇	一・五五〇	一・二〇〇	一・三〇〇	—	二・〇〇〇	一・四四〇
井戸掘	一・二〇〇	一・八〇〇	一・八〇〇	二・〇〇〇	—	一・六五〇	一・〇〇〇	—	二・〇〇〇	—	一・五〇〇	一・六一九
表具師	一・二〇〇	一・四五〇	一・三〇〇	一・五〇〇	一・二〇〇	一・一〇〇	一・五〇〇	一・三〇〇	一・五〇〇	—	一・六〇〇	一・三六五
同朝鮮人	・八〇〇	・八五〇	・七〇〇	—	・八〇〇	—	・七〇〇	—	一・三〇〇	—	—	・八五八
靴製造職	—	一・四五〇	二・三〇〇	—	一・三〇〇	一・二五〇	一・〇〇〇	一・二五〇	—	—	二・〇〇〇	一・五〇七
洋服職工	—	一・四〇〇	二・五〇〇	—	一・五〇〇	一・二五〇	・八〇〇	一・〇〇〇	二・〇〇〇	—	一・八〇〇	一・五三一
車夫	一・四五〇	一・二〇〇	一・九〇〇	一・五〇〇	二・〇〇〇	一・五〇〇	一・三〇〇	一・三〇〇	二・〇〇〇	一・〇〇〇	—	一・五一五
同朝鮮人	一・一〇〇	一・〇五〇	一・七〇〇	一・五〇〇	一・八〇〇	一・五〇〇	一・〇〇〇	一・二〇〇	—	・五〇〇	—	一・二六一
人夫	・八〇〇	・八五〇	・九〇〇	・七〇〇	一・〇〇〇	・八五〇	・八〇〇	・七〇〇	一・〇〇〇	一・〇〇〇	一・〇〇〇	・八七三
同朝鮮人	・四〇〇	・四五〇	・四〇〇	・四五〇	・四五〇	・四五〇	・五五〇	・四〇〇	・五〇〇	・五〇〇	・五〇〇	・四五九

第五款 參考資料

第一 手形交換

一 京城、釜山、仁川手形交換所交換高

銀行名	仕拂手形 京城 交換金額	仕拂手形 京城 交換差額	仕拂手形 釜山 交換金額	仕拂手形 釜山 交換差額	仕拂手形 仁川 交換金額	仕拂手形 仁川 交換差額	仕拂手形 計 交換金額	仕拂手形 計 交換差額	持出手形 京城 交換金額	持出手形 京城 交換差額	持出手形 釜山 交換金額	持出手形 釜山 交換差額	持出手形 仁川 交換金額	持出手形 仁川 交換差額	持出手形 計 交換金額	持出手形 計 交換差額
	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円
朝鮮銀行	一、一六五、三三七	三四七、六二九	三六二、〇三七	九八、八〇三	二三六、六〇九	五、〇五一	一、七六四、一七三	四五一、四八三	一、〇七四、九五〇	二五七、五五三	三五六、七四九	九二、五一四	六八〇、一五四	四四八、二九六	二、一一一、八五三	七九六、三六三
第一銀行支店	一、一〇八、五七三	三五二、〇三七	四八三、一一五	一〇五、五五〇	—	—	一、五九一、四八七	四九七、五七七	九四六、八〇〇	一九〇、四五五	四四三、一二八	六五、五六三	—	—	一、三八九、九二八	二五六、〇一八
百三十銀行支店	七七一、三九四	二〇三、五六三	一八六、〇六二	一〇、六七三	三二一、三六二	一七八、一八二	一、二七八、八一八	三九一、四一八	六八五、六八六	一一六、八五五	三六三、八八五	八八、四九八	一五四、七四六	一一、五六六	一、二〇四、三一七	二一六、六一九
十八銀行支店	四六三、九六〇	一三〇、八九	二七一、三五六	六一、五三六	六二三、三七八	三〇三、一三二	一、三四七、六九四	三七七、七九七	九四三、六六三	四九三、七九一	三〇五、五七七	九九、七七七	五五二、三八九	四三一、四四	一、八〇一、六四八	六三一、七二三
漢湖農工銀行	三五九、一〇九	一七八、三三八	—	—	—	—	三五九、一〇九	一七八、三三八	四三九、一七五	二一〇、四〇四	—	—	—	—	四三九、一七五	二一〇、四〇四
朝鮮商業銀行	七七三、三〇七	一八三、七七一	—	—	七八、九三〇	四四、一七九	八五二、二三七	二二七、九四六	七四八、二八四	一九八、六四八	—	—	六二、三九〇	二七五、三四	八一〇、六七四	一八六、一八二
韓一銀行	一一一、六二四	五五、九六九	—	—	—	—	一一一、六二四	五五、九六九	一七九、八八三	一〇三、二八	—	—	—	—	一七九、八八三	一〇三、二八
漢城銀行	二八八、七一一	一三三、五二九	—	—	—	—	二八八、七一一	一三三、五二九	一七五、三七四	二〇一、八七	—	—	—	—	一七五、三七四	二〇一、八七
慶尚農工銀行	—	—	一六八、五二九	一〇八、五五七	—	—	一六八、五二九	一〇八、五五七	—	—	七三、九一九	一〇、九四七	—	—	七三、九一九	一〇、九四七
周防銀行支店	—	—	一二七、五五五	三〇、三一三	—	—	一二七、五五五	三〇、三一三	—	—	一五六、三六六	五九、一三三	—	—	一五六、三六六	五九、一三三
京城郵便局	二七六、七〇九	—	—	—	—	—	二七六、七〇九	—	二七六、七〇九	—	—	—	—	—	二七六、七〇九	—
合計	五、二五二、四一九	一、四六六、九一一	一、九九八、六三四	四一三、四三一	一、二四九、五七九	五三〇、五四〇	八、五〇〇、六三二	二、四一〇、八八二	五、二五二、四一九	一、四六六、九一一	一、九九八、六三四	四一三、四三一	一、二四九、五七九	五三〇、五四〇	八、五〇〇、六三二	二、四一〇、八八二

二 交換手形種類別表

證書種類	京城 枚數	京城 金額	釜山 枚數	釜山 金額	仁川 枚數	仁川 金額	計 枚數	計 金額
		円		円		円		
小切手	一二、二四二	三、五四八、三一六	五、七四五	一、二七二、七一三	一、九九五	一、一〇七、七三〇	一九、九八二	五、九二八、七五九

爲替手形	五六〇	三三〇、八一五	八八六	二一一、六八四	二九〇	一二七、七六二	一、七三六	六七〇、二六一
約束手形	六六	三三、九五三	二〇	一一、一五〇	—	—	八六	四五、一〇三
仕拂命令	一、七四二	八五〇、〇七五	六九	三四、六四九	二五	五、〇七三	一、八三六	八八九、七九七
郵便爲替證書	二、五三二	二七六、七〇五	—	—	—	—	二、五三二	二七六、七〇九
公債債券同利札	一、〇二〇	六三八	—	—	—	—	一、〇二〇	六三八
雜證書	三八五	三一一、九一七	四七	六八、四三八	三	九、〇一四	四三五	三八九、三六九
總計	一八、五四七	五、三五二、四一九	六、七六七	一、五九八、六三四	二、三一三	一、二四九、五七九	二七、六二七	八、二〇〇、六三二

第二　八月中大阪及仁川定期米相場表

（△印ハ減）

年月	大阪 當限 最高	大阪 當限 最低	大阪 當限 平均	大阪 中限 最高	大阪 中限 最低	大阪 中限 平均	大阪 先限 最高	大阪 先限 最低	大阪 先限 平均	仁川 當限 最高	仁川 當限 最低	仁川 當限 平均	仁川 中限 最高	仁川 中限 最低	仁川 中限 平均	仁川 先限 最高	仁川 先限 最低	仁川 先限 平均
	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円
八月中	—	—	—	二〇・一〇〇	一七・〇八〇	一八・六三九	一九・一三〇	一六・九二〇	一七・八八五	一五・二〇〇	一五・〇〇〇	一五・一〇〇	一六・四五〇	一五・一五〇	一五・六二五	一五・五五〇	一五・二八〇	一五・四三五
對前月增減	—	—	—	△八〇〇	△三・八二〇	△二・二六一	△三・二六〇	△一・九五〇	△二・五〇八	△一・八〇〇	—	△・六六六	△・五四〇	△一・八〇〇	△一・三四五	△四・六三〇	△・〇八〇	△二・〇九二
對前年同月增減	—	—	—	—	—	—	一・〇二〇	△・一二〇	・二四九	一・〇〇〇	一・〇〇〇	一・〇〇〇	—	—	—	二・四二〇	二・七五〇	二・六四二

第三　八月中朝鮮國產大豆大阪相場表

（△印ハ減）

年月	釜山 高	釜山 低	釜山 普	仁川 高	仁川 低	仁川 普	鎭南浦 高	鎭南浦 低	鎭南浦 普	元山 高	元山 低	元山 普
	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円
八月中	一二・一〇〇	一〇・七〇〇	一〇・九〇八	一二・一〇〇	一〇・八〇〇	一〇・八七五	一一・六〇〇	一一・二〇〇	一一・四二五	一一・九〇〇	一一・六〇〇	一一・七九二
對前月增減	△一・三〇〇	△・一〇〇	△・三六九	△・五〇〇	△・三〇〇	△・四六三	△・四〇〇	△・三〇〇	△・〇七五	△・四〇〇	△・二〇〇	△・三一六
對前年同月增減	一・一〇〇	一・四〇〇	一・二八九	一・一〇〇	一・七〇〇	一・三六四	・九〇〇	二・一〇〇	一・二一九	・一〇〇	・二〇〇	・二〇二

運輸及交通

○道路改修工事概況（八月末日）

土木局調査

○清津會寧線

咸鏡北道清津ヨリ富寧ヲ經テ會寧ニ至ル

道路幅員四間、改修距離二十三里十八町

清津方面ヨリ起工シ目下著手距離十六里七町、著手距離ニ對シ約七歩八里ノ成工ニシテ全線大正二年三月竣工ノ豫定

○平壤元山線

平安南道平壤ヨリ江東化倉陽德ヲ經テ咸鏡南道元山ニ至ル

道路幅員四間、改修距離五十五里

目下平壤、元山兩方面ヨリ起工著手中ニシテ全線大正五年三月竣功ノ豫定

（平壤方面）

平壤化倉間（二十八里）

目下著手距離十二里十二町、著手距離ニ對シ約六歩通成工シタリ

（元山方面）

元山化倉間（二十七里）

目下著手距離二里三十一町餘、著手距離ニ對シ約八歩通成工シタリ

○京城元山線

京畿道京城ヨリ江原道ヲ經テ咸鏡南道元山ニ至ル現在道路局部改修

道路幅員二間乃至四間、局部改修距離三十里

元山方面ヨリ淮陽附近ニ至ル間局部五里二十一町著手中ニシテ全線大正三年三月竣功ノ豫定

○海州載寧線

黃海道海州ヨリ新酒幕、新院ヲ經テ載寧ニ至ル

道路幅員三間、改修距離十五里十八町

海州載寧兩方面ヨリ起工シ目下著手距離十三里二十四町著手距離ニ對シ約五歩通ノ成工ニシテ全線大正二年三月竣功ノ豫定

○安州滿浦鎭線

平安南道安州ヨリ平安北道熙川江界等ヲ經テ滿浦鎭ニ至ル

道路幅員三間、改修距離八十里十八町

安州方面ヨリ起工目下著手距離九里三十四町、著手距離ニ

ニ對シ約三歩通ノ成工ニシテ全線大正五年三月竣功ノ豫定

○淸州陰城線

忠淸北道淸州ヨリ陰城附近ニ至ル

道路幅員三間、改修距離十二里

淸州方面ヨリ起工シ目下著手距離十里二十一町、著手距離ニ對シ約四歩通ノ成工ニシテ全線大正二年三月竣功ノ豫定

○晋州尙州線

慶尙南道晋州ヨリ居昌、熊陽及慶尙北道知禮等ヲ經テ尙州ニ至ル

道路幅員三間、改修距離四十四里

晋州尙州兩方面ヨリ著手中ニシテ全線大正三年三月竣功ノ豫定

（晋州方面）

晋州熊陽間（二十七里）

目下著手距離十三里十八町、著手距離ニ對シ約二歩通成工シタリ

（尙州方面）

尙州熊陽間（十七里）

目下著手距離九里二十八町、著手距離ニ對シ約二歩六厘成工シタリ

○順天全州線

全羅南道順天ヨリ全羅北道南原、任實等ヲ經テ全州ニ至ル

道路幅員三間、改修距離三十二里

順天全州方面ヨリ起工著手中ニシテ全線大正三年三月竣功ノ豫定

（順天方面）

順天南原間（十六里十八町）

目下著手距離八里十四町、著手距離ニ對シ約二歩三厘成工シタリ

（全州方面）

全州南原間（十五里十八町）

目下著手距離七里、著手距離ニ對シ約八歩五厘成工シタリ

○利川長湖院線

京畿道利川ヨリ蟾背ヲ經テ忠淸北道界長湖院ニ至ル

道路幅員四間、改修距離七里十八町

利川方面ヨリ起工目下著手距離六里三十一町、著手距離ニ對シ約五歩通ノ成工ニシテ全線大正二年三月竣功ノ豫定

○利川江陵線

京畿道利川ヨリ驪州及江原道平昌等ヲ經テ江陵ニ至ル

道路幅員三間、改修距離四十八里十八町

利川方面ヨリ起工目下著手距離七里〇三町、著手距離ニ對シ約五歩通ノ成工ニシテ全線大正五年三月竣功ノ豫定

○城津惠山鎭線

咸鏡北道城津ヨリ咸鏡南道銅店、甲山ヲ經テ惠山鎭ニ至ル

道路幅員三間、改修距離四十里

城津方面ヨリ起工シ目下著手距離二里六町、著手後日尚淺ク著手距離ニ對シ約五厘ノ成工ニシテ全線大正五年三月竣功ノ豫定

○雄基慶興線

咸鏡北道雄基ヨリ嶺底ヲ經テ慶興ニ至ル

道路幅員四間、改修距離九里

雄基方面ヨリ起工シ目下著手距離二里十町、著手後日尚淺ク著手距離ニ對シ約八里ノ成工ニシテ全線大正三年三月竣功ノ豫定

○京城市街線

（一）南大門通ヨリ永樂町二丁目ニ至ル黄金町通リ

道路幅員十二間、改修延長三百三十七間

目下著手中ニ屬スレトモ日尚ホ淺ク約一歩通ノ成工ニシテ大正元年十二月竣功ノ豫定

（二）黄金町通東部青寧橋ヨリ光熙門ニ至ル

道路幅員十二間、改修延長五百七十六間

目下著手中約三歩通ノ成工ニシテ大正元年十一月竣功ノ豫定

○各道河川ノ利用

土木局調査

朝鮮全土ヲ通シテ主要ナル江河ニシテ其ノ水運ヲ利用シ一般運輸交通ニ資セルモノ左ニ其ノ概況ヲ示スヘシ（慶尙南道報告未著ニ付之ヲ省ク）

河川名	管轄道廳	溯航地名及航行里程	船舶ノ種類及石積	積荷ノ種類	摘要
漢江	京畿道	南漢江ハ驪州郡ヲ經テ忠淸北道ニ至リ北漢江ハ合流地點ヨリ加平郡ヲ經テ江原道ニ溯ル尙果川郡鷺梁津ヨリ江原道春川ニ溯航スルモノアリ（支流ハ驪州上流陰竹郡長湖院迄水量多キトキノミ航行シ得）江華島ヨリ忠淸北道界ニ三十三里（南漢江）江華島ヨリ江原道界ニ三十四里（北漢江）	帆船舟筏管内交河郡迄千石積、龍山迄貳百石積、驪州郡迄百石積、加平郡迄四、五十石積、驪州上流ヨリ長湖院迄四、五十石積	米、鹽、薪炭、雜貨	南北漢江合流點以北以東ハ淺瀨及巖石散在シ航行ノ困難ト危險ナル場所アルモ同下流ハ稍安全ナリト雖汽船ノ航行ハ不可能ナリ尤モ龍山下流ハ近來僅カニ石油發動機ノ曳舟ヲ見ルニ至レリ

同	忠清北道	永春郡東面吾賜里及龍津里ヨリ江原道管內ニ溯航ス龍津里、龍山間里程約五十九里	帆船二十五石積乃至四十石積	鹽、明太魚(輸入品)米、麥、大豆、小豆、煙草、薪炭(輸出品)	忠州郡北邊面彈琴臺ヨリ龍山迄ノ航行里程ハ三十五里ニシテ夏季水最多キトキハ下航十二時間乃至十五時間上航五日乃至七日ヲ要シ普通ハ下航三日上航十日乃至二週間ヲ費ス航行ノ季節ハ四月上旬ヨリ十一月下旬迄ヲ最モ適當ノ時季トセリ
同	江原道	(一)京畿道加平郡界ヨリ春川邑ヲ經テ華川郡東面芝硯浦ニ至ル航行里程十四里(二)春川邑ヨリ麟蹄郡西面背邱里ニ至ル九里(三)京畿道加平郡界ヨリ洪川郡甘勿丘山面牟谷里ニ至ル二里(四)同郡界ヨリ原州郡地向谷面安昌洞ニ至ル四里(五)慶尙北道永春郡界ヨリ寧越郡郡內面德浦里ニ至ル四里十町(六)同郡界ヨリ德浦里ノ分岐點迄四里夫レヨリ同郡西面北下里ニ至ル一里	帆船二十石積乃至五十石積	鹽、金巾、石油其他ノ鹽漬物(輸入品)大豆、小豆、蕎麥、煙草(輸出品)	漸次地方ノ發展ニ伴ヒ水運ノ便ヲ利用スルモノ多キヲ加フルノ趨向ニアリ最モ頻繁ナル龍山方面ト春川間ニ於ケル舟運ハ結氷期ヲ除キ三月ヨリ十一月迄ノ九箇月間ニ於テ船舶五、六百隻アリ龍山ヨリ春川ニ溯航スルニハ七日乃至十四日間ヲ要シ同航ハ一日乃至三日ヲ要ス所所ニ淺瀬アリ水勢急ニシテ且ツ岩礁ノ散在多キ爲メ大ニ不便ヲ感ス
臨津江	京畿道	江原道伊川ニ至ル合流河口ヨリ朔寧上約十九里	帆船長湍郡高浪浦迄二百石積漣川迄五、六十石積朔寧迄三、四十石積	大豆、米、鹽、薪炭、雜貨	上流朔寧漣川郡ニ於テハ河身岩石散在シ航行危險ナルモ長湍郡高浪浦下流ハ水勢緩ニシテ深ク船舶ノ航行頗繁ナリ然レトモ所所淺瀬ノ在ル爲石油發動器曳船航行開始セシモ中絕セリ其ノ他出入貨物ハ漢江ニ相等シ輸出品中特筆スヘキハ長湍郡高浪浦市場ノ大豆取引高三萬石ハ舟楫ノ便ニヨリ仁川ニ輸出ス
錦江	忠清南道	群山河口ヨリ公州郡炎江ニ溯航ス三十五里	石油發動機船三艘五十二噸其ノ他帆船百石積乃至五百石積	不明	公州ヨリ下流扶餘江景ヲ經テ群山方面ニ航行スルニハ石油發動機船(客六、七人及荷物搭載ス)ヲ通ス結氷時卽チ十二月頃ヨリ三月頃迄ハ其ノ航行ヲ中止ス
洛東江	慶尙北道	慶尙南道道界ヨリ龍宮郡達池津及醴安郡邑內面ニ至ル此ノ里程三十三里	帆船(日本形、朝鮮形)三十石積乃至百石積	米、麥、大豆、石油、鹽、魚類、雜貨	
同	慶尙南道				
蟾津江	同				
同	全羅南道	求禮郡上旨面寒水川ニ溯航十二里谷城郡梧枝面鴨綠里ニ溯航十六里	帆船二十石積乃至五十石積	不明	谷城郡梧枝面鴨綠里ハ一ノ驛場ニシテ筏ノ組立地ナリ河身ニ相當加工セハ五十石積ノ高瀨船ヲ通過セシムルヲ得ヘシ

河川名	管轄道廳	溯航地名及航行里程	船舶ノ種類及石積	積貨ノ種類	摘要
萬頃江	全羅北道	益山郡春浦面大場村沙川里ヲ溯航終點トス 江口ヨリ約十里	帆船（朝鮮形） 五十石積乃至百石積	全州一體ノ穀物（輸出品） 海產物、木材等（輸入品）	本江ハ全州平野ノ中央ヲ貫流シ本道中ニ在リテ錦江ニ次テ水量多ク隨テ舟楫ノ便頗ル多シト雖モ常ニ海潮ノ干滿ニヨリテ支配セラレ其ノ滿潮時ニ在リテハ江口ニ於テ約二十尺ヲ增富シ其ノ進潮ハ上流約十里ニ及ヘリ故ニ船舶ノ航行ハ多ク其ノ干滿ヲ利用スト雖水路屈曲且ツ淺瀬多キヲ以テ航行往往困難ヲ感スルコトアリ而シテ其ノ舟運ノ最盛ナル時季ハ每年秋期ヨリ翌春期迄ノ間ニシテ所謂出穀期ニ屬ス
東津江	全羅北道	幹流ハ古阜郡沓內面蟻田里迄溯航（江口ヨリ約七里） 支流浦橋川ハ合流點上約一里（江口ヨリ約三里）竹山里迄溯航スルヲ常トス	帆船（朝鮮形）幹支川共 五十石積乃至百石積	不明	本江モ亦全州平野ノ南部ヲ流ス大河ニシテ萬頃江ニ亞キテ水運ノ便ヲ有シ農產物及一般貨物ノ輸出入ハ此ノ兩江ノ分掌スル所タリ而シテ水運ノ狀況及潮汐ノ關係等亦萬頃江ト異ナラス
榮山江	全羅南道	光州郡方下洞新村里ニ溯船二十二里 木浦府全洞古幕院ニ溯ル十三里五町 （支流）	汽船（五十噸） 帆船五百石積乃至四十石積	海產物及穀類	榮山浦迄ハ汽船ニヨル旅客多シ
大同江	平安南道	巷口ヨリ兼二浦ニ至ル（汽船四、〇〇〇噸）沸流江（支流） 同平壤鐵橋下ニ至ル（帆船二〇〇噸） 平壤ヨリ陽德郡別倉迄（百潭）廣船五噸吃水一尺 同稅關下ニ至ル　（同六〇噸）南江 平壤ヨリ德川（龍島面）ニ至ル一〇〇浬 平壤ヨリ（橋石）黃海道遂安ヨリ三里前五十五哩ノ地點廣船五噸（吃水一尺）	廣船（大同江流域ニ於ケル特殊ノ河舟）五噸吃水一尺及帆船、汽船ノ三種トス	平壤ニ集收ノ貨物ハ薪、松葉、葉煙草、木炭、木材、小麥、黍、粟、小豆、大豆及金鑛金塊等 平壤ヨリ上流ニ輸送スル荷物ハ石油、紡績絲、陶器、白木綿、シイチング及生金巾、燐寸、雜貨等	平壤ヨリ鎭南浦ニ出入船舶六、八四〇艘 總噸數一〇九、四四一噸 鎭南浦、平壤間輸出入貨物 平壤輸入四四、〇二四噸 價格金六六一、七八五圓 同輸出一八、八二三噸 同 五、五八八、八八〇圓
同	黃海道	兼二浦ニ至ル 里程不明	汽船（四千噸）	大豆、粟、小豆（輸出品鎭南浦ヘ） 清酒、醬油、麥粉、卷煙草、石油、燐寸、鹽魚、乾魚等（輸入品）仁川及鎭南浦ヨリ	
載寧江	黃海道	本流載寧郡銀吒只面、廣灘浦迄八里 支流（新換浦）信川郡武直浦迄三里	汽船、帆船 汽船ハ七十噸、帆船ハ二百石積乃至四、五百石積	玄米、大豆、粟、小麥（輸出品）鎭南浦平壤ヘ 石油、食鹽、煙草、木材、瓦、綿布、卷煙草（輸入品）鎭南浦、平壤ヨリ	輸出品中特記スヘキハ載寧郡鐵山（三支江面所在）ノ鐵鑛ニシテ同鑛ハ小汽船ノ引船ニ依リテ多數朝鮮船ヲ以テ移出セリ其ノ噸數ハ年額約五萬噸ナリ

禮成江	黃海道	新溪郡栗面砧橋洞迄約十五里 白川郡道上面一里甘村浦迄四里	帆船 百石積以下	大豆、小豆、糖、粟、大麥、小麥、薪炭、木皮、籾、玄米（輸出品） 石油、鹽、麻布、天竺木綿、魚類（輸入品）	本江ニ據ル輸出入品ハ京畿道管內江華島、仁川等ニ於テ需用供給セラル
鴨綠江	平安北道	龍川、義州、昌城、楚山、渭源、慈城、厚昌等（里程不明） 支流 中滿江 楚山ニ達スルモノ 東內江 江界ニ達スルモノ 慈城江 慈城ニ達スルモノ 渭原江 渭原ニ達スルモノ	汽船二千噸內外（新義州以西） 戎克、楠子、高瀬舟（新義州以東百四十里間）	大豆、玉蜀黍、粳米、高粱、車軸用壇木（輸出品） 食鹽、石油、木綿、織物、雜貨、食料品（輸入品）	本道ニ於テハ昨年支那船八十四隻ヲ買收シ之ヲシテ航運業ニ當ラシメツツアリ又日本人ニシテ高瀬船ヲ廻漕シ初メタルアリ朝鮮側ノ貨物ハ之カ爲メニ多少我手中ニ收メ得ルニ至リシモ尙ホ其ノ勢力ハ十分ノ一ニ過キス
淸川江	平　道	熙川郡南面驛坪里ニ溯航ス（一年三回）及博川郡德安面（東四里）迄溯航ス（里程不明）	汽船五六十噸（博川郡德安面東四里迄） 帆船水上船（同上上流ニ至リテハ約二十石乃至三十石積）	不	上流ノ航通期間五月ヨリ十月迄ニシテ船舶ノ數ハ五十隻內外ニ過キス 博川郡德安面迄ハ結氷期ヲ除キ絕エス鎭南浦間トノ交通アリ往來船舶ハ四百隻ヲ下ラス
大寧江	平安北道	嘉山郡瓮美ノ上流十三里泰川郡北面龍岩里迄溯航ス（夏期增水ノ際筏ハ朔州昌城郡內ヨリ下流シ得）	朝鮮船 三十石乃至二百石內外	不明	博川郡カ平北南部ノ商業中心地トナリ遠ク江界方面ヲモ通商地域トシテ盛大ヲ極メツツアルハ實ニ淸川大寧ノ兩江ヲ控ヘ其ノ航運ノ中繼地タルカ故ナリ
豆滿江	咸鏡北道	慶源郡附近迄 河口ヨリ約二十里	汽船（九噸乃至二十五噸） 戎克、朝鮮形川船（五百石積乃至三十石積）	木材、食鹽、鹽魚、乾魚	豆滿江ハ河床惡質ニシテ河底定マラス出水毎ニ澪筋ニ變遷ヲ來シ河中寄洲又ハ淺瀬多ク加フルニ水勢急ナルカ爲メ本河ノ水運ハ比較的發展ノ狀ナク依然舊ノ如ク主トシテ支那人ノ從業者多ク使用船ノ如キモ兩三年間格別ノ增加ヲ見サル狀況ナリ而シテ現今水運ヲ利用スルモノハ專ラ木材食料品ノ運輸ニアリ就中木材ハ清國琿春地方ヨリ筏ニ組立テ流下シ慶興郡土里沿岸ニテ日本形帆船又ハ朝鮮形帆船積載シ或ハ戎克ニ積載シ濟津元山等各地方又ハ浦鹽ポシエツト等ニ輸出ス其ノ金額本年四、五兩月ノ如キハ一箇月平均三千四百圓餘ニ上レル狀況ナリ製鹽及鹽魚等ハ土里對岸露領鹿島ヨリ慶源郡地方ニ輸入セラルルモノアリ又琿春地方ヨリ雄基方面ニ對シ粟、木材等ヲ輸入スルモノアルモ頻繁ナラス
龍興江	咸鏡南道	永興郡宣興面龍盤里ニ溯航ス 里程六里	朝鮮形船 石積不明	不明	

○運輸概況（八月分）

旅客

一　旅客及小手荷物運輸ノ概況

本月ニ至リ天候恢復セシ爲旅客小手荷物ノ輸送好況ヲ示シ、客車收入概算額二十五萬七千四百四十三圓ヲ計上シ前月分ニ比シ二萬四千四百八十七圓（一割五厘一毛餘）ヲ増シ、京釜、京義線ニ於ケル取扱高二十三萬五千五百〇八圓前年同月ニ比較スレハ一萬七千三百六十七圓（七分九厘餘）ノ増加ナリ、左ニ乘車人員及其賃金ヲ示セハ

		京釜線	京義線	京元線	湖南線	合計
乘車人員	本月分	一八六、〇六二人	八七、六二五人	一〇、五二九人	二二、六八二人	三〇六、八九八人
	前月分	一六五、六四六	八一、七二六	六、四五〇	一八、〇二〇	二七一、八四一
	前年同月分	一一九、三一六	四九、六〇六	—	六三〇	一六九、五五二
乘車賃金	本月分	一五六、七五六円	六三、〇三一円	四、七八一円	一六、三五七円	二四〇、九二五円
	前月分	一四三、一一四	五八、四四五	二、二八六	一二、六〇六	二一六、四五一
	前年同月分	一四五、〇一一	六三、四九三	—	一、二六〇	二〇九、七六四

ニシテ京釜、京義線ノ増加割合ハ賃金五歩四厘一毛餘人員六割二歩餘トス

手小荷物ニ在リテハ其ノ總斤量五十三萬五千餘斤賃金一萬四十圓ヲ算シ内有賃手荷物十四萬六千百斤賃金三千二百九十圓小荷物扱鮮魚二十一萬二千五百斤賃金二千四百七十三圓ニシテ京釜、京義線ニ於ケル取扱ヲ前年ニ比スレハ數量二萬六千四百斤、賃金三百九十圓ノ増加トス

而シテ本月中ノ輸送小荷物主要品ヲ擧クレハ鮮魚、貨幣、地金、綿布、食料品及新聞等トス

二　團體乘車割引規程ニ依リ乘車セル

團體人員表

團體種別	人員 大人	人員 小兒	人員 計	乘車區間		割引歩合	往復又ハ片道	記事
普通	二〇		二〇	西大門	烏山	二割	片道	
同	二七		二七	同	瑞興	二割五分	同	
同	二〇		二〇	南大門	漣州	同	同	五十哩分徵收
同	二三		二三	同	江景	同	同	
同	二九		二九	同	新安州	三割	同	
同	三四		三四	同	嶺美	同	同	
普通	四二		四二	南大門	平壤	二割五分	片道	
同	一七	一	一八	同	漣川	同	同	二十八人 五十哩分徵收
同	三一	一	三二	同	同	同	同	五十哩分徵收
同	六二		六二	龍山	同	二割二分五厘	同	
同	四五		四五	同	同	二割	同	
同	三九		三九	同	同	同	同	

同	二〇		二〇	同	同	同	同 二十五哩分徴收
同	二〇		二〇	同	同	同	同 同
同	二三		二三	議政府	漣川	同	同
同	二〇		二〇	同	同	同	同
同	四四		四四	漣川	倉洞	同	同
同	三〇		三〇	同	清凉里	同	同
同	三三		三三	始興	漣川	二割五分	同
同	八五		八五	同	同	二割七分五厘	同
同	二一		二一	烏山	西大門	二割	同
同	四三		四三	同	南大門	同	同
同	七二		七二	天安	漣川	二割七分五厘	同
同	七二		七二	同	同	同	同
同	七二		七二	新灘津	漣川	同	同
同	二三		二三	論山	大田	二割	同
同	二〇	三	二三	大田	永同	同	同
同	二〇		二〇	大田	漣川	二割五分	同
同	三〇		三〇	同	金泉	同	同
同	二三		二三	同	同	同	同
同	四四		四四	同	漣川	同	同
同	三〇		三〇	同	同	同	同
同	三四		三四	伊院	審陽	同	同
同	三六		三六	秋風嶺	漣川	二割五分	同
同	二〇		二〇	金泉	大邱	二割	同
同	二〇		二〇	大邱	大田	二割五分	同
同	四二	一四	五六	楡川	定州	三割二分五厘	同
同	三五	一五	五〇	釜山	新義州	三割二分五厘	同
同	二九	一	三〇	同	大邱	二割五分	同
同	三八	二	四〇	同	南大門	三割	同
同	一八	八	二六	開城	平壤	二割五分	同
同	二一		二一	新幕	南大門	同	同
同	二一	一	二二	平壤	同	同	同
同	三三		三三	同	新安州	二割	同
同	三六		三六	同	南大門	二割五分	同
同	二五		二五	同	鎭南浦	二割	同
同	二一		二一	同	同	同	同
同	三三		三三	同	同	同	同
同	三三		三三	新安州	南大門	三割	同
同	三三		三三	同	平壤	二割	同
同	二八		二八	嶺美	南大門	三割	同
同	一〇〇		一〇〇	新義州	漣川	三割五分	同
同	二六		二六	同	新安州	二割五分	同
同	一〇〇		一〇〇	同	鎭南浦	三割	同
同	二三		二三	鎭南浦	南大門	二割五分	同
學生	二五		二五	南大門	永登浦	五割	往復
同	二四		二四	永登浦	仁川	同	同
同	二〇		二〇	金泉	南大門	同	片道
同	二一		二一	草梁	同	同	同
同	一九	一	二〇	新安州	南大門	同	同
同	三一		三一	定州	同	同	同
同	二三		二三	新義州	釜山	同	同
同	二〇		二〇	同	同	同	同
同	二一		二一	釜山	安東	同	同
連絡	二七	二	二九	舊馬山	四日市	同	同
合計	二、一六三	四九	二、二一二				

三　旅客及小手荷物ニ關シ施設シタル事項

一　本月十一日ヨリ釜山龜浦間小運轉列車ニ二等旅客ノ取扱ヲ開始セリ

二　本夏期中仁川猫岬ニ於テ京城日報社主催ノ海水浴場開設中毎日曜日ニ臨時列車ヲ運轉シ杻峴仁川間ニ假乘車場ヲ設クルコトトセシカ先帝崩御アラセラレ給シカハ之レカ計畫ヲ止メ既ニ同社ニ於テ發賣セル特別切符ハ買戻シヲ爲サシメ希望者ニ對テノミ本月十一日ヨリ九月八日迄毎日曜日ニ指定列車ニ依リ南大門又ハ龍山ヨリ杻峴仁川迄隨時乘車シ得ルコトトシ賃金五十錢ニ特定ノ上京城日報社ヨリ後納セシムルコトトセリ其本月中ニ於ケル乘車人員左ノ如シ

十一日	百五十人	
十八日	四人	
二十五日	百八十三人	
合計	三百三十七人	賃金概算　百六十二圓

三　傳染病患者ノ運送及乘客中傳染病ニ罹リタル場合ニ於ケル取扱方警務總監部ト協定シ本月十四日ヨリ之ヲ施行セリ

四　當局、鐵道院線主要驛相互間ニ於テハ從來三十日間通用ノ二割引往復乘車船劵ヲ發賣セシカ當局線經由ニ依ル鐵道院、南滿洲鐵道線主要驛間ニ於テモ同樣二割引往復乘車船劵ヲ發賣スルコトトシ其通用期間ハ當局線及南滿洲線發著共六十日間ニ改メタリ

五　本月十五日ヨリ新義州停車場旅館ノ營業ヲ開始ス設備及料金等大體ニ於テ釜山停車場旅館ニ同シ其ノ成績左ノ如シ

期間	宿泊者	會食者	收入
自八月十五日 至八月三十一日	三三人	一四二人	三四三・六九円
一日平均	一	八	二〇・二

六　本月十五日ヨリ釜山、安東間急行第一、二列車ニ一等寢臺車ヲ連結シ寢臺ノ取扱ヲ開始シ、寢臺車料金ハ區間ノ遠近ニ不拘金四圓トス而シテ本月中ニ於ケル使用者總數二十九人ナリ

七　仁川入港ノ練習艦隊吾妻宗谷ノ二艦乘組兵員八百七十餘名本月十九日二十日ノ兩日仁川、南大門間往復乘車ニ付臨時客車ヲ增結シ之カ輸送ヲナセリ

八　本月二十六日ヨリ九月十四日迄平壤ニ於テ長老教會年會開催ニ付參列者ニ對シ證票引換ニ依リ各驛、平壤間九月二十日迄通用ノ各等三割引往復乘車劵ヲ發賣ス其本月中ニ於ケル乘車人員三百五十名ナリ

九　新造竝改造中ノ左記車輛竣成使用ヲ開始セリ

新造三等車　三輛（四日ヨリ使用）
同　三輛（二十二日ヨリ）
寢臺一、二等車ヲ寢臺一等車ニ改造　二輛（十三日ヨリ）
同　一輛（十四日ヨリ）
同　一輛（十七日ヨリ）

有蓋車ヲ郵便緩急車ニ改造　三輛（二十二日ヨリ）

以上　十三輛

十　東京高等商業學校外五十三校職員生徒ニ對シ本年夏期休業（自七月一日至九月十五日）中證票引換ニ依リ三等乘車賃金五割引ノ取扱ヲ爲セシカ該證票ニ依ル本月中ノ乘車人員二千〇四十一名ニシテ累計三千七百十名トス

十一　本月中ニ於ケル鮮滿急行列車ノ乘車人員左ノ如シ

列車番號	乘客總數	列車運轉回數	一回平均乘客數
第二〇二列車	九四人	一四回	七人
第二〇一列車	一二四	一四	九

十二　本月中官用乘車證其ノ他割引證ニヨリ乘車シタル人員左ノ如シ

鐵道乘車證ニヨル軍人軍屬	三、三四二人
警察官割引證	一、七二〇人
軍人家族及從者割引證	五六人
警察官家族移住割引證	—
東洋拓殖會社移民割引證	—
學校職員生徒割引證	二、七七〇人
濟生院孤兒引率者割引證	—
長老教會年會割引證	三五〇人
合計	八、二三八人

連帶旅客小手荷物發著數量概算

△印ハ減ヲ示ス

種別		局線發 本月分	局線發 前年同月分	局線發 比較增減	局線著 本月分	局線著 前年同月分	局線著 比較增減
鐵道院連帶	旅客	四、〇七三人	三、〇五七人	一、〇一六人	五、〇一九人	四、四八九人	五三〇人
	手小荷物	四、一九三個	二、六七一	一、五二二	一五、八八八	四、九二七	一〇、九六一
南滿洲線連帶 安東及同驛經由	旅客	一、八九四人	四五	一、八四九	二、〇〇三	一五	一、九八八
	手小荷物	三六六個	二〇七	一五九	四八〇	六三	四一七
南滿洲線連帶 大連經由	旅客	七人	七	—	—	四	△四
	手小荷物	二個	四	七	—	—	—
大阪商船會社沿岸航路連帶	旅客	二三人	九三	△七〇	二六	一三	一三
	手小荷物	二九個	一一四	△八五	一〇	四	六
韓國瓦斯電氣會社連帶	旅客	三、二七九人	四九九	二、七八〇	二、六三五	六〇〇	二、〇三五
	手小荷物	七五個	二九	四六	—	四	△四

四　停車場内廣告許可件數表

廣告ノ種別	揭出驛	揭出期限	揭出料	依頼人	新規又ハ繼續
商人御宿	釜山	自大正元年八月 至同　二年六月	一二・〇〇円	釜山仲之町 旅館業 岡野宅次郎	新規
美人畫	釜山	自大正元年八月 至同　二年六月	五七・〇〇	京城本町 三越吳服店出張所 栖澤正三	新規

貨物

一　貨物運輸狀況

本月中ノ貨物發著數量及貨車收入ハ別表ノ通ニシテ前月ニ比シ發送噸數ニ於テハ千九百九十六噸（一割一分八厘）ヲ減少シ貨車收入ニ於テ百三十七圓（一厘）ヲ增加シ之ヲ前年同月ニ比スレハ新線タル湖南線（論山群山間）及京元線ヲ除キ發送噸數

二萬五千七百九噸（三割）貨車收入三萬六千百五十三圓（一割八分四厘）ヲ減少シタリ

前年同月ニ比シ如上ノ減少ヲ示シタルハ京釜、京義線ニ於ケル局用品ノ輸送著シク減セシカ重ナル原因ナルヘク又前年度ニ於テハ七月中降雨水害等ニテ輸送ヲ阻害セラレシ貨物カ復舊ニ伴ヒ本月ニ入リ一時ニ出荷シタリシモ亦其ノ一因ナリ

品名	本月中發送噸數	前月比較 增加噸數	前月比較 減少噸數	前年同月比較 增加噸數	前年同月比較 減少噸數
米	五、六一九	—	一、六八九	—	一、七九〇
麥	一、八五〇	一、〇五六	—	—	四七一
大豆	三七〇	—	四〇九	一七六	—
雜穀	一、三二九	—	一、〇三九	—	一、九〇四
穀粉	三七七	五五	—	二九一	—
鮮魚	一〇九	—	五四	—	六
鹽干魚	一、二五七	—	四八五	六二三	—
明太魚	六八七	九一	—	一五二	—
海草	六五一	一六一	—	二〇五	—
鹽	一、二五三	六九六	—	五九八	—
砂糖	二二二	二〇	—	七〇	—
野菜	三三四	一六一	—	一八一	—
生果	二三八	八六	—	一一七	—
味噌	五九	—	二	—	五
醤油	一五二	—	四九	—	一九
食料品	五三三	—	一〇四	二七五	—
酒類	五〇一	—	三〇一	—	一一四

湖南線京元線ノ發送噸數及貨車收入ハ何レモ建設用局用品ノ輸送其ノ過半ヲ占メ營業品ニ在リテハ湖南線ハ米、木材、鹽干魚、石材等京元線ハ薪、木材、大豆等其ノ主要ナルモノナリ

本月中ノ主要貨物ノ發送噸數及前月並前年同月分トノ比較ヲ示セハ左ノ如シ

品名	本月中發送噸數	前月比較 增加噸數	前月比較 減少噸數	前年同月比較 增加噸數	前年同月比較 減少噸數
紙類	四〇二	八	—	一〇三	—
燐寸	一一〇	—	二八	—	一五
石油	五五三	—	四二三	—	九七
薪	三五八	八	—	—	四七
木炭	五三〇	—	二二〇	—	三〇九
陶磁器	三四二	一九	—	九九	—
金屬器類	一、四六二	一九八	—	一七〇	—
家具類	五二三	三七	—	一〇二	—
繩、叺、蓆	二七二	—	八二	—	八一
肥料	三二一	五五	—	一三三	—
牛皮	一九〇	八八	—	七五	—
牛及犢（頭）	六	三	—	六	—
黑鉛	三八七	二一	—	一八	—
石炭	一〇、六二二	—	三、四九六	三七三	—
木材	五、五六二	—	九三二	—	一、二三八
石材	三、八三二	一、八三九	—	五	—
煉瓦	六五四	—	一、一一〇	二四九	—

賣	六四七	七五	—	二四七	—
藥品及藥材	二一七	八	—	一四五	—
金巾	五四七	四三六	—	二三一	—
綿布	三七二	二三三	—	二九五	—
麻布	二一一	—	四一五	—	三
紡績絲	八六	四三	—	一五	—
絲	三〇	二七	—	三〇	—
絹布及絹絲	一四	—	一九	九	—
瓦	四六四	一五	—	一二八	—
土管	一三七	—	七四	一〇七	—
石灰	二七〇	二	—	一六六	—
セメント	一四一	—	六三	四三	—
釘及亞鉛板	二六六	二四	—	七〇	—
竹	七六	—	一六〇	一六	—
韓貨(葉錢ヲ含ム)	九	—	八	—	三
軍用品	一七二	—	八五	—	二八

本月中ノ連帶貨物發著數量ハ別表ノ通ニシテ內地連帶數量ヲ前年同月ニ比スレハ發出數量百十二噸(三割)到著數量三百八十噸(一割三分)ヲ增加セリ其ノ重ナル到著貨物ハ金巾（四三五噸)、麥粉(三一七噸)、砂糖(二八五噸)、和酒(二〇九噸)、紡績絲(一四六噸)、麥酒(一一六噸)、和洋紙(一一四噸)、鐵器(一一三噸)等ナリ又本月ヨリ新ニ開始セシ朝鮮郵船會社線トノ連帶取扱ハ發出十二噸、到著三十五噸ナリ

二 貨物ニ關シ施設シタル事項

一 本月一日ヨリ草梁、群山、仁川、鎭南浦驛ヲ經由シ當局線各驛ト朝鮮郵船株式會社線左記各港ト大貨物ノ連帶運送ヲ開始シタリ

草梁經由

蔚山、方魚津、長生浦、迎日灣(浦項)、丑山浦、竹邊、三陟、江陵、襄陽、杆城、長箭、元山、西湖津、前津、新浦新昌、遮湖、端川、城津、明川、漁大津、獨津、清津、梨津、雄基、鬱陵島、統營、三千浦、長承浦(巨濟島)、露梁津、麗水、興陽、羅老島、長興、右水營、木浦、巨文島、牛島、朝天(濟州島)、山地(濟州島)、楸子島

群山經由

苽浦、法聖浦、智島、木浦

仁川經由

靈興島、カロリン灣、安興、安眠島、鰲川、庇仁、江華島、喬桐島、海州

鎭南浦經由

夢金浦、德洞、九味浦、瓮津、龍湖島、康翎

一 本月十五日ヨリ鐵道院線黑石驛ト大貨物ノ連帶運送ヲ開始シタリ

二 貨物運賃割引ノ必要ヲ認メ本月中運賃ヲ特定シタルモノ一件(空罎)特約シタルモノ長期二件(石炭、綿布)短期十二件(木材、洋金巾、牛皮、牛骨、牛脂、藁蓆、無煙炭、鐵器等)ナリ

貨物取扱數量及貨車收入概算

（△印ハ減）

	發送噸數 京釜線	發送噸數 京義線	發送噸數 京元線	發送噸數 湖南線	發送噸數 全線合計	到著噸數	貨車收入 京釜線	貨車收入 京義線	貨車收入 京元線	貨車收入 湖南線	貨車收入 全線合計
	噸	噸	噸	噸	噸	噸	円	円	円	円	円
本月分	三三、三五六	二六、三八六	五四三	七、〇九六	六七、三八一	七四、三二五	九八、六五三	六一、四一九	八七三	五、一三九	一六六、〇八三
前月分	三二、〇〇〇	三六、〇八八	二、八一二	五、四七七	七六、三七七	八四、一九一	九三、九〇八	六六、四八三	四、四〇〇	一、一五五	一六五、九四六
比較增減	一、三五六	△九、七〇二	△二、二六九	一、六一九	△八、九九六	△九、八六六	四、七四五	△五、〇六四	△三、五二八	三、九八四	一三七
增減率	〇・四二割	△二・六九割	八・〇六割	二・九六割	△一・一八割	△一・一七割	〇・五一割	△〇・七六割	△八・〇二割	三四・四九割	〇・〇一割
前年同月分	二八、九四三	五六、六八四	—	一九	八五、六四六	八八、二二九	一〇二、〇一〇	九四、三〇六	—	八一	一九六、三九七
比較增減	四、四一三	△三〇、二九八	五四三	七、五七七	△一八、二六五	△一三、九〇四	△三、三五七	△三二、八八七	八七三	五、〇五八	△三〇、三〇四
增減率	一・五二割	△五・三五割	—	三九八・七八九割	△二・一三割	△一・五八割	△〇・三三割	△三・四九割	—	七二四・四四割	一・五四割

有償局用品發送噸數及賃金概算

（△印ハ減）

	發送噸數 京釜線	發送噸數 京義線	發送噸數 京元線	發送噸數 湖南線	發送噸數 全線合計	賃金 京釜線	賃金 京義線	賃金 京元線	賃金 湖南線	賃金 全線合計
本月分	七、二八九	三、八三六	二一〇	六、三一二	一七、六四七	四、二四一	六、六〇〇	九九	一、四五八	一二、三九八
前月分	六、八六四	七、一一一	二、三五〇	四、三二四	二〇、六四九	六、七二三	七、五一一	一、〇一九	八八八	一六、一四一
比較增減	四二五	△三、二七五	△二、一四〇	一、九八八	△三、〇〇二	△二、四八二	△九一一	△九二〇	五七〇	三、七四三
前年同月分	八、一三八	一五、八七一	—	—	二四、〇〇九	一〇、九六三	一三、七二五	—	—	二四、六八八
比較增減	△八四九	△一二、〇三五	二一〇	六、三一二	△六、三六二	△六、七二二	△七、一二五	九九	一、四五八	一二、二九〇

連帶大貨物發著數量概算

鐵道院

種別		斤扱	噸扱	車扱	速達便扱	計
		噸分	噸	噸	箇	噸分
送出	本月分	七三・七	二三五	一七四	二	四八二・七
	前年同月分	五九・九	三一一	—	—	三七〇・九
	比較增減	一三・八	△七六	一七四	二	一一一・八
到著	本月分	一、五七一・九	一、六九二	—	一三二	三、二六三・九
	前年同月分	一、三〇九・五	一、五七四	—	九七	二、八八三・五
	比較增減	二六二・四	一一八	—	三四	三八〇・四

大阪商船株式會社

種別		斤扱	噸扱	車扱	計
		噸分	噸		噸分
送出	本月分	〇・四	三	—	三・四
	前年同月分	〇・二	—	—	〇・二
	比較增減	〇・二	三	—	三・二
到著	本月分	〇・八	二三	—	二三・八
	前年同月分	—	—	—	—
	比較增減	〇・八	二三	—	二三・八

朝鮮郵船株式會社

種別		斤扱（噸分）	噸扱（噸）	車扱	計（噸分）
發送	草梁經由	四・四	二	―	六・四
	群山經由	三・二	二	―	五・二
	仁川經由	〇・四	―	―	〇・四
	鎭南浦經由	―	―	―	―
	計	八・〇	四	―	一二・〇
到著	草梁經由	四・八	三〇	―	三四・八
	群山經由	―	―	―	―
	仁川經由	―	―	―	―
	鎭南浦經由	―	―	―	―
	計	四・八	三〇	―	三四・八

〇運轉（八月分）

列車運轉ニ關シ施設シタル事項

一 龍山驛ニ設置ノ第二種聯動機ヲ撤廢シ更ニ第一種聯動機ヲ設置シ本月十五日ヨリ之ヲ使用セリ

二 龍山驛助役室ト南部信號所及北部信號所並向乘降場北端ト北部信號所間ニ運轉上相互打合ノ爲電鈴信號ヲ設置シ其取扱方ヲ制定シ本月十五日ヨリ之ヲ使用セリ

三 京義線新安州嶺美間ハ假線路運轉ノ爲機關車ノ重聯ヲ禁止シ補助又ハ廻送機關車ハ列車ノ後部ニ聯結シ來リタルモ本線路竣成ニ付本月十九日之ヲ解除セリ

南滿洲鐵道株式會社

種別	通常扱（噸）	速達便扱
發送出	四一一・二	―
到著	四、五三〇・六	―
院線發社線著	九九・八	―
社線發院線著	一〇・九	―

備考
合計ニハ速達便扱ヲ含マス

四 湖南線咸悅驛ニ側線增設ニ付同驛列車運轉線路ヲ指定ルノ要アリ又南大門驛ハ第一種聯動機裝置ノ爲配線模樣替ニ付孰レモ明治四十五年六月達第三百八十七號各驛列車發著取扱手續ヲ改正シ前者ハ本月二十日ヨリ後者ハ本月三十日ヨリ之ヲ實施セリ

五 枇峴驛構內側線增設ニ伴ヒ同驛裝置ノ簡易聯動機ヲ改正シ本月二十四日ヨリ之ヲ使用セリ

六 南大門驛列車發著本線變更ニ伴ヒ從來第三本線所屬出發信號機ヲ北行本線ヨリ出發スル南行列車ニ使用スルコトニ改正本月三十日ヨリ之ヲ實施セリ

○建築工事概況（九月末日調）

一　京元線建設工事

〔龍山方面〕

土工、橋梁及隧道工事

鐵原、平康間（十三哩九分）竣功セリ

平康、劒拂浪間（十一哩七分）土工工事七分通橋梁工事八分通總體ヲ通シテ約七分五厘通成工セリ

劒拂浪、洗浦間（六哩一分）土工工事三分通橋梁工事四分五厘通總體ヲ通シテ約三分通成工セリ

第一劒拂浪隧道工事（延長七百五十九呎）

導坑貫通シ大脊切擴約七十二呎成工セリ

第二劒拂浪隧道工事（延長二千百十二呎）

導坑掘鑿約四百三十二呎大脊切擴約百十三呎成工セリ

軌道敷設竝建築列車運轉

龍山起點六十四哩（月井里驛）ニ達ス

營業開始

漣川、鐵原間（十四哩九分）十月二十一日ヨリ開始ノ豫定ナリ

〔元山方面〕

土工、橋梁及隧道工事

元山、元山里間（三哩一分）土工工事九分一厘通橋梁工事竣功總體ヲ通シテ九分二厘通成工セリ

元山里、南山間（十哩五分）土工工事九分九厘通橋梁工事九分三厘通總體ヲ通シテ九分三厘通成工セリ

南山、龍池院間（十哩九分）土工工事八分通橋梁工事七分五厘通成工セリ

龍池院、高山間（四哩三分）土工工事三分五厘橋梁工事七分通總體ヲ通シテ四分五厘通成工セリ

高山、忠哥岱間（五哩）土工工事一分通橋梁工事ハ未タ歩通ヲ計上スルニ至ラス

第十號三防隧道工事（延長五十八呎四分）

導坑掘鑿六十四呎ニ達ス

第十一號三防隧道工事（延長千二百二十一呎）

導坑掘鑿二百五十三呎ニ達ス

第十三號三防隧道工事（延長九百六十三呎六分）

導坑掘鑿百十八呎ニ達ス

第十四號三防隧道工事（延長七百七十二呎二分）

導坑掘鑿六十三呎ニ達ス

忠哥岱、國師堂間（五哩八分）

未タ歩通ヲ計上スルニ至ラス

國師堂、洗浦間（六哩）土工工事一分通橋梁工事未タ歩通ヲ計上スルニ至ラス

第一號三防隧道工事（延長千八十二呎四分）

導坑掘鑿四百五十呎ニ達ス

第二號三防隧道工事（延長四百七十呎五分）

導坑掘鑿二百五呎ニ達ス

第三號三防隧道工事（延長四百七十五呎二分）

導坑掘鑿二百四十五呎ニ達ス

第四號三防隧道工事（延長百五十八呎四分）

導坑掘鑿三十呎ニ達ス

第五號三防隧道工事（延長千六百三呎一分）

導坑掘鑿四百十五呎ニ達ス

第六號三防隧道工事（延長千百八十八呎）

導坑掘鑿百呎ニ達ス

第七號三防隧道工事（延長八百九十四呎三分）

導坑掘鑿二百三十呎ニ達ス

軌道敷設並建築列車運轉

元山ヨリ五哩五十五鎖（安邊附近）ニ達ス

用地

元山、元山里間九分通、元山里、南山間九分九厘通買收ヲ了セリ其ノ他ノ區間ハ前月來進捗セス

電線

龍山起點百二哩五十五鎖ヨリ九十五哩七十七鎖マテ架線ヲ了シ元山、洗浦間ノ通話ヲ開始セリ

一 湖南線建設工事

（大田方面）

土工、橋梁及隧道工事

井邑、四街里間（十一哩一分）土工工事五分五厘通橋梁工事六分通總體ヲ通シテ四分通成工セリ

第一蘆嶺隧道工事（延長千五十六呎）

側壁疊築百六呎ニ達ス

第二蘆嶺隧道工事（延長三千百二呎）

導坑掘鑿千六百二十六呎ニ達ス

軌道敷設並建築列車運轉

井邑ニ達ス

建物工事

金堤停車場本屋其ノ他新設工事ハ九月十五日竣功井邑停車場本屋其ノ他新設工事ハ九月二十八日竣功井邑停車場構内假機關車庫新築工事ハ九分通成工セリ

用地

群山支線九分三厘通裡里、井邑間八分一厘通買收ヲ了シ其ノ他ノ區間ハ前月來別ニ進捗セス

（木浦方面）

土工、橋梁及隧道工事

木浦、夢灘間(十二哩)土工工事八分九厘通橋梁工事九分五厘通總體ヲ通シテ八分九厘通成工セリ

夢灘、鶴橋間(三十分哩)土工工事八分七厘通橋梁工事七分二厘通總體ヲ通シテ八分三厘通成工セリ

雲洞隧道工事(延長四百六十二呎)

側壁疊築九十六呎ニ達ス

望永隧道工事(延長四百二呎六分)

側壁疊築三百九十一呎五分拱疊築三百九十一呎ニ達ス

白落隧道工事(延長三百七十九呎五分)

側壁疊築三百十呎拱疊築百七、十四呎ニ達ス

鶴橋、羅州間(十三哩一分)土工工事五分一厘通橋梁工事四分七厘通總體ヲ通シテ四分九厘通成工セリ

軌道敷設並建築列車運轉

木浦ヨリ四哩七十四鎖(任城里附近)ニ達ス

用地

木浦、鶴橋間八分六厘通榮山浦、四街里間九分三厘通買收ヲ了シ他ノ區間ハ前月來別ニ進捗セス

一　京義線改築工事

元平壤保線事務所ヲ龍山停車場構内本局廳舍ニ移轉改増築工事

九月二十四日竣功セリ

新幕停車場構内機關車庫其ノ他新設工事

九分六厘通成工セリ

一　平南線改築工事

橋梁工事

木浦江橋梁九月十五日第一、第二沙洞浦橋梁九月六日何レモ竣功セリ

一　京釜線改築工事

漢江橋梁新設工事

九月三十日竣功セリ

○輕便鐵道及軌道

(九月末日調)

許可又ハ認可シタルモノ左ノ如シ

一　京城府内電氣軌道新龍山線京龍パーク前ニ臨時假停留場設置ノ件

一　京城府内電氣軌道車輛運轉系統變更ノ件

(以上日韓瓦斯電氣株式會社出願)

一　慶尚北道倭館驛洛東江岸間軌道運輸開始並貨物運搬賃率及營業時間ノ件

(倭館　松原米吉出願)

一　咸鏡北道清津羅南間電氣鐵道工事施行認可申請期日延期ノ件

(朝鮮電氣株式會社出願)

○遞信事業概況（九月分）

第一　通信

一　郵便

（イ）郵便遞送ニ關スル施設　九月中郵便遞送ニ關スル施設トシテハ利原新昌里間ノ隔日遞送ヲ毎日遞送ニ增回セルノ外遞送線路ノ開廢遞送方法ヲ改正セル等ニシテ其ノ線路數左ノ如シ

一　開線　二
二　廢線　二
三　遞送回數增加　一
四　發著時刻其ノ他遞送方法改正　一一

（ロ）郵便集配ニ關スル施設　九月中郵便集配ニ關スル施設トシテハ江陵、三陟、富寧、咸興、襄陽各郵便局ノ市外集配回數月十回未滿ナル地ヲ月十回ニ又宜川外二局所ノ市外集配回數月十回ナル地ヲ月十五回乃至二十回增回セルノ外郵便區畫ノ組替又ハ集配區畫ノ改正集配回ニ數ノ增加市内取集區畫ノ設定等ニシテ其ノ計數ヲ示セハ左ノ如シ

一　郵便集配區畫又ハ集配回數ヲ增加セシ局所數　濟州局外　一五
二　郵便區畫及集配區畫ノ組替ヲ爲セシ局所數　清津局外　二六
三　郵便局所市内ニ新ニ郵便函ヲ設置シ取集ヲ開始セシ局所數　井邑所外　三
四　前各項ノ外集配時刻其ノ他集配方法ヲ改正セシ局所數　新義州局外　一〇
五　郵便遞送線路ノ沿道ニシテ集配便少キ地ニ遞送途中每日集配ヲ開始セシ箇所數　二〇

二　電信電話

（イ）臨時自働電話機ノ設置　龍山陸軍練兵場ニ於ケル奉悼式及大邱達城公園内ニ於ケル遙拜式擧行ノ當日卽チ九月十三日及翌十四日ハ兩式場共一般ノ參拜者非常ニ多カルヘキニ付是等公衆ノ便利ヲ圖ラム爲各其式場内ニ臨時自働電話機ヲ設置セリ

（ロ）電話加入申込ノ受理　本年度ニ於テ普通電話交換業務ヲ開始スルハ鎭海郵便局ニシテ之カ開始ニハ準備ノ都合上多數ノ時日ヲ要スルヲ以テ九月一日ヨリ其ノ加入申込ヲ受理スルコトトセリ

（ハ）電信及電話通話事務取扱ノ開始

咸鏡南道新乫坡鎮、三水及新昌里ノ各地ハ本年度ニ於テ電信及電話通話事務ヲ開始スル必要ヲ認メ之カ開始準備中ノ處諸般ノ準備整頓セシニ付何レモ九月十六日ヨリ其ノ取扱ヲ開始セリ

（ニ）停車場掲示電報ノ掲示ヲ取扱フ停車場ノ追加

京元線漣川鐵道停車場ニ於テモ停車場掲示電報ノ掲示ヲ取扱フコトトシ九月一日ヨリ之ヲ開始セリ

（ホ）新聞電報規則中ノ改正

從來新聞電報ハ電信局所ニ於テ直接受信人ニ交付スルノ主義ナリシヲ受信人ニ配達スルヲ本則トシ其ノ受信人ヨリ特ニ請求シタル場合及遞信局長官ニ於テ必要ト認メタルトキニ限リ交付スルコトニ改メ其他題號及發行所ノ變更ハ從來認可ヲ要シタリシヲ單ニ屆出ヲ以テ足ルコトトシ其他二三處理條項ヲ改正シ九月十六日ヨリ之ヲ實施セリ

（ヘ）電信及電話回線ノ施設

新乫坡鎮、新昌里及三水各郵便所ニ電信及電話通話事務開始ニ伴ヒ九月十六日ヨリ左記電信回線ヲ新設セリ

回線名	接續局所	通信方式	備考
北青新昌里線	北青、新昌里	電話	市外電話線ニ兼用
甲山惠山鎮線	甲山、三水、惠山鎮	同	同上
惠山鎮新乫坡鎮線	惠山鎮、新乫坡鎮	同	同上

電報通信ノ增加ニ伴ヒ回線改良施設ノ爲九月一日ヨリ左記ノ通回線ヲ變更セリ

回線名	摘要
全州光州線	本線接續局所中ニ井邑ヲ追加ス
井邑扶安線	在來線ヲ變更シテ本線ヲ構成ス
井邑茁浦線	井邑古阜間ニ一線ヲ架設シ此ノ線ト在來線トヲ以テ本線ヲ構成ス

市外電話回線ヲ新設セシモノ左ノ如シ

回線名	接續局所	摘要
金化金城電話線	金化、金城	電信回線ニ兼用

前記ノ外電報ノ中繼順路ヲ改メタルモノ、局報分送順序ヲ改メタルモノ及回線措置局所ヲ改メタルモノ各二件アリ

（ト）電報配達區域ノ改良

電信事務開始ニ伴ヒ電信區畫ノ改正ヲ要スル箇所北青外四箇所ニ對シ本期間中ニ於テ夫夫之レカ組替ヲ了セリ

（チ）電報通數及料金

八月中取扱ニ係ル電報通數及料金左ノ如シ

電報通數

（△印ハ減）

種別	大正元年八月分 有料	無料	合計	前年同月分 有料	無料	合計	增減割合 有	無	計	本年度累計 有料	無料	合計	前年度累計 有料	無料	合計	增減割合 有	無	計
內 發信 和文	一二七、三三九	四〇、六一七	一六七、九五六	一一八、一九七	三六、一四五	一五四、三四二	〇・七七	一・二四	〇・八八	六八一、三三八	一八六、七九一	八六八、一二九	六二三、五三九	二一一、五九七	八三五、一三六	〇・九三	△一・一七	〇・三九
歐文	一、二五七	六〇七	一、八六四	八五〇	一、〇八九	一、九三九	四・七九	△四・四三	△〇・三九	五、九四〇	四、八三六	一〇、七七六	四、一一二	六、一八一	一〇、二九三	四・四五	△二・一八	〇・四七
諺文	一六、八三八	五五二	一七、三九〇	一四、五六九	三八八	一四、九五七	一・五六	四・二三	一・六三	九一、七八八	二、九二三	九四、七一一	七六、六九〇	二、一三三	七八、八二三	一・九七	三・七〇	二・〇二

小計	一四五,四三四	四一,七七六	一八七,二一〇	一三三,六一六	三七,六二二	一七一,二三八	〇・八八	一・一〇	〇・九三	七七九,〇六六	一九四,五五〇	九七三,六一六	七〇四,三三一	二一九,九一一	九二四,二四二	一・〇六	△一・一五	〇・五三
國 著信 和文	一二四,五六八	三九,五五九	一六四,一二七	一一五,一〇三	三三,六七一	一四八,七七四	〇・八二	一・七五	一・〇三	六六一,八七三	一七六,七八三	八三八,六五六	六〇二,二二一	二〇二,〇八一	八〇四,三〇二	〇・九九	△一・二五	〇・四三
歐文	一,一八一	六二八	一,八一九	八五一	一,一四一	一,九九二	三・八八	△四・五〇	△〇・八七	五,七一二	五,一四八	一〇,八六〇	四,〇四六	六,五三四	一〇,五八〇	四・一二	△二・一二	〇・二六
諺文	一七,〇二四	五五〇	一七,五七四	一四,五六〇	三八四	一四,九四四	一・六九	四・三二	一・七六	九一,八四五	二,八九七	九四,七四二	七六,五七二	二,一四五	七八,七一七	一・九九	三・五一	二・〇四
小計	一四二,七八三	四〇,七三七	一八三,五二〇	一三〇,五一四	三五,一九七	一六五,七一一	〇・九四	一・五七	一・〇七	七五九,四三〇	一八四,八二八	九四四,二五八	六八二,八三九	二一〇,七六〇	八九三,五九九	一・一二	△一・二三	〇・五七
合計	二八八,二一七	八二,五一三	三七〇,七三〇	二六四,一三〇	七二,八一九	三三六,九四九	〇・九一	一・三三	一・〇〇	一,五三八,四九六	三七九,三七八	一,九一七,八七四	一,三八七,一七〇	四三〇,六七一	一,八一七,八四一	一・〇九	△一・一九	〇・五五
外國 發信	四七六	二六	五〇二	三三三	二四	三五七	四・二九	〇・八三	四・〇六	二,二六八	一三七	二,四〇五	一,六五八	九二	一,七五〇	三・六八	四・八九	三・七四
著信	三六一	四八〇	八四一	二四六	五二一	七六七	四・六七	△〇・七九	〇・九六	一,八六三	二,二五二	四,一一五	一,二七六	二,二七二	三,五四八	四・六〇	△〇・〇九	一・六〇
合計	八三七	五〇六	一,三四三	五七九	五四五	一,一二四	四・四六	△〇・七二	一・九五	四,一三一	二,三八九	六,五二〇	二,九三四	二,三六四	五,二九八	四・〇八	〇・一一	二・三一
總計	二八九,〇五四	八三,〇一九	三七二,〇七三	二六四,七〇九	七三,三六四	三三八,〇七三	〇・九二	一・三二	一・〇一	一,五四二,六二七	三八一,七六七	一,九二四,三九四	一,三九〇,一〇四	四三三,〇三五	一,八二三,一三九	一・一〇	△一・一八	〇・五六

電報料金

種別	大正元年八月分（円）	前年同月分（円）	増減割合（割）	本年度累計（円）	前年度累計（円）	増減割合（割）
內國料 和文	四七,一八八・五四〇 內特殊料 七一五・五四〇	三八,七五四・九三五 三二一・二一〇	二・一八 一二・二八	二四一,六五六・九五五 二,六三四・二六五	二〇七,二九五・八四五 一,六〇三・三九〇	一・六六 六・四三
歐文	八六四・六六〇 〃 一六・一八〇	五一四・九九〇 九・五四〇	六・四四 六・九六	三,八三五・八八〇 七〇・八四〇	二,四七八・〇五〇 五〇・四七〇	五・四八 四・〇四
諺文	四,三〇六・七六五 〃 七五・三四〇	三,八一九・九六〇 五八・二四〇	一・二七 二・九四	二三,六〇九・四九五 四二五・一三〇	二〇,〇一四・九四五 二九四・二三〇	一・八〇 四・四五
小計	五二,三四一・九六五 〃 八〇七・〇六〇	四三,〇八九・八八五 三八八・九九〇	二・一五 一〇・七五	二六九,一〇二・三三〇 三,一三〇・二三五	二三九,七八八・八四〇 一,九四八・〇九〇	一・七一 六・〇七
外國電報ノ內國料	七九七・五九〇 〃 一〇・〇二〇 內通信局納 二三五・九二〇	四三二・七七〇 六・九三〇	八・四三 四・四六	三,二二八・四九〇 三七・一三〇 內通信局納 四五四・三二〇	一,九六一・七七〇 二八・〇四〇	六・四六 三・二四
合計	五三,一三九・五五五 〃 八一七・〇八〇 〃 二三五・九二〇	四三,五二二・六五五 三九五・九二〇	二・二一 一〇・六四	二七二,三三〇・八二〇 〃 三,一六七・三六五 〃 四五四・三二〇	二四一,七五〇・六一〇 一,九七六・一三〇	一・七五 六・〇三
外國電報ノ外國料	四,四九六・四七〇 〃 一,五五七・〇五〇	二,一〇七・六三〇	一一・三三	一六,三九四・六三〇 〃 二,九九八・四七〇	九,六四一・六二〇	七・〇〇
總計	五七,六三六・〇二五 〃 八一七・〇八〇 〃 一,七九二・九七〇	四五,六三〇・二八五 三九五・九二〇	二・六三 一〇・六四	二八八,七二五・四五〇 〃 三,一六七・三六五 〃 三,四五二・七九〇	二五一,三九二・二三〇 一,九七六・一三〇	一・九六 六・〇三

（備考）本表中本年度ニ屬スル分ハ報告書未著ノ局所アリ概算トス

（リ）電信電話工事

本月中施行シタル電信電話工事左ノ如シ

一三水、新昌里及新乫坡鎭各郵便所ニ於ケル電信事務開始工事ハ孰モ竣成九月十六日ヨリ本事務ノ取扱ヲ開始セリ

一龍池院ニハ十月一日郵便所ヲ設置スルト同時ニ電信及電話通話事務ノ取扱ヲモ開始スルコトトナレルヲ以テ之カ準備工事ヲ施行シ九月十九日竣成セリ

一九月中工事竣成シ不日電信事務ヲ開始スヘキ郵便所左ノ如シ

禮安、順興、寧遠

一八月下旬竣成ヲ告ケタル井邑古阜間電信線増設ニ伴フ電信電話各回線ヲ變更構成シ九月一日ヨリ孰モ通信ヲ實施セリ

一京釜鐵道漢江橋梁ノ上手ニ新鐵橋ヲ架設シ現在橋梁ハ改修セラルルニ付從來其ノ橋脚ニ架渉セル京城釜山間幹線路電信電話線ハ一時之ヲ撤却スルノ必要ニ迫レルニ依リ鐵道局ト交渉ヲ遂テ新架橋梁ヘ電話線ヲ移シ尚改修竣成迄電信線モ一時同線路ニ假ニ架渉スルコトトシ九月八日本工事ヲ竣成セリ

一元山郵便局廳舍増築ニ伴ヒ同局電話交換室ノ移轉ヲ要シ市内電話交換機五臺市外電話交換機一臺及附屬分線盤二臺ノ移轉同上一臺ノ増設工事ハ九月十五日竣了セリ

第二　遞信局收入

八月中ニ於ケル遞信局收入左ノ如シ

種別	本年度 本月分	本年度 本月迄累計	前年度 本月分	前年度 本月迄累計	増減歩合 本月分	増減歩合 本月迄累計
郵便電信及電話收入	円 一八八、六八六・〇〇四	円 一、二四〇、九二〇・一〇〇	円 一五三、五六六・七〇七	円 一、〇三六、二三三・七〇一	二・二八	一・九七
印紙收入	一〇二、二四九・三三四	五〇三、七八九・七七八	五八、七六〇・三九六	三一一、〇七一・一五五	七・四〇	六・一九

第三　海事

一　航運事業

九月中航運事業ニ關シ許可シタル事項左ノ如シ

滿鮮運送株式會社ヨリ監査役變更ノ許可ヲ申請セルニ依リ九月二十五日附ニテ之ヲ許可セリ

合資會社中村組ヨリ門司支店所在地變更ノ許可ヲ申請セルニ依リ九月十七日附ニテ之ヲ許可セリ

二　命令航路

九月中命令航路ニ關シ認可シタル重ナル事項左ノ如シ

一迎日灣鬱陵島線寄港地ニ江原道竹邊ヲ追加スルノ件

一釜山方魚津線寄港順序釜山、長生浦、方魚津ヲ釜山、方魚津、長生浦ニ變更スルノ件

一仁川鎭南浦線寄港地康翎ヲ龍湖島ニ變更スルノ件

一朝鮮沿岸命令航路各線自十月至十二月寄港順序及定期發著日時ノ件(以上受命者朝鮮郵船株式會社)

一大同江命令航路十月中寄港順序及定期發著日時ノ件(受命者鎭南浦汽船合資會社)

三　船舶測度

英吉利國、亞米利加合衆國、丁抹國、獨逸國、瑞典、諾威國、露西亞國ニ於ケル船舶測度ニ關スル件九月三十日附朝鮮總督府告示第四十七號ヲ以テ公示セラル

四　水路嚮導船數

九月中鴨綠江ニ於ケル水路嚮導船數左ノ如シ

國籍	出船ノ部 艘數	出船ノ部 總噸數	入船ノ部 艘數	入船ノ部 總噸數
日本	八	七、四七八	七	六、三四〇
英吉利	一	一、四一二	一	一、四一二
計	九	八、八九〇	八	七、七五二

五　航路標識

鬼島燈臺ハ修理ノ爲假燈點燈中ノ處完成セシニ付從前ノ通點燈スルコトトナレリ

第四　電氣事業

九月中電氣事業ノ取締ニ關シ處理シタル事項左ノ如シ

一　工事施行認可

日韓瓦斯電氣株式會社ヨリ南大門通現在線路ヨリ分岐シ永樂町二丁目ニ至ル間電氣鐵道施設ニ伴フ電氣工事施行ノ認可ヲ申請セルニ依リ九月七日附ニテ之ヲ認可セリ

日韓瓦斯電氣株式會社ヨリ鎭海支店電氣工事施行ノ認可ヲ申請セルニ依リ九月十二日附ニテ之ヲ認可セリ

二　工事設計明細書中ノ事項變更認可

韓國瓦斯電氣株式會社ヨリ工事設計明細書中ノ事項變更ノ認可ヲ申請セルニ依リ九月十二日附ニテ之ヲ認可セリ

日韓瓦斯電氣株式會社ヨリ馬山支店ニ於ケル工事設計明細書中ノ事項變更ノ認可ヲ申請セルニ依リ九月十二日附ニテ之ヲ認可セリ

三　起業目論見書及工事設計書中ノ事項變更許可及承認

日韓瓦斯電氣株式會社ヨリ鎭海支店起業目論見書及工事設計書中ノ事項變更ノ許可ヲ申請セルニ依リ九月十二日附ニテ之ヲ許可セリ

朝鮮駐箚軍申請會寧各部隊ニ於ケル電氣工事設計書中ノ事項變更ノ件ハ九月十九日附ニテ之ヲ承認セリ

四　役員選任及變更許可

朝鮮電氣株式會社ヨリ取締役選任ノ許可ヲ申請セルニ依リ九月十日附ニテ之ヲ許可セリ

元山水力電氣株式會社ヨリ役員變更ノ許可ヲ申請セルニ依リ九月二十七日附ニテ之ヲ許可セリ

五　落成期限變更認可

韓國瓦斯電氣株式會社ヨリ電氣工作物落成期限變更ノ認可ヲ申請セルニ依リ九月二十五日附ニテ之ヲ認可セリ

朝鮮電氣株式會社ヨリ電氣工作物ノ一部落成延期ノ認可ヲ申請セルニ依リ九月二十五日附ニテ之ヲ認可セリ

六　假使用認可證下付

平壤電氣株式會社ヨリ八月三十一日電氣工作物落成シタル旨屆出テタルニ付檢査ノ上九月二十五日假使用認可證ヲ下付セリ

七　電氣工事著手屆出

大邱電氣株式會社ヨリ七月二十九日電氣工事ニ著手シタル旨屆出テタリ

日韓瓦斯電氣株式會社ヨリ九月十二日附認可ヲ受ケタル馬山支店工事設計明細書中變更ノ電氣工事ハ本月十九日ヨリ又鎭海支店ノ分モ同日ヨリ電氣工事ニ著手シタル旨屆出テタリ

教育

○新設公立普通學校ノ狀況

一　新設學校ノ數

本年度新ニ設立セラレシ公立普通學校ハ左表ノ如ク全南咸北ヲ除クノ外ノ十一道ニ亙リ通シテ一百二校ニシテ明治四十三年度以前ノ設立ニ係ル一百校昨年設立ノ一百三十四校ニ加ヘテ合計三百三十六校ヲ數フルニ至レリサレハ學校數ノ上ヨリイヘハ各道ノ全府郡數ニ對シテ七校ノ超過ヲ見ル尤モ京城、釜山、其他二三ノ府郡ニ二校以上ヲ設置セルモノアリテ未タ府郡ノ全體ニ及ハスト雖モ其ノ未設ニ屬スルモノハ極メテ少ク今ヤ忠南ノ鎭岑外十二郡慶南ノ靈山外二郡ヲ殘スノミ而シテ忠南ニ於テ目下新設手續中ニ屬スルモノ五校アルヲ以テ結局本年度内ニ總數三百四十一校ヲ算スルニ至ルヘシ

明治四十五年度新設公立普通學校表

京畿道

學校	設置方法	必設科目以外ノ教科目	兒童定數	明治四十五年度歲出豫算 經常費	臨時費	計
通津公立普通學校	私立通津普通學校變更	理、唱、體、書、農	二四〇	一、八一七・一五〇	六九六・〇〇〇	二、五一三・一五〇
果川公立普通學校	私立果川普通學校變更	唱、體、書、手、農、理	二四〇	一、六三三・一五〇	三二六・〇八〇	一、九五九・二三〇
安山公立普通學校	私立安山普通學校變更	理、唱、體、書、農	二四〇	一、七七八・三一〇	—	一、七七八・三一〇
龍仁公立普通學校	私立龍仁普通學校變更	理、唱、體、書、農	三〇〇	二、五六五・〇九〇	—	二、五六五・〇九〇
陽川公立普通學校	私立陽川普通學校變更	理、唱、體、書、農	二四〇	一、九九七・〇二〇	—	一、九九七・〇二〇
陽城公立普通學校	私立陽城普通學校變更	理、唱、體、書、農	二四〇	一、六五六・七〇〇	七九五・〇〇〇	二、四五一・七〇〇
竹山公立普通學校	私立竹山普通學校變更	理、唱、體、書、農	二四〇	一、九二〇・一一〇	八〇二・五〇〇	二、七二二・六一〇
利川公立普通學校	私立利川普通學校變更	理、唱、體、書、農	二四〇	二、〇二七・七〇〇	—	二、〇二七・七〇〇
積城公立普通學校	私立積城普通學校變更	理、唱、體、書、農	二四〇	一、八六三・三九六	—	一、八六三・三九六
麻田公立普通學校	私立麻田普通學校變更	理、唱、體、書、手、農	二四〇	二、〇三五・一二〇	—	二、〇三五・一二〇
永平公立普通學校	私立永平普通學校變更	理、唱、體、書、農	二四〇	一、六九五・〇〇〇	六〇・〇〇〇	一、七五五・〇〇〇
加平公立普通學校	私立加平普通學校變更	理、唱、體、書、農	二四〇	二、一〇五・五六〇	一、〇四七・六〇〇	三、一五三・一六〇
朔寧公立普通學校	私立朔寧普通學校變更	理、唱、體、書、農	二四〇	一、八四五・四五〇	五四五・〇〇〇	二、三九〇・四五〇
喬桐公立普通學校	私立喬桐普通學校變更	理、唱、體、書、農	二四〇	一、七〇九・五八〇	二〇〇・〇〇〇	一、九〇九・五八〇
高陽公立普通學校	私立高陽普通學校變更	理、唱、體、書、手、農	二四〇	一、七一一・八四〇	二四一・一七〇	一、九五三・〇一〇
富平公立普通學校	私立富平普通學校變更	理、唱、體、書、農	二四〇	一、六四六・九八〇	—	一、六四六・九八〇
豐德公立普通學校	私立豐德普通學校變更	理、唱、體、書、農	二四〇	二、三二八・三四〇	—	二、三二八・三四〇
交河公立普通學校	私立交河普通學校變更	理、唱、體、書、農	二四〇	一、八八八・四九〇	—	一、八八八・四九〇
開城第二公立普通學校	私立三仁、崧明ノ兩校ヲ變更ス	理、唱、體、書、農	二四〇	三、五五九・二七五	—	三、五五九・二七五
京城女子公立普通學校	私立女子普學院變更	理、唱、體、書、手、農	二四〇	二、九三七・四六〇	八〇・〇〇〇	三、〇一七・四六〇
合計	二〇		四、八六〇	四〇、七二一・七二一	四、七九三・三五〇	四五、五一五・〇七一

忠清北道

學校	設置方法	必設科目以外ノ教科目	兒童定數	明治四十五年度歳出豫算 經常費	臨時費	計
清風公立普通學校	私立清風普通學校變更	理、唱、體、畫、農	二四〇	一、六一六・五六五	—	一、六一六・五六五
文義公立普通學校	私立文義普通學校變更	理、唱、體、畫、農	二四〇	一、五四一・〇〇〇	—	一、五四一・〇〇〇
青山公立普通學校	私立青山普通學校變更	理、唱、體、畫、農	二四〇	一、五三五・五〇〇	—	一、五三五・五〇〇
丹陽公立普通學校	私立丹陽普通學校變更	理、唱、體、畫、農	二四〇	一、五八二・八一二	—	一、五八二・八一二
永春公立普通學校	私立永春普通學校變更	理、唱、體、畫、農	二四〇	一、七三〇・〇一〇	—	一、七三〇・〇一〇
懷仁公立普通學校	私立懷仁普通學校變更	理、唱、體、畫、農	二四〇	一、六六五・七五五	—	一、六六五・七五五
延豐公立普通學校	私立延豐普通學校變更	理、唱、體、畫、農	二四〇	一、六一八・二五〇	—	一、六一八・二五〇
合計	七		一、六八〇	一一、二八九・八九二	—	一一、二八九・八九二

忠清南道

學校	設置方法	必設科目以外ノ教科目	兒童定數	明治四十五年度歳出豫算 經常費	臨時費	計
舒川公立普通學校	新設	理、唱、體、畫	二四〇	一、七七六・七二三	—	一、七七六・七二三
鴻山公立普通學校	新設	理、唱、體、畫	二四〇	二、〇二七・五七六	—	二、〇二七・五七六
連山公立普通學校	新設	理、唱、體、畫	二四〇	二、一〇三・〇〇〇	—	二、一〇三・〇〇〇
燕岐公立普通學校	新設	理、唱、體、畫	二四〇	二、二六〇・八四〇	一〇〇・〇〇〇	二、三六〇・八四〇
禮山公立普通學校	新設	理、唱、體、畫	二四〇	一、八四五・〇〇〇	—	一、八四五・〇〇〇
海美公立普通學校	新設	理、唱、體、畫	二四〇	二、一七〇・六〇〇	—	二、一七〇・六〇〇
合計	六		一、四〇〇	一二、一八三・七三九	一〇〇・〇〇〇	一二、二八三・七三九

全羅北道

學校	設置方法	必設科目以外ノ教科目	兒童定數	明治四十五年度歳出豫算 經常費	臨時費	計
金溝公立普通學校	私立金溝普通學校變更	理、唱、體、畫	二〇〇	二、四六一・〇〇〇	—	二、四六一・〇〇〇
龍安公立普通學校	私立龍安普通學校變更	理、唱、體、畫、農	八〇	一、九〇三・五〇〇	一〇〇・〇〇〇	二、〇〇三・五〇〇

長水公立普通學校	私立長水普通學校變更	理、體、畫、農	一二〇	二、〇一四・一一〇	四〇・〇〇〇	二、〇五四・一一〇
高敞公立普通學校	私立高敞普通學校變更	理、唱、體、畫、農	一五〇	二、〇四九・九〇〇	—	二、〇四九・九〇〇
雲峰公立普通學校	私立雲峰普通學校變更	理、唱、體、畫	一二〇	二、三八八・五〇〇	一七〇・〇〇〇	二、五五八・五〇〇
扶安公立普通學校	私立扶安普通學校變更	理、唱、體、畫、手、農	二四〇	一、七五九・〇〇〇	一八〇・〇〇〇	一、九三九・〇〇〇
臨陂公立普通學校	私立臨陂普通學校變更	理、唱、體、畫、農	一二〇	二、〇三五・五〇〇	—	二、〇三五・五〇〇
井邑公立普通學校	私立井邑普通學校變更	理、唱、體、畫、農	一二〇	二、〇五三・〇〇〇	—	二、〇五三・〇〇〇
龍潭公立普通學校	私立龍潭普通學校變更	理、唱、體、畫、農	一二〇	二、〇二六・〇〇〇	三〇〇・〇〇〇	二、三二六・〇〇〇
珍山公立普通學校	新設	體、唱、農	一〇〇	二、〇五六・五〇〇	—	二、〇五六・五〇〇
茂朱公立普通學校	私立茂朱普通學校變更	理、唱、體、畫、農	一二〇	一、七六一・五〇〇	二五〇・〇〇〇	二、〇一一・五〇〇
興德公立普通學校	私立興德普通學校變更	理、唱、體、畫、農	一六〇	二、一八一・二〇〇	—	二、一八一・二〇〇
礪山公立普通學校	私立礪山普通學校變更	理、唱、體、畫、農	一二〇	二、三七三・五〇〇	一三〇・〇〇〇	二、五〇三・五〇〇
合計	一三		一、七七〇	二七、〇六三・二一〇	一、一七〇・〇〇〇	二八、二三三・二一〇

慶尙北道

學校	設置方法	必設科目以外ノ教科目	兒童定數	明治四十五年度歲出豫算 經常費	臨時費	計
新寧公立普通學校	私立新寧普通學校變更	理、唱、體、畫	二〇〇	二、一六九・〇〇〇	—	二、一六九・〇〇〇
眞寶公立普通學校	私立廣德學校變更	理、唱、體、畫	一二〇	一、九八八・〇六〇	—	一、九八八・〇六〇
興海公立普通學校	私立義昌學校變更	理、體、畫	一六〇	二、二八九・〇〇〇	—	二、二八九・〇〇〇
知禮公立普通學校	私立一中普通學校變更	理、唱、體、畫	一五〇	二、一三五・九九八	—	二、一三五・九九八
豐基公立普通學校	私立安定普通學校變更	理、唱、體、畫	一五〇	二、二五九・〇〇〇	—	二、二五九・〇〇〇
禮安公立普通學校	私立宣明學校變更	理、唱、體、畫	一二〇	二、四一六・二二〇	—	二、四一六・二二〇
龍宮公立普通學校	私立龍範學校變更	理、唱、體、畫	一二〇	二、五六七・〇〇〇	—	二、五六七・〇〇〇
英陽公立普通學校	私立英興學校變更	理、唱、體	一〇〇	二、二五三・〇〇〇	—	二、二五三・〇〇〇
聞慶公立普通學校	私立慶統學校變更	理、唱、體、畫	二〇〇	二、三九九・〇〇〇	—	二、三九九・〇〇〇
仁同公立普通學校	私立仁明學校變更	理、唱、體、畫	一〇〇	二、一〇九・〇〇〇	—	二、一〇九・〇〇〇
靑松公立普通學校	私立樂一小學校變更	理、唱、體、畫	一五〇	二、一五九・〇〇〇	—	二、一五九・〇〇〇

學校	設置方法	必設科目以外ノ教科目	兒童定數	明治四十五年度歲出豫算 經常費	臨時費	計
咸昌公立普通學校	私立昌明學校變更	理、唱、體、莊	一〇〇	二、一四九・〇〇〇	—	二、一四九・〇〇〇
比安公立普通學校	私立屛山學校變更	理、唱、體、莊	一六〇	二、一八五・〇〇〇	—	二、一八五・〇〇〇
漆谷公立普通學校	私立莒陽學校變更	理、唱、體、莊、農	八〇	二、一五九・〇〇〇	—	二、一五九・〇〇〇
淸河公立普通學校	私立千一學校變更	理、唱、體、莊、農	一三〇	二、一三四・〇〇〇	—	二、一三四・〇〇〇
開寧公立普通學校	私立開進學校變更	理、唱、體、莊	一六〇	二、一一一・〇〇〇	—	二、一一一・〇〇〇
盈德公立普通學校	私立盈新普通學校變更	理、唱、體、莊	一二五	二、三三五・〇〇〇	—	二、三三五・〇〇〇
奉化公立普通學校	私立廣成學校變更	理、唱、體、莊、農	一五〇	二、一二一・〇〇〇	—	二、一二一・〇〇〇
醴川公立普通學校	私立醴明學校變更	唱、體、莊	一六〇	二、一五四・〇〇〇	—	二、一五四・〇〇〇
合計	一九		二、六二五	四二、〇九二・二七八	—	四二、〇九二・二七八

慶尚南道

學校	設置方法	必設科目以外ノ教科目	兒童定數	明治四十五年度歲出豫算 經常費	臨時費	計
三嘉公立普通學校	私立三嘉普通學校變更	理、唱、體、莊	一五〇	二、一五〇・〇〇〇	七五・四〇〇	二、二二五・四〇〇
機張公立普通學校	私立機張普通學校變更	理、唱、體、莊	一五〇	二、二三七・五五〇		二、二三七・五五〇
梁山公立普通學校	私立梁山普通學校變更	理、唱、體、莊	一五〇	一、七九八・〇〇〇	八七二・〇〇〇	二、六七〇・〇〇〇
丹城公立普通學校	私立丹城普通學校變更	理、唱、體、莊	一二〇	一、八九八・七七七	—	一、八九八・七七七
山淸公立普通學校	私立山淸普通學校變更	理、唱、體、莊	一五〇	一、九一一・一六五	—	一、九一一・一六五
安義公立普通學校	私立安義普通學校變更	理、唱、體、莊	一五〇	二、一二五・六七二	—	二、一二五・六七二
草溪公立普通學校	私立草溪普通學校變更	理、唱、體、莊	一五〇	一、九六〇・〇五三	八九二・〇〇〇	二、八五二・〇五三
宜寧公立普通學校	私立宜寧普通學校變更	理、唱、體、莊	一五〇	一、八四一・二〇〇	三六〇・〇〇〇	二、二〇一・二〇〇
陜川公立普通學校	私立陜川普通學校變更	理、唱、體、莊	一五〇	二、〇〇九・六〇〇	一、五〇〇・〇〇〇	三、五〇九・六〇〇
南海公立普通學校	私立南海普通學校變更	理、唱、體、莊、農	二〇〇	二、〇四三・八九七	一、一二〇・〇〇〇	三、一六三・八九七
合計	一〇		一、五二〇	一九、九七五・九一四	三、八一九・四〇〇	二三、七九五・三一四

黃海道

學校	設置方法	必設科目以外ノ教科目	兒童定數	明治四十五年度歲出豫算 經常費	臨時費	計
瓮山公立普通學校	私立華陽學校變更	唱、體、商、農	一八〇	一、四四六・〇〇〇	—	一、四四六・〇〇〇

學校	設置方法	必設科目以外ノ敎科目	兒童定數	經常費	臨時費	計
信川公立普通學校	私立信川普通學校變更	唱、體、實、農	二四〇	二、一一三・〇〇〇	—	二、一一三・〇〇〇
新溪公立普通學校	私立信興學校變更	理、唱、體、實、農	一八〇	二、〇七〇・二五〇	五〇・〇〇〇	二、一二〇・二五〇
遂安公立普通學校	新設	理、唱、體、實、農	二四〇	一、九七一・〇〇〇	—	一、九七一・〇〇〇
金川公立普通學校	私立金興學校變更	理、唱、體、實、農	一八〇	一、六七五・四九〇	—	一、六七五・四九〇
松禾公立普通學校	私立彰東學校變更	理、唱、體、實、農	二四〇	二、一四七・九〇〇	—	二、一四七・九〇〇
合計	六		一、二六〇	一一、四二三・六四〇	五〇・〇〇〇	一一、四七三・六四〇

江原道

學校	設置方法	必設科目以外ノ敎科目	兒童定數	明治四十五年度歲出豫算 經常費	臨時費	計
平康公立普通學校	新設	理、體、實、農	一八〇	一、八八一・〇〇〇	五七八・五〇〇	二、四五九・五〇〇
安峽公立普通學校	新設	理、體、實、農	一八〇	一、八三一・七六三	七九〇・〇〇〇	二、六二一・七六三
平海公立普通學校	私立平明學校變更	理、體、實、農	一八〇	二、二三五・三〇〇	四七四・八八〇	二、七一〇・一八〇
杆城公立普通學校	私立水城學校變更	理、體、實、農	一八〇	二、一三一・七八〇	四五〇・四七〇	二、五八二・二五〇
寧越公立普通學校	新設	理、體、實、農	一八〇	一、七一三・三〇〇	五七六・七〇〇	二、二九〇・〇〇〇
蔚珍公立普通學校	新設	理、體、實、農	一八〇	一、九三一・二二〇	五七九・九八〇	二、五一一・二〇〇
旌善公立普通學校	新設	理、體、實、農	一八〇	一、七二二・七三〇	六五〇・〇〇〇	二、三七二・七三〇
麟蹄公立普通學校	私立麟照學校變更	理、體、實、農	一八〇	二、一五四・二三〇	五八八・六七〇	二、七四二・九〇〇
高城公立普通學校	新設	理、體、實、農	一八〇	一、八二三・七八〇	五五五・八〇〇	二、三七九・五八〇
平昌公立普通學校	新設	理、體、實、農	一八〇	一、七一〇・一〇〇	五七六・〇五〇	二、二八六・一五〇
華川公立普通學校	私立華東學校變更	理、體、實、農	一八〇	二、三〇八・六一八	六〇九・七四五	二、九一八・三六三
合計	一一		一、九八〇	二一、四四三・八二一	六、四三〇・七九五	二七、八七四・六一六

平安南道

學校	設置方法	必設科目以外ノ敎科目	兒童定數	明治四十五年度歲出豫算 經常費	臨時費	計
平壤第二公立普通學校	新設	理、唱、體、實、農	四〇〇	二、二五〇・五〇〇	一、二一五・六七〇	三、四六六・一七〇
順川郡慈山公立普通學校	私立文興學校變更	理、唱、體、實、農	二〇〇	一、五〇九・〇〇〇	五五〇・〇〇〇	二、〇五九・〇〇〇

學校	設置方法	必設科目以外ノ教科目	兒童定數	明治四十五年度歳出豫算 經常費	臨時費	計
江東郡三登公立普通學校	私立普成學校變更	理、唱、體、畫、農	二〇〇	一,二二四·〇〇〇	一,〇五〇·〇〇〇	二,二七四·〇〇〇
甑山郡咸從公立普通學校	新設	理、唱、體、畫、農	二〇〇	一,二六五·〇〇〇	二,一〇〇·〇〇〇	三,三六五·〇〇〇
順安郡石岩里公立普通學校	新設	理、唱、體、畫、農	二〇〇	一,五四〇·〇〇〇	二,五九五·〇〇〇	四,一三五·〇〇〇
合計	五		一,二〇〇	七,六八八·五〇〇	七,五一〇·六七〇	一五,一九九·一七〇

平安北道

學校	設置方法	必設科目以外ノ教科目	兒童定數	明治四十五年度歳出豫算 經常費	臨時費	計
宣川郡三峰公立普通學校	私立朝陽義塾變更	理、唱、體、畫、手、裁、農、	二〇〇	二,三一八·〇〇〇	七〇〇·〇〇〇	三,〇一八·〇〇〇
定州郡清亭公立普通學校	新設	理、唱、體、畫、手、裁、農、商	二〇〇	二,四四七·〇〇〇	六三六·〇〇〇	三,〇八三·〇〇〇
龍川郡楊市公立普通學校	新設	理、唱、體、畫、手、農	二〇〇	二,一四五·〇〇〇	一,二〇〇·〇〇〇	三,三四五·〇〇〇
合計	三		六〇〇	六,九一〇·〇〇〇	二,五三六·〇〇〇	九,四四六·〇〇〇

咸鏡南道

學校	設置方法	必設科目以外ノ教科目	兒童定數	明治四十五年度歳出豫算 經常費	臨時費	計
利原公立普通學校	私立普明學校變更	理、唱、體	一二〇	二,五一二·〇〇〇	二五〇·〇〇〇	二,七六二·〇〇〇
三水公立普通學校	私立隆興學校變更	理、唱、體	一二〇	二,〇八三·三六〇	五三六·六四〇	二,六一九·〇〇〇
合計	二		二四〇	四,五九四·三六〇	七八六·六四〇	五,三八一·〇〇〇
總計	一〇二		一九,一九五	二〇五,三八七·〇七五	二七,一九六·八五五	二三二,五八三·九三〇

二　設置ノ方法

設置ノ方針ハ臨時恩賜金事業ノ一部トシテ前年既ニ計畫ノ定マレルアリ、各道ハ夫レ夫レ既定ノ方針ニ基キテ計畫ヲ遂行シ、全北ノ珍山、茂朱、興徳、礪山ノ四校ノ少シク後レタル外ハ皆本年三月以前ニ設置ノ認可ヲ受ケ四月一日一齊ニ開校セリ、其ノ設置ノ方法ハ前年ト大差ナク多クハ既設學校ノ組織變更ニ屬ス、即チ私立普通學校ノ變更五十二一般私立學校ノ變更三十一ニシテ新規創始ニ係ルモノハ僅ニ十九ニ過キス而モ其ノ新規創始ニ屬スルモノノ中ニモ一面ニ於テ私立學校ヲ廢止シ更ニ公立普通學校ヲ設置シ表面上組織變更ノ手續ニ

依ヲサリシモノモアレハ全然新規ニ創設セラレルモノハ極メテ少數ナリ、斯クノ如ク地方ニ於テ多少ノ沿革アリ而モ私人ノ經營ニ屬スル學校ヲ繼承シテ之カ組織ヲ變更シタルモノナレトモ設立者ハ凡テ變更ヲ快諾シ授受頗ル圓滿ニ行ハレ、校舍具具ハ勿論一切ノ財産ヲ新設學校ニ寄附シ其ノ間些ノ支障ナク進行シタリシノミナラス、進ムテ諸事幹旋ノ勞ヲ執ル者少カラサリシハ畢竟時勢ノ進歩ニ伴ヒ新敎育ノ價値ノ一般ニ認メラレタルニ由ルト雖モ抑亦直接其ノ局ニ當リシ府郡官憲折衝ノ苦心ヲ多トセサルヲ得ス

三　敎員ノ配置

斯クテ是等新設普通學校ニ配置スヘキ敎員特ニ之カ校長タルヘキ内地人敎員ノ任用ニ關シテハ關係道長官ノ推薦ニ依リ、内地各府縣ニ於テ小學校本科正敎員ノ資格ヲ有スル現任小學校長ニシテ多年斯道ニ從事シ其ノ成績顯著ナル者、竝ニ朝鮮ニ於ケル公立小學校長又ハ訓導私立普通學校長ニシテ從來ノ成績優良ニ兼テ朝鮮ノ事情ニ通スル者ニ就キ選擇採用セラレタリ、而シテ是等新任ノ校長ニ對シテハ普通學校ノ施設經營ニ關シ必要ナル知識ヲ授クル爲メ赴任前之ヲ京城ニ招集シテ本年四月十一日ヨリ公立普通學校長講習會ヲ開設シ、朝鮮敎育ノ方針及實施上ノ注意ヨリ朝鮮敎育法規、敎科書取扱方、朝鮮歴史、朝鮮地理、朝鮮語、國語敎授上ノ注意及實際等當面焦眉ノ事項ヲ學習セシムルト共ニ兼テ各部知名ノ官憲ニ科外講演ヲ依囑シ廣ク敎育上日常生活上緊要ノ事項ヲ聽講セシメタルコト前年ノ例ノ如シ、(昨年八月公立普通學校敎監講習會ニ京畿道私立普通學校長トシテ出席受講セシ二十名ヲ除ク)超ヘテ同月三十日總督ニハ講習員一同ヲ官邸ニ引見シ朝鮮公立普通學校長トシテ服膺スヘキ事項ニ就キ懇篤周到ナル訓示ヲ與ヘラレ乃チ同日ヲ以テ講習ヲ終了シ各自直ニ任地ニ向ヘリ、是ヨリ先京城高等普通學校附設臨時敎員養成所各科平壤高等普通學校敎員速成科、咸興臨時敎員講習會等ノ卒業生ニシテ新設公立普通學校訓導又ハ副訓導ニ採用セラルヘキ者ハ四月一日ヲ以テ任命セラレ京城ニ於テハ即日平壤ヘハ特ニ學務局員ヲ急行セシメテ夫レ夫レ　辭令ヲ交附シ直ニ赴任セシメラレタリ、サレハ是等ノ新任鮮人敎員ハ當該學校長ニ先チテ著任シ兒童ヲ募集シテ授業ヲ開始シ校長ノ就任ヲ待テリ、爾來茲ニ七閲月日猶淺シト雖モ敎員各自努力ノ效空シカラス、本府視學官視學ノ復命竝ニ諸種ノ報告ニ徵スルニ概シテ成績佳良ナルカ如シ

四　新入學兒童

新設公立普通學校開校ノ當時新ニ入學セシ兒童約七千ニシテ其ノ後引續キ入學セシ者少カラネハ現今ニ至リテハ著シク増

加セシモノト認メラル、近來新教育ノ必要漸ヲ以テ一般ニ認メラルルト同時ニ各地ニ於ケル入學志望者頗ル多キヲ加ヘタレトモ校舍ノ設備完カラサル爲メ是等志望者ヲ收容シ悉スコト能ハサリシ處少カラス京畿道竹山ニテハ目下新築中ノ校舍落成後入學ヲ約セシ者四十名ニ達セリト云フカ如キ其ノ一班ヲ知ルニ足ルヘシ、地方中流以上ノ子弟ノ入學ハ益多ク私立學校書堂ヨリノ轉校ハ前年ニ比較シテ著シク多キヲ加ヘタルカ如シ、書堂ノ教師ニシテ其ノ子ヲ入學セシムル者アリ、往年兵士タリシ者ノ入學スルアリ、江原道麟蹄郡ニテハ一家三名ノ就學者ヲ出セル者數戸アリ、斯ノ如ク別段入學ノ勸誘ヲ試ムルニ及ハスシテ早ク既ニ豫定若クハ其レ以上ニ達セシモノ頗ル多ク殊ニ廣ク臨時恩賜金ノ恩典ニ浴セシメムトノ趣旨ニ出テタル當局官憲ノ訓達ハ能ク一般ニ貫徹シ遠隔ノ地ヨリ來リテ親戚故舊又ハ教師ノ住宅ニ寄宿シ或ハ客主ニ下宿シテ通學セル者アリ、各地之カ爲メニ寄宿舍ノ設備ヲ計畫シツツアルモノ亦少カラサルカ如シ、要スルニ今ヤ一般ニ能ク新教育ノ趣旨ト價値トヲ會得シ子弟ヲ就學セシムヘキ學校ノ選擇ヲ誤ラサルニ至レルヲ認ム

五　新設普通學校ニ對スル地方人民ノ感想

公立普通學校ノ施設ニ對シ授業時間ノ短キコト、漢文科ノ少キコト、作業ヲ課スルコト、(農業實習ノ如キ)等ニ就キテハ今猶多少平ナラサル者アリト雖モ這ハ二六時中漢文ノ素讀ヲ是レ事トスル書堂ノ教育法ヲ唯一ノ良法ト考フ者ニアリテハ又無理ナラサル事ニシテ姑ク容認セサルヲ得ス、遠カラス疑團ノ氷解スルノ期アルヘキハ論ナク而モ亦斯カル謬想ヲ懷抱スル者ハ比較的少クシテ一般ノ人民ハ大ニ公立普通學校ノ新設ヲ歡迎シ安ンシテ子弟ヲ託スルノ現況ナリ、開校式ニ於ケル參列者ノ所在官憲ヲ始メ地方內鮮人有力者ヲ網羅セシハ必シモ前年ニ異ナラサレトモ一面兒童ノ父兄母姉其ノ他一般有志者ノ列席前年ニ比シ著シク多カリシハ聽テ一般人民ノ普通學校ニ接近シ來レルヲ察スルニ足ルヘク、金品寄附ノ申請ハ前年ニ數倍シ通學道路ノ改修運動場ノ地均等ハ勞力寄附ニ由リテ行ハレ一度學校ヲ參觀シテ直ニ器械器具ノ寄附ヲ申出ツル者少カラサルハ如何ニ彼等カ學校ニ對シ好意ヲ有スルカヲトスヘシ、若シ夫レ大小係爭ノ解決果テハ刑罰輕減ノ執成ヲ學校ニ訴フ者アリト云フニ至リテハ方角違ノ甚シキ寧ロ一笑ニ附シ去ルヘキニ似タリト雖モ而モ亦反面ニ於テ信頼ノ厚キヲ立證スルモノト認メサルヲ得ス、要スルニ一般ニ深ク公立普通學校ノ新設ヲ歡ヒ安ンシテ子弟ヲ託スルニ至リシハ開校以來各學校ノ順潮ナル發達ニ徵シ疑ナキ所ナリ

○長湍地方大豆青田貸ノ開始

京畿道長湍地方ノ大豆ハ每年產額二萬餘石ニ達シ遠ク大阪市場ニ其ノ名ヲ博シ移出額又尠カラス然ルニ生產者ハ多ク高利ノ資金ヲ運用スルヲ以テ其ノ得ル所ノ利益ハ之ヲ失フ者甚タ多キヲ以テ長湍地方金融組合ハ高利資金融通ノ排除ヲ謀リ開城農工銀行支店ヨリ地方小額資金取次ノ方法ニ頼リテ未收穫大豆擔保貸付ノ實施ヲ開始セリ

資金ノ融通及取引狀況　從來生產者カ資金ノ必要ニ迫ルヤ仲介者ヲシテ大豆商人ニ依賴シ之ヲ調達ス即チ大豆商人ハ未收穫大豆ヲ擔保トシテ月二分以上五分內外ノ利息ヲ以テ之ニ應シ仲介者又手數料トシテ大豆受渡ノ價格ニ由リ生產者ヲシテ一石ニ付キ十五錢乃至二十錢ヲ支拂ハシムルヲ常トセリ而シテ生產者收穫ヲ終ルヤ引取方ヲ仲介者ニ依賴シ仲介者ハ大豆商人ニ其ノ旨ヲ告ケ茲ニ始メテ出資者タル商人ハ生產者ニ命シテ高浪浦、席浦、長湍停車場、亭午浦、水川等便宜ノ市場ニ搬出セシムルナリ其ノ費用ハ固ヨリ契約ニ由リ異ナルモ一里以上ノ距離ニ在リテハ當事者ニ於テ同額ヲ負擔シ搬出大豆ノ受渡ハ前記市場ノ時價ニ由リ計算ヲ爲スト雖其ノ價格ハ殆ト大豆商人ノ協定價格ニ由ルモノニシテ生產者ハ常ニ不當ノ損失ヲ免レサルナリ若シ搬出大豆ニシテ融通資金ノ元利金ニ對シ不足ヲ生スルコトアルトキハ之ニ相當スル大豆ヲ更ニ提供セシメ決濟ヲ爲スモノナリ

現時ノ狀況既ニ斯ノ如シ高利資金ノ融通ヲ排除シテ低利資金供給ノ途ヲ開キ農具ノ普及、耕作方法、種子、肥料ノ改良ヲ企テ優良大豆ノ增收ヲ奬勵シ地方產業ノ發達ヲ謀ルハ實ニ目下ノ急務タリ

今從來ノ耕作方法ニヨリ一日耕(約三段步)ノ生產額平均三石(極メテ內輪ニ見積リ)ト假定シ之カ資金トシテ月三分ノ割合ヲ以テ融通スルトセンカ元金十八圓ニ對スル六箇月間ノ利子ハ三圓二十四錢ヲ要シ而シテ低利資金ニ在リテハ月一分內外ノ割合ナルヲ以テ僅ニ一圓八錢餘ニ止マリ其ノ間已ニ二圓十六錢ノ利益ヲ生シ加之金融組合ハ倉庫ヲ建設シ僅ニ百分一ノ手數料ヲ以テ委託販賣ニ應スルニ由リ生產者カ仲介者ニ支拂ヒタル十五錢乃至二十錢ノ手數料モ亦大ニ減シテ七八錢ヲ利シ且保管ノ危險、品質變化ノ憂ナキ等低利資金ノ生產者ニ及

ホスノ利益ハ大豆商人等カ資金供給ノ酷ナル比ニ非サルナリ

資金貸付ノ方法　資金ノ貸付ハ勢地方ノ慣習ニ因リ未收穫大豆ヲ擔保トシテナササルヘカラス此ノ危險ノ實行ニ就テハ貸付方法、條件等最モ嚴密ノ手段ヲ要スルヲ以テ生産者ヲシテ一ノ契ヲ作ラシメ該契ヲ本位トシテ既往ノ生産額ト播種後大豆發育ノ狀況ニ鑑ミ其ノ年ノ生産額ヲ豫定シ其ノ五割以内ヲ限度トシテ貸付スルモノトス而シテ生産大豆ノ受渡ニ就テハ契員各自ノ收穫ニ注意シ監督手段ヲ講シ契長ヲシテ其ノ責ニ任シ收穫終了ノ後直ニ倉庫ニ搬入セシメ品質量目ノ檢査ヲ行ヒ受入ノ後金融組合ニ於テ隨時販賣スルモノナリ

契ノ設立　貸付資金ノ回收上危險ヲ滅スルノ最良方法ハ現下ノ狀況契ノ設立ニ在リトシ因ヲ金融組合ハ江西、津東、津縣內及長西ノ各面長ノ會合ヲ催シ計畫ノ詳細ヲ說述シ契ノ設立ヲ勸獎シテ

(イ)契員住所氏名　(ロ)年齡　(ハ)家族數

(ニ)大豆耕作面積　(ホ)大豆收穫豫想高　(ヘ)移出地

(ト)小作又ハ自作ノ要項ヲ記載スヘキ應募用紙ヲ配付シ契員ノ募集ヲ勸告セリ後復各面里洞長ノ會合ヲ開キ應募者ニ就キ其ノ性質、信用ノ程度、隣保ノ交情、借財ノ有無、稅金滯納ノ有無及今日マテ生産大豆ニ對スル負債ノ有無等ヲ調査シテ之カ淘汰ヲナシ各面洞ニ信用アル者六名ヲ役員トシテ選拔シ更ニ計畫ノ趣旨竝連帶ノ責任ニ關シ懇說辯明其ノ趣旨ヲ徹底セシメ且大豆耕作日耕數ヲ結數連名簿及實地ニ就キテ調定セリ而シテ是等準備事務ノ完了ヲ告クルヤ創立總會ヲ開キ契員ノ心得、定款ノ說明等遺憾ナク懇說シ役員ノ選擧ヲナシテ全ク契ノ設立ヲ見タリ其ノ定款及各耕地約三箇年ノ收穫高ヲ參酌決定セル大豆收穫高ハ次ノ如シ

大豆收穫豫想高表

契名	契員數	耕作日耕數	收穫豫想高
津餘內面			
芳木里上洞	三一人	一六、五日耕	四一、五石斗
同　下洞	三四	二二、〇	四五、〇
西上里	二五	一二、四	三五、八
西下里	三八	一七、六	五五、〇
東下里	一一	五、六	二五、〇
孔德里	三三	一〇、〇	三五、五
白蓮里	五二	三八、二	九〇、五
元堂里	二五	一三、四	三一、五
點希陵里	三四	三五、三	八二、〇
亭午浦里	四六	五一、五	一二二、〇
津東面			
湍谷里	四六	五〇、五	一四六、〇
下浦里	三四	三九、五	一一三、〇
東坡里	三三	三三、二	一〇二、〇
長西面			
啃里	四八	三一、五	九三、〇
件程里	二四	一七、五	五一、〇
龍山里	二四	二三、〇	六六、〇
貫松里	二四	一二、〇	三六、〇
江西面			
計	五五〇	四二七、七	一一七〇、八

勸農契定款

第一章　總　則

第一條　本契ハ農事ノ改良ヲ計リ農家ノ副業ヲ奬勵シ及勤儉貯蓄ノ勵行ヲ以テ目的トス

第二條　本契ハ何郡何面何里洞勸農契ト稱ス

第三條　本契ハ何郡何面何里洞ニ居住シ五合耕以上ノ大豆耕作者ヲ以テ組織ス

第四條　本契事務所ハ契長ノ住家内ニ置ク

第二章　業　務

第五條　本契ハ第一條ノ目的ヲ達スル爲左ノ業務ヲ行フ

一、大豆ノ耕作改良、種子ノ選擇、生産物ノ精製等ノ實行

二、薥及叺製造其ノ他農家ノ副業ノ奬勵

三、其ノ他一般農事ノ改良

四、貯蓄ノ勵行

第六條　本契ハ左ノ事項ヲ遂行ス

一、確實ニ生産サルヘキ大豆ヲ擔保トシテ契員ニ對シ農業資金ノ融通ヲ受クルコト

二、農具肥料其ノ他大豆生産上契員ニ於テ必要ナル物品ノ共同購入ヲナスコト

三、契員ノ生産シタル大豆ノ販賣ヲナスコト

第七條　本契員ノ債務ハ契員中誰人ノ債務タルヲ問ハス契員全體ノ連帶責任トス

第八條　契員ハ不虞ノ變災ニ備ヘ兼テ農事資金ノ蓄積ヲ計ルタメ販賣大豆一石ニ付十錢以上ヲ貯金スルモノトス

前項貯金ハ農工銀行ニ預入シ該通帳ハ契長之ヲ保管スルモノトス

第三章　役　員

第九條　本契ニ左ノ役員ヲ置ク

一、契　長　一　名

二、評議員　五名以上十名以内

第十條　契長及評議員ハ總會ニ於テ契員中ヨリ之ヲ選擧ス但名譽職トス

第十一條　契長ハ契ヲ代表シテ常務ヲ執行スル以外總會ノ議長トナル契長事故アルトキハ評議員中ノ年長者其ノ事務ヲ代理ス

第十二條　評議員ハ契長ノ指揮ヲ受ケ業務ノ執行ヲ補佐シ又常務以外ノ事項ヲ評議ス

第十三條　契長及評議員ノ任期ハ滿一箇年トス但シ再選ヲ妨ケス

第四章　總　會

第十四條　總會ハ役員ノ選擧定款ノ變更其ノ他重大ナル事項ヲ議決ス

第十五條　總會ハ之ヲ定時ト臨時トニ別チ定時總會ハ毎年一月之ヲ開キ臨時總會ハ契長ノ必要ト認ムルトキ之ヲ開クモノトス

第十六條　總會ノ決議ハ出席者ノ過半數ヲ以テ決ス可否同數ナルトキハ契長ノ決定ニ依ル

第五章　會　計

第十七條　本契ハ毎年一月ヨリ十二月マテヲ一事業年度トス

第十八條　契員ハ契業務執行上必要ナル經費ニ充ツルタメ負擔ノ義務ヲ負フモノトス

經費負擔額ハ必要ニ應シ評議員會ニ於テ決定ス

第十九條　契長ハ毎事業年度ノ業務成績及ヒ收支決算ヲ定時總會ニ報告スルモノトス

第六章　加入及脫退

第二十條　本契ニ加入セントスル者ハ契長ノ承諾ヲ受クルモノトス

第二十一條　契員ハ左ノ事由ニ依リ脫退ス

一、第三條ニ定メタル資格ノ消滅

二、死亡

三、除名（犯罪其ノ他不法行爲アリタルトキ之ヲ行フ）

四、脫退ノ許可

第七章　監督

第二十二條　本契ハ何地方金融組合理事ノ指揮監督ヲ受ク

第二十三條　第五條第六條第八條第十五條第二十條第二十一條ノ事項ハ事前ニ於テ何地方金融組合ニ協議シ其ノ指揮ニ從フモノトス

第二十四條　第十六條ノ事ハ何地方金融組合ノ同意ヲ得テ決行スルモノトス

第二十五條　契長ハ第二十二條ノ監督者ニ對シ業務ノ狀況ニ付又ハ監督者ノ命スル必要ナル事項ニ付報告スル義務アルモノトス

右定款各條項確守スヘキコトヲ爰ニ誓約シ後日ノ證ト爲シテ契員連署捺章ス

年　月　日

郡　面　里　洞

契長

評議員

同

同

同

同

契員

○優良面長

全羅南道光陽郡多鴨面長李洙鳳ハ人民ノ遊惰安逸ナル惡習ヲ打破シ勤儉貯蓄ノ美風ヲ涵養セントシ本年陰曆正月ヨリ驟馬ニ跨リ管內ヲ巡廻シ盛ニ之ヲ皷吹シ地勢ニ應シ時期ノ適合シタル薪草ノ採取ニ從事セシメ其ノ賣得金ヲ以テ本年度戶稅ニ充テ（百〇四圓貳拾五錢）第一期戶稅ハ納期ニ先チテ完納シ更ニ植樹及堤堰ノ築造ノ計畫ヲ立テ赤松植栽數實ニ三萬三千本ニ及ヒ堤堰ノ築造延長（廣五尺高九尺ノ石垣）五十九間二百十九斗落ノ耕地ニ對シ防水ノ設備ヲ爲サシメタリ遊說ノ結果面總戶數八百八戶ニ對シ百五十七名ノ貯蓄者ヲ出スニ至レリ

調査資料

○輸移出入品包裝ニ關スル調査

九　寒天

包裝ノ説明	摘要
包裝ノ形狀	立方形
包裝ノ強弱	弱
外裝ノ種類	菰包
外裝ノ方法	葉菰ニテ五百本宛包ミ繩ヲ掛ケタルモノ三箇又ハ四箇ヲ結束シ更ニ枝籠ヲ以テ側面ヲ梱包ス
外裝ノ材料	葉菰及葭簾
內裝ノ方法	百本宛四本五十本宛二束トシ各束ヲ麻絲ニテ括リ大束ノ中間ニ小束ヲ狹ミ一梱トス
總容積	36″×13″×31″＝8½立方呎（三梱結束ノ場合）
包裝ト運搬及通關上ノ便否	一梱ノ數量（五百本）一定セルヲ以テ通關上便トス
總重量	三十五斤（三梱結束）
重量ト運搬上ノ便否	比較的容積大ナリト雖輕量ナルヲ以テ運搬上不便ナシ
風袋重量	五斤（三梱結束）
正味重量	三十斤（三梱結束）
包裝內容數量	一梱五百本
拔荷ノ狀況及其豫防方法	包裝不完全ニシテ拔荷ノ憂アリ
船車運賃ノ標準呼稱（單位）	汽船ハ才扱汽車ハ斤扱
貨物ノ主ナル製產地又ハ製造所	大阪、兵庫、京都、長野
包裝ニ要スル費用	二十錢內外

十　乳膏（コンデンスド、ミルク）

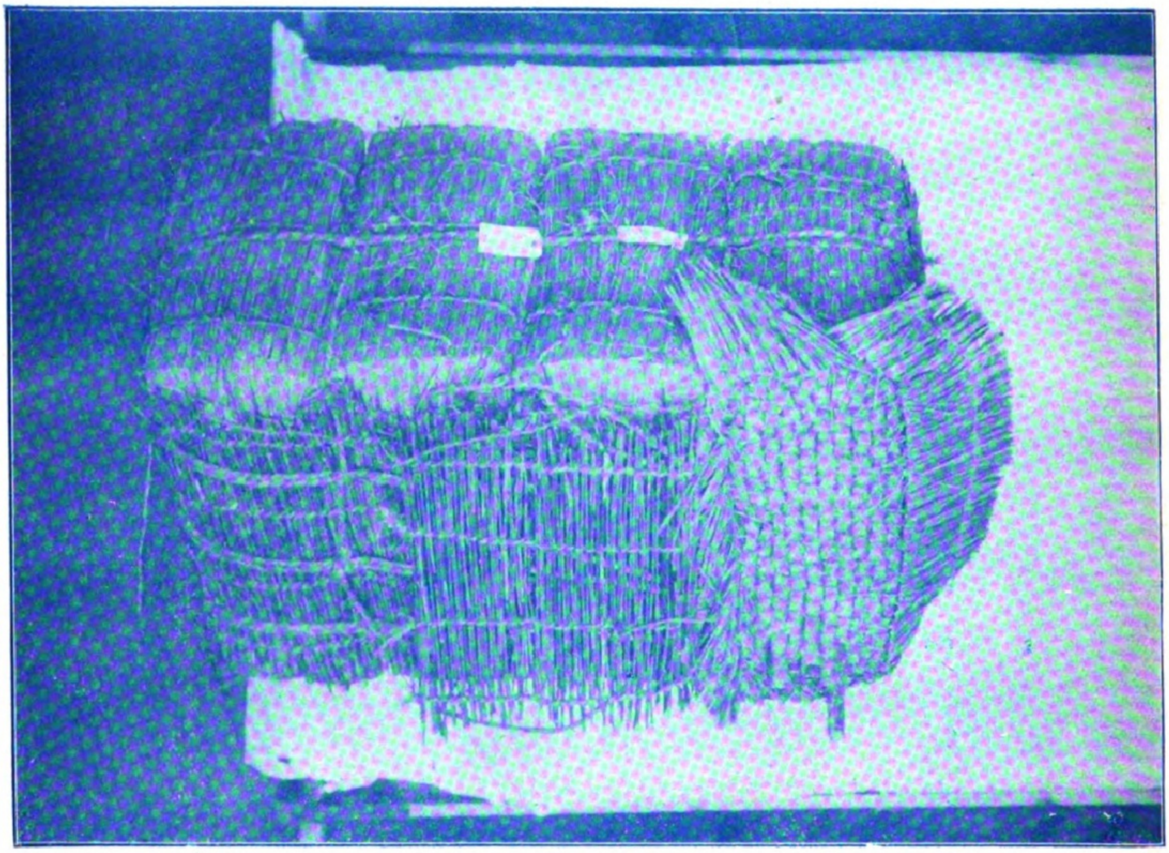
包裝ノ説明	摘要
包裝ノ形狀	長方形
包裝ノ強弱	強
外裝ノ種類	木箱
外裝ノ方法	箱ハ厚サ十六分ノ七吋板ヲ以テ作リ釘ハ一吋四分三ノ線釘ヲ用ヒ接合ハ質粉ナリ而シテ箱ニハ鐵箍ヲ施セリ
外裝ノ材料	松類似ノ木材及鐵箍
內裝ノ方法	毎鑵包裝用紙（印刷シタルモノ）ヲ以テ包ム
內裝ノ材料	葉鐵鑵
總容積	7½″×17″×10″卽チ一立方呎
包裝ト運搬及通關上ノ便否	包裝堅固ニシテ數量一定セルヲ以テ運搬及通關上便トス
總重量	四十七斤
重量ト運搬上ノ便否	輕量ナルヲ以テ運搬上便トス
風袋重量	十一斤
正味重量	三十六斤
包裝內容數量	一箱一封度入鑵四打詰
包裝內容一箇ノ尺度	丸鑵直徑三吋長三吋
拔荷ノ狀況及其豫防方法	兩側ノ帶鐵ハ箱ヲ堅牢ニシ尙ホ拔荷ヲ防遏スルニ適ス
包裝ノ標記（記號又ハ番號荷札其他標記ニ關スルコト）	製造地、會社名、記號、番號ヲ附シアリ
船車運賃ノ標準呼稱（單位）	汽船ハ才扱汽車ハ斤扱
貨物ノ主ナル製產地又ハ製造所	北米合衆國
包裝ニ要スル費用	四十錢內外

十一　鑵詰（果物、蔬菜、魚類、肉類）

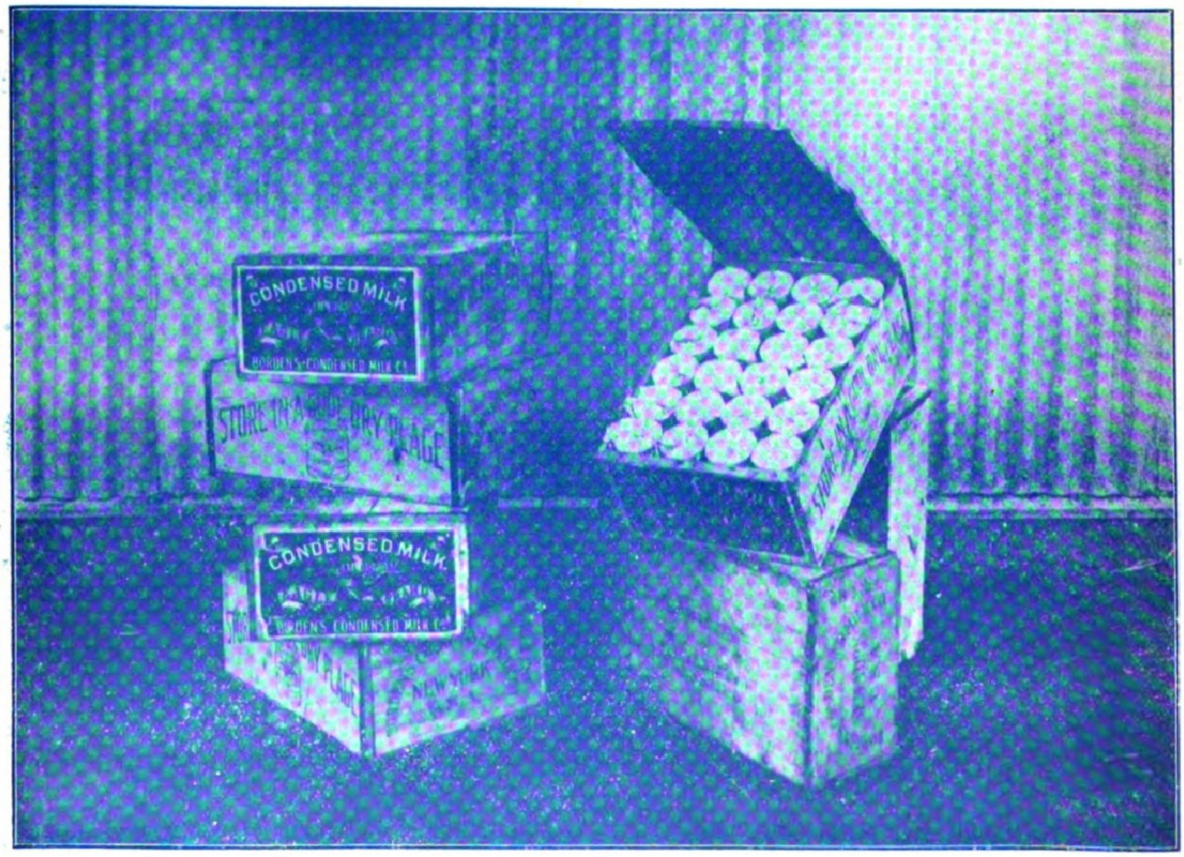
包裝ノ說明	摘要
包裝ノ形狀	立方形
包裝ノ強弱	強
外裝ノ種類	木箱
外裝ノ方法	箱ハ厚サ半吋ノ板ヲ以テ作リ釘ハ一吋半ノ線釘ヲ用ヒ兩端ニ鐵箍ヲ掛ケタルモノ二箇抱合セ藁繩ニテ括ル
外裝材料	縱板、鐵箍及藁繩
内裝ノ方法	毎鑵一封度入ノモノ四打ヲ一箱ニ收メレッテルハ取纏メ箱内ニ詰メ入レル
内裝ノ材料	葉鐵鑵
總容積	17″×20″×13″=2.56立方呎
包裝ト運搬及通關上ノ便否	内容品ノ數量一定セルヲ以テ通關上便トス
總重量	九十二斤
重量ト運搬上ノ便否	過重ナラサルヲ以テ運搬上便トス
風袋重量	十七斤
正味重量	七十五斤
包裝内容數量	一箱一封度入鑵四打詰
包裝内容一箇ノ尺度	丸鑵直徑二吋八七長四吋四三
包裝ト取引上ノ關係	一箱單位ニテ取引セリ
拔荷ノ狀況及其豫防方法	拔荷ノ憂ナシ
包裝ノ標記（記號又ハ番號荷札其他標記ニ關スルコト）	名稱、製造地、數量
船車運賃ノ標準呼稱（單位）	汽船ハ才扱汽車ハ斤扱
貨物ノ主タル製産地又ハ製造所	大阪、神戸、廣島、岡山、伊勢、紀伊、伊豫、近江、東京、松江、信濃、豊後、
包裝ニ要スル費用	四十錢内外

十二　清　酒

包裝ノ說明	摘要
包裝ノ形狀	圓錐梯形
包裝ノ強弱	強
外裝ノ種類	木樽、藁菰
外裝ノ方法	外裝ハ樽ヲ藁ニテ被ヒ其ノ上ヲ上等ノ莚ヲ以テ包ミ兩口ヲ龜甲ニ打合セ徑一吋四分ノ一ノ大繩ニテ縱三箇所ニ二條横約三分ノ一ノ箇所ニ於テ細キ上繩三條ニテ括ル而シテ外裝ヲ更ニ藁ニテ被ヒ藁菰ニテ包ム
外裝ノ材料	杉竹
總容積	六立方呎
包裝ト運搬及通關上ノ便否	運搬及通關上不便ナシ
總重量	百五十三斤二五（一定セス）
重量ト運搬上ノ便否	過重ナラサルヲ以テ運搬上不便ナシ
風袋重量	三十六斤二五
正味重量	百十七斤
包裝内容數量	一樽ノ容量三斗九升乃至四斗五升
拔荷ノ狀況及其豫防方法	往年ハ故意ニ拔荷ヲナセルモノアリシモ近年殆ト跡ヲ斷チ運搬中稀レニ漏洩スルコトアルノミ
包裝ノ標記（記號又ハ番號荷札其他標記ニ關スルコト）	外裝菰ニ商標ノ押捺アリ
船車運賃ノ標準呼稱（單位）	鐵道ハ斤扱汽船ハ才扱
貨物ノ主ナル製産地	灘、堺、廣島、城島
包裝ニ要スル費用	二圓内外

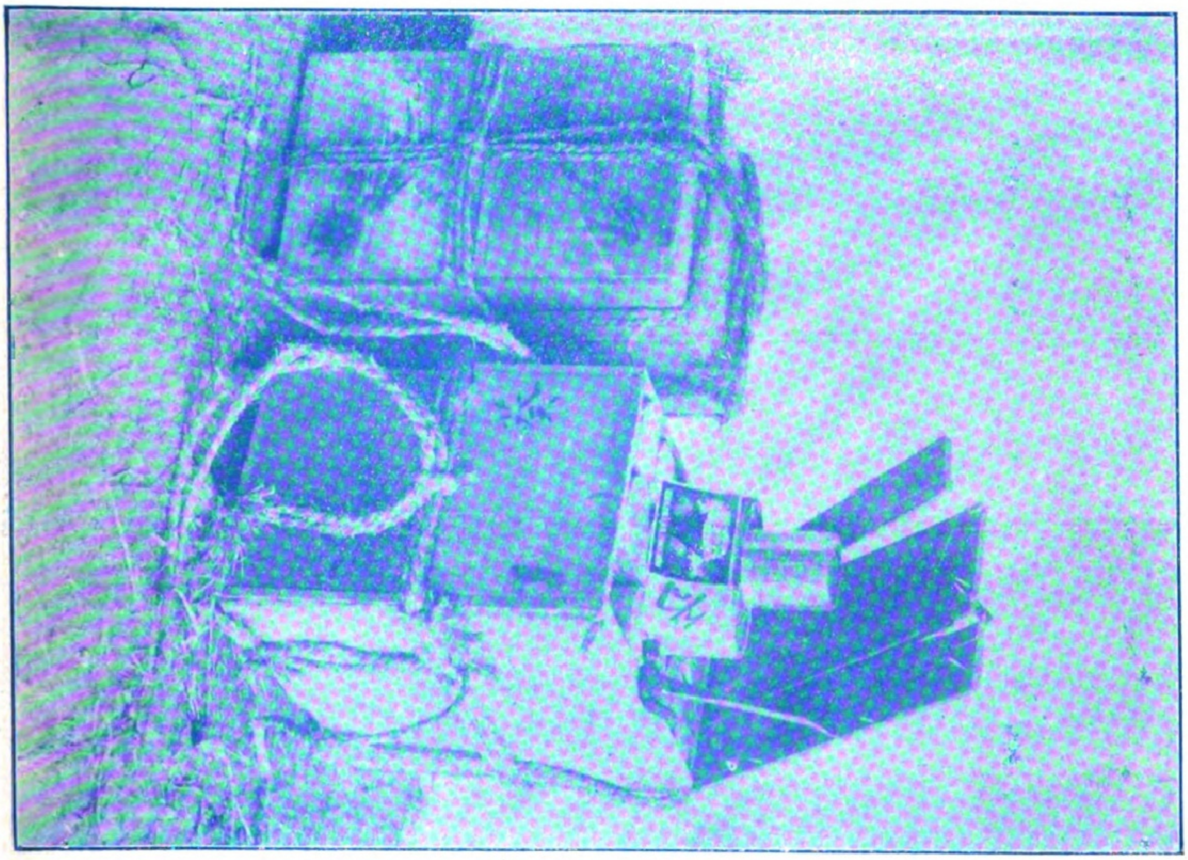


第一二七頁　輸移入品包裝ニ關スル調査（第九號參照）



第一二七頁　輸移入品包裝ニ關スル調査（第十號參照）

第一二八頁　輸移入品包裝ニ關スル調査（第十一號參照）



第一二八頁　輸移入品包裝ニ關スル調査（第十二號參照）



雜錄

○九月中本府購入圖書左ノ如シ

著者	書名	發行年月	圖書整理番號
黒板勝美	西歐二年 歐米文明記	明治四四、一〇	丙 三八二六
高田忠周	漢字詳解 卷六	大正元、八	丙 三八二七
小栗孝三郎	帝國及列國海軍	明治四二、七	丙 三八二八
三好學	日本之植物界	同 四四、一	丙 三八二九
同文館	日本教育文庫	同 四三、四	自丙三八三〇 至丙三八三八
佛書刊行會	大日本佛教全書	同 四五、七	自丙三八三九 至丙三八四二
稻垣乙丙 白鳥吾市	新撰農具敎科書	同 四三、二	丙 三八四三
栢植六郎	實驗果樹園藝新書	同 四五、五	丙 三八四四
同	實驗蔬菜園藝新書	同 四五、六	丙 三八四五
藤原喜代藏	大英國ノ敎育	同	丙 三八四六
遠藤隆吉	日本我	同 四五、五	丙 三八四七
持地六三郎	臺灣殖民政策	大正元、八	丙 三八四八
伊澤修二	視話法	明治四三、三	丙 三八四九
同	視話應用東北發音矯正法	同 四四、一〇	丙 三八五〇
佐藤一齋	言志四錄	同 四三、五	丙 三八五一
伴成高訓點	近古史談	同 四三、一	丙 三八五二
山崎直方	修訂普通敎育地理學通論	同 四五、四	丙 三八五三
大審院藏版	大審院判決錄 四十三年		丙 三八五八 丙 三八五九
行政裁判所	行政裁判所判決錄 同		丙 三八六〇
松浦鎭次郎	敎育行政法	明治四五、七	丙 三八六一
林泰輔	朝鮮通史	大正元、八	丙 三八六二
切田太郎 森宮治郎	最新簡易商業敎科書 卷一、二	明治四四、四	丙 三八六三
横田秀雄	債權總論	同 四五、四	丙 三八六四
同	債權各論	同 五	丙 三八六五 丙 三八六六
參謀本部	日露戰史 第二卷附圖	大正元、七	乙 九九六
東京帝室博物館	稿本日本帝國美術略史	明治四五、七	乙 九九七
大日本百科辭書編輯部	法律大辭書 第一、二、三卷	明治四三、四四、	乙 一〇〇一
荻生徂徠著 小泉秀之助校訂	譯文筌蹄	同 四一、	丁 六三四
法典質疑會	續法典質疑錄	同 四四、七	丁 六三五
清水書店	改正商法	大正元、八	戊 二六八
清瀬一郎	不當利得論	明治四五、五	丙 三八六七
幸田露伴	努力論	大正元、八	丙 三八六八
有賀極光	法律學上表現ノ法理ノ新研究	明治四五、一	丙 三八六九
伊藤金次郎	民法判決實例	大正元、八	丁 六三七
同	商法判決實例	同	丁 六三八
朝鮮古書刊行會	燃藜室記述	同 九	自丙三八七〇 至丙三八七三
W. Wundt.	Einführung in die Psychologie. (1911)		C 六六一
J. Dingle.	China's Revolution (1911—12)		C 六六二
American Book Company.	Appletion's Lessons in Geography for Little Learners.		D 三八〇
May Kirk.	The Baldwin Primer.		D 三八一
M. Beebe.	Picture Primer.		D 三八二
F. Taylor.	The Werner Primer for Beginners in Reading.		D 三八三
M. W. Hazen.	Hazen's First Year Book.		D 三八四
W. E. Crosby.	Our little Book for Little Forks.		D 三八五
F. Sharpe.	A First Reader for Foreigners.		D 三八六
F. Houghton.	First Lessons in English for Foreigners in Evening Schools.		D 三八七
J. Richman and B. Wallach.	Good Citizenship.		D 三八八
J. Baldwin.	School Reading by Grades.		D 三八九

H. Maxwell. L. Johnston and D. Barnum.	Speaking and Writing, Book one.	D	三九〇
A. Bailey and B. German	Number Primer.	D	三九一
A. Walton and H. Holmes.	Walton and Holmes's Arithmetics.	D	三九二
D. Gibbs.	The Natural Number Primer.	D	三九三
F. Endemann.	Lehrbuch des Bürgerlichen Rechts.	C	六六六
Paul Barth.	Die Geschichte der Erziehung in soziologischer und geistesgeschichtlicher Beleuchtung.	C	六六七
V. Theobald.	The Parasitic Diseases of Poultry.	D	三九四

○九月中本府ニ於テ寄贈ヲ受ケタル圖書左ノ如シ

寄贈者名	書名	
朝鮮總督府度支部司税局	人蔘病害研究ノ一端	
朝鮮總督府鐵道局	列車時刻表(明治四十五年六月改正)	
朝鮮水産組合	朝鮮水産組合月報	每號
	姫路商業會月報	每號
	群山商業會議所月報	每號
特許局	實用新案公報	每號
	青森商業會議所月報	每號
外務省	通商彙纂	每號
	京鄕雜誌	每號
長野税務監督局	局報	每號
長野縣	長野縣第二十八統計書	
臺灣總督府	臺灣外國貿易年報(明治四十四年)	
國定教科書共同販賣所	明治四十五年度後期分國定教科書供給狀況調	
	横濱商業會議所月報	每號
特許局	商標公報	每號
同	特許發明明細書	每號
	仁川商業會議所月報	每號
	海友	第二九號
外務省	外國新聞摘要	每號
	露國月報(明治四十五年三月分)	
	義興	每號
大藏省	大日本外國貿易月表	七月分
靜岡市役所	第十二回靜岡市統計書(明治四十三年)	
	函館商業會議所報	每號
仙臺税務監督局	局報	每號
平安農工銀行	第八期營業報告書	
丸龜税務監督局	局報	每號
大阪税務監督局	局報	每號
內外商工協會	內外通信	八月號
	茨城縣職員錄	
	셰텬ᄉᆞ의 긔별	九月號
神祇道雜誌社	神祇道	第一三號
名古屋税務監督局	局報	每號
臺灣總督府民政部殖産局	山仔脚煤田調査報告	
	鹿兒島商業會議所月報	每號
	釜山商業會議所月報	每號
大藏省	內地及樺太朝鮮間貿易月表	七月分
橫濱商業會議所總話會	橫濱之貿易及金融	
The Malitime Customs.	Returns of Trade and Trade Reports. (1911)	
農商務省	農商務省商品陳列館報告	第一號
大連實業會	大連實業雜誌	第六七號
農商務省	山林公報	每號
樺太廳	樺太之森林	
岡崎商工社	岡崎商工叢報	第六號
朝鮮總督府鐵道局	業務月報	五月分
石川縣	石川縣水産試驗場業務報告	
石川縣	石川縣湖潟內灣水面利用調査報告	第一、二卷
	地質調査所報告	每號

鹿兒島税務監督局	局報	每號
	札幌鑛山監督署管內鑛區一覽(明治四十五年七月一日現在)	
九州農工銀行	第十二期營業報告書	
咸鏡南道財務部	咸南地方金融組合通信錄	
朝鮮銀行	東洋ニ於ケル獨逸銀行ノ活動	
同	朝鮮銀行月報	
大阪商業會議所	貿易通報	八月分
警務總監部	警務彙報	八月號
廣島税務監督局	局報	每號
開發社	教育時論	第九八六號
新韓國報社	新韓國報	第二〇二號
大日本武德會本部	會報	第二號
日本體育會	體育	第二二五號
大藏省	調査月報	第八號
The Malitime Customs, China.	Customs Gazette, April—June 1912.	
愛媛縣蠶業取締所	蠶病豫防事務成績	
日英商報社	日英商報	每號
海陸運社	海陸運	每號
	Gaceta Oficial de la Oficina de Patentes Y marcas. Abril de 1912. Maxico.	
同社	東京藥種貿易商報	第一四九號
朝鮮總督府通信局	朝鮮總督府通信法規電信電話編加除類第一回	
平安北道	勸業一斑	
同	平安北道一斑	
	The Philippine Agriculture Review. No. 9.	

農商務省農務局	產業組合要覽(第九次)	
大日本農會	大日本農會報	第三七五號
農商務省水產講習所	水產講習所試驗報告	第八卷第二册
臺灣總督府	移出米概況	
Ministero Delle Finanze, Roma.	Movimento Commerciale, 1910.	
	福島縣水產試驗場事業報告 第一報	
Department of Mines, Canada.	Preliminary report on the Clay and shale deposits of the western provinces.	
Department of Mines, Canada.	The Geology of Steeprack lake, Ontario.	
	馬政局統計書	
北海道	北海道廳職員錄	
京都税務監督局	局報	每號
山口監獄	監獄公報	第一四七號
滿韓實業協會	滿韓之實業	每號
	長崎水產時報	第二五號
農商務省	明治四十四年蠶絲類貿易及蠶種表	
同	明治四十四年繭產表	
	北海道道勢一斑 明治四十三年	
東京税務監督局	局報	每號
	Deutche Export. No. 7. Juli.	
Ministero Delle Finanze, Roma.	Movimento Commerciale del Reyno D'Italia.	
日本美術協會	美術ノ日本	九月號
日鮮實業社	日鮮實業界	九月號
	京城日本人商業會議所月報	每號
和歌山縣立農事試驗場	農事試驗成績	第三號
朝鮮家禽協會	朝鮮之家禽	第一〇號

產業組合中央會茨城支會	產業組合ノ友	第一九號
東京音樂學校	東京音樂學校一覽	自明治四十五年至大正二年
宮城縣	宮城縣職員錄	

○本府ニ於テ例月購入スル邦文雜誌及歐文新聞雜誌左ノ如シ

太陽	總書課・內務部
中央公論	總書課
外交時報	同
國際法雜誌	同
國家學會雜誌	同
法學協會雜誌	同
實業之日本	同
海外之日本	同
日本及日本人	同
國民雜誌	同
新日本	總書課・內務部
朝鮮及滿洲(朝鮮改題)	司法部・內務部・總務局
教育學術界	內務部
學術界	同
教育時論	總務局・內務部
教育實驗界	內務部
教育界	同
小學校	同
教育研究	同
初等教育	同
帝國教育	同
日本ノ小學校	同
教材研究	同
普通教育	內務部
殖民公報	同
旅行案內	內務部・農商工部・度支部
工業化學雜誌	度支部
紙業雜誌	同
東洋皮革新誌	同
東京銀行通信錄	同
大阪銀行通信錄	同
統計集誌	總務局・度支部
朝鮮農會報	度支部
工業	總務局
工業界	同
電氣ノ友	同
印刷世界	同
臺灣統計協會雜誌	同
自治機關	同
統計學雜誌	同
政事學雜誌	同
兵事雜誌	武官室

American Journal of International Law……外事局
Colonial Official Journal.……內務部
Educational Review.……同
Engineering and Mining Journal.……鑛務課
Journal of Education.……內務部

Shanghai Mercury.	外事局
The American Review of Reviews.	外事局 農務課 關稅課
The Board of Trade Journal.	關稅課
The Chemical News.	稅務課
The Contemporary Review.	外事局
The Daily Consular Trade Report.	同
The Economist.	理財課
The Engineering.	關稅課
The Engineering News.	工務課
The Fortnightly Review.	外事局
The Graphic.	關稅課
The Hongkong Weekly Press and China Overland Trade Report.	外事局
The Japan Weekly Mail.	同
The Japan Chronicle.	外事局 關稅課
The Japan Times.	總務局 內務部 司法部 農商工部
The Japan Daily Mail.	外事局
The Japan Daily Herald.	外事局 關稅課
The Japan Gazette.	外事局
The Japan Advertiser.	同
The Journal Society of Chemical Industry.	鑛務課
The London and China Express.	外事局
The Mail.	同
The National Review.	同

The North American Review.	外事局
The North China Daily News.	同
The North China Herald.	關稅課
The New York Times.	總務課
The Nineteenth Century and After.	外事局
The Outlook.	同
The Parliamentary Papers.	外事局
The Political Science Quarterly.	總務課
The Review of Reviews, Illustrated.	外事局
The Seoul Press.	總務部 秘書課 關稅課
The School Review.	內務部
The Times.	總務課
The Times Weekly.	關稅課
The Tobacco, London.	稅務課
The Tobacco, New York.	同
The Tobacco Leaf.	同
The Tobacco Trade Review.	同
Das Echo	外事局
Der Ostasiatische Lloyd.	同
Deutsche Japan-Post.	同
Kölnische Zeitung.	同
Zeitschrift für Colonialpolitik, etc.	同
Diplomatiques et Coloniales.	同
L'Echo de Chine.	同
L'Education.	內務部
Le Temps.	外事局
Figaro.	同

○民事刑事判決

○姦通及殺人ニ關スル件（明治四十五年六月十日宣告 明治四十五年刑上第五一號）

判決要旨

一 上告趣意書ヲ差出スヘキ五日ノ期間及其期間經過後追加趣意書ヲ差出スコトヲ得ヘキ十四日ノ期間ヲ計算スルニ該リ共ニ其期間ノ初日ハ之ヲ算入セサルモノトス（辯護士追加趣意書）

一 附帶上告趣意書ヲ原裁判所ニ差出サスシテ直ニ上告裁判所ニ差出シタルトキハ其附帶上告ハ不適法ナリトス（檢事長附帶上告）

第一審京城地方法院　第二審京城覆審法院

被告人黃姓女外一人　辯護士李琮夏

右姦通及殺人被告事件ニ付明治四十五年四月二十九日京城覆審法院カ言渡シタル判決ニ對シテ被告兩名ヨリ上告ヲ申立タリ依テ當院ハ朝鮮總督府檢事西内德ノ意見ヲ聽キ判決スル左ノ如シ

主　文

被告沈洪澤同黃姓女ノ上告ハ共ニ之ヲ棄却ス

附帶上告ハ之ヲ棄却ス

理　由

被告沈洪澤上告趣意書ハ原判決事實揭載中姦通謀殺罪ニ相當スル事實ハ昨年陰九月七日被告カ李慶來家ヨリ自宅ニ歸ル際黃雲西家ヲ經過シ黃家ノ前ニ至リタルニ黃姓女カ隣家ニ往キ被告ヲ呼ンテ云フニ昨日夜中ニ夫婦爭鬪ヲ爲シ鉋ニテ本夫ヲ殺害シタリ至急埋葬セサレハ本人ノ生命ヲ保存シ難キニ付相煩ハストテ埋葬ノ事ヲ請求スルヲ以テ目前該女ノ事情ノミヲ思フテ埋葬シタルニ過キス共謀セシコトモナク又殺害事件ニ關係シタルコトモナキニ依リ原判決ハ失當ヲ免レスト云フニ在レトモ○本論旨ハ原判決カ被告ノ姦通竝謀殺行爲ヲ認メタルニ對シテ之ヲ非議シ事實承審官タル原審ノ職權ニ屬スル事實ノ認定ヲ非難スルニ過キサルヲ以テ上告適法ノ理由ナシ同被告辯護士李琮夏上告追加趣意書第一點ハ原判決ハ被告ノ所爲ヲ謀殺ト認メタルモ元來謀殺トハ豫メ其殺害ノ計謀ヲ定メ之ニ依リ其目的ヲ遂スル者ニシテ若シ豫定ノ計謀ナクシテ一時ノ手段ニ出テタルモノハ謀殺ニ非ス然ルニ被告兩名ハ共同シテ人ヲ殺害シタル事實アリトシ其兩名間如何ナル計謀ヲ豫定シタルカ毫末モ證據上現ハレタルモノナキニ拘ハラス遽ニ之ヲ謀殺ト認メラレタルハ根據ナキ事實認定ニシテ法律適用ニ違法ノ結果ヲ生シタルモノナリト云フニ在レトモ○原判決ニ依レハ判文揭記ノ證據ニ基キ被告黃姓女ハ黃云西ノ妻タル身ニシテ被告沈洪澤ハ其情ヲ知リ相通スルコト數十回ナリシカ黃云西ノ疑フ所トナリ其注意ノ下ニ於テハ淫慾ヲ肆ニシ難キヨリ同人ヲ殺害シ以テ痴情ヲ滿足センコトヲ共謀シ同人カ泥醉シテ歸リシヨリ機到レリトナシ相謀シテ深更其熟睡ヲ窺ヒ兩名相共ニ厨刀ヲ執リテ同人ヲ殺害シタル事實ヲ認定シアレハ右殺害行爲カ豫謀ニ出テタル謀殺罪ヲ構成スルコト洵ニ明ナルヲ以テ被告ノ所爲ヲ謀殺律ニ問擬シタルハ正當ニシテ本論旨ハ其理由ナシ

同第二點ハ刑事訴訟法第二百一條ニ被告人有罪ト爲リタル時ハ裁判所ノ職權ヲ以テ公訴ニ關スル訴訟費用ノ全部又ハ一分ヲ負擔スヘキ言渡ヲ爲スヘシトノ規定アルニ拘ラス原判決ハ被告ニ有罪判決ヲ爲シ居ルモ公訴費用ニ關シテ言渡ヲ爲ササルハ違法ノ判決ナリト云フニ在レトモ○公訴ニ關スル訴訟費用ノ生シタル場合ニアラサレハ之カ負擔ノ言渡ヲ爲スヘキモノニアノサルヲ以テ其言渡ナキノ一事ヲ以テ違法ノ判決ナリト速斷スルヲ得サルノミナラス縱シヤ訴訟費用ノ生シタルモノアリテ之カ負擔ヲ言渡スヘキ場合ナリト假定スルモ其言渡アルヨリハ其言渡ナキヲ被告ノ利益トスルニ付本論旨ハ結局被告ニ不利益ナル判決ヲ求ムルコトヲ趣旨トスルニ歸シ被告ノ爲ス上告ノ性質ニ反スルニ依リ上告適法ノ理由トナラス

同辯護士ヨリ明治四十五年五月二十二日差出シタル上告追加趣意書ニ付按スルニ朝鮮刑事令第三十四條第一項ニ依レハ追加趣意書ハ趣意書ヲ差出スヘキ期間ヲ經過シタル後十四日內ニ差出スヘキモノニシテ而シテ趣意書ハ同令第三十一條第一項ニ依レハ上告ノ申立ヲ爲シタル日ヨリ五日內ニ差出スヘキモノナリ依テ今一件記錄ヲ調査スルニ被告沈洪澤ノ上告申立ハ明治四十五年五月一日ナルヲ以テ其趣意書差出シノ期間タル五日ヲ初日ヲ算入セスシテ計算スルトキハ同月六日ヲ以テ其期間滿了シ該期間ノ經過後更ニ追加趣意書差出シノ期間タル十四日ヲ初日ヲ算入セスシテ計算スルトキハ同月二十一日ヲ以テ其ノ期間滿了スルニ付同月二十二

學校	設置方法	必設科目以外ノ教科目	兒童定數	明治四十五年度歲出豫算 經常費	臨時費	計
江東郡三登公立普通學校	私立普成學校變更	理、唱、體、玉、農	二〇〇	一、一二四・〇〇〇	一、〇五〇・〇〇〇	二、一七四・〇〇〇
甑山郡咸從公立普通學校	新設	理、唱、體、玉、農	二〇〇	一、二六五・〇〇〇	二、一〇〇・〇〇〇	三、三六五・〇〇〇
順安郡石岩里公立普通學校	新設	理、唱、體、玉、農	二〇〇	一、五四〇・〇〇〇	二、五九五・〇〇〇	四、一三五・〇〇〇
合計	五		一、二〇〇	七、六八八・五〇〇	七、五一〇・六七〇	一五、一九九・一七〇

平安北道

學校	設置方法	必設科目以外ノ教科目	兒童定數	明治四十五年度歲出豫算 經常費	臨時費	計
宣川郡三峰公立普通學校	私立朝陽義塾變更	理、唱、體、畫、手、裁、農、	二〇〇	二、三一八・〇〇〇	七〇〇・〇〇〇	三、〇一八・〇〇〇
定州郡清亭公立普通學校	新設	理、唱、體、畫、手、裁、農、商	二〇〇	二、四四七・〇〇〇	六三六・〇〇〇	三、〇八三・〇〇〇
龍川郡楊市公立普通學校	新設	理、唱、體、畫、手、農	二〇〇	二、一四五・〇〇〇	一、二〇〇・〇〇〇	三、三四五・〇〇〇
合計	三		六〇〇	六、九一〇・〇〇〇	二、五三六・〇〇〇	九、四四六・〇〇〇

咸鏡南道

學校	設置方法	必設科目以外ノ教科目	兒童定數	明治四十五年度歲出豫算 經常費	臨時費	計
利原公立普通學校	私立普明學校變更	理、唱、體	一二〇	二、五一二・〇〇〇	二五〇・〇〇〇	二、七六二・〇〇〇
三水公立普通學校	私立隆興學校變更	理、唱、體	一二〇	二、〇八二・三六〇	五三六・六四〇	二、六一九・〇〇〇
合計	二		二四〇	四、五九四・三六〇	七八六・六四〇	五、三八一・〇〇〇
總計	一〇二		一九、一九五	二〇五、三八七・〇七五	二七、一九六・八五五	二三二、五八三・九三〇

二　設置ノ方法

設置ノ方針ハ臨時恩賜金事業ノ一部トシテ前年既ニ計畫ノ定マレルアリ、各道ハ夫レ夫レ既定ノ方針ニ基キテ計畫ヲ遂行シ、全北ノ珍山、茂朱、興德、礪山ノ四校ノ少シク後レタル外ハ皆本年三月以前ニ設置ノ認可ヲ受ケ四月一日一齊ニ開校セリ、其ノ設置ノ方法ハ前年ト大差ナク多クハ既設學校ノ組織變更ニ屬ス、即チ私立普通學校ノ變更五十二一般私立學校ノ變更三十一ニシテ新規創始ニ係ルモノハ僅ニ十九ニ過キス而モ其ノ新規創始ニ屬スルモノノ中ニモ一面ニ於テ私立學校ヲ廢止シ更ニ公立普通學校ヲ設置シ表面上組織變更ノ手續ニ

依ヲサリシモノモアレハ全然新規ニ創設セラレルモノハ極メテ少數ナリ、斯クノ如ク地方ニ於テ多少ノ沿革アリ而モ私人ノ經營ニ屬スル學校ヲ繼承シテ之カ組織ヲ變更シタルモノナレトモ設立者ハ凡テ變更ヲ快諾シ授受頗ル圓滿ニ行ハレ、校舍具具ハ勿論一切ノ財産ヲ新設學校ニ寄附シ其ノ間些ノ支障ナク進行シタリシノミナラス、進ムテ諸事斡旋ノ勞ヲ執ル者少カラサリシハ畢竟時勢ノ進歩ニ伴ヒ新教育ノ價値ノ一般ニ認メラレタルニ由ルト雖モ抑亦直接其ノ局ニ當リシ府郡官憲折衝ノ苦心ヲ多トセサルヲ得ス

三　教員ノ配置

斯クテ是等新設普通學校ニ配置スヘキ教員特ニ之カ校長タルヘキ内地人教員ノ任用ニ關シテハ關係道長官ノ推薦ニ依リ、内地各府縣ニ於テ小學校本科正教員ノ資格ヲ有スル現任小學校長ニシテ多年斯道ニ從事シ其ノ成績顯著ナル者、竝ニ朝鮮ニ於ケル公立小學校長又ハ訓導私立普通學校長ニシテ從來ノ成績優良ニ兼テ朝鮮ノ事情ニ通スル者ニ就キ選擇採用セラレタリ、而シテ是等新任ノ校長ニ對シテハ普通學校ノ施設經營ニ關シ必要ナル知識ヲ授クル爲メ赴任前之ヲ京城ニ招集シテ本年四月十一日ヨリ公立普通學校長講習會ヲ開設シ、朝鮮教育ノ方針及實施上ノ注意ヨリ朝鮮教育法規、教科書取扱方、朝鮮歴史、朝鮮地理、朝鮮語、國語教授上ノ注意及實際等當面焦眉ノ事項ヲ學習セシムルト共ニ兼テ各部知名ノ官憲ニ科外講演ヲ依囑シ廣ク教育上日常生活上緊要ノ事項ヲ聽講セシメタルコト前年ノ例ノ如シ、（昨年八月公立普通學校教監講習會ニ京畿道私立普通學校長トシテ出席受講セシ二十名ヲ除ク）超ヘテ同月三十日總督ニハ講習員一同ヲ官邸ニ引見シ朝鮮公立普通學校長トシテ服膺スヘキ事項ニ就キ懇篤周到ナル訓示ヲ與ヘラレ乃チ同日ヲ以テ講習ヲ終了シ各自直ニ任地ニ向ヘリ、是ヨリ先京城高等普通學校附設臨時教員養成所各科平壤高等普通學校教員速成科、咸興臨時教員講習會等ノ卒業生ニシテ新設公立普通學校訓導又ハ副訓導ニ採用セラルヘキ者ハ四月一日ヲ以テ任命セラレ京城ニ於テハ即日平壤ヘハ特ニ學務局員ヲ急行セシメテ夫レ夫レ　辭令ヲ交附シ直ニ赴任セシメラレタリ、サレハ是等ノ新任鮮人教員ハ當該學校長ニ先チテ著任シ兒童ヲ募集シテ授業ヲ開始シ校長ノ就任ヲ待テリ、爾來茲ニ七閲月日猶淺シト雖モ教員各自努力ノ效空シカラス、本府視學官視學ノ復命竝ニ諸種ノ報告ニ徵スルニ概シテ成績佳良ナルカ如シ

四　新入學兒童

新設公立普通學校開校ノ當時新ニ入學セシ兒童約七千ニシテ其ノ後引續キ入學セシ者少カラネハ現今ニ至リテハ著シク増

加セシモノト認メラル、近來新教育ノ必要漸ヲ以テ一般ニ認メラルルト同時ニ各地ニ於ケル入學志望者頗ル多キヲ加ヘタレトモ校舍ノ設備完カラサル爲メ是等志望者ヲ收容シ悉スコト能ハサリシ處少カラス京畿道竹山ニテハ目下新築中ノ校舍落成後入學ヲ約セシ者四十名ニ達セリト云フカ如キ其ノ一斑ヲ知ルニ足ルヘシ、地方中流以上ノ子弟ノ入學ハ益多ク私立學校書堂ヨリノ轉校ハ前年ニ比較シテ著シク多キヲ加ヘタルカ如シ、書堂ノ教師ニシテ其ノ子ヲ入學セシムル者アリ、往年兵士タリシ者ノ入學スルアリ、江原道麟蹄郡ニテハ一家三名ノ就學者ヲ出セル者數戶アリ、斯ノ如ク別段入學ノ勸誘ヲ試ムルニ及ハスシヲ早ク既ニ豫定若クハ其レ以上ニ達セシモノ頗ル多ク殊ニ廣ク臨時恩賜金ノ恩典ニ浴セシメムトノ趣旨ニ出テタル當局官憲ノ訓達ハ能ク一般ニ貫徹シ遠隔ノ地ヨリ來リテ親戚故舊又ハ教師ノ住宅ニ寄宿シ成ハ客主ニ下宿シテ通學セル者アリ、各地之カ爲メニ寄宿舍ノ設備ヲ計畫シツツアルモノ亦少カラサルカ如シ、要スルニ今ヤ一般ニ能ク新教育ノ趣旨ト價値トヲ會得シ子弟ヲ就學セシムヘキ學校ノ選擇ヲ誤ラサルニ至レルヲ認ム

五　新設普通學校ニ對スル地方人民ノ感想

公立普通學校ノ施設ニ對シ授業時間ノ短キコト、漢文科ノ少キコト、作業ヲ課スルコト、(農業實習ノ如キ)等ニ就キテハ今猶多少平ナラサル者アリト雖モ這ハ二六時中漢文ノ素讀ヲ是レ事トスル書堂ノ教育法ヲ唯一ノ良法ト考フ者ニアリテハ又無理ナラサル事ニシテ姑ク容認セサルヲ得ス、遠カラス疑團ノ氷解スルノ期アルヘキハ論ナク而モ亦斯カル謬想ヲ懷抱スル者ハ比較的少クシテ一般ノ人民ハ大ニ公立普通學校ノ新設ヲ歡迎シ安ンシテ子弟ヲ託スルノ現況ナリ、開校式ニ於ケル參列者ノ所在官憲ヲ始メ地方內鮮人有力者ヲ網羅セシハ必シモ前年ニ異ナラサレトモ一面兒童ノ父兄母姉其ノ他一般有志者ノ列席前年ニ比シ著シク多カリシハ軈テ一般人民ノ普通學校ニ接近シ來レルヲ察スルニ足ルヘク、金品寄附ノ申請ハ前年ニ數倍シ通學道路ノ改修運動場ノ地均等ハ勞力寄附ニ由リテ行ハレ一度學校ヲ參觀シテ直ニ器械器具ノ寄附ヲ申出ツル者少カラサルハ如何ニ彼等カ學校ニ對シ好意ヲ有スルカヲトスヘシ、若シ夫レ大小係爭ノ解決果テハ刑罰輕減ノ執成ヲ學校ニ訴フ者アリト云フニ至リテハ方角違ノ甚シキ寧ロ一笑ニ附シ去ルヘキニ似タリト雖モ而モ亦反面ニ於テ信賴ノ厚キヲ立證スルモノト認メサルヲ得ス、要スルニ一般ニ深ク公立普通學校ノ新設ヲ歡ヒ安ンシテ子弟ヲ託スルニ至リシハ開校以來各學校ノ順潮ナル發達ニ徵シ疑ナキ所ナリ

○長湍地方大豆青田貸ノ開始

京畿道長湍地方ノ大豆ハ毎年產額二萬餘石ニ達シ遠ク大阪市場ニ其ノ名ヲ博シ移出額又尠カラス然ルニ生產者ハ多ク高利ノ資金ヲ運用スルヲ以テ其ノ得ル所ノ利益ハ之ヲ失フ者甚タ多キヲ以テ長湍地方金融組合ハ高利資金融通ノ排除ヲ謀リ開城農工銀行支店ヨリ地方小額資金取次ノ方法ニ頼リテ未收穫大豆擔保貸付ノ實施ヲ開始セリ

資金ノ融通及取引狀況　從來生產者カ資金ノ必要ニ迫ルヤ仲介者ヲシテ大豆商人ニ依頼シ之ヲ調達ス即チ大豆商人ハ未收穫大豆ヲ擔保トシテ月二分以上五分內外ノ利息ヲ以テ之ニ應シ仲介者又手數料トシテ大豆受渡ノ價格ニ由リ生產者ヲシテ一石ニ付キ十五錢乃至二十錢ヲ支拂ハシムルヲ常トセリ而シテ生產者收穫ヲ終ルヤ引取方ヲ仲介者ニ依頼シ仲介者ハ大豆商人ニ其ノ旨ヲ告ケ茲ニ始メテ出資者タル商人ハ生產者ニ命シテ高浪浦、席浦、長湍停車場、亭午浦、水川等便宜ノ市場ニ搬出セシムルナリ其ノ費用ハ固ヨリ契約ニ由リ異ナルモ一里以上ノ距離ニ在リテハ當事者ニ於テ同額ヲ負擔シ搬出大豆ノ受渡ハ前記市場ノ時價ニ由リ計算ヲ爲スト雖其ノ價格ハ殆ト大豆商人ノ協定價格ニ由ルモノニシテ生產者ハ常ニ不當ノ損失ヲ免レサルナリ若シ搬出大豆ニシテ融通資金ノ元利金ニ對シ不足ヲ生スルコトアルトキハ之ニ相當スル大豆ヲ更ニ提供セシメ決濟ヲ爲スモノナリ

現時ノ狀況既ニ斯ノ如シ高利資金ノ融通ヲ排除シテ低利資金供給ノ途ヲ開キ農具ノ普及、耕作方法、種子、肥料ノ改良ヲ企テ優良大豆ノ增收ヲ奬勵シ地方產業ノ發達ヲ謀ルハ實ニ目下ノ急務タリ

今從來ノ耕作方法ニヨリ一日耕(約三段步)ノ生產額平均三石(極メテ內輪ニ見積リ)ト假定シ之カ資金トシテ月三分ノ割合ヲ以テ融通スルトセンカ元金十八圓ニ對スル六箇月間ノ利子ハ三圓二十四錢ヲ要シ而シテ低利資金ニ在リテハ月一分內外ノ割合ナルヲ以テ僅ニ一圓八錢餘ニ止マリ其ノ間已ニ二圓十六錢ノ利益ヲ生シ加之金融組合ハ倉庫ヲ建設シ僅ニ百分一ノ手數料ヲ以テ委託販賣ニ應スルニ由リ生產者カ仲介者ニ支拂ヒタル十五錢乃至二十錢ノ手數料モ亦大ニ減シテ七八錢ヲ利シ且保管ノ危險、品質變化ノ憂ナキ等低利資金ノ生產者ニ及

ホスノ利益ハ大豆商人等カ資金供給ノ酷ナル比ニ非サルナリ

資金貸付ノ方法　資金ノ貸付ハ勢地方ノ慣習ニ因リ未收穫大豆ヲ擔保トシテナササルヘカラス此ノ危險ノ實行ニ就テハ貸付方法、條件等最モ嚴密ノ手段ヲ要スルヲ以テ生産者ヲシテ一ノ契ヲ作ラシメ該契ヲ本位トシテ既往ノ生産額ト播種後大豆發育ノ狀況ニ鑑ミ其ノ年ノ生産額ヲ豫定シ其ノ五割以内ヲ限度トシテ貸付スルモノトス而シテ生産大豆ノ受渡ニ就テハ契員各自ノ收穫ニ注意シ監督手段ヲ講シ契長ヲシテ其ノ責ニ任シ收穫終了ノ後直ニ倉庫ニ搬入セシメ品質量目ノ檢査ヲ行ヒ受入ノ後金融組合ニ於テ隨時販賣スルモノナリ

契ノ設立　貸付資金ノ回收上危險ヲ減スルノ最良方法ハ現下ノ狀況契ノ設立ニ在リトシ因テ金融組合ハ江西、津東、津縣内及長西ノ各面長ノ會合ヲ催シ計畫ノ詳細ヲ説述シ契ノ設立ヲ勸奬シテ

(イ)契員住所氏名　(ロ)年齡　(ハ)家族數

(ニ)大豆耕作面積　(ホ)大豆收穫豫想高　(ヘ)移出地

(ト)小作又ハ自作ノ要項ヲ記載スヘキ應募用紙ヲ配付シ契員ノ募集ヲ勸告セリ後復各面里洞長ノ會合ヲ開キ應募者ニ就キ其ノ性質、信用ノ程度、隣保ノ交情、借財ノ有無、税金滯納ノ有無及今日マテ生産大豆ニ對スル負債ノ有無等ヲ調査シテ之カ淘汰ヲナシ各面洞ニ信用アル者六名ヲ役員トシテ選抜シ更ニ計畫ノ趣旨並連帶ノ責任ニ關シ懇説辯明其ノ趣旨ヲ徹

底セシメ且大豆耕作日耕數ヲ結數連名簿及實地ニ就キテ調定セリ而シテ是等準備事務ノ完了ヲ告クルヤ創立總會ヲ開キ契員ノ心得、定款ノ説明等遺憾ナク懇説シ役員ノ選擧ヲナシテ全ク契ノ設立ヲ見タリ其ノ定款及各耕地約三箇年ノ收穫高ヲ參酌決定セル大豆收穫高ハ次ノ如シ

大豆收穫豫想高表

契名	契員數	耕作日耕數	收穫豫想高
津縣内面			
芳木里上洞	三一人	一六、五日耕	四一、五石
同　下洞	三四	二二、〇	四五、〇
西上里	二五	一二、四	三五、八
西下里	三八	一七、六	五五、〇
東下里	一一	五、六	二五、〇
孔德里	二三	一〇、〇	三五、五
白蓮里	五二	三八、二	九〇、五
元堂里	二五	一三、四	三一、五
點希陵里	三四	三五、三	八二、〇
亭午浦里	四六	五一、五	一二二、〇
津東面			
滿谷里	四六	五〇、五	一四六、〇
下浦里	三四	三九、五	一一三、〇
東坡里	三二	三三、二	一〇二、〇
長西面			
唷里	四八	三一、五	九三、〇
件程里	二四	一七、五	五一、〇
龍山里	二四	二二、〇	六六、〇
貫松里	二四	一二、〇	三六、〇
江西面			
計	五五〇	四二七、七	一一七〇、八

勸農契定款

第一章　總　則

第一條　本契ハ農事ノ改良ヲ計リ農家ノ副業ヲ奬勵シ及勤儉貯蓄ノ勵行ヲ以テ目的トス

第二條　本契ハ何郡何面何里洞勸農契ト稱ス

第三條　本契ハ何郡何面何里洞ニ居住シ五合耕以上ノ大豆耕作者ヲ以テ組織ス

第四條　本契事務所ハ契長ノ住家内ニ置ク

第二章　業　務

第五條　本契ハ第一條ノ目的ヲ達スル爲左ノ業務ヲ行フ

一、大豆ノ耕作改良、種子ノ選擇、生產物ノ精製等ノ實行

二、蓮及叺製造其ノ他農家ノ副業ノ奬勵

三、其ノ他一般農事ノ改良

四、貯蓄ノ勵行

第六條　本契ハ左ノ事項ヲ遂行ス

一、確實ニ生產サルヘキ大豆ヲ擔保トシテ契員ニ對シ農業資金ノ融通ヲ受クルコト

二、農具肥料其ノ他大豆生產上契員ニ於テ必要ナル物品ノ共同購入ヲナスコト

三、契員ノ生產シタル大豆ノ販賣ヲナスコト

第七條　本契員ノ債務ハ契員中誰人ノ債務タルヲ問ハス契員全體ノ連帶責任トス

第八條　契員ハ不時ノ變災ニ備ヘ兼テ農事資金ノ蓄積ヲ計ルタメ販賣大豆一石ニ付十錢以上ヲ貯金スルモノトス

前項貯金ハ農工銀行ニ預入シ該通帳ハ契長之ヲ保管スルモノトス

第三章　役　員

第九條　本契ニ左ノ役員ヲ置ク

一、契　長　一　名

二、評議員　五名以上十名以內

第十條　契長及評議員ハ總會ニ於テ契員中ヨリ之ヲ選擧ス但名譽職トス

第十一條　契長ハ契ヲ代表シテ常務ヲ執行スル以外總會ノ議長トナル契長事故アルトキハ評議員中ノ年長者其ノ事務ヲ代理ス

第十二條　評議員ハ契長ノ指揮ヲ受ケ業務ノ執行ヲ補佐シ又常務以外ノ事項ヲ評議ス

第十三條　契長及評議員ノ任期ハ滿一箇年トス但シ再選ヲ妨ケス

第四章　總　會

第十四條　總會ハ役員ノ選擧定款ノ變更其ノ他重大ナル事項ヲ議決ス

第十五條　總會ハ之ヲ定時ト臨時トニ別チ定時總會ハ每年一月之ヲ開キ臨時總會ハ契長ノ必要ト認ムルトキ之ヲ開クモノトス

第十六條　總會ノ決議ハ出席者ノ過半數ヲ以テ決ス可否同數ナルトキハ契長ノ決定ニ依ル

第五章　會　計

第十七條　本契ハ每年一月ヨリ十二月マテヲ一事業年度トス

第十八條　契員ハ契業務執行上必要ナル經費ニ充ツルタメ負擔ノ義務ヲ負ノモノトス

經費負擔額ハ必要ニ應シ評議員會ニ於テ決定ス

第十九條　契長ハ每事業年度ノ業務成績及ヒ收支決算ヲ定時總會ニ報告スルモノトス

第六章　加入及脫退

第二十條　本契ニ加入セントスル者ハ契長ノ承諾ヲ受クルモノトス

第二十一條　契員ハ左ノ事由ニ依リ脫退ス

一、第三條ニ定メタル資格ノ消滅

二、死亡

三、除名（犯罪其ノ他不法行爲アリタルトキ之ヲ行フ）

四、脫退ノ許可

第七章　監督

第二十二條　本契ハ何地方金融組合理事ノ指揮監督ヲ受ク

第二十三條　第五條第六條第八條第十五條第二十條第二十一條ノ事項ハ事前ニ於テ何地方金融組合ニ協議シ其ノ指揮ニ從フモノトス

第二十四條　第十六條ノ事ハ何地方金融組合ノ同意ヲ得テ決行スルモノトス

第二十五條　契長ハ第二十二條ノ監督者ニ對シ業務ノ狀況ニ付又ハ監督者ノ命スル必要ナル事項ニ付報告スル義務アルモノトス

右定款各條項確守スヘキコトヲ爰ニ誓約シ後日ノ證トシテ契員連署捺章ス

年　月　日

郡　面　里　洞

契長

評議員

同

同

同

同

契員

○優良面長

全羅南道光陽郡多鴨面長李洙鳳ハ人民ノ遊惰安逸ナル惡習ヲ打破シ勤儉貯蓄ノ美風ヲ涵養セントシ本年陰曆正月ヨリ驟馬ニ跨リ管内ヲ巡廻シ盛ニ之ヲ鼓吹シ地勢ニ應シ時期ノ適合シタル薪草ノ採取ニ從事セシメ其ノ賣得金ヲ以テ本年度戶稅ニ充テ(百〇四圓貳拾五錢)第一期戶稅ハ納期ニ先チテ完納シ更ニ植樹及堤堰ノ築造ノ計畫ヲ立テ赤松植栽數實ニ三萬三千本ニ及ヒ堤堰ノ築造延長(廣五尺高九尺ノ石垣)五十九間二百十九斗落ノ耕地ニ對シ防水ノ設備ヲ爲サシメタリ遊說ノ結果面總戶數八百八戶ニ對シ百五十七名ノ貯蓄者ヲ出スニ至レリ

調査資料

○輸移出入品包裝ニ關スル調査

九　寒天

包裝ノ説明	摘要
包裝ノ形狀	立方形
包裝ノ強弱	弱
外裝ノ種類	菰包
外裝ノ方法	藁菰ニテ五百本宛包ミ繩ヲ掛ケタルモノ三箇又ハ四箇ヲ結束シ更ニ披籠ヲ以テ側面ヲ梱包ス
外裝ノ材料	藁菰及葭簾
內裝ノ方法	百本宛四本五十本宛二束トシ各束ヲ麻絲ニテ括リ大束ノ中間ニ小束ヲ狹ミ一梱トス
總容積	36″×13″×31＝9[illegible]立方呎(三梱結束ノ場合)
包裝ト運搬及通關上ノ便否	一梱ノ數量(五百本)一定セルヲ以テ通關上便トス
總重量	三十五斤(三梱結束)
重量ト運搬上ノ便否	比較的容積大ナリト雖輕量ナルヲ以テ運搬上不便ナシ
風袋重量	五斤(三梱結束)
正味重量	三十斤(三梱結束)
包裝內容數量	一梱五百本
拔荷ノ狀況及其豫防方法	包裝不完全ニシテ拔荷ノ憂アリ
船車運賃ノ標準呼稱(單位)	汽船ハ才扱汽車ハ斤扱
貨物ノ主ナル製產地又ハ製造所	大阪、兵庫、京都、長野
包裝ニ要スル費用	二十錢內外

十　乳膏(コンデンスド、ミルク)

包裝ノ説明	摘要
包裝ノ形狀	長方形
包裝ノ強弱	強
外裝ノ種類	木箱
外裝ノ方法	箱ハ厚サ十六分ノ七吋板ヲ以テ作リ釘ハ一吋四分三ノ線釘ヲ用ヒ接合ハ實矧ナリ而シテ箱ニハ鐵箍ヲ施セリ
外裝ノ材料	松類似ノ木材及鐵箍
內裝ノ方法	每鑵包裝用紙(印刷シタルモノ)ヲ以テ包ム
內裝ノ材料	葉鐵鑵
總容積	7[illegible]″×17″×10″卽チ一立方呎
包裝ト運搬及通關上ノ便否	包裝堅固ニシテ數量一定セルヲ以テ運搬及通關上便トス
總重量	四十七斤
重量ト運搬上ノ便否	輕量ナルヲ以テ運搬上便トス
風袋重量	十一斤
正味重量	三十六斤
包裝內容數量	一箱一封度入鑵四打詰
包裝內容一個ノ尺度	丸鑵直徑三吋長三吋
拔荷ノ狀況及其豫防方法	兩側ノ帶鐵ハ箱ヲ堅牢ニシ倚ホ拔荷ヲ防遏スルニ適ス
包裝ノ標記(記號又ハ番號荷札其他標記ニ關スルコト)	製造地、會社名、記號、番號ヲ附シアリ
船車運賃ノ標準呼稱(單位)	汽船ハ才扱汽車ハ斤扱
貨物ノ主ナル製產地又ハ製造所	北米合衆國
包裝ニ要スル費用	四十錢內外

朝鮮電氣株式會社ヨリ取締役選任ノ許可ヲ申請セルニ依リ九月十日附ニテ之ヲ許可セリ

元山水力電氣株式會社ヨリ役員變更ノ許可ヲ申請セルニ依リ九月二十七日附ニテ之ヲ許可セリ

五　落成期限變更認可

韓國瓦斯電氣株式會社ヨリ電氣工作物落成期限變更ノ認可ヲ申請セルニ依リ九月二十五日附ニテ之ヲ認可セリ

朝鮮電氣株式會社ヨリ電氣工作物ノ一部落成延期ノ認可ヲ申請セルニ依リ九月二十五日附ニテ之ヲ認可セリ

六　假使用認可證下付

平壤電氣株式會社ヨリ八月三十一日電氣工作物落成シタル旨屆出テタルニ付檢査ノ上九月二十五日假使用認可證ヲ下付セリ

七　電氣工事著手屆出

大邱電氣株式會社ヨリ七月二[illegible]氣工事ニ著手[illegible]旨屆出テタリ

日韓瓦斯電氣株式會社ヨリ九月[illegible]山支店工事設計明細書中變更[illegible]又鎭海支店ノ分モ同日ヨリ電[illegible]タリ

教育

○新設公立普通學校ノ狀況

一　新設學校ノ數

本年度新ニ設立セラレシ公立普通學校ハ左表ノ如ク全南咸北ヲ除クノ外ノ十一道ニ亙リ通シテ一百二校ニシテ明治四十三年度以前ノ設立ニ係ル一百校昨年設立ノ一百三十四校ニ加ヘテ合計三百三十六校ヲ數フルニ至レリサレハ學校數ノ上ヨリイヘハ各道ノ全府郡數ニ對シテ七校ノ超過ヲ見ル尤モ京城、釜山、其他二三ノ府郡ニ二校以上ヲ設置セルモ[illegible]府郡ノ全體ニ及ハストイヘトモ其ノ未設ニ屬スルモノハ極メ[illegible]ク今ヤ忠南ノ鎭岑外十二郡慶南ノ靈山外二郡ヲ殘スノミ而シテ忠南ニ於テ目下新設手續中ニ屬スルモノ五校アルヲ以テ結局本年度内ニ總數三百四十一校ヲ算スルニ至ルヘシ

明治四十五年度新設公立普通學校表

京畿道

學校	設置方法	必設科目以外ノ教科目	兒童定數	經常費	臨時費	[illegible]
通津公立普通學校	私立通津普通學校變更	理、唱、體、畫、農	二四〇	一、八一七・一五〇	六九六・〇〇〇	[illegible]
果川公立普通學校	私立果川普通學校變更	唱、體、畫、手、農、理	二四〇	一、六三三・一五〇	三二六・〇八〇	[illegible]
安山公立普通學校	私立安山普通學校變更	理、唱、體、畫、農	二四〇	一、七七八・三一〇	—	一、七七八・[illegible]
龍仁公立普通學校	私立龍仁普通學校變更	理、唱、體、畫、農	三〇〇	二、五六五・〇九〇	—	二、五六五・〇九〇
陽川公立普通學校	私立陽川普通學校變更	理、唱、體、畫、農	二四〇	一、九九七・〇二〇	—	一、九九七・〇二〇
陽城公立普通學校	私立陽城普通學校變更	理、唱、體、畫、農	二四〇	一、六五六・七〇〇	七九五・〇〇〇	二、四五一・七〇〇
竹山公立普通學校	私立竹山普通學校變更	理、唱、體、畫、農	二四〇	一、九二〇・一一〇	八〇二・五〇〇	二、七二二・六一〇
利川公立普通學校	私立利川普通學校變更	理、唱、體、畫、農	二四〇	二、〇二七・七〇〇	—	二、〇二七・七〇〇
積城公立普通學校	私立積城普通學校變更	理、唱、體、畫、農	二四〇	一、八六三・三九六	—	一、八六三・三九六
麻田公立普通學校	私立麻田普通學校變更	理、唱、體、畫、手、農	二四〇	二、〇三五・一二〇	—	二、〇三五・一二〇
永平公立普通學校	私立永平普通學校變更	理、唱、體、畫、農	二四〇	一、六九五・〇〇〇	六〇・〇〇〇	一、七五五・〇〇〇
加平公立普通學校	私立加平普通學校變更	理、唱、體、畫、農	二四〇	二、一〇五・五六〇	一、〇四七・六〇〇	三、一五三・一六〇
朔寧公立普通學校	私立朔寧普通學校變更	理、唱、體、畫、農	二四〇	一、八四五・四五〇	五四五・〇〇〇	二、三九〇・四五〇
喬桐公立普通學校	私立喬桐普通學校變更	理、唱、體、畫、農	二四〇	一、七〇九・五八〇	二〇〇・〇〇〇	一、九〇九・五八〇
高陽公立普通學校	私立高陽普通學校變更	理、唱、體、畫、手、農	二四〇	一、七一一・八四〇	二四一・一七〇	一、九五三・〇一〇
富平公立普通學校	私立富平普通學校變更	理、唱、體、畫、農	二四〇	一、六四六・九八〇	—	一、六四六・九八〇
豐德公立普通學校	私立豐德普通學校變更	理、唱、體、畫、農	二四〇	二、三三八・三四〇	—	二、三三八・三四〇
交河公立普通學校	私立交河普通學校變更	理、唱、體、畫、農	二四〇	一、八八八・四九〇	—	一、八八八・四九〇
開城第二公立普通學校	私立三仁、崧明ノ兩校ヲ變更ス	理、唱、體、畫、農	二四〇	三、五五九・二七五	—	三、五五九・二七五
京城女子公立普通學校	私立女子普學院變更	理、唱、體、畫、手、農	二四〇	二、九三七・四六〇	八〇・〇〇〇	三、〇一七・四六〇
合計	二〇		四、八六〇	四〇、七二一・七二一	四、七九三・三五〇	四五、五一五・〇七一

朝鮮電氣株式會社ヨリ取締役選任ノ許可ヲ申請セルニ依リ九月十日附ニテ之ヲ許可セリ

元山水力電氣株式會社ヨリ役員變更ノ許可ヲ申請セルニ依リ九月二十七日附ニテ之ヲ許可セリ

五　落成期限變更認可

韓國瓦斯電氣株式會社ヨリ電氣工作物落成期限變更ノ認可ヲ申請セルニ依リ九月二十五日附ニテ之ヲ認可セリ

朝鮮電氣株式會社ヨリ電氣工作物ノ一部落成延期ノ認可ヲ申請セルニ依リ九月二十五日附ニテ之ヲ認可セリ

六　假使用認可證下付

平壤電氣株式會社ヨリ八月三十一日電氣工作物落成シタル旨屆出テタルニ付檢査ノ上九月二十五日假使用認可證ヲ下付セリ

七　電氣工事著手屆出

大邱電氣株式會社ヨリ七月二十九日電氣工事ニ著手シタル旨屆出テタリ

日韓瓦斯電氣株式會社ヨリ九月十二日附認可ヲ受ケタル馬山支店工事設計明細書中變更ノ電氣工事ハ本月十九日ヨリ又鎭海支店ノ分モ同日ヨリ電氣工事ニ著手シタル旨屆出テタリ

教育

○新設公立普通學校ノ狀況

一　新設學校ノ數

本年度新ニ設立セラレシ公立普通學校ハ左表ノ如ク全南咸北ヲ除クノ外ノ十一道ニ亙リ通シテ一百二校ニシテ明治四十三年度以前ノ設立ニ係ル一百校昨年設立ノ一百三十四校ニ加ヘテ合計三百三十六校ヲ數フルニ至レリサレハ學校數ノ上ヨリイヘハ各道ノ全府郡數ニ對シテ七校ノ超過ヲ見ル尤モ京城、釜山、其他二三ノ府郡ニ二校以上ヲ設置セルモノアリテ未タ府郡ノ全體ニ及ハスト雖モ其ノ未設ニ屬スルモノハ極メテ少ク今ヤ忠南ノ鎭岑外十二郡慶南ノ靈山外二郡ヲ殘スノミ而シテ忠南ニ於テ目下新設手續中ニ屬スルモノ五校アルヲ以テ結局本年度内ニ總數三百四十一校ヲ算スルニ至ルヘシ

明治四十五年度新設公立普通學校表

京畿道

學校	設置方法	必設科目以外ノ教科目	兒童定數	明治四十五年度歲出豫算 經常費	臨時費	計
通津公立普通學校	私立通津普通學校變更	理、唱、體、圖、農	二四〇	一、八一七・一五〇	六九六・〇〇〇	二、五一三・一五〇
果川公立普通學校	私立果川普通學校變更	唱、體、圖、手、農、理	二四〇	一、六三三・一五〇	三二六・〇八〇	一、九五九・二三〇
安山公立普通學校	私立安山普通學校變更	理、唱、體、圖、農	二四〇	一、七七八・三一〇	—	一、七七八・三一〇
龍仁公立普通學校	私立龍仁普通學校變更	理、唱、體、圖、農	二〇〇	二、五六五・〇九〇	—	二、五六五・〇九〇
陽川公立普通學校	私立陽川普通學校變更	理、唱、體、圖、農	二四〇	一、九九七・〇二〇	—	一、九九七・〇二〇
陽城公立普通學校	私立陽城普通學校變更	理、唱、體、圖、農	二四〇	一、六五六・七〇〇	七九五・〇〇〇	二、四五一・七〇〇
竹山公立普通學校	私立竹山普通學校變更	理、唱、體、圖、農	二四〇	一、九二〇・一一〇	八〇二・五〇〇	二、七二二・六一〇
利川公立普通學校	私立利川普通學校變更	理、唱、體、圖、農	二四〇	二、〇二七・七〇〇	—	二、〇二七・七〇〇
積城公立普通學校	私立積城普通學校變更	理、唱、體、圖、農	二四〇	一、八六三・三九六	—	一、八六三・三九六
麻田公立普通學校	私立麻田普通學校變更	理、唱、體、圖、手、農	二四〇	二、〇三五・一二〇	—	二、〇三五・一二〇
永平公立普通學校	私立永平普通學校變更	理、唱、體、圖、農	二四〇	一、六九五・〇〇〇	六〇・〇〇〇	一、七五五・〇〇〇
加平公立普通學校	私立加平普通學校變更	理、唱、體、圖、農	二四〇	二、一〇五・五六〇	一、〇四七・六〇〇	三、一五三・一六〇
朔寧公立普通學校	私立朔寧普通學校變更	理、唱、體、圖、農	二四〇	一、八四五・四五〇	五四五・〇〇〇	二、三九〇・四五〇
[illegible]桐公立普通學校	私立[illegible]桐普通學校變更	理、唱、體、圖、農	二四〇	一、七〇九・五八〇	二〇〇・〇〇〇	一、九〇九・五八〇
高陽公立普通學校	私立高陽普通學校變更	理、唱、體、圖、手、農	二四〇	一、七一一・八四〇	二四一・一七〇	一、九五三・〇一〇
富平公立普通學校	私立富平普通學校變更	理、唱、體、圖、農	二四〇	一、六四六・九八〇	—	一、六四六・九八〇
豐德公立普通學校	私立豐德普通學校變更	理、唱、體、圖、農	二四〇	二、三二八・三四〇	—	二、三二八・三四〇
交河公立普通學校	私立交河普通學校變更	理、唱、體、圖、農	二四〇	一、八八八・四九〇	—	一、八八八・四九〇
開城第二公立普通學校	私立三仁、崧明ノ兩校ヲ變更ス	理、唱、體、圖、農	二四〇	三、五五九・二七五	—	三、五五九・二七五
京城女子公立普通學校	私立女子普學院變更	理、唱、體、圖、手、農	二四〇	二、九三七・四六〇	八〇・〇〇〇	三、〇一七・四六〇
合計	二〇		四、八六〇	四〇、七二一・七二一	四、七九三・三五〇	四五、五一五・〇七一

忠清北道

學校	設置方法	必設科目以外ノ教科目	兒童定數	明治四十五年度歲出豫算 經常費	臨時費	計
清風公立普通學校	私立清風普通學校變更	理、唱、體、畫、農	二四〇	一、六一六・五六五	—	一、六一六・五六五
文義公立普通學校	私立文義普通學校變更	理、唱、體、畫、農	二四〇	一、五四一・〇〇〇	—	一、五四一・〇〇〇
青山公立普通學校	私立青山普通學校變更	理、唱、體、畫、農	二四〇	一、五三五・五〇〇	—	一、五三五・五〇〇
丹陽公立普通學校	私立丹陽普通學校變更	理、唱、體、畫、農	二四〇	一、五八二・八一二	—	一、五八二・八一二
永春公立普通學校	私立永春普通學校變更	理、唱、體、畫、農	二四〇	一、七三〇・〇一〇	—	一、七三〇・〇一〇
懷仁公立普通學校	私立懷仁普通學校變更	理、唱、體、畫、農	二四〇	一、六六五・七五五	—	一、六六五・七五五
延豐公立普通學校	私立延豐普通學校變更	理、唱、體、畫、農	二四〇	一、六一八・二五〇	—	一、六一八・二五〇
合計	七		一、六八〇	一一、二八九・八九二	—	一一、二八九・八九二

忠清南道

學校	設置方法	必設科目以外ノ教科目	兒童定數	明治四十五年度歲出豫算 經常費	臨時費	計
舒川公立普通學校	新設	理、唱、體、畫	二四〇	一、七七六・七二三	—	一、七七六・七二三
鴻山公立普通學校	新設	理、唱、體、畫	二四〇	二、〇二七・五七六	—	二、〇二七・五七六
連山公立普通學校	新設	理、唱、體、畫	二四〇	二、一〇三・〇〇〇	—	二、一〇三・〇〇〇
燕岐公立普通學校	新設	理、唱、體、畫	二四〇	二、二六〇・八四〇	一〇〇・〇〇〇	二、三六〇・八四〇
禮山公立普通學校	新設	理、唱、體、畫	二四〇	一、八四五・〇〇〇	—	一、八四五・〇〇〇
海美公立普通學校	新設	理、唱、體、畫	二四〇	二、一七〇・六〇〇	—	二、一七〇・六〇〇
合計	六		一、四〇〇	一二、一八三・七三九	一〇〇・〇〇〇	一二、二八三・七三九

全羅北道

學校	設置方法	必設科目以外ノ教科目	兒童定數	明治四十五年度歲出豫算 經常費	臨時費	計
金溝公立普通學校	私立金溝普通學校變更	理、唱、體、畫	二〇〇	二、四六一・〇〇〇	—	二、四六一・〇〇〇
龍安公立普通學校	私立龍安普通學校變更	理、唱、體、畫、農	八〇	一、九〇三・五〇〇	一〇〇・〇〇〇	二、〇〇三・五〇〇

學校	設置方法	必設科目以外ノ教科目	兒童定數	經常費	臨時費	計
長水公立普通學校	私立長水普通學校變更	理、體、畫、農	一二〇	二、〇一四・一一〇	四〇・〇〇〇	二、〇五四・一一〇
高敞公立普通學校	私立高敞普通學校變更	理、唱、體、畫、農	一五〇	二、〇四九・九〇〇	—	二、〇四九・九〇〇
雲峰公立普通學校	私立雲峰普通學校變更	理、唱、體、畫	一二〇	二、三八八・五〇〇	一七〇・〇〇〇	二、五五八・五〇〇
扶安公立普通學校	私立扶安普通學校變更	理、唱、體、畫、手、農	二四〇	一、七五九・〇〇〇	一八〇・〇〇〇	一、九三九・〇〇〇
臨陂公立普通學校	私立臨陂普通學校變更	理、唱、體、畫、農	一二〇	二、〇三五・五〇〇	—	二、〇三五・五〇〇
井邑公立普通學校	私立井邑普通學校變更	理、唱、體、畫、農	一二〇	二、〇五三・〇〇〇	—	二、〇五三・〇〇〇
龍潭公立普通學校	私立龍潭普通學校變更	理、唱、體、畫、農	一二〇	二、〇二六・〇〇〇	三〇〇・〇〇〇	二、三二六・〇〇〇
珍山公立普通學校	新設	體、唱、農	一〇〇	二、〇五六・五〇〇	—	二、〇五六・五〇〇
茂朱公立普通學校	私立茂朱普通學校變更	理、唱、體、畫、農	一二〇	一、七六一・五〇〇	二五〇・〇〇〇	二、〇一一・五〇〇
興德公立普通學校	私立興德普通學校變更	理、唱、體、畫、農	一六〇	二、一八一・二〇〇	—	二、一八一・二〇〇
礪山公立普通學校	私立礪山普通學校變更	理、唱、體、畫、農	一二〇	二、三七三・五〇〇	一三〇・〇〇〇	二、五〇三・五〇〇
合計	一三		一、七七〇	二七、〇六三・二一〇	一、一七〇・〇〇〇	二八、二三三・二一〇

慶尚北道

學校	設置方法	必設科目以外ノ教科目	兒童定數	明治四十五年度歲出豫算 經常費	臨時費	計
新寧公立普通學校	私立新寧普通學校變更	理、唱、體、畫	二〇〇	二、一六九・〇〇〇	—	二、一六九・〇〇〇
眞寶公立普通學校	私立廣德學校變更	理、唱、體、畫	一二〇	一、九八八・〇六〇	—	一、九八八・〇六〇
興海公立普通學校	私立義昌學校變更	理、體、畫	一六〇	二、二八九・〇〇〇	—	二、二八九・〇〇〇
知禮公立普通學校	私立一中普通學校變更	理、唱、體、畫	一五〇	二、一三五・九九八	—	二、一三五・九九八
豐基公立普通學校	私立安定普通學校變更	理、唱、體、畫	一五〇	二、二五九・〇〇〇	—	二、二五九・〇〇〇
禮安公立普通學校	私立宣明學校變更	理、唱、體、畫	一二〇	二、四一六・二二〇	—	二、四一六・二二〇
龍宮公立普通學校	私立龍[illegible]學校變更	理、唱、體、畫	一二〇	二、五六七・〇〇〇	—	二、五六七・〇〇〇
英陽公立普通學校	私立英興學校變更	理、唱、體	一〇〇	二、二五三・〇〇〇	—	二、二五三・〇〇〇
開慶公立普通學校	私立慶毓學校變更	理、唱、體、畫	二〇〇	二、三九九・〇〇〇	—	二、三九九・〇〇〇
仁同公立普通學校	私立仁明學校變更	理、唱、體、畫	一〇〇	二、一〇九・〇〇〇	—	二、一〇九・〇〇〇
青松公立普通學校	私立樂一小學校變更	理、唱、體、畫	一五〇	二、一五九・〇〇〇	—	二、一五九・〇〇〇

學校	設置方法	必設科目以外ノ教科目	兒童定數	明治四十五年度歳出豫算 經常費	臨時費	計
咸昌公立普通學校	私立昌明學校變更	理、唱、體、書	一〇〇	二、二四九・〇〇〇	—	二、二四九・〇〇〇
比安公立普通學校	私立屏山學校變更	理、唱、體、書	一六〇	二、一八五・〇〇〇	—	二、一八五・〇〇〇
渚谷公立普通學校	私立莒陽學校變更	理、唱、體、書、農	八〇	二、一五九・〇〇〇	—	二、一五九・〇〇〇
清河公立普通學校	私立千一學校變更	理、唱、體、書、農	一二〇	二、一三四・〇〇〇	—	二、一三四・〇〇〇
開寧公立普通學校	私立開進學校變更	理、唱、體、書	一六〇	二、一一一・〇〇〇	—	二、一一一・〇〇〇
盈德公立普通學校	私立盈新普通學校變更	理、唱、體、書	一二五	二、三三五・〇〇〇	—	二、三三五・〇〇〇
奉化公立普通學校	私立廣成學校變更	理、唱、體、書、農	一五〇	二、一二一・〇〇〇	—	二、一二一・〇〇〇
榮川公立普通學校	私立㻶明學校變更	唱、體、書	一六〇	二、一五四・〇〇〇	—	二、一五四・〇〇〇
合計	一九		二、六二五	四二、〇九二・二七八	—	四二、〇九二・二七八

慶尙南道

學校	設置方法	必設科目以外ノ教科目	兒童定數	明治四十五年度歳出豫算 經常費	臨時費	計
三嘉公立普通學校	私立三嘉普通學校變更	理、唱、體、書	一五〇	二、一五〇・〇〇〇	七五・四〇〇	二、二二五・四〇〇
機張公立普通學校	私立機張普通學校變更	理、唱、體、書	一五〇	二、二三七・五五〇		二、二三七・五五〇
梁山公立普通學校	私立梁山普通學校變更	理、唱、體、書	一五〇	一、七九八・〇〇〇	八七二・〇〇〇	二、六七〇・〇〇〇
丹城公立普通學校	私立丹城普通學校變更	理、唱、體、書	一二〇	一、八九八・七七七	—	一、八九八・七七七
山清公立普通學校	私立山清普通學校變更	理、唱、體、書	一五〇	一、九一一・一六五	—	一、九一一・一六五
安義公立普通學校	私立安義普通學校變更	理、唱、體、書	一五〇	二、一二五・六七二	—	二、一二五・六七二
草溪公立普通學校	私立草溪普通學校變更	理、唱、體、書	一五〇	一、九六〇・〇五三	八九二・〇〇〇	二、八五二・〇五三
宜寧公立普通學校	私立宜寧普通學校變更	理、唱、體、書	一五〇	一、八四一・二〇〇	三六〇・〇〇〇	二、二〇一・二〇〇
陜川公立普通學校	私立陜川普通學校變更	理、唱、體、書	一五〇	二、〇〇九・六〇〇	一、五〇〇・〇〇〇	三、五〇九・六〇〇
南海公立普通學校	私立南海普通學校變更	理、唱、體、書、農	二〇〇	二、〇四三・八九七	一二〇・〇〇〇	二、一六三・八九七
合計	一〇		一、五二〇	一九、九七五・九一四	三、八一九・四〇〇	二三、七九五・三一四

黃海道

學校	設置方法	必設科目以外ノ教科目	兒童定數	明治四十五年度歳出豫算 經常費	臨時費	計
兎山公立普通學校	私立華陽學校變更	唱、體、書、農	一八〇	一、四四六・〇〇〇	—	一、四四六・〇〇〇

信川公立普通學校	私立信川普通學校變更	唱、體、實、農	二四〇	二、一一三・〇〇〇	―	二、一一三・〇〇〇
新溪公立普通學校	私立信興學校變更	理、唱、體、實、農	一八〇	二、〇七〇・二五〇	五〇・〇〇〇	二、一二〇・二五〇
遂安公立普通學校	新設	理、唱、體、實、農	二四〇	一、九七一・〇〇〇	―	一、九七一・〇〇〇
金川公立普通學校	私立金興學校變更	理、唱、體、實、農	一八〇	一、六七五・四九〇	―	一、六七五・四九〇
松禾公立普通學校	私立彰東學校變更	理、唱、體、實、農	二四〇	二、一四七・九〇〇	―	二、一四七・九〇〇
合計	六		一、二六〇	一一、四二三・六四〇	五〇・〇〇〇	一一、四七三・六四〇

江原道

學校	設置方法	必設科目以外ノ教科目	兒童定數	明治四十五年度歲出豫算 經常費	臨時費	計
平康公立普通學校	新設	理、體、實、農	一八〇	一、八八一・〇〇〇	五七八・五〇〇	二、四五九・五〇〇
安峽公立普通學校	新設	理、體、實、農	一八〇	一、八三一・七六三	七九〇・〇〇〇	二、六二一・七六三
平海公立普通學校	私立平明學校變更	理、體、實、農	一八〇	二、二三五・三〇〇	四七四・八八〇	二、七一〇・一八〇
杆城公立普通學校	私立水城學校變更	理、體、實、農	一八〇	二、一三一・七八〇	四五〇・四七〇	二、五八二・二五〇
寧越公立普通學校	新設	理、體、實、農	一八〇	一、七一三・三〇〇	五七六・七〇〇	二、二九〇・〇〇〇
蔚珍公立普通學校	新設	理、體、實、農	一八〇	一、九三一・二二〇	五七九・九八〇	二、五一一・二〇〇
旌善公立普通學校	新設	理、體、實、農	一八〇	一、七二二・七三〇	六五〇・〇〇〇	二、三七二・七三〇
麟蹄公立普通學校	私立麟照學校變更	理、體、實、農	一八〇	二、一五四・二三〇	五八八・六七〇	二、七四二・九〇〇
高城公立普通學校	新設	理、體、實、農	一八〇	一、八二三・七八〇	五五五・八〇〇	二、三七九・五八〇
平昌公立普通學校	新設	理、體、實、農	一八〇	一、七一〇・一〇〇	五七六・〇五〇	二、二八六・一五〇
華川公立普通學校	私立華東學校變更	理、體、實、農	一八〇	二、三〇八・六一八	六〇九・七四五	二、九一八・三六三
合計	一一		一、九八〇	二一、四四三・八八二	六、四三〇・七九五	二七、八七四・六一六

平安南道

學校	設置方法	必設科目以外ノ教科目	兒童定數	明治四十五年度歲出豫算 經常費	臨時費	計
平壤第二公立普通學校	新設	理、唱、體、實、農	四〇〇	二、二五〇・五〇〇	一、二一五・六七〇	三、四六六・一七〇
順川郡慈山公立普通學校	私立文興學校變更	理、唱、體、實、農	二〇〇	一、五〇九・〇〇〇	五五〇・〇〇〇	二、〇五九・〇〇〇

學校	設置方法	必設科目以外ノ教科目	兒童定數	明治四十五年度歲出豫算 經常費	臨時費	計
江東郡三登公立普通學校	私立普成學校變更	理、唱、體、漢、農	二〇〇	一、一二四・〇〇〇	一、〇五〇・〇〇〇	二、一七四・〇〇〇
甑山郡咸從公立普通學校	新設	理、唱、體、漢、農	二〇〇	一、二六五・〇〇〇	二、一〇〇・〇〇〇	三、三六五・〇〇〇
順安郡石岩里公立普通學校	新設	理、唱、體、漢、農	二〇〇	一、五四〇・〇〇〇	二、五九五・〇〇〇	四、一三五・〇〇〇
合計	五		一、二〇〇	七、六八八・五〇〇	七、五一〇・六七〇	一五、一九九・一七〇

平安北道

學校	設置方法	必設科目以外ノ教科目	兒童定數	明治四十五年度歲出豫算 經常費	臨時費	計
宣川郡三峰公立普通學校	私立朝陽義塾變更	理、唱、體、漢、手、裁、農、	二〇〇	二、三一八・〇〇〇	七〇〇・〇〇〇	三、〇一八・〇〇〇
定州郡清亭公立普通學校	新設	理、唱、體、漢、手、裁、農、商	二〇〇	二、四四七・〇〇〇	六三六・〇〇〇	三、〇八三・〇〇〇
龍川郡楊市公立普通學校	新設	理、唱、體、漢、手、農	二〇〇	二、一四五・〇〇〇	一、二〇〇・〇〇〇	三、三四五・〇〇〇
合計	三		六〇〇	六、九一〇・〇〇〇	二、五三六・〇〇〇	九、四四六・〇〇〇

咸鏡南道

學校	設置方法	必設科目以外ノ教科目	兒童定數	明治四十五年度歲出豫算 經常費	臨時費	計
利原公立普通學校	私立普明學校變更	理、唱、體	一二〇	二、五一二・〇〇〇	二五〇・〇〇〇	二、七六二・〇〇〇
三水公立普通學校	私立隆興學校變更	理、唱、體	一二〇	二、〇八二・三六〇	五三六・六四〇	二、六一九・〇〇〇
合計	二		二四〇	四、五九四・三六〇	七八六・六四〇	五、三八一・〇〇〇
總計	一〇二		一九、一九五	二〇五、三八七・〇七五	二七、一九六・八五五	二三二、五八三・九三〇

二 設置ノ方法

設置ノ方針ハ臨時恩賜金事業ノ一部トシテ前年既ニ計畫ノ定マレルアリ、各道ハ夫レ夫レ既定ノ方針ニ基キテ計畫ヲ遂行シ、全北ノ珍山、茂朱、興德、礪山ノ四校ノ少シク後レタル外ハ皆本年三月以前ニ設置ノ認可ヲ受ケ四月一日一齊ニ開校セリ、其ノ設置ノ方法ハ前年ト大差ナク多クハ既設學校ノ組織變更ニ屬ス、即チ私立普通學校ノ變更五十二一般私立學校ノ變更三十一ニシテ新規創始ニ係ルモノハ僅ニ十九ニ過キス而モ其ノ新規創始ニ屬スルモノノ中ニモ一面ニ於テ私立學校ヲ廢止シ更ニ公立普通學校ヲ設置シ表面上組織變更ノ手續ニ

依ラサリシモノモアレハ全然新規ニ創設セラレルモノハ極メテ少數ナリ、斯クノ如ク地方ニ於テ多少ノ沿革アリ而モ私人ノ經營ニ屬スル學校ヲ繼承シテ之カ組織ヲ變更シタルモノナレトモ設立者ハ凡テ變更ヲ快諾シ授受頗ル圓滿ニ行ハレ、校舍具具ハ勿論一切ノ財產ヲ新設學校ニ寄附シ其ノ間些ノ支障ナク進行シタリシノミナラス、進ムテ諸事幹旋ノ勞ヲ執ル者少カラサリシハ畢竟時勢ノ進步ニ伴ヒ新敎育ノ價値ノ一般ニ認メラレタルニ由ルト雖モ抑亦直接其ノ局ニ當リシ府郡官憲折衝ノ苦心ヲ多トセサルヲ得ス

三　敎員ノ配置

斯クテ是等新設普通學校ニ配置スヘキ敎員特ニ之カ校長タルヘキ內地人敎員ノ任用ニ關シテハ關係道長官ノ推薦ニ依リ、內地各府縣ニ於テ小學校本科正敎員ノ資格ヲ有スル現任小學校長ニシテ多年斯道ニ從事シ其ノ成績顯著ナル者、並ニ朝鮮ニ於ケル公立小學校長又ハ訓導私立普通學校長ニシテ從來ノ成績優良ニ兼テ朝鮮ノ事情ニ通スル者ニ就キ選擇採用セラレタリ、而シテ是等新任ノ校長ニ對シテハ普通學校ノ施設經營ニ關シ必要ナル知識ヲ授クル爲メ赴任前之ヲ京城ニ招集シテ本年四月十一日ヨリ公立普通學校長講習會ヲ開設シ、朝鮮敎育ノ方針及實施上ノ注意ヨリ朝鮮敎育法規、敎科書取扱方、朝鮮歷史、朝鮮地理、朝鮮語、國語敎授上ノ注意及實際等當面焦眉ノ事項ヲ學習セシムルト共ニ兼テ各部知名ノ官憲ニ科外講演ヲ依囑シ廣ク敎育上日常生活上緊要ノ事項ヲ聽講セシメタルコト前年ノ例ノ如シ、（昨年八月公立普通學校敎監講習會ニ京畿道私立普通學校長トシテ出席受講セシ二十名ヲ除ク）超ヘテ同月三十日總督ニハ講習員一同ヲ官邸ニ引見シ朝鮮公立普通學校長トシテ服膺スヘキ事項ニ就キ懇篤周到ナル訓示ヲ與ヘラレ乃チ同日ヲ以テ講習ヲ終了シ各自直ニ任地ニ向ヘリ、是ヨリ先京城高等普通學校附設臨時敎員養成所各科平壤高等普通學校敎員速成科、咸興臨時敎員講習會等ノ卒業生ニシテ新設公立普通學校訓導又ハ副訓導ニ採用セラルヘキ者ハ四月一日ヲ以テ任命セラレ京城ニ於テハ卽日平壤ヘハ特ニ學務局員ヲ急行セシメテ夫レ夫レ　辭令ヲ交附シ直ニ赴任セシメラレタリ、サレハ是等ノ新任鮮人敎員ハ當該學校長ニ先チテ著任シ兒童ヲ募集シテ授業ヲ開始シ校長ノ就任ヲ待テリ、爾來茲ニ七閱月日猶淺シト雖モ敎員各自努力ノ效空シカラス、本府視學官視學ノ復命並ニ諸種ノ報告ニ徵スルニ概シテ成績佳良ナルカ如シ

四　新入學兒童

新設公立普通學校開校ノ當時新ニ入學セシ兒童約七千ニシテ其ノ後引續キ入學セシ者少カラネハ現今ニ至リテハ著シク增

加セシモノト認メラル、近來新教育ノ必要漸ヲ以テ一般ニ認メラルルト同時ニ各地ニ於ケル入學志望者頗ル多キヲ加ヘタレトモ校舍ノ設備完カラサル爲メ是等志望者ヲ收容シ悉スコト能ハサリシ處少カラス京畿道竹山ニテハ目下新築中ノ校舍落成後入學ヲ約セシ者四十名ニ達セリト云フカ如キ其ノ一班ヲ知ルニ足ルヘシ、地方中流以上ノ子弟ノ入學ハ益多ク私立學校書堂ヨリノ轉校ハ前年ニ比較シテ著シク多キヲ加ヘタルカ如シ、書堂ノ教師ニシテ其ノ子ヲ入學セシムル者アリ、往年兵士タリシ者ノ入學スルアリ、江原道麟蹄郡ニテハ一家三名ノ就學者ヲ出セル者數戶アリ、斯ノ如ク別段入學ノ勸誘ヲ試ムルニ及ハスシテ早ク既ニ豫定若クハ其レ以上ニ達セシモノ頗ル多ク殊ニ廣ク臨時恩賜金ノ恩典ニ浴セシメムトノ趣旨ニ出テタル當局官憲ノ訓達ハ能ク一般ニ貫徹シ遠隔ノ地ヨリ來リテ親戚故舊又ハ教師ノ住宅ニ寄宿シ成ハ客主ニ下宿シテ通學セル者アリ、各地之カ爲メニ寄宿舍ノ設備ヲ計畫シツツアルモノ亦少カラサルカ如シ、要スルニ今ヤ一般ニ能ク新教育ノ趣旨ト價値トヲ會得シ子弟ヲ就學セシムヘキ學校ノ選擇ヲ誤ラサルニ至レルヲ認ム

五　新設普通學校ニ對スル地方人民ノ感想

公立普通學校ノ施設ニ對シ授業時間ノ短キコト、漢文科ノ少キコト、作業ヲ課スルコト、（農業實習ノ如キ）等ニ就キテハ今猶多少平ナラサル者アリト雖モ這ハ二六時中漢文ノ素讀ヲ是レ事トスル書堂ノ教育法ヲ唯一ノ良法ト考フ者ニアリテハ又無理ナラサル事ニシテ姑ク容認セサルヲ得ス、遠カラス疑團ノ氷解スルノ期アルヘキハ論ナク而モ亦斯カル謬想ヲ懷抱スル者ハ比較的少クシテ一般ノ人民ハ大ニ公立普通學校ノ新設ヲ歡迎シ安ンシテ子弟ヲ託スルノ現況ナリ、開校式ニ於ケル參列者ノ所在官憲ヲ始メ地方内鮮人有力者ヲ網羅セシハ必シモ前年ニ異ナラサレトモ一面兒童ノ父兄母姉其ノ他一般有志者ノ列席前年ニ比シ著シク多カリシハ聽テ一般人民ノ普通學校ニ接近シ來レルヲ察スルニ足ルヘク、金品寄附ノ申請ハ前年ニ數倍シ通學道路ノ改修運動場ノ地均等ハ勞力寄附ニ由リテ行ハレ一度學校ヲ參觀シテ直ニ器械器具ノ寄附ヲ申出ツル者少カラサルハ如何ニ彼等カ學校ニ對シ好意ヲ有スルカヲトスヘシ、若シ夫レ大小係爭ノ解決果テハ刑罰輕減ノ執成ヲ學校ニ訴フ者アリト云フニ至リテハ方角違ノ甚シキ寧ロ一笑ニ附シ去ルヘキニ似タリト雖モ而モ亦反面ニ於テ信賴ノ厚キヲ立證スルモノト認メサルヲ得ス、要スルニ一般ニ深ク公立普通學校ノ新設ヲ歡ヒ安ンシテ子弟ヲ託スルニ至リシハ開校以來各學校ノ順潮ナル發達ニ徵シ疑ナキ所ナリ

地方行政

○長湍地方大豆青田貸ノ開始

京畿道長湍地方ノ大豆ハ毎年產額二萬餘石ニ達シ遠ク大阪市場ニ其ノ名ヲ博シ移出額又尠カラス然ルニ生產者ハ多ク高利ノ資金ヲ運用スルヲ以テ其ノ得ル所ノ利益ハ之ヲ失フ者甚タ多キヲ以テ長湍地方金融組合ハ高利資金融通ノ排除ヲ謀リ開城農工銀行支店ヨリ地方小額資金取次ノ方法ニ頼リテ未收穫大豆擔保貸付ノ實施ヲ開始セリ

資金ノ融通及取引狀況　從來生產者カ資金ノ必要ニ迫ルヤ仲介者ヲシテ大豆商人ニ依賴シ之ヲ調達ス即チ大豆商人ハ未收穫大豆ヲ擔保トシテ月二分以上五分內外ノ利息ヲ以テ之ニ應シ仲介者又手數料トシテ大豆受渡ノ價格ニ由リ生產者ヲシテ一石ニ付キ十五錢乃至二十錢ヲ支拂ハシムルヲ常トセリ而シテ生產者收穫ヲ終ルヤ引取方ヲ仲介者ニ依賴シ仲介者ハ大豆商人ニ其ノ旨ヲ告ケ茲ニ始メテ出資者タル商人ハ生產者ニ命シテ高浪浦、席浦、長湍停車場、亭午浦、水川等便宜ノ市場ニ搬出セシムルナリ其ノ費用ハ固ヨリ契約ニ由リ異ナルモ一里以上ノ距離ニ在リテハ當事者ニ於テ同額ヲ負擔シ搬出大豆ノ受渡ハ前記市場ノ時價ニ由リ計算ヲ爲スト雖其ノ價格ハ殆ト大豆商人ノ協定價格ニ由ルモノニシテ生產者ハ常ニ不當ノ損失ヲ免レサルナリ若シ搬出大豆ニシテ融通資金ノ元利金ニ對シ不足ヲ生スルコトアルトキハ之ニ相當スル大豆ヲ更ニ提供セシメ決濟ヲ爲スモノナリ

現時ノ狀況既ニ斯ノ如シ高利資金ノ融通ヲ排除シテ低利資金供給ノ途ヲ開キ農具ノ普及、耕作方法、種子、肥料ノ改良ヲ企テ優良大豆ノ增收ヲ獎勵シ地方產業ノ發達ヲ謀ルハ實ニ目下ノ急務タリ

今、從來ノ耕作方法ニヨリ一日耕(約三段步)ノ生產額平均三石(極メテ內輪ニ見積リ)ト假定シ之カ資金トシテ月三分ノ割合ヲ以テ融通スルトセンカ元金十八圓ニ對スル六箇月間ノ利子ハ三圓二十四錢ヲ要シ而シテ低利資金ニ在リテハ月一分內外ノ割合ナルヲ以テ僅ニ一圓八錢餘ニ止マリ其ノ間已ニ二圓十六錢ノ利益ヲ生シ加之金融組合ハ倉庫ヲ建設シ僅ニ百分一ノ手數料ヲ以テ委託販賣ニ應スルニ由リ生產者カ仲介者ニ支拂ヒタル十五錢乃至二十錢ノ手數料モ亦大ニ減シテ七八錢ヲ利シ且保管ノ危險、品質變化ノ憂ナキ等低利資金ノ生產者ニ及

ホスノ利益ハ大豆商人等カ資金供給ノ酷ナル比ニ非サルナリ

資金貸付ノ方法　資金ノ貸付ハ勢地方ノ慣習ニ因リ未收穫大豆ヲ擔保トシテナササルヘカラス此ノ危險ノ實行ニ就テハ貸付方法、條件等最モ嚴密ノ手段ヲ要スルヲ以テ生産者ヲシテ一ノ契ヲ作ラシメ該契ヲ本位トシテ既往ノ生産額ト播種後大豆發育ノ狀況ニ鑑ミ其ノ年ノ生産額ヲ豫定シ其ノ五割以内ヲ限度トシテ貸付スルモノトス而シテ生産大豆ノ受渡ニ就テハ契員各自ノ收穫ニ注意シ監督手段ヲ講シ契長ヲシテ其ノ責ニ任シ收穫終了ノ後直ニ倉庫ニ搬入セシメ品質量目ノ檢査ヲ行ヒ受入ノ後金融組合ニ於テ隨時販賣スルモノナリ

契ノ設立　貸付資金ノ回收上危險ヲ減スルノ最良方法ハ現下ノ狀況契ノ設立ニ在リトシ因テ金融組合ハ江西、津東、津縣內及長西ノ各面長ノ會合ヲ催シ計畫ノ詳細ヲ說述シ契ノ設立ヲ勸奬シテ

（イ）契員住所氏名　（ロ）年齡　（ハ）家族數
（ニ）大豆耕作面積　（ホ）大豆收穫豫想高　（ヘ）移出地
（ト）小作又ハ自作

ノ要項ヲ記載スヘキ應募用紙ヲ配付シ契員ノ募集ヲ勸告セリ後復各面里洞長ノ會合ヲ開キ應募者ニ就キ其ノ性質、信用ノ程度、隣保ノ交情、借財ノ有無、稅金滯納ノ有無及今日マテ生産大豆ニ對スル負債ノ有無等ヲ調査シテ之カ淘汰ヲナシ各面洞ニ信用アル者六名ヲ役員トシテ選拔シ更ニ計畫ノ趣旨竝連帶ノ責任ニ關シ懇說辨明其ノ趣旨ヲ徹底セシメ且大豆耕作日耕數ヲ結數連名簿及實地ニ就キテ調定セリ而シテ是等準備事務ノ完了ヲ告クルヤ創立總會ヲ開キ契員ノ心得、定款ノ說明等遺憾ナク懇說シ役員ノ選擧ヲナシテ全ク契ノ設立ヲ見タリ其ノ定款及各耕地約三箇年ノ收穫高ヲ參酌決定セル大豆收穫豫想高ハ次ノ如シ

大豆收穫豫想高表

契名	契員數	耕作日耕數	收穫豫想高
津縣內面			
芳木里上洞	三一人	一六、五日耕	四一、五石
同　下洞	三四	二二、〇	四五、〇
西上里	二五	一二、四	三五、八
西下里	三六	一七、六	五五、〇
東下里	一一	五、六	二五、〇
孔德里	二三	一〇、〇	三五、五
白蓮里	五三	三八、二	九〇、五
元堂里	二五	一三、四	三一、五
點希陵里	三四	三五、三	八二、〇
亭午浦里	四六	五一、五	一二二、〇
津東面			
滿谷里	四六	五〇、五	一四六、〇
下浦里	三四	三九、五	一一三、〇
東坡里	三三	三三、二	一〇二、〇
長西面			
哨里	四八	三一、五	九三、〇
件程里	二四	一七、五	五一、〇
龍山里	二四	二三、〇	六六、〇
貫松里	二四	一二、〇	三六、〇
江西面			
計	五五〇	四二七、七	一一七〇、八

勸農契定款

第一章　總　則

第一條　本契ハ農事ノ改良ヲ計リ農家ノ副業ヲ獎勵シ及勤儉貯蓄ノ勵行ヲ以テ目的トス

第二條　本契ハ何郡何面何里洞勸農契ト稱ス

第三條　本契ハ何郡何面何里洞ニ居住シ五合耕以上ノ大豆耕作者ヲ以テ組織ス

第四條　本契事務所ハ契長ノ住家内ニ置ク

第二章　業　務

第五條　本契ハ第一條ノ目的ヲ達スル爲左ノ業務ヲ行フ

一、大豆ノ耕作改良、種子ノ選擇、生產物ノ精製等ノ實行

二、蓮及叺製造其ノ他農家ノ副業ノ獎勵

三、其ノ他一般農事ノ改良

四、貯蓄ノ勵行

第六條　本契ハ左ノ事項ヲ遂行ス

一、確實ニ生產サルヘキ大豆ヲ擔保トシテ契員ニ對シ農業資金ノ融通ヲ受クルコト

二、農具肥料其ノ他大豆生產上契員ニ於テ必要ナル物品ノ共同購入ヲナスコト

三、契員ノ生產シタル大豆ノ販賣ヲナスコト

第七條　本契員ノ債務ハ契員中誰人ノ債務タルヲ問ハス契員全體ノ連帶責任トス

第八條　契員ハ不虞ノ變災ニ備ヘ兼テ農事資金ノ蓄積ヲ計ルタメ販賣大豆一石ニ付十錢以上ヲ貯金スルモノトス

前項貯金ハ農工銀行ニ預入シ該通帳ハ契長之ヲ保管スルモノトス

第三章　役　員

第九條　本契ニ左ノ役員ヲ置ク

一、契　長　一　名

二、評議員　五名以上十名以内

第十條　契長及評議員ハ總會ニ於テ契員中ヨリ之ヲ選擧ス但名譽職トス

第十一條　契長ハ契ヲ代表シテ常務ヲ執行スル以外總會ノ議長トナル契長事故アルトキハ評議員中ノ年長者其ノ事務ヲ代理ス

第十二條　評議員ハ契長ノ指揮ヲ受ケ業務ノ執行ヲ補佐シ又常務以外ノ事項ヲ評議ス

第十三條　契長及評議員ノ任期ハ滿一箇年トス但シ再選ヲ妨ケス

第四章　總　會

第十四條　總會ハ役員ノ選擧定款ノ變更其ノ他重大ナル事項ヲ議決ス

第十五條　總會ハ之ヲ定時ト臨時トニ別チ定時總會ハ毎年一月之ヲ開キ臨時總會ハ契長ノ必要ト認ムルトキ之ヲ開クモノトス

第十六條　總會ノ決議ハ出席者ノ過半數ヲ以テ決ス可否同數ナルトキハ契長ノ決定ニ依ル

第五章　會　計

第十七條　本契ハ毎年一月ヨリ十二月マテヲ一事業年度トス

第十八條　契員ハ契業務執行上必要ナル經費ニ充ツルタメ負擔ノ義務ヲ負フモノトス

經費負擔額ハ必要ニ應シ評議員會ニ於テ決定ス

第十九條　契長ハ毎事業年度ノ業務成績及ヒ收支決算ヲ定時總會ニ報告スルモノトス

第六章　加入及脫退

第二十條　本契ニ加入セントスル者ハ契長ノ承諾ヲ受クルモノトス

第二十一條　契員ハ左ノ事由ニ依リ脫退ス

一、第三條ニ定メタル資格ノ消滅

二、死亡

三、除名(犯罪其ノ他不法行爲アリタルトキ之ヲ行フ)

四、脫退ノ許可

第七章 監督

第二十二條 本契ハ何地方金融組合理事ノ指揮監督ヲ受ク

第二十三條 第五條第六條第八條第十五條第二十條第二十一條ノ事項ハ事前ニ於テ何地方金融組合ニ協議シ其ノ指揮ニ從フモノトス

第二十四條 第十六條ノ事ハ何地方金融組合ノ同意ヲ得テ決行スルモノトス

第二十五條 契長ハ第二十二條ノ監督者ニ對シ業務ノ狀況ニ付又ハ監督者ノ命スル必要ナル事項ニ付報告スル義務アルモノトス

右定款各條項確守スヘキコトヲ爰ニ誓約シ後日ノ證トシテ契員連署捺章ス

年 月 日

郡 面 里 洞

契長

評議員

同

同

同

同

契員

○優良面長

全羅南道光陽郡多鴨面長李洙鳳ハ人民ノ遊惰安逸ナル惡習ヲ打破シ勤儉貯蓄ノ美風ヲ涵養セントシ本年陰曆正月ヨリ騾馬ニ跨リ管內ヲ巡廻シ盛ニ之ヲ皷吹シ地勢ニ應シ時期ノ適合シタル薪草ノ採取ニ從事セシメ其ノ賣得金ヲ以テ本年度戶稅ニ充テ(百〇四圓貳拾五錢)第一期戶稅ハ納期ニ先チテ完納シ更ニ植樹及堤堰ノ築造ノ計畫ヲ立テ赤松植栽數實ニ三萬三千本ニ及ヒ堤堰ノ築造延長(廣五尺高九尺ノ石垣)五十九間二百十九斗落ノ耕地ニ對シ防水ノ設備ヲ爲サシメタリ遊說ノ結果面總戶數八百八戶ニ對シ百五十七名ノ貯蓄者ヲ出スニ至レリ

調査資料

○輸移出入品包裝ニ關スル調査

九　寒天

包裝ノ說明	摘要
包裝ノ形狀	立方形
包裝ノ強弱	弱
外裝ノ種類	菰包
外裝ノ方法	藁菰ニテ五百本宛包ミ繩ヲ掛ケタルモノ三箇又ハ四箇ヲ結束シ更ニ葭簾ヲ以テ側面ヲ梱包ス
外裝ノ材料	藁菰及葭簾
內裝ノ方法	百本宛四本五十本宛二束トシ各束ヲ麻絲ニテ括リ大束ノ中間ニ小束ヲ狹ミ一梱トス
總容積	36″×13″×31″=9.[illegible]立方呎(三梱結束ノ場合)
包裝ト運搬及通關上ノ便否	一梱ノ數量(五百本)一定セルヲ以テ通關上便トス
總重量	三十五斤(三梱結束)
重量ト運搬上ノ便否	比較的容積大ナリト雖輕量ナルヲ以テ運搬上不便ナシ
風袋重量	五斤(三梱結束)
正味重量	三十斤(三梱結束)
包裝內容數量	一梱五百本
拔荷ノ狀況及其豫防方法	包裝不完全ニシテ拔荷ノ憂アリ
船車運賃ノ標準呼稱(單位)	汽船ハ才扱汽車ハ斤扱
貨物ノ主ナル製產地又ハ製造所	大阪、兵庫、京都、長野
包裝ニ要スル費用	二十錢內外

十　乳膏(コンデンスド、ミルク)

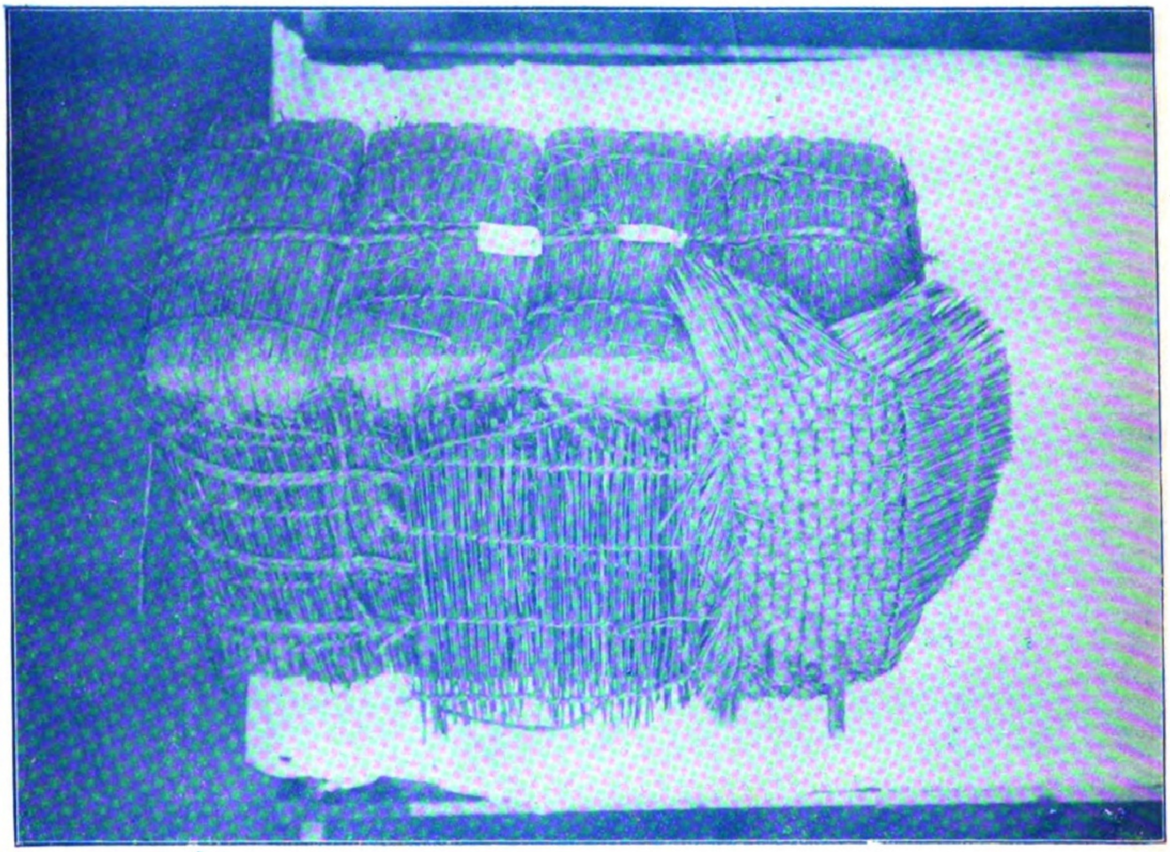
包裝ノ說明	摘要
包裝ノ形狀	長方形
包裝ノ強弱	強
外裝ノ種類	木箱
外裝ノ方法	箱ハ厚サ十六分ノ七吋板ヲ以テ作リ釘ハ一吋四分三ノ線釘ヲ用ヒ接合ハ實矧ナリ而シテ箱ニハ鐵箍ヲ施セリ
外裝ノ材料	樅類似ノ木材及鐵箍
內裝ノ方法	毎鑵包裝用紙(印刷シタルモノ)ヲ以テ包ム
內裝ノ材料	葉鐵鑵
總容積	13″×17″×10″卽チ一立方呎
包裝ト運搬及通關上ノ便否	包裝堅固ニシテ數量一定セルヲ以テ運搬及通關上便トス
總重量	四十七斤
重量ト運搬上ノ便否	輕量ナルヲ以テ運搬上便トス
風袋重量	十一斤
正味重量	三十六斤
包裝內容數量	一箱一封度入鑵四打詰
包裝內容一箇ノ尺度	丸鑵直徑三吋長三吋
拔荷ノ狀況及其豫防方法	兩側ノ帶鐵ハ箱ヲ堅牢ニシ尙ホ拔荷ヲ防遏スルニ適ス
包裝ノ標記(記號又ハ番號荷札其他標記ニ關スルコト)	製造地、會社名、記號、番號ヲ附シアリ
船車運賃ノ標準呼稱(單位)	汽船ハ才扱汽車ハ斤扱
貨物ノ主ナル製產地又ハ製造所	北米合衆國
包裝ニ要スル費用	四十錢內外

十一 鑵詰(果物、蔬菜、魚類、肉類)

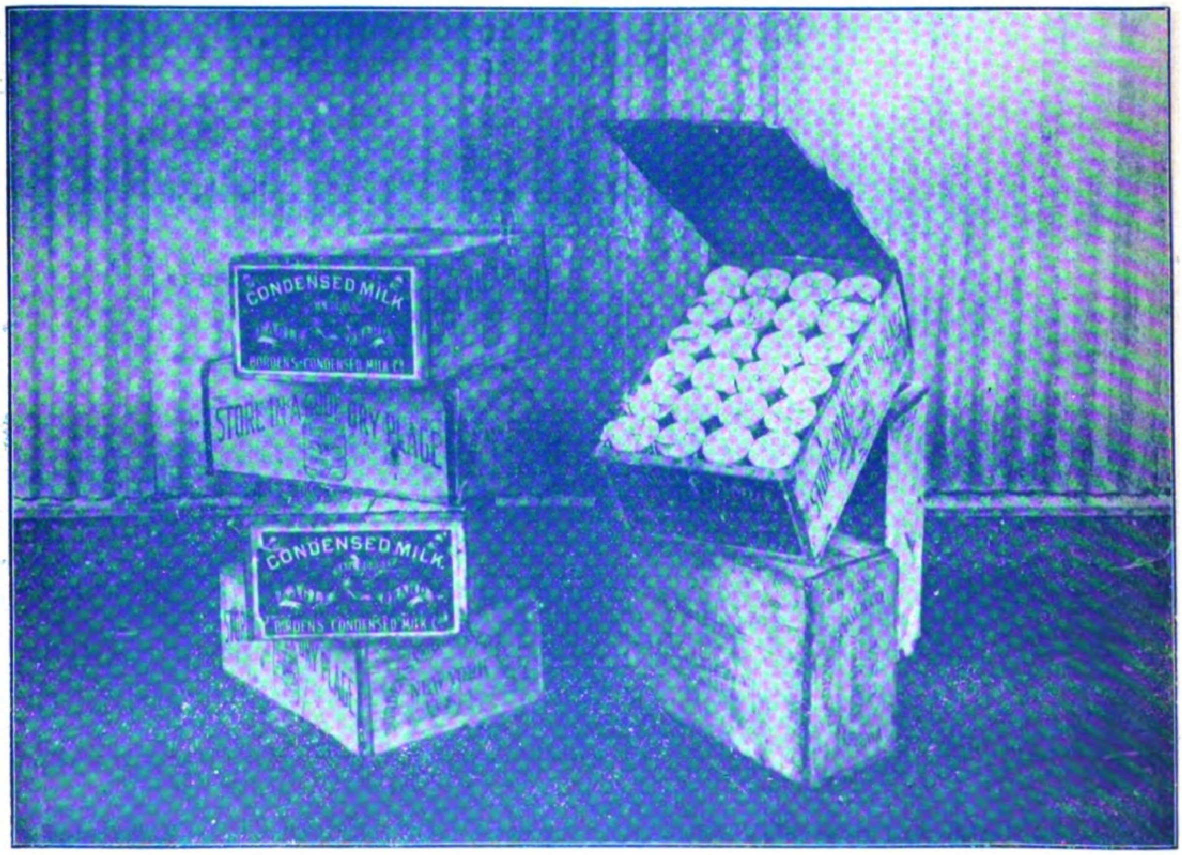
包装ノ説明	摘要
包装ノ形狀	立方形
包装ノ強弱	強
外装ノ種類	木箱
外装ノ方法	箱ハ厚サ半吋ノ板ヲ以テ作リ釘ハ一吋半ノ線釘ヲ用ヒ兩端ニ鐵箍ヲ掛ケタルモノ二箇抱合セ藁繩ニテ括ル
外装材料	縱板、鐵箍及藁繩
内装ノ方法	毎鑵一封度入ノモノ四打ヲ一箱ニ收メレッテルハ取纏メ箱内ニ詰メ入レル
内装ノ材料	葉鐵鑵
總容積	$17'' \times 20'' \times 13'' = 2.56$立方呎
包装ト運搬及通關上ノ便否	内容品ノ數量一定セルヲ以テ通關上便トス
總重量	九十二斤
重量ト運搬上ノ便否	過重ナラサルヲ以テ運搬上便トス
風袋重量	十七斤
正味重量	七十五斤
包装内容數量	一箱一封度入鑵四打詰
包装内容一箇ノ尺度	丸鑵直徑二吋八七長四吋四三
包装ト取引上ノ關係	一箱單位ニテ取引セリ
拔荷ノ狀況及其豫防方法	拔荷ノ憂ナシ
包装ノ標記(記號又ハ番號荷札其他標記ニ關スルコト)	名稱、製造地、數量
船車運賃ノ標準呼稱(單位)	汽船ハ才扱汽車ハ斤扱
貨物ノ主タル製產地又ハ製造所	大阪、神戸、廣島、岡山、伊勢、紀伊、伊豫、近江、東京、松江、信濃、豐後、
包装ニ要スル費用	四十錢内外

十二 清酒

包装ノ説明	摘要
包装ノ形狀	圓錐梯形
包装ノ強弱	強
外装ノ種類	木樽、薦菰
外装ノ方法	外装ハ樽ヲ薦ニテ被ヒ其ノ上ヲ上等ノ莚ヲ以テ包ミ兩口ヲ龜甲ニ打合セ徑一吋四分ノ一ノ大繩ニテ縱三箇所ニ二條横約三分ノ一ノ箇所ニ於テ細キ上繩三條ニテ括ル而シテ外装ヲ更ニ薦ニテ被ヒ薦菰ニテ包ム
外装ノ材料	杉竹
總容積	六立方呎
包装ト運搬及通關上ノ便否	運搬及通關上不便ナシ
總重量	百五十三斤二五(一定セス)
重量ト運搬上ノ便否	過重ナラサルヲ以テ運搬上不便ナシ
風袋重量	三十六斤二五
正味重量	百十七斤
包装内容數量	一樽ノ容量三斗九升乃至四斗五升
拔荷ノ狀況及其豫防方法	往年ハ故意ニ拔荷ヲナセルモノアリシモ近年殆ト跡ヲ斷チ運搬中稀レニ漏洩スルコトアルノミ
包装ノ標記(記號又ハ番號荷札其他標記ニ關スルコト)	外装菰ニ商標ノ押捺アリ
船車運賃ノ標準呼稱(單位)	鐵道ハ斤扱汽船ハ才扱
貨物ノ主ナル製產地	灘、堺、廣島、城島
包装ニ要スル費用	二圓内外

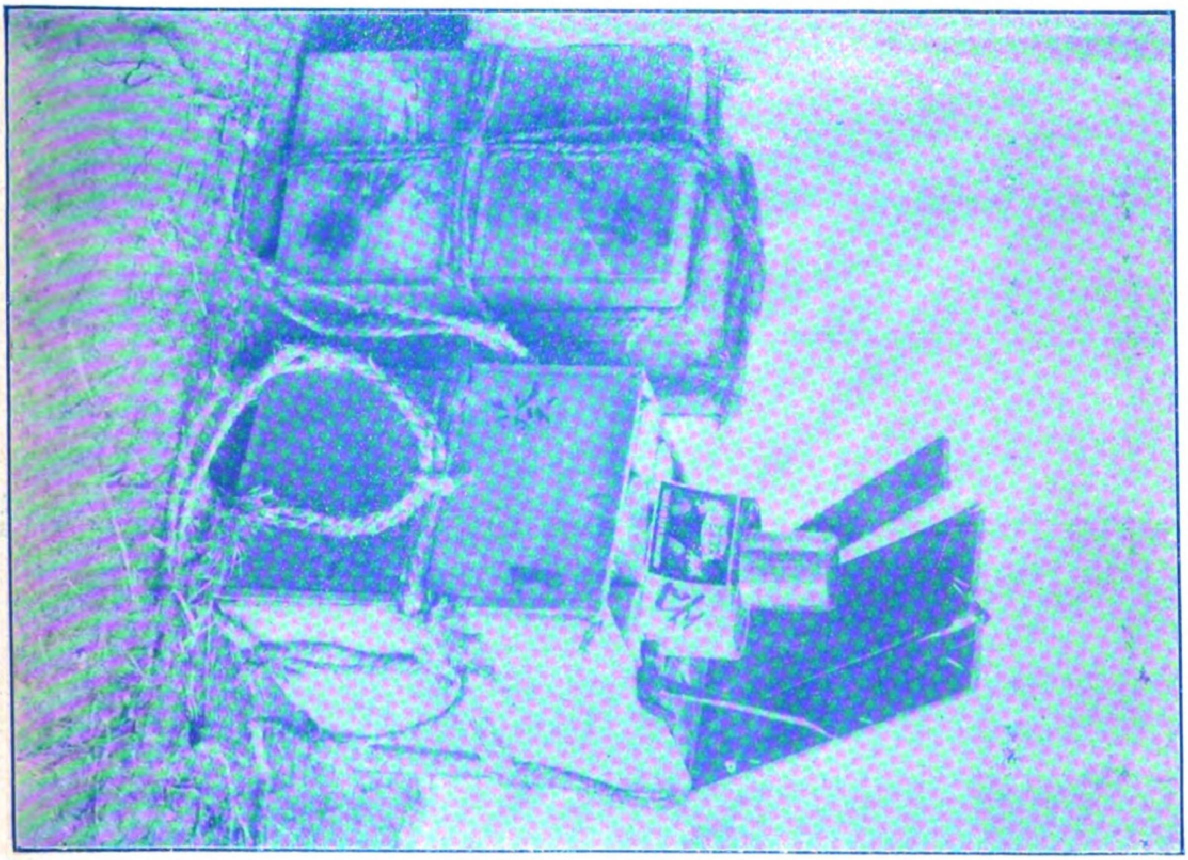


第一二七頁　輸移入品包裝ニ關スル調査（第九號參照）



第一二七頁　輸移入品包裝ニ關スル調査（第十號參照）

第一二八頁　輸移入品包裝ニ關スル調査（第十一號參照）



第一二八頁　輸移入品包裝ニ關スル調査（第十二號參照）



○九月中本府購入圖書左ノ如シ

著者	書名	發行年月	圖書整理番號
黒板勝美	西遊二年歐米文明記	明治四四、一〇	丙 三八二六
高田忠周	漢字詳解 卷六	大正元、八	丙 三八二七
小栗孝三郎	帝國及列國海軍	明治四二、七	丙 三八二八
三好學	日本之植物界	同 四四、一	丙 三八二九
同文館	日本教育文庫	同 四三、四	自丙 三八三〇 至丙 三八三八
佛書刊行會	大日本佛教全書	同 四五、七	自丙 三八三九 至丙 三八四二
稻垣乙丙 白鳥吾市	新撰農具教科書	同 四三、二	丙 三八四三
柘植六郎	實驗果樹園藝新書	同 四五、五	丙 三八四四
同	實驗蔬菜園藝新書	同 四五、六	丙 三八四五
藤原喜代藏	大英國ノ教育	同	丙 三八四六
遠藤隆吉	日本我	同 四五、五	丙 三八四七
持地六三郎	臺灣殖民政策	大正元、八	丙 三八四八
伊澤修二	視話法	明治四三、三	丙 三八四九
同	視話應用東北發音矯正法	同 四四、一〇	丙 三八五〇
佐藤一齋	言志四錄	同 四三、五	丙 三八五一
伴成高訓點	近古史談	同 四三、一	丙 三八五二
山崎直方	修訂普通教育地理學通論	同 四五、四	丙 三八五三
大審院藏版	大審院判決錄 四十三年		丙 三八五八 丙 三八五九
行政裁判所	行政裁判所判決錄 同		丙 三八六〇
松浦鎭次郎	教育行政法	明治四五、七	丙 三八六一
林泰輔	朝鮮通史	大正元、八	丙 三八六二
切田太郎 森富治郎	最新簡易商業教科書 卷一、二	明治四四、四	丙 三八六三
横田秀雄	債權總論	同 四五、四	丙 三八六四
同	債權各論	同 五	丙 三八六五 丙 三八六六
參謀本部	日露戰史 第二卷附圖	大正元、七	乙 九九六
東京帝室博物館	稿本日本帝國美術略史	明治四五、七	乙 九九七
大日本百科辭書編輯部	法律大辭書 第一、二、三卷	明治四三、四四、	乙 一〇〇一
荻生徂徠著 小泉秀之助校訂	譯文筌蹄	同 四一、	丁 六三四
法典質疑會	續法典質疑錄	同 四四、七	丁 六三五
清水書店	改正商法	大正元、八	戊 二六八
清瀨一郎	不當利得論	明治四五、五	丙 三八六七
幸田露伴	努力論	大正元、八	丙 三八六八
有賀極光	法律學上ノ新研究 表現ノ法理	明治四五、一	丙 三八六九
伊藤金次郎	民法判決實例	大正元、八	丁 六三七
同	商法判決實例	同	丁 六三八
朝鮮古書刊行會	燃藜室記述	同 九	自丙 三八七〇 至丙 三八七三
W. Nundt.	Einführung in die Psychologie. (1911)		C 六六一
J. Dingle.	China's Revolution (1911—12)		C 六六二
American Book Company.	Appletion's Lessons in Geography for Little Learners.		D 三八〇
May Kirk.	The Baldwin Primer.		D 三八一
M. Beebe.	Picture Primer.		D 三八二
F. Taylor.	The Werner Primer for Beginners in Reading.		D 三八三
M. W. Hazen.	Hazen's First Year Book.		D 三八四
W. E. Crosby.	Our little Book for Little Forks.		D 三八五
F. Sharpe.	A First Reader for Foreigners.		D 三八六
F. Houghton.	First Lessons in English for Foreigners in Evening Schools.		D 三八七
J. Richman and R. Wallach.	Good Citizenship.		D 三八八
J. Baldwin.	School Reading by Grades.		D 三八九

H. Maxwell. L. Johnston and D. Barnum.	Speaking and Writing, Book one.	D	三九〇
A. Bailey and B. German	Number Primer.	D	三九一
A. Walton and H. Holmes.	Walton and Holmes's Arithmetics.	D	三九二
D. Gibbs.	The Natural Number Primer.	D	三九三
F. Endemann.	Lehrbuch des Bürgerlichen Rechts.	C	六六六
Paul Barth.	Die Geschichte der Erziehung in soziologischer und geistesgeschicht licher Beleuchtung.	C	六六七
V. Theobald.	The Parasitic Diseases of Poultry.	D	三九四

○九月中本府ニ於テ寄贈ヲ受ケタル圖書左ノ如シ

寄贈者名	書名	
朝鮮總督府度支部司稅局	人蔘病害研究ノ一端	
朝鮮總督府鐵道局	列車時刻表（明治四十五年六月改正）	
朝鮮水產組合	朝鮮水產組合月報	每號
	姬路商業會月報	每號
	群山商業會議所月報	每號
特許局	實用新案公報	每號
	靑森商業會議所月報	每號
外務省	通商彙纂	每號
	京城雜誌	每號
長野稅務監督局	局報	每號
長野縣	長野縣第二十八統計書	
臺灣總督府	臺灣外國貿易年報（明治四十四年）	
國定教科書共同販賣所	明治四十五年度分國定教科書供給狀況調査 期 役	
	橫濱商業會議所月報	每號
特許局	商標公報	每號
同	特許發明明細書	每號
	仁川商業會議所月報	每號
	海友	第二九號
外務省	外國新聞摘要	每號
	露國月報（明治四十五年三月分）	
	義與	每號
大藏省	大日本外國貿易月表	七月分
靜岡市役所	第十二回靜岡市統計書（明治四十三年）	
	函館商業會議所報	每號
仙臺稅務監督局	局報	每號
平安農工銀行	第八期營業報告書	
丸龜稅務監督局	局報	每號
大阪稅務監督局	局報	每號
內外商工協會	內外通信	八月號
	茨城縣職員錄	
	세련소의 괴빈	九月號
神祇道雜誌社	神祇道	第一三號
名古屋稅務監督局	局報	每號
臺灣總督府民政部殖產局	山仔脚煤田調査報告	
	鹿兒島商業會議所月報	每號
	釜山商業會議所月報	每號
大藏省	內地及樺太朝鮮間貿易月表	七月分
橫濱商業會議所	橫濱之貿易及金融	
總話會 The Malitime Customs.	Returns of Trade and Trade Reports. (1911)	
農商務省	農商務省商品陳列館報告	第一號
大連實業會	大連實業雜誌	第六七號
農商務省	山林公報	每號
樺太廳	樺太之森林	
岡崎商工社	岡崎商工彙報	第六號
朝鮮總督府鐵道局	業務月報	五月分
石川縣	石川縣水產試驗場業務報告	
	石川縣湖潟內灣水面利用調査報告	第一、二卷
石川縣	地質調査所報告	每號

鹿兒島税務監督局	局報	毎號
	札幌鑛山監督署管内鑛區一覽(明治四十五年七月一日現在)	
九州農工銀行	第十二期營業報告書	
咸鏡南道財務部	咸南地方金融組合通信錄	
朝鮮銀行	東洋ニ於ケル獨逸銀行ノ活動	
同	朝鮮銀行月報	
大阪商業會議所	貿易通報	八月分
警務總監部	警務彙報	八月號
廣島税務監督局	局報	毎號
開發社	教育時論	第九八六號
新韓國報社	新韓國報	第二〇二號
大日本武德會本部	會報	第二號
日本體育會	體育	第二二五號
大藏省	調査月報	第八號
The Malitime Customs, China.	Customs Gazette, April—June 1912.	
愛媛縣獸疫取締所	獸疫豫防事務成績	
日英商報社	日英商報	毎號
海陸運社	海陸運	毎號
	Gaceta Oficial de la Oficina de Patentes Y marcas. Abril de 1912. Maxico.	
同社	東京蠶種貿易商報	第一四九號
朝鮮總督府遞信局	朝鮮總督府通信法規電信電話編加除級第一回	
平安北道	勸業一班	
同	平安北道一斑	
	The Philippine Agriculture Review. No. 9.	

農商務省農務局	産業組合要覽(第九次)	
大日本農會	大日本農會報	第三七五號
農商務省水産講習所	水産講習所試驗報告	第八卷第二冊
臺灣總督府	移出米概況	
Ministero Delle Finanze, Roma.	Movimento Commerciale, 1910.	
	福島縣水産試驗場事業報告 第一報	
Department of Mines, Canada.	Preliminary report on the Clay and shale deposits of the western provinces.	
Department of Mines, Canada.	The Geology of Steepreck lake, Ontario.	
	馬政局統計書	
北海道	北海道職員錄	
京都税務監督局	局報	毎號
山口監獄	監獄公報	第一四七號
滿韓實業協會	滿韓之實業	毎號
	長崎水産時報	第二五號
農商務省	明治四十四年蠶絲類繭絲及蠶種表	
同	明治四十四年鑛産表	
	北海道道勢一斑 明治四十三年	
東京税務監督局	局報	毎號
	Deutche Export. No. 7. Juli.	
Ministero Delle Finanze, Roma.	Movimento Commerciale del Reyno D'Italia.	
日本美術協會	美術ノ日本	九月號
日鮮實業社	日鮮實業界	九月號
	京城日本人商業會議所月報	毎號
和歌山縣立農事試驗場	農事試驗成績	第三號
朝鮮家禽協會	朝鮮之家禽	第一〇號

產業組合中央會茨城支會	產業組合ノ友	第一九號
東京音樂學校	東京音樂學校一覽	自明治四十五年至大正二年
宮城縣	宮城縣職員錄	

○本府ニ於テ例月購入スル邦文雜誌及歐文新聞雜誌左ノ如シ

太陽	秘書課・內務部
中央公論	秘書課
外交時報	同
國際法雜誌	同
國家學會雜誌	同
法學協會雜誌	同
實業之日本	同
海外之日本	同
日本及日本人	同
國民雜誌	同
新日本	秘書課・內務部
朝鮮及滿洲(朝鮮改題)	總務局・內務部・司法部
教育學術界	內務部
學術界	同
教育時論	總務局・內務部
教育實驗界	內務部
教育界	同
小學校	同
教育研究	同
初等教育	同
帝國教育	同
日本ノ小學校	同
教材研究	同
普通教育	內務部
殖民公報	同
旅行案內	內務部・農商工部
工業化學雜誌	度支部・度支部
紙業雜誌	同
東洋皮革新誌	同
東京銀行通信錄	同
大阪銀行通信錄	同
統計集誌	總務局・度支部
朝鮮農會報	度支部
工業	總務局
工業界	同
電氣ノ友	同
印刷世界	同
臺灣統計協會雜誌	同
自治機關	同
統計學雜誌	同
政事學雜誌	同
兵事雜誌	武官室

American Journal of International Law.	外事局
Colonial Official Journal.	內務部
Educational Review.	同
Engineering and Mining Journal.	鑛務課
Journal of Education.	內務部

Shanghai Mercury.	外事局
The American Review of Reviews	外事局 農務課 關稅課
The Board of Trade Journal	關稅課
The Chemical News.	稅務課
The Contemporary Review.	外事局
The Daily Consular Trade Report.	同
The Economist.	理財課
The Engineering	關稅課
The Engineering News	工務課
The Fortnightly Review.	外事局
The Graphic.	關稅課
The Hongkong Weekly Press and China Overland Trade Report.	外事局
The Japan Weekly Mail.	同
The Japan Chronicle	外事局 關稅課
The Japan Times.	總務局 內務部 司法部 農商工部
The Japan Daily Mail	外事局
The Japan Daily Herald	外事局 關稅課
The Japan Gazette	外事局
The Japan Advertiser.	同
The Journal Society of Chemical Industry.	鑛務課
The London and China Express.	外事局
The Mail.	同
The National Review.	同
The North American Review	外事局
The North China Daily News.	同
The North China Herald.	關稅課
The New York Times.	總務課
The Nineteenth Century and After.	外事局
The Outlook.	同
The Parliamentary Papers.	外事局
The Political Science Quarterly	總務課
The Review of Reviews, Illustrated	外事局
The Seoul Press.	總務部 秘書課 關稅課
The School Review.	內務部
The Times.	總務課
The Times Weekly.	關稅課
The Tobacco, London.	稅務課
The Tobacco, New York.	同
The Tobacco Leaf.	同
The Tobacco Trade Review.	同
Das Echo	外事局
Der. Ostasiatische Lloyd.	同
Deutsche Japan-Post.	同
Kölnische Zeitung.	同
Zeitschrift für Colonialpolitik, etc.	同
Diplomatiques et Coloniales.	同
L'Echo de Chine.	同
L'Education.	內務部
Le Temps.	外事局
Figaro.	同

○民事刑事判決

○姦通及殺人ニ關スル件（明治四十五年六月十日宣告 明治四十五年刑上第五一號）

判決要旨

一 上告趣意書ヲ差出スヘキ五日ノ期間及其期間經過後追加趣意書ヲ差出スコトヲ得ヘキ十四日ノ期間ヲ計算スルニ該リ共ニ其期間ノ初日ハ之ヲ算入セサルモノトス（辯護士追加趣意書）

一 附帶上告趣意書ヲ原裁判所ニ差出サスシテ直ニ上告裁判所ニ差出シタルトキハ其附帶上告ハ不適法ナリトス（檢事長附帶上告）

第一審京城地方法院　第二審京城覆審法院

被告人黃姓女外一人　辯護士李琮夏

右姦通及殺人被告事件ニ付明治四十五年四月二十九日京城覆審法院カ言渡シタル判決ニ對シテ被告兩名ヨリ上告ヲ申立當院檢事長國分三亥ヨリ附帶上告ヲ申立タリ依テ當院ハ朝鮮總督府檢事西内德ノ意見ヲ聽キ判決スル左ノ如シ

主　文

被告沈洪澤同黃姓女ノ上告ハ共ニ之ヲ棄却ス

附帶上告ハ之ヲ棄却ス

理　由

被告沈洪澤上告趣意書ハ原判決事實摘載中姦通謀殺罪ニ相當スル事實ハ昨年陰九月七日被告カ李慶來家ヨリ自宅ニ歸ル際黃雲西家ヲ經過シ黃家ノ前ニ至リタルニ黃姓女カ隣家ニ往キ被告ヲ呼ンテ云フニ昨日夜中ニ夫婦爭鬪ヲ爲シ鉋ニテ本夫ヲ殺害シタリ至急埋葬セサレハ本人ノ生命ヲ保存シ難キニ付相煩ハストテ埋葬ノ事ヲ請求スルヲ以テ目前該女ノ事情ノミヲ思フテ埋葬シタルニ過キス共謀セシコトモナク又殺害事件ニ關係シタルコトモナキニ依リ原判決ハ失當ヲ免レスト云フニ在レトモ〇本論旨ハ原判決カ被告ノ姦通竝謀殺行爲ヲ認メタルニ對シテ之ヲ非議シ事實承審官タル原審ノ職權ニ屬スル事實ノ認定ヲ非難スルニ過キサルヲ以テ上告適法ノ理由ナシ同被告辯護士李琮夏上告追加趣意書第一點ハ原判決ハ被告ノ所爲ヲ謀殺ト認メタルモ元來謀殺トハ豫メ其殺害ノ計謀ヲ定メ之ニ依リ其目的ヲ遂スル者ニシテ若シ豫定ノ計謀ナクシテ一時ノ手段ニ出テタルモノハ謀殺ニ非ス然ルニ被告兩名ハ共同シテ人ヲ殺害シタル事實アリトシ其兩名間如何ナル計謀ヲ豫定シタルカ毫末モ證據上現ハレタルモノナキニ拘ハラス遽ニ之ヲ謀殺ト認メタルハ根據ナキ事實認定ニシテ法律適用ニ違法ノ結果ヲ生シタルモノナリト云フニ在レトモ〇原判決ニ依レハ判文掲記ノ證據ニ基キ被告黃姓女ハ黃云西ノ妻タル身ニシテ被告沈洪澤ハ其情ヲ知リ相通スルコト數十回ナリシカ黃云西ノ疑フ所トナリ其注意ノ下ニ於テハ淫慾ヲ肆ニシ難キヨリ同人ヲ殺害シ以テ痴情ヲ滿足セシコトヲ共謀シ同人カ泥醉シテ歸リシヨリ機到レリトナシ相謀シテ深更其熟睡ヲ窺ヒ兩名相共ニ厨刀ヲ執リテ同人ヲ殺害シタル事實ヲ認定シアレハ右殺害行爲カ豫謀ニ出テタル謀殺罪ヲ構成スルコト洵ニ明ナルヲ以テ被告ノ所爲ヲ謀殺律ニ問擬シタルハ正當ニシテ本論旨ハ其理由ナシ

同第二點ハ刑事訴訟法第二百一條ニ被告人有罪ト爲リタル時ハ裁判所ノ職權ヲ以テ公訴ニ關スル訴訟費用ノ全部又ハ一分ヲ負擔スヘキ言渡ヲ爲スヘシトノ規定アルニ拘ラス原判決ハ被告ニ有罪判決ヲ爲シ居ルモ公訴費用ニ關シテ言渡ヲ爲ササルハ違法ノ判決ナリト云フニ在レトモ〇公訴ニ關スル訴訟費用ノ生シタル場合ニアラサレハ之カ負擔ノ言渡ヲ爲スヘキモノニアラサルヲ以テ其言渡ナキノ一事ヲ以テ違法ノ判決ナリト速斷スルヲ得サルノミナラス縱シヤ訴訟費用ノ生シタルモノアリテ之カ負擔ヲ言渡スヘキ場合ナリト假定スルモ其言渡アルヨリハ其言渡ナキヲ被告ノ利益トスルニ付本論旨ハ結局被告ニ不利益ナル判決ヲ求ムルコトヲ趣旨トスルニ歸シ被告ノ爲ス上告ノ性質ニ反スルニ依リ上告適法ノ理由トナラス

同辯護士ヨリ明治四十五年五月二十二日差出シタル上告追加趣意書ニ付按スルニ朝鮮刑事令第三十四條第一項ニ依レハ追加趣意書ハ趣意書ヲ差出スヘキ期間ヲ經過シタル後十四日内ニ差出スヘキモノニシテ而シテ趣意書ハ同令第三十一條第一項ニ依レハ上告ノ申立ヲ爲シタル日ヨリ五日内ニ差出スヘキモノナリ依テ今一件記錄ヲ調査スルニ被告沈洪澤ノ上告申立ハ明治四十五年五月一日ナルヲ以テ其趣意書差出シノ期間タル五日ヲ初日ヲ算入セスシテ計算スルトキハ同月六日ヲ以テ其期間滿了シ該期間ノ經過後更ニ追加趣意書差出シノ期間タル十四日ヲ初日ヲ算入セスシテ計算スルトキハ同月二十一日ヲ以テ其ノ期間滿了スルニ付同月二十二

日ニ差出シタル本追加趣意書ハ法定期間ノ經過後ノ差出ニ係リ不適法ノモノトス依テ其論旨ノ當否ニ對シテハ說明ヲ與ヘス

被告黃姓女上告趣意書ハ實夫カ昨年陰九月十九日夜賭博場ニ往クト云フテ出去リタルニ終ニ還來ラス月去リ月來リ數期ニ至レリ或ハ不良者ニ害セラレタルカヲ疑ヒ子兒ヲ引率シテ三日間廣探シタルモ蹤跡ヲ得ス昨年陰十二月二十七日子兒カ竹山郡山中ニ於テ全部朽傷ノ一尸體ヲ發見シタルニ付直ニ該地ニ隨往シタルニ刀子一柄アリ實夫カ丙午年分ニ暴徒ニ參入シ還家ノ時ニ持來リ恒ニ携帶シ居タル刀子ニ相違ナシ依テ被害ノ實根ハ分明ナラサルモ該刀ヲ持チテ安城憲兵所ニ告訴シタルモノナリ沈洪澤トハ八年前ニ一次相關シタルコトアルモ其後更ニ關係ナク又謀殺ノ造意隨行助力等ノ事全ク之ナキニ刑法大全第四百七十三條謀殺律ニ依リ死刑ニ處セラレタルハ法律ノ錯誤ナリト思料スト云フニ在レトモ○相被告沈洪澤辯護士李琮夏上告追加趣意書第一點ニ對スル說明ニ於テ摘示シタルカ如ク原判決認定ノ事實ニ依レハ被告黃姓女ハ夫ニ對シ謀謀ニ出テタル謀殺下手ノ行爲アルモノナレハ刑法大全第四百七十三條ニ規定スル所爲ヲ以テ夫ヲ殺シタルモノニシテ同法第四百九十條第一號ニ該當ス從テ原判決カ法律ニ問擬スルニ當リ被告黃姓女ノ謀殺行爲ニ對シ朝鮮刑事令第四十一條刑法大全第四百九十八條第一號第四百七十三條前段ヲ適用シタルハ相當ニシテ何等違法アルコトナク本論旨ハ結局原審ノ職權ニ屬スル事實ノ認定ヲ非難シ延テ徒ニ擬律ニ錯誤アリト論議スルニ過キサルヲ以テ其理由ナシ

當院檢事長國分三亥ヨリ爲シタル附帶上告ニ付按スルニ朝鮮刑事令第三十五條ニ依レハ附帶上告ハ其趣意書ヲ原裁判所ニ差出スニ依リテ之ヲ爲スト規定シ別段ニ被告ノ爲ス附帶上告ナルト原裁判所檢事ノ爲ス附帶上告ナルト上告裁判所檢事ノ爲ス附帶上告ナルトニ付區別スル所アラサルニ依リ何レノ場合ニ於テモ附帶上告ヲ爲スニハ右規定ニ則リテ之ヲ爲シ其趣意書ハ必ス原裁判所ニ差出ササルヘカラス而シテ該規定ハ同令第三十一條第一項ノ規定ト同シク任意的規定ニ非サルヲ以テ附帶上告趣意書ヲ原裁判所ニ差出サスシテ直ニ上告裁判所ニ差出スコトハ之ヲ許ササル趣旨ナリト解釋スルヲ至當トス果シテ然ラハ當院檢事長ノ爲シタル附帶上告ハ其趣意書ヲ原裁判所ニ差出サスシテ直ニ當院ニ差出シタルモノニシテ不適法ナルヲ以テ論旨ノ當否如何ニ關セス此點ヲ以テ之ヲ棄却スヘキモノナリ

以上說明ノ如ク被告兩名ノ上告ハ其理由ナク又當院檢事長ノ附帶上告ハ不適法ニ付刑事訴訟法第二百八十五條ニ從ヒ主文ノ如ク判決スルモノナリ

○詐欺取財ノ件

（大正元年刑控第一五號　大正元年九月二十五日宣告）

判決要旨

一　恐喝ノ罪ハ人ヲ恐喝シテ不法ニ財物ヲ交付セシメ若クハ財産上ノ利益ヲ得又ハ他人ヲシテ得セシムルニ因リ成立スルモノニシテ正當ニ得ヘキ利益ヲ取得スル爲メ人ヲ恐喝スルカ如キハ該犯罪ヲ構成スルモノニ非ス

二　控訴審ニ繫屬スル事件ノ範圍ハ被告ノ控訴ニ係ル場合ニ於テハ併合罪等ノ關係ノ存セサル限リハ一ニ第一審判決ニ對スル被告ノ不服ノ程度ニ依リ定マルモノトス

第一審大邱地方法院

被告人田村末吉　辯護士高橋章之助

右ニ對スル恐喝取財被告事件ニ付大邱地方法院ノ言渡シタル判決ニ服セス被告ヨリ大邱覆審法院ニ對シ控訴ノ申立ヲ爲シ同院ノ言渡シタル判決ニ對シ更ニ被告ヨリ上告ノ申立ヲ爲シタル處高等法院ハ右大邱覆審法院ノ言渡シタル判決ヲ破毀シタル上更ニ裁判ヲ爲サシムル爲メ事件ヲ當院ニ移送スル旨ノ判決アリタルニツキ當院ハ朝鮮總督府檢事寺田恒太郎干與審理判決スルコト左ノ如シ

主文

原判決ヲ取消ス

被告末吉ヲ無罪トス

理由

本件控訴事實ハ被告ハ明治四十年四月頃大邱府東上面七星里住中村清太郎ヨリ同人所有ニ係ル畑三百三十坪ヲ他人ニ賣渡スカ如キコトナキ口約ヲ以テ時價ノ半額坪六十五錢ニテ購入スル契約ヲ爲シ倘ホ該畑ハ農作物ノ植付アル關係ヨリ同年八月府廳ノ證明ヲ受クル筈ナリシ處被告ハ右清太郎トノ口約ニ背キ坪二圓五十錢ヲ以テ他ニ賣却スル事ト爲シタルニ付至急賣買證明ノ手續ヲ申請スヘキ旨清太郎ニ申込ミタルヨリ清太郎ハ其前約ニ背違スルヲ憤リ證明ヲ受クルヲ肯セス荏苒同年十一月ニ至リタルカ之ヨリ先キ同年六月中被告ハ右清太郎ノ仲介ニ依リ小林茂右

衞門ヨリ家屋敷地ヲ購入スル契約ヲ爲シ手附金二十圓ヲ交付シタルモ後該契ハ破談ト爲リタル爲同年十一月下旬小林義右衞門ハ被告ニ返還セシムル爲仲介人タル清太郎ニ該手附金ヲ送付シ來リタルモ當時清太郎ハ被告ニ對シ金二百圓ヲ貸與シ居リ已ニ返濟期限ヲ經過シ居リタルヲ以テ之カ內入トシテ右金員ヲ留保シ置キタル處被告ハ之ヲ聞知シ横乘スヘシト爲シ偶マ同年十二月初旬ニ至リ清太郎ヨリ前記借用金ノ督促ヲ受クルヤ被告ハ清太郎方ニ至リ同人ノ事理ニ疎キヲ奇貨トシ汝カ小林茂右衞門ヨリ送リ來レル金二十圓ヲ着服セルハ横領罪ナレハ警察署ニ告訴ス可シ尙ホ汝カ土地ノ賣買ヲ契約シ手附金三十圓ヲ受取リナカラ土地ノ引渡ヲ爲ササルモ亦不法ナリ若シ土地ノ引渡ヲ爲ササレハ横領罪トシテ告訴ス可シトノ意味ヲ以テ恐喝シ居ル際偶マ同里居住岩永馬吉來會シ被告カ惡罵シ居ルヲ目撃シ相當ニ解決スヘケレハ一旦歸宅シ吳レト被告ニ慫慂シ置キ其後片木椿吉ト共ニ仲裁ニ入リ被告ニ對シ圓滿ノ解決ヲ哀願シタルニ對シ被告ハ然ラハ最初契約シタル土地ヲ坪六十五錢ノ價格ヲ以テ引渡シ尙ホ八月中ノ地價ニ比シ一坪ニ付約五十錢下落シタレハ其損害ヲ賠償スヘシト不當ノ要求ヲ爲シ若シ應セサルトキハ横領ノ告訴ヲ提起ス可シト恐喝シタルヨリ畏怖ノ念ニ驅ラレ居ル清太郎ハ遂ニ該土地ヲ一坪ニ付一圓八十錢ニテ買戻ス事ト爲シ同年十二月下旬示談ノ契約ヲ爲シ翌四十五年三月ニ至リ最初契約シタル坪六十五錢ト更ニ買戻ス事ト爲シタル坪一圓十五錢ノ差額金三百七十九圓五十錢ヲ騙取シタルモノナリト云フニ在レトモ一件記錄及公廷ニ於ケル被告ノ供述ニ依リ之ヲ案スルニ本件公訴ノ目的タル被告ノ所爲ハ前掲檢事所見ノ如ク被告カ中村清太郎ヲ恐喝シテ不法ニ金圓ヲ交付セシメタルニ非スシテ被告ハ明治四十四年四月中豫テ昵近ナル中村清太郎ヨリ同人所有ノ畑三百三十坪ヲ他日被告カ之ヲ他人ニ賣渡ス如キコトアラハ他人ニ優先シテ其ノ買戻ヲ爲シ得ヘキ權利ヲ清太郎ニ留保シタル上時價ノ半額坪六十五錢ノ割合ニテ賣買ノ契約ヲ締結シ被告ヨリハ手附金名義ヲ以テ內金三十圓ヲ交付シ清太郎ハ同畑地ノ收穫ヲ待テ同年八月ニ至リ右賣買證明ノ手續ヲ履行スヘキ旨ヲ約諾シタル處該畑地ハ其後ニ至リ價格著シク騰貴シタルヨリ清太郎ハ同年八月ニ至ルモ前記證明ノ手續ヲ履行セス被告ヨリノ督促ニ對シ辭ヲ設ケテ荏苒同年十二月ニ至リタリ依テ被告ハ當時清太郎カ小林茂右衞門ヨリ委託セラレタル金二十圓ヲ被告ニ對スル債權ノ辨濟ニ充當スルモノナリト稱シテ被告ニ交付セサルヲ機トシ前記賣買證明手續ノ履行ヲ爲サシムル爲同月中清太郎ニ對シ期限ヲ經過シテ尙ホ賣買證明ノ手續

ヲ爲ササルハ不都合ナルノミナラス小林ヨリ返還シ來リタル金二十圓ヲ擅ニ留置スルハ横領罪ナレハ告訴ス可シト恐喝シ同人カ畏怖シテ岩永馬吉片木椿吉ノ兩人ヲ介シ春ニ和解ノ意ヲ通スルヤ被告ハ之ニ對シ若シ前記證明手續ヲ爲シ完全ナル所有權ノ移轉ヲ爲スヲ好マサルニ於テハ同年八月中ニ於ケル價格ヲ以テ該畑地ヲ買戻ス可シ然ラサレハ飽クマテモ告訴ヲ爲スヘキ旨ヲ以テ恐喝シ遂ニ清太郎ヲシテ畏怖ノ結果右申出ニ應シ前掲畑地三百三十坪ヲ同年八月中ノ相當價格タル坪金一圓八十錢ノ割合ニテ買戻スコトヲ承諾スルニ至ラシメ其買戻代金中一部ハ被告カ未タ支拂ヲ了セサル前記畑地ノ買受代金及被告ヨリ清太郎ニ對スル借財等ト相殺シ其殘額金百七十圓ヲ翌四十五年三月初旬ニ至リ清太郎ヨリ受領シタルニ止マルモノトス然ルニ恐喝ノ罪ハ人ヲ恐喝シテ不法ニ財物ヲ交付セシメ若クハ財產上ノ利益ヲ得又ハ他人ヲシテ得セシムルニ因リ成立スルモノニシテ正當ニ得ヘキ利益ヲ取得スル爲メ人ヲ恐喝スルカ如キハ該犯罪ヲ構成スルモノニ非ス蓋シ恐喝ノ罪ハ盜罪ノ一種ニシテ法律カ刑法第二百四十九條ノ規定ヲ設ケタル趣旨モ亦他ノ盜罪ト同樣不正ノ侵害ニ對シ人ノ財產權ヲ保護セントシタルニ外ナラス然ルニ一定ノ義務ヲ履行セサルモノアルニ際シ權利者カ權利實行ノ爲メ脅喝ノ手段ヲ以テ義務者ヲシテ履行ノ意思ヲ決定セシメ依テ權利者カ當然受クヘキ利益ヲ取得シ若クハ取得セシメタル場合ニ於テハ其脅迫ナル手段ヲ除キ之ヲ觀察スレハ義務者ハ則チ自己ノ當然履行スヘキ義務ヲ履行シ權利者ハ則チ自己ノ正當ニ受クヘキ利益ヲ取得シタルニ過キスシテ其間毫末モ財產權ニ對スル侵害ノ觀念ヲ挾ムヘキ餘地ナキモノトス而シテ右脅喝ナル手段ハ權利實行ノ方法トシテ公力ニ因ラサル點ニ於テ其措置固ヨリ妥當ナラスト雖是レアルカ爲メ右行爲カ權利實行行爲タルノ性質ヲ變シテ財產權ニ對スル侵害行爲ト爲スニ足ラサルハ勿論又是レアルカ爲メ正當ナル權利實行ノ行爲自體ヲ犯罪トシ刑事上ノ責任ヲ負擔セシムルノ理由ト爲スニ足ラサルナリ若シ然ラストセハ人ヲ恐喝シテ他人カ何等ノ權利ヲモ有セサル自己所有ノモノヲ所得シタル時ト雖尙犯罪ヲ構成スルモノナリト論決セサルヲ得サルニ至ルヘク其不當ノ論決タルヤ言ヲ俟タサル處ナリ加之刑法第二百四十九條第二項ハ明カニ恐喝ニ依リテ得ヘキ財產上ノ利益ハ不法ノモノタルヘキコトヲ規定シタリ而シテ同條第一項ハ有形的財產上利益ヲ同條第二項ハ無形的財產上利益ヲ保護シタルモノナルニ均シク犯罪行爲トシテ是ヲ處罰スルニツキ無形的利益ノミハ不法ナルコトヲ要シ有形的利益ハ之ヲ要セスト爲スノ理由ヲ發見スル能ハサルカ

故ニ法律ガ同條第一項ノ法益ニツキ不法ノ文字ヲ省キタルハ畢竟是ヲ自明ノ理トシ行文上蛇足ノ誹ヲ避ケタルモノト解スヘキナリ是故ニ正當ニ得ヘキ利益ヲ取得スル爲メ人ヲ恐喝スルハ其措置妥當ナラスト雖是ヲ以テ直ニ犯罪ナリト論定スルヲ得サルモノトス然レハ本件ハ前示ノ知ク被告ハ中村清太郞カ被告ニ對シ賣渡シタル地所ニツキ正當ノ事由ナクシテ所有權移轉ノ手續ヲ履行セサルニ際シ買受人タル被告ハ該地所ニ對スル完全ナル所有權ヲ取得スルニ因リ受ク可キ正當ノ利益ヲ得ル爲メ清太郞ヲ恐喝シ同人ヲシテ右地所ノ價格ニ相當スル價格ヲ以テ買戻サシメタルモノニシテ印チ正當ニ受クヘキ利益ヲ取得スル爲メ人ヲ恐喝シタルニ外ナラサレハ本件公訴ノ目的タル被告ノ所爲ハ犯罪ヲ構成スルニ至ラサルモノト判決スルヲ以テ刑事訴訟法第二百五十八條第二百三十六條第二百二十四條ニ依リ被告ニ對シ無罪ノ言渡ヲ爲スヘキモノトス

尙ホ本件ハ土地騙取ノ事實ノミヲ判斷シタル大邱覆審法院ノ判決ニ服セス被告ヨリ上告ヲ爲シタルニ對シ高等法院ハ本件控訴事實ヲ以テ土地騙取ト恐喝取財ノ二箇ノ事實ヲ包含スルモノト解シ該判決ハ其一部タル土地騙取ノ事實ニツキ判決ヲ爲シタルノミニテ他ノ恐喝取財ノ事實ニツキテハ何等ノ判斷ヲ與ヘサル不法アルモノト爲シ之ヲ破毀シ更ニ右二箇ノ公訴事實ニツキ裁判ヲ爲サシムル爲メ事件ヲ移送シタルモノニ係ルモ右高等法院判決ノ論斷ハ本件第一審タル大邱地方法院ノ判決ニ對シ第二審タル大邱覆審法院檢事カ被告ノ不利益ニ爲シタル附帶控訴（記錄第百三十六丁參照）ヲ前提ト爲シタルモノト解セサルヘカラス蓋シ若シ被告ノミノ控訴ニ係ル場合ニ於テモ尙同一論決ニ出ツヘキモノトセハ本件第一審判決ハ一部タル恐喝取財ノ事實ニツキテノミ判決ヲ爲シ其他ノ事實ニツキテハ何等ノ判斷ヲ與ヘサルモノナルニ拘ラス第二審ハ第一審カ何等ノ裁判ヲ爲サス從テ被告ノ利益ニ歸シタル公訴事實ニ對シ尙ホ裁判ノ爲ササル可カラサルニ至リ明カニ刑事訴訟法第二百六十五條ノ精神ト背馳シタル不法ノ結果ヲ生スレハナリ果シテ然ラハ前揭第一審判決ニ對スル檢事ノ附帶控訴當院ニ於テ當院檢事ノ取下タル處ト爲リタルヲ以テ當院ニ繫屬スル公訴事實ノ範圍ハ今ヤ前記檢事ノ附帶控訴ヲ前提トシタル高等法院ノ判決ニ依リ定ムヘキモノニアラスシテ併合罪等ノ關係ノ存セサル限リ一ニ第一審判決ニ對スル被告ノ不服ノ程度ニ依リ之ヲ定ムヘキモノトス故ニ本件公訴事實ハ高等法院判定ノ如ク果シテ土地騙取ト恐喝取財ノ二箇ノ事實ヲ包含スルモノト解スルモ第一審判決ハ單ニ其一部タル恐喝取財ノ事實ニ對シ裁判ヲ爲シタルノミニテ他ノ事實ニ付何等ノ判斷ヲ爲サス而シテ被告ハ印チ該判決ニ對シ不服ヲ申立ツルモノナレハ當院ニ繫屬スル公訴事實ノ範圍ハ則チ本件公訴事實中右判決ニ於テ判斷シタル恐喝取財ノ事實ノミト謂ハサルヘカラス是レ當院カ前示ノ如ク恐喝取財ノ事實ニツキテノミ判決ヲ爲シ土地騙取ノ事實ニツキテハ罪ノ有無ヲ判定セサル所以ナリ

然レハ第一審判決カ前揭罪ト爲ラサル被告ノ所爲ニ對シ有罪ノ認定ヲ爲シ之ヲ刑法第二百四十九條ニ問擬シ被告ヲ懲役三年ニ處シタルハ失當ニシテ被告ノ控訴ハ理由アルヲ以テ刑事訴訟法第二百六十一條第二項ニ則リ主文ノ如ク判決ス

京城覆審法院刑事部



日韓書房編輯部編纂　（九月上旬發賣）

袖珍 現行朝鮮教育法規提要

總クロース上製
全一冊
定價金三十錢
郵稅金四錢

○朝鮮に於ける内地人教育と朝鮮人教育に關する殆ど一切の法規を網羅せり

○内地人教育と朝鮮人教育との二編に分ち各編に官制、學校、恩給等の諸章を設け分類的確整正且簡明にして檢索自由自在なり

○校正周密にして印刷鮮明裝釘清楚且輕便にして定價亦極めて廉、之を求めて机上を飾り懷中に携へ用を辨するの意の如くなるへし

○中央及ひ地方の當局者官公私立學校職員諸君の一日も之を座右に缺くへからさるは勿論苟も朝鮮教育の現在及ひ將來を知らむと欲するの人士に對しても亦好箇の參考資料たるを失はす

發行所　東京神田表神保町二　電話本千五百三十九番　同文館

發行所　京城本町二丁目（電一四五）　振替口座京城百十五番　日韓書房

金儲けを望む人は此の書を讀め

京城日報社
編輯部編纂

朝鮮百業百種

四六版
洋裝假綴
定價五拾錢
郵稅六錢

山に野に遺利多き朝鮮に來る人が**何故失敗**するかと問はゞ吾人は其等の人々が其の爲さんとする業に對して何の調査をもなさずに著手するからである事を斷言する又た大資本家にあらずとするも**小資本家**が**成功**するには何の樣な職業が好いかに就ては何人も頭を惱まして居らぬ人はなからう其處で**金儲**を**望**む**人**は**此**の**書**を**讀**むべし儲け仕事にありつく事は請合である

發行所

京城本町二丁目
振替(京城)百十五番

日韓書房

電話一四五番
電話二二七番

○朝鮮總督府月報ニ關スル規程（四十四年五月總訓第四十一號）

第一條　朝鮮ニ於ケル施政、産業其ノ他各般ノ狀況ヲ蒐錄スル爲每月二十日朝鮮總督府月報ヲ發行ス

臨時調査事項ニシテ浩澣ニ涉ルモノハ月報附錄トシテ之ヲ發行スルコトヲ得

第二條　月報ハ官房總務局總務課ニ於テ之ヲ編纂ス

第三條　月報ニ揭載スヘキ事項ハ左ノ區分ニ依ル

一　農業及殖林
二　商工業
三　鑛業
四　水産業
五　貿易
六　運輸及交通
七　理財及金融
八　教育
九　社寺宗教
十　衞生
十一　救恤慈善
十二　地方行政
十三　司法
十四　調査資料
十五　統計

第四條　月報ニ記載スヘキ材料ハ關係ノ各部及所屬官署ニ於テ之ヲ蒐集スヘシ

第五條　材料ヲ蒐集セシムル爲各部及所屬官署（道ニ在リテハ内務部及財務部）ニ各一名ノ月報報告主任ヲ置ク

月報報告主任ハ奏任官又ハ判任官中ヨリ所屬長官之ヲ命シ其ノ官氏名ヲ總務課長ニ通知スヘシ

第六條　月報報告主任月報ニ揭載スヘキ事項ヲ調査シタルトキハ其ノ都度直ニ之ヲ總務課長ニ送付スヘシ

第七條　月報原稿締切期限ハ每月十日トス

第八條　總務課長ハ月報揭載事項ニ關シ月報報告主任ニ直接交涉ヲ爲スコトヲ得

第九條　月報原稿ハ別記樣式ノ原稿用紙ニ之ヲ記入スヘシ但シ統計圖表類及印刷ニ係ルモノハ便宜美濃十三行罫紙若ハ美濃白紙ニ之ヲ記入シ又ハ其ノ印刷物ヲ美濃白紙ニ貼附シ之ニ代用スルコトヲ得

第十條　月報ハ官房總務局印刷所之ヲ印刷ス

印刷所長ハ依賴ニ應シ月報ニ廣告ヲ揭載スルコトヲ得其ノ料金ハ印刷所長之ヲ定ム

（別紙樣式略）

○朝鮮總督府月報廣告揭載手續

一朝鮮總督府月報ニ廣告ヲ揭載セムトスル者ハ京城本町二丁目日韓書房ニ申込ムヘシ

一揭載シタル廣告ノ原稿ハ一切之ヲ返付セス

一廣告料ハ一頁金五圓トス

但シ廣告ニ圖畫又ハ計表其ノ他特殊ノ版式ヲ要スルモノハ別ニ其ノ實費ヲ徵ス

大正元年十月十八日印刷
大正元年十月二十日發行

定價金二十二錢
郵税金一錢五厘

朝鮮總督府編纂

印刷所　朝鮮總督官房總務局印刷所

發賣所　京城本町二丁目　日韓書房